



PORSCHE



# 911 Carrera, 911 Targa

取扱説明書

「Porsche」、 「Porsche Crest」、 「911」、 「PCCB」、 「PCM」、 「PDK」、 「PSM」、 「PTM」、 「Equipment」 およびその他の名称はDr. Ing. h.c. F. Porsche AGの登録商標です。

Printed in Germany.

本書の一部または全部の複製は、ポルシェ社の文書による許可がない限り禁止いたします。

© Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG  
Porscheplatz 1  
70435 Stuttgart  
Germany

## 車載マニュアル

取扱説明書や整備手帳など、車両に付属の印刷物は車内に常備してください。車両を売却するときは、次に購入されるお客様にお渡しください。

## ご質問、ご提案

車両本体または車載マニュアルについてのご質問、ご提案がございましたら、下記までご連絡ください。

Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG  
Vertrieb Customer Relations  
Porscheplatz 1  
70435 Stuttgart  
Germany

## 車両の装備について

ポルシェ社では絶えず製品の開発と改良を行っており、お客様の車両の装備品や仕様等がこの取扱説明書の内容と一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。装備品はオプションである場合や、車両が販売される国によってこの取扱説明書の内容と異なる場合があります。追加装備品の詳細については、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

各国の法律等の違いにより、この取扱説明書の内容が車両の仕様と異なる場合があります。この取扱説明書に記載されていない装備品等の取り扱いにつきましては、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店はすべての装備品の取り扱い方法とメンテナンスについてご説明いたします。

## 警告およびシンボル

この取扱説明書には様々な警告およびシンボルが使用されています。

### 危険

重傷または致命傷を負う危険があります

「危険」の欄の警告を守らなかった場合、重傷または致命傷を負う危険があります。

### 警告

重傷または致命傷を負う恐れがあります

「警告」の欄の警告を守らなかった場合、重傷または致命傷を負う危険があります。

### 注意

ケガまたは軽傷を負う恐れがあります

「注意」の欄の警告を守らなかった場合、ケガまたは軽傷を負う恐れがあります。

### 知識

車両を損傷する恐れがあります。

「知識」の欄の警告を守らなかった場合、車両を損傷する恐れがあります。

## インフォメーション

補足情報は「インフォメーション」の表示を使って記載しています。

✓ 機能を使用するために満たす必要のある前提条件

▶ お守りいただく必要のある指示

1. 指示が複数のステップに分かれる場合は、番号が付けられています。
- ▶ トピックに関する詳しい重要情報が記載されている参照先を示します。

## エアバッグ警告ラベル

### 危険

チャイルド・シートの助手席での使用

チャイルド・シートを助手席に取り付けた場合、助手席エアバッグが作動したときに重傷または致命傷を負う危険があります。

- ▶ 後ろ向きに着座するタイプのチャイルド・シートは使用しないでください。フロント・エアバッグが作動した場合、お様が重傷または致命傷を負う危険があります。
- ▶ 「ISOFIXチャイルド・シート・システムの取り付け」(180ページ)を参照してください。



## 台湾のみ：

- ▶ 台湾の関連法規に則り、「乳幼児や子供を助手席シートに乗せることはできません」。
- ▶ 「チャイルド・シート」(172ページ)を参照してください。



# 本書の構成

## 目次



9000\_301

本書の目次から確認したいトピックを探すことができます。

▷ (3ページ) ~

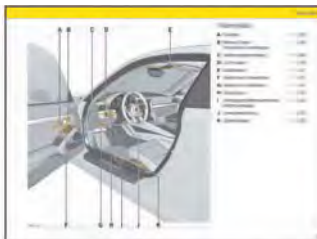
## ドライビング・プレジャーと安全性



安全にドライビング・プレジャーを満喫していただくための方法を記載しています。

▷ (5ページ) ~

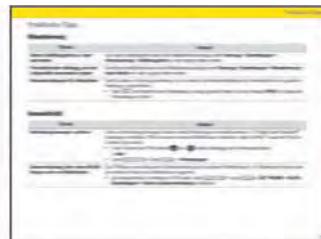
## 外観図



構成部品や操作系について十分にご理解ください。

> (19ページ) ~

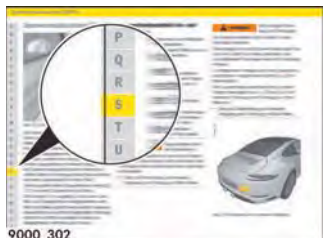
## 実用的なヒント



新しい機能に関する補足情報を記載しています。

▷ (29ページ) ~

## 五十音順トピック

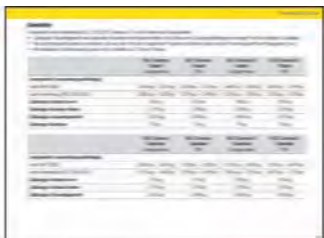


9000\_302

構成部品や操作系の機能および操作方法についてお読みください。

▷ (33ページ) ~

## テクニカル・データ



車両固有データについて記載されています。

> (328ページ) ~

## 索引



探したい情報を簡単に見つけることができます。

> (347ページ) ~

## 目次

<b>ドライビング・プレジャーと安全性</b> .....	5	<b>エアコンおよび人間工学</b>		制限速度表示* .....	147
<b>外観図</b>		エアコン (2ゾーン・オート・エアコン) .....	51	盗難を防止するために .....	195
PCM ドライブ .....	26	エアバッグ・システム .....	57	ドライビング・データの表示 (トリップ情報) .....	196
PCM の各操作部 .....	25	サン・バイザー .....	121	トランスミッション .....	200
PCM の基本操作 .....	27	シート .....	122	トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・システム .....	205
運転席 .....	20	シートベルト .....	126	パーキング・アシスタント .....	215
オーバーヘッド・コンソール .....	24	ステアリング・ホイール .....	131	ブレーキ .....	229
コントロール・パネル .....	23	チャイルド・シート .....	172	フロント・アクスル・リフト・システム .....	233
ステアリング・ホイールおよびインストルメント・パネル .....	21	パーソナル設定 .....	218	ボルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント (PASM) .....	243
センター・コンソール .....	22	ミラー .....	280	ボルシェ・カー・コネクト* .....	244
テキストおよび文字を PCM に入力する .....	28	リヤ・ウィンドウ・ヒーター/ドア・ミラー・ヒーター .....	301	ボルシェ車両追跡システム・プラス (PVTS プラス) * .....	254
<b>実用的なヒント</b> .....	29	ロールオーバー・プロテクション (カブリオレ) .....	313	ボルシェ・スタビリティ・マネージメント (PSM) .....	259
<b>開閉操作とロック</b>		<b>運転/ドライバー・アシスタンス・システム</b>		ライト .....	289
ウィンドウ .....	48	HOLD 機能：発進アシスタント、停止制御 .....	324	リヤ・スポイラー .....	302
エンジン・コンパートメント・リッド .....	61	アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) .....	34	レーン・チェンジ・アシスト (LCA) .....	308
ガレージ・ドア・オープナー (ホームリンク®) * .....	74	インストルメントおよびインテリア・ライト .....	43	ログブック .....	314
キー .....	77	エンジンの始動および停止 .....	62	ワイパー .....	317
コンバーチブル・トップ .....	112	オート・スタート/ストップ機能 .....	64	<b>インストルメント・パネルおよびマルチファンクション・ディスプレイ</b>	
スライディング/チルティング・ルーフ .....	143	クルーズ・コントロール .....	84	インストルメント・パネル .....	45
セントラル・ロッキング .....	151	警報システム .....	108	警告およびインフォメーション・メッセージ .....	86
タルガ・ルーフ・システム .....	164	スポーツ・エキゾースト・システム .....	132	マルチファンクション・ディスプレイ .....	262
トランク・リッド .....	197	スポーツ・クロノ・ストップウォッチ .....	133	マルチファンクション・ディスプレイを使用した車両設定 .....	272
		スポーツ・クロノ・モード・スイッチ .....	138		
		スポーツ・モード .....	141		

**エンターテインメントおよびコミュニケーション**

テレビ (TV) .....	182
電話 .....	186
ボイス・コントロール .....	235
ポルシェ・コミュニケーション・ マネージメント (PCM) の操作 .....	245
メディア .....	284
ラジオ .....	297

**ナビゲーションおよび接続**

Apple CarPlay® .....	322
Porsche Connect App .....	326
接続 .....	149
ナビゲーション .....	206
ポルシェ・コミュニケーション・ マネージメント (PCM) の操作 .....	245

**荷物および運搬**

カップ・ホルダー .....	73
スモーカーズ・パッケージ .....	142
電気ソケット .....	185
保管 .....	241
ラゲッジ・コンパートメント .....	294
ルーフ・トランスポート・システム .....	303

**モビリティおよび軽修理**

PDK セレクター・レバーの解除 .....	325
ウォッシュャー液 .....	50
エンジン・オイル .....	59
お手入れ .....	67
給油 .....	80
クーラント (冷却水) .....	82
けん引およびけん引によるエンジンの 始動 .....	109
故障診断用ソケット .....	111
ジャッキおよびリフティング・プラットフォーム フォーム .....	128
ジャンパー・ケーブルによる始動 .....	129
消火器* .....	130
タイヤとホイール .....	158
テスト・スタンドでの測定 .....	171
バッテリー .....	220
パンクしたとき .....	223
ヒューズ .....	225
ブレーキ・フルード .....	232
ヘッドライト .....	234
ワイパー・ブレード .....	321
<b>テクニカル・データ</b> .....	328
<b>索引</b> .....	347



## ドライビング・プレジャーと安全性

ポルシェ車は最高のパフォーマンス、最高のスポーツ性を誇り、その心躍る体験を疑う余地はありません。更にはどのような状況でも安全性を提供します。そのためポルシェ社では、安全とは究極の品質であると考えます。

この章では、ポルシェ車に安全にお乗りいただくためにお守りいただきたいことを記載しています。

## 完璧なテクノロジー、安全性のための前提条件

高品質な材料と優れたワークマンシップにより、この車両は今後何年間もお乗りいただくことができましょう。そのため、確かな性能を維持するにはお客様による車両のお手入れと思いやりが不可欠となります。それによって、危険な状況においてもポルシェ車の信頼できる走行性能が保証されます。

### 損傷および正常な作動状態の点検



技術的な不備のある車両は予期せぬ挙動に陥り、事故を引き起こす恐れがあります。

- ▶ 車両を定期的に点検し（少なくとも1カ月に1度および長時間のドライブの前）、良好な状態であることを確認してください。特に、以下の点に注意してください。

- タイヤに損傷がなく空気圧は適正で、トレッドの残り溝も十分にある
  - ヘッドライト、ブレーキ・ライトおよび方向指示灯がすべて正常に機能している
  - 空力部品に損傷がない
  - ワイパー・ブレードに損傷がない
  - ウィンドウに亀裂や損傷がなく、視界が遮られていない
  - ドア・ミラーおよびルーム・ミラーに損傷がなく、適切な位置に調整されている
  - アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) のレーダー・センサーに亀裂や損傷がない
  - クーリング・エア・ダクトが（フィルム、ストーン・ガードなどで）覆われていない
- ▶ 自動車電話や無線装置は必ず外部アンテナに接続して使用し、車内の電磁波のレベルが限界値を超えないようにしてください。

### タイヤの損傷点検



損傷したタイヤは走行中にバースト（破裂）する恐れがあります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 走行頻度や状態に応じて少なくとも1カ月に1度は定期的にタイヤを点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、膨れなどがなければ確認してください。タイヤの側面も必ず点検してください。
- ▶ 損傷の疑いがある場合は、ポルシェ正規販売店でタイヤおよびホイール全体の点検を受けてください。

- ▶ 損傷したタイヤを装着したままで運転を続け**ない**でください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### タイヤ空気圧の調整



タイヤ空気圧が低いまたは高いと、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷を与えるばかりか、制動距離が長くなったり、事故を起こす危険が大幅に高まります。タイヤ空気圧が低すぎる場合は、燃費が著しく低下する恐れがあります。

- ▶ ご使用のタイヤの種類および積載重量に応じたタイヤ空気圧に調整してください。
- ▶ 「タイヤ空気圧」(338ページ)を参照してください。
- ▶ マルチファンクション・ディスプレイのタイヤ空気圧メニューの設定が、車両に装着されているタイヤおよび積載重量と一致しているか点検してください。
- ▶ 「タイヤ空気圧メニュー - タイヤ空気圧モニタリング (TPM)」(267ページ)を参照してください。

- ▶ マルチファンクション・ディスプレイに赤色のタイヤ空気圧警告が表示された場合：速やかに適切な場所に停車し、タイヤの損傷を点検してください。損傷したタイヤを装着したままで運転を続けないでください。必要に応じてパンク修理剤で応急処置を行ってください。
- ▶ 「パンクしたとき」(223ページ)を参照してください。

## ライト類の点検



ライトが故障すると、周囲が暗いときに視界を確保できなくなります。他のドライバーがあなたの車両に気づくのが遅れ、事故を引き起こす恐れがあります。

- ▶ すべてのライト類が正常に機能していることを確認し、故障したライトは速やかに修理してください。  
以下のライト類を点検してください：
  - パーキング・ライト、ロービーム、ドライビング・ライト、ハイビーム
  - 方向指示灯、ブレーキ・ライト、リバーズ・ライト
  - フォグ・ライト

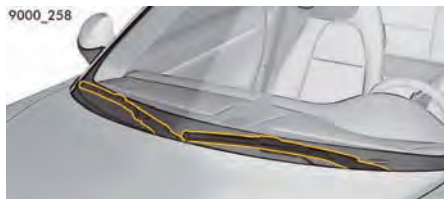
## 空力部品の点検



スポイラーやアンダー・パネルなど、空力部品が損傷または欠損すると、走行安定性に悪影響を及ぼす恐れがあります。

- ▶ 損傷していないか車両を点検してください。
- ▶ 構成部品が損傷または欠損している場合は、速やかに交換してください。

## ウィンドウおよびワイパー・ブレードの清掃およびメンテナンス



ウィンドウの汚れやワイパー・ブレードに不具合があると、事故を起こす危険が著しく高まります。

- ▶ 車両およびウィンドウは常にきれいな状態に維持してください。
- ▶ ワイパー・ブレードの凍結を溶かしてから、フロント・ウィンドウから剥がしてください。
- ▶ ワイパー・ブレードは定期的に交換してください。特にフロント・ウィンドウに筋が残るようになったら交換が必要です。
- ▶ 「ワイパー・ブレード」(321ページ)を参照してください。

## ポルシェ正規販売店によるメンテナンスおよび仕様変更



車両を改造すると、安全機能に悪影響を与えるばかりでなく、その機能が失われる恐れがあります。保証期間内に不適切なメンテナンス作業を実施すると、保証が適用されないことがあります。

- ▶ 車両のすべてのメンテナンスおよび仕様変更は必ずポルシェ正規販売店で行ってください。これにより、車両の信頼性と走行安全性が保証され、損傷を防ぐことができます。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ポルシェ車に使用するスペア・パーツ



9000\_260

- ▶ 部品交換やアクセサリーの取り付けには、ポルシェ純正部品、またはポルシェ社が要求する性能、品質基準に適合する同等部品のみを使用してください。これにより、車両の信頼性と走行安全性を保証し、損傷を防ぐことができます。これらの部品は、ポルシェ正規販売店から入手できます。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ アクセサリーを取り付けるときは、Porsche Tequipment製品またはポルシェ社がテストを実施し、承認した部品のみをお選びください。Porsche Tequipmentに関するインフォメーション：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

## **i** インフォメーション

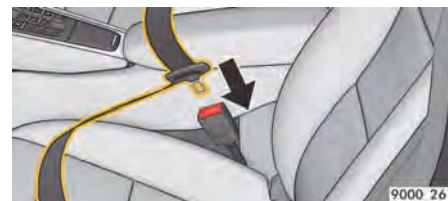
他社製のスペア・パーツまたはアクセサリーを使用し、それにより損傷などが発生した場合、ポルシェ社はいかなる責任も負いかねます。スペア・パーツやアクセサリーを供給しているメーカーが認定メーカーであっても、車両の安全性が損なわれる恐れがあります。ポルシェ社の承認していないスペア・パーツまたはアクセサリーを使用すると、車両の保証が適用されないことがあります。

## 荷物、安全装備、車両に子供をのせるとき：ポルシェ・ドライバーへの注意事項

ポルシェ車は、100km/hまでわずか数秒という加速タイムを誇ります。このパワーを思いのままに操るには、走行前に万全の準備をして安全性を確保する必要があります。

このため、走行前の準備にも走行するときと同等の情熱を注いでください。

## あなたの命を守るもの： シートベルトの適切な着用



9000\_261

シートベルトは適切に着用し、正常に機能している場合のみ乗員保護効果を発揮できます。

## **i** インフォメーション

例えば30km/h程度での走行中であっても、シートベルトを着用していないと重大な傷害を負う恐れがあります。安全装備はシートベルトと組み合わせることで乗員を保護します。例えば、エアバッグはシートベルトも適切に着用している場合にのみ、適切な保護効果を発揮することができます。

- ▶ 短時間の運転であっても、シートベルトは必ず着用してください。
- ▶ 乗員1名に対して必ず1つのシートベルトを使用してください。
- ▶ コートなどの厚手の衣類は脱いでください。



- ▶ ボールペンや眼鏡など、堅い物や壊れやすい物の上にシートベルトがかからないようにしてください。
- ▶ シートベルトがねじれていないことを確認してください。
- ▶ 使用していないシートベルトは完全に格納されていることを必ず確認してください。
- ▶ 妊娠中の方は、腰部ベルトを腹部を避けて腰骨の低い位置にかけ、肩ベルトは胸部に密着させてください。
- ▶ 摩耗または損傷したベルトやバックル、固定具などは交換してください。
- ▷ 「シートベルト」(126ページ)を参照してください。

## エアバッグ・システム



すべての乗員がシートベルトを着用し、正しいシート位置を維持している場合にのみ、エアバッグ・システムは保護効果を発揮することができます。荷物は必ず安全に収納してください。

- ▶ 乗員とエアバッグが膨らむ空間との間に人や動物を座らせたり、物を置いたりしないでください。
- ▶ エアバッグから一定の距離を保ち、ドアの内側にもたれかからないでください。走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシート・クッションの上に足を乗せないでください。

変更を加えたエアバッグ・システムは保護効果を十分に発揮できません。エアバッグが不意に作動したり、全く機能しなかったりする危険があります。エアバッグが不意に作動した場合、重傷を負う危険があります。

- ▶ シートに保護カバーを装着しないでください。
- ▶ ステアリング・ホイール、助手席エアバッグ付近、サイド・エアバッグ付近、ヘッド・エアバッグ付近にアクセサリを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。
- ▶ エアバッグの配線の近くには、アクセサリ類の配線を取り付けしないでください。
- ▶ エアバッグ構成部品（ステアリング・ホイール、フロント・シート、ヘッドライナーなど）を取り外さないでください。
- ▶ エアバッグ・システムの配線や構成部品を改造しないでください。
- ▷ 「エアバッグ・システム」(57ページ)を参照してください。

## 車内の荷物はすべて固定



荷物を固定しなかったり不適切な位置に載せると、ブレーキやステアリングを操作したとき、または事故の際に荷物が飛び出して乗員に危害が及んだりケガをする恐れがあります。

## i インフォメーション

例えば50km/hで走行中に衝突した場合は、固定されていない荷物がその重量の50倍の力で前方に放り出されます。例えば、1.5リットルの水が入っているペットボトルは75kgの力で車内に放り出されます。

- ▶ 荷物を載せるときは必ず固定してください。
- ▶ 荷物は常にラゲッジ・コンパートメントやルーフ・トランスポート・システムなどに安全に収納してください。
- ▶ 小物類は小物入れに収納し、確実に閉じてください。必ず小物入れから荷物が飛び出さないようにしてください。
- ▶ ダッシュボードの上には絶対に物を置かないでください。
- ▶ 重量物を開いたままの小物入れの中に入れて運搬しないでください。
- ▶ すべての乗員に安全対策を周知させてください。

荷物の適切な運搬および収納については：

- ▷ 「荷物の積載」(294ページ)を参照してください。

## 狭み込みの防止

9000\_264



人や動物が以下の車両部品の作動範囲内にいると、身体などが挟み込まれたりケガをする恐れがあります。特に以下の部品が挙げられます：

- 調整式フロント・シート
- ドア
- ウィンドウ
- トレーラー・ヒッチ
- フラップおよびリッド
- 小物入れのフタ

▶ これらの車両部品を操作する際は、人や動物が作動範囲内にいないことを確認してください。

## お子様の動きの監視

9000\_265



多くの場合、お子様は危険を判断したり、危険な状況で正しく振る舞うことができません。

お子様がシート調整などの自動設定を誤って作動させると、ケガをする原因になります。お子様は密閉された車内が高温になった場合な

ど、緊急時に車外に脱出することができません。このような状況では、特に小さいお子様の場合、生命に関わる恐れがあります。

- ▶ テールパイプなどの高温部品や作動中の部品にお子様を近づけないでください。
- ▶ タイヤ・シーラントやエンジン・オイルなどの有害物質は、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ お子様のみを車内に残さないでください。

## チャイルド・シートの安全な使用



チャイルド・シートは適切に装着した場合のみ機能します。

- ▶ ポルシェ社で承認されたチャイルド・シートのみを使用してください。
- ▶ チャイルド・シートを使用する前に：この取扱説明書に加え、チャイルド・シートに付属の取扱説明書をよく読み、指示に従ってください。
- ▶ 「チャイルド・シート」(172ページ)を参照してください。

## 安全で適切な運転：常に正しい判断をする

ポルシェ車はオールラウンダーです。ローンチ・コントロールから緊急ブレーキ機能まで、走り出せばすべてが可能になります。その一方で、最終的にこの能力を常に制御下におく責任はドライバーにあります。

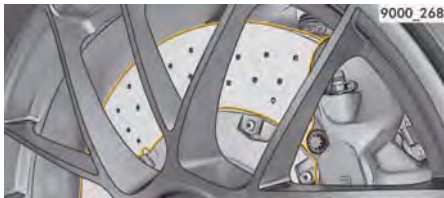
## 注意力低下の防止



運転中にPCMやその他の装置を操作すると、周囲の交通状況に対する注意力が低下し、危険な状況に素早く反応できなくなる恐れがあります。

- ▶ 走行中は決してミラーやシート、ステアリング・ホイールの位置を調整しないでください。シートやステアリング・ホイールが予期せず大きく移動する恐れがあります。運転操作を誤る恐れがあります。ミラーやシート、ステアリング・ホイールは、お出掛け前に適切な位置に設定してください。
- ▶ マルチファンクション・ステアリング・ホイール、ラジオ、ナビゲーション・システムなどは、交通状況が許す場合に限り操作することができます。安全を確保できない場合は、停車してから操作してください。
- ▶ 運転中に携帯電話やその他の携帯機器を使用しないでください。
- ▶ 常にハンズフリー機器を使用してください。
- ▶ 運転中にステアリングのスポークの間からボタンを押さないでください。危険な状況に素早く反応することができなくなります。

## 雨天時や積雪時のブレーキ挙動への注意



激しい降雨時や水たまりを通過したとき、または洗車後などは、ブレーキ表面に水膜が形成されブレーキの効きが悪くなり、ブレーキ・ペダルの踏力が重くなる恐れがあります。

また、凍結防止剤（融雪塩）が撒かれた道路や砂塵の多い道路を長距離にわたって走行すると、ブレーキ・ディスクやパッドが塩や砂で覆われて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキの効きが悪くなる場合があります。

- ▶ 特に駐車する前には何回かブレーキをかけ、ブレーキを乾燥させてください。これにより腐食を防ぐことができます。
- ▶ 腐食したブレーキは「振動」が発生しやすくなります。ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ブレーキ・システムの点検を受けてください。

## 適切なタイヤと適切な運転スタイル



▷ 「タイヤとホイール」(158ページ)を参照してください。

### 走行中にハンドルをとられたり、振動が発生した場合の適切な反応

走行時にハンドルをとられたり、振動が発生し、タイヤや車両が損傷する恐れがあります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 直ちに減速してください。ただし急ブレーキをかけないでください。
- ▶ 停車してタイヤを点検してください。不具合原因がわからないときは、慎重に運転し不具合の修理を受けてください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## タイヤの安全な状態を維持

タイヤが損傷すると、特に高速走行時にタイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。タイヤを保護するように運転し、タイヤの損傷を防いでください。

- ▶ 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。
- ▶ 段差が大きな縁石や、尖った縁石を乗り越えないでください。

## 新しいタイヤの慣らし運転

新しいタイヤはグリップ性能を十分に発揮できず、スリップしやすくなります。

- ▶ 新品のタイヤを装着してから最初の200kmは、ゆっくりとした速度で慣らし運転を行ってください。

## ウインター・タイヤでの走行

ウインター・タイヤには最高速度が指定されています。最高許容速度を超えると、タイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。

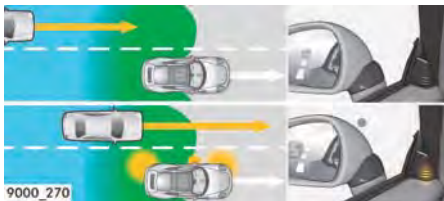
- ▶ 装着しているタイヤの許容最高速度を超えて走行しないでください。
- ▶ 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。法定速度を遵守してください。
- ▶ マルチファンクション・ディスプレイで最高許容速度を制限速度として設定する：
  - ▷ 「制限速度の設定」(266ページ)を参照してください。

## サマー・タイヤでの走行

外気温が15℃以下のときに駐車操作やステアリング操作を行うと、ノイズが発生する場合があります。

- ▶ 外気温が7℃を下回った場合、冬用タイヤに交換してください。

## アシスタンス・システムとその限界



車両には、安全性と乗り心地を高めるアシスタンス・システムが装備されています。

ただし、これらのシステムのいずれも物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- ▶ 走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。アシスタンス・システムは、不適切な運転スタイルによる事故の危険性を低減することはできません。
- ▶ アシスタンス・システムを過信せず、安全運転を心がけてください。周囲の交通状況に適切な反応ができるように、常に慎重な運転をしてください。
- ▶ 使用する前に、アシスタンス・システムについて十分に理解してください。

アシスタンス・システムの参照先は次の通りです。

	ページ
アンチロック・ブレーキ・システム (ABS)	260
HOLD機能	324
ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)・ボタン	243
ポルシェ・トラクション・マネージメント(PTM)	205
ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)・ボタン	259
ポルシェ・トルク・ベクトリング (PTV) / (PTVプラス)	205
ポルシェ・ダイナミック・シャーシ・コントロール(PDCC)	205
タイヤ空気圧モニタリング(TPM)	267
レーン・チェンジ・アシスト(LCA)	308
オートマチック・ドライビング・ライト、ダイナミック・ハイビーム	289
リバーズ・カメラ、サラウンド・ビュー	215
クルーズ・コントロール、アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC)	34
制限速度表示、運転アドバイス	147
ナビゲーション・システム	206

## 緊急ブレーキ機能



例えば、フット・ブレーキが故障した場合はエレクトリック・パーキング・ブレーキを使用して急制動をかけることができます。

緊急ブレーキ機能は非常に高い制動力を発揮するため、後続車を危険にさらす場合があります。

- ▶ 緊急ブレーキ機能は通常の制動時ではなく、緊急時にのみ使用してください。
- ▶ 緊急ブレーキ機能を作動させるには、(P)スイッチを引き続けてください。ブレーキを解除するには、ボタンから手を放してください。
- ▶ 「ブレーキ」(229 ページ) を参照してください。

## 荷物積載時の運転

9000\_272



車両の操縦性は積載量によって変化します。ルーフ・トランスポート・システムを使用しているときは、空気抵抗も大きくなります。

- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。



- ▶ ルーフ・トランスポート・システムを装着して荷物を積載しているときは、130km/h以上の速度で走行しないでください。
- ▶ ルーフ・トランスポート・システムを装着して荷物を積載していないときは、180km/h以上の速度で走行しないでください。
- ▶ 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。
- ▶ ルーフ・トランスポート・システムを装着して走行する前に、本取扱説明書の以下のセクションをお読みください。
- ▶ 「ルーフ・トランスポート・システム」(303ページ)を参照してください。

## ローンチ・コントロールを使用した発進



- 発進時にローンチ・コントロールが作動していると車両は非常に早く加速します。特定の状況では(路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど)、車両の制御が失われたり、他のドライバーに危険がおよぶ恐れがあります。
- ▶ 路面状況や周囲の交通状況から判断して、安全が確保できる場合に限りローンチ・コントロールを使用してください。
  - ▶ ローンチ・コントロールを使用して発進するときは、他の通行者に危険がおよばないようにしてください。

## 警告シグナルへの適切な反応



センサーが異常や部品の不具合を検出すると、ライトやメッセージを使用して警告を發します。車両の警告シグナルを無視すると、事故やケガを招く危険性が高まります。

- ▶ 走行前に警告灯およびメッセージの意味を理解し、警告に対して適切に対処できるようにしてください。必要であれば停車してください。
- ▶ 「警告灯および表示灯」(47ページ)を参照してください。
- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(86ページ)を参照してください。

## 給油時の危険



燃料は強燃性であり、燃焼または爆発が起こる恐れがあります。また、燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- ▶ 燃料を給油するときは、火気や裸火を近づけたり、喫煙したりしないでください。
- ▶ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。

- ▶ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。
  - ▶ 「給油」(80ページ)を参照してください。
- 車両の燃料タンクが事故で損傷した場合は、燃料が流出して発火や爆発を起こす恐れがあります。
- ▶ 車両に予備燃料タンクを積載しないでください。

## 有害な液体類



- ▶ 燃料だけでなく、エンジン・オイル、トランスミッション・オイル、バッテリー液、クーラントおよびブレーキ液も人体に有害です。
  - ▶ メンテナンス作業は屋外か、または屋内の換気が良い場所でのみ実施してください。
  - ▶ オイルや液体類の容器には適切なラベルを貼り、お子様の手が届かない所に保管してください。
  - ▶ 残った液体類は、環境に考慮した方法および条例に遵守して処分してください。
- エンジン・オイルは発火することがあります。エンジン・オイルが付着した布を投げ捨てたり、換気せずに保管したりすると自然発火して火災の原因になります。
- ▶ 布で飛散したエンジン・オイルを吸い取ってください。
  - ▶ エンジン・オイルが浸み込んだ布は、廃棄するまで換気された場所で保管してください。



## 有毒な排気ガス



9000\_280

排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中毒を起こす恐れがあります。

- ▶ 停車中はエンジンを切ってください。密閉された空間でエンジンを不必要にアイドリングしないでください。
- ▶ エンジンを作動させた状態で作業するときは、必ず車両を屋外に駐車させるか、または換気の良い場所で行ってください。

## 安全な駐車



9000\_281

車両を適切に駐車しなかった場合、不意に動き出し人や物に損傷を与える恐れがあります。車両から離れる前に、以下の点に注意してください。

- ▶ エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。

- ▶ PDK装備車：セレクター・レバーをP位置に入れてください。インストルメント・パネルのセレクター・レバー位置Pが点滅している場合、パーキング・ロックが正しくかかっていません。この場合は、セレクター・レバーをRの位置に動かしてからPの位置に入れ直してください。
- ▶ マニュアル・トランスミッション装備車：1速ギヤまたはリバース・ギヤに入れてください。

エンジン作動中およびエンジンを停止してからしばらくの間は、エキゾースト・システムが非常に高温になっています。火傷を負ったり、火災に至る恐れがあります。

- ▶ 可燃物（乾燥した草や枯れ葉など）が高温のエキゾースト・システムに接触する恐れのある場所に駐車しないでください。
- ▶ 車両後方に近づくときは、テールパイプから安全な距離を保ってください。
- ▶ お子様かテール・パイプの熱で火傷をしないように注意してください。

リヤ・スポイラーを展開させると、異物が付着してターボチャージャーへのエア供給が妨げられる場合があります。

- ▶ リヤ・スポイラーを展開させた状態で駐車しないでください。

## 万一のときには：故障および緊急時の安全確保

故障した場合は、安全を確保するために次の点に注意してください。

### エンジン・コンパートメントで作業する際の注意事項



9000\_282

エンジンの作動中は、エンジン・コンパートメント内のエンジンおよび周辺部品が非常に高温になります。クーラント・リザーバー・タンクには圧力がかかっています。

エンジンをOFFにしてキーを抜き取っている状態であっても、ファンが自動的に作動を開始することがあります。

- ▶ エンジンをOFFにして、可能であれば冷やしてください。
- ▶ 身体の一部、衣服、長い髪、アクセサリーなどは、ファンやドライブ・ベルトなどのすべての可動部品から遠ざけてください。
- ▶ 高温部品から守るため保護手袋を着用してください。
- ▶ 水平な場所に停車し、エンジンが冷えているときのみクーラントを補充してください。エンジンが熱いときにリザーバー・タンクを **開かない**でください。

## 緊急時はボイス・コントロールを使用しない



緊急時は緊張のために声が変わり、ボイス・コントロールが指示を認識できなくなる恐れがあります。

- ▶ 緊急時はボイス・コントロールを使用しないでください。

## ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動



不適切なジャンパー・ケーブルを使用したり不適切な始動手順を行うと、回路がショートし火災が発生する恐れがあります。ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動中に、爆発性の高い電解質のガスがバッテリー周囲で発生します。また、エンジン・コンパートメント内でバッテリー液に接触したり、ラジエーター・ファンなどの部品が自動的に作動するとケガをする恐れがあります。

- ▶ ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動を行う前に：
- ▷ 「ジャンパー・ケーブルによる始動」(129ページ)を参照してください。

## けん引



けん引時は事故を起こす危険が高まります。パワー・アシスト機能が作動しないため、操舵力が增加します。ブレーキ・ブースターが作動しない場合は、ブレーキ操作に大きな踏力が必要となります。

- ▶ けん引時にエンジンが停止している場合、または油圧システムが作動しない場合は十分に注意してください。
- ▶ ブレーキが故障した車両をけん引しないでください。
- ▶ 地上高が低いため、けん引時または他の車両にけん引される時は十分に注意してください。
- ▷ 「けん引およびけん引によるエンジンの始動」(109ページ)を参照してください。

## パンクしたとき

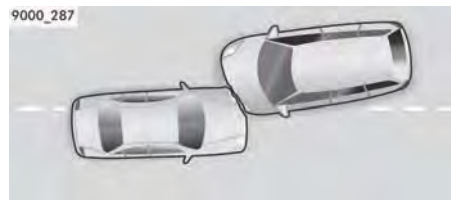


損傷したタイヤで走行するときは、速度によっては安全にステアリングを操作できなくなる恐れがあります。

- ▶ 決してパンクしたタイヤで走行しないでください。

- ▶ 安全な場所に正しく停車して、不具合を修理してください。
- ▷ 「パンクしたとき」(223ページ)を参照してください。

## 万一事故が起きたとき



事故の後には、シートベルト・プリテンショナーやエアバッグなどの安全装備が作動しなくなる恐れがあります。その場合は、安全装備が乗員保護効果を発揮できなくなります。

- ▶ 安全装備が作動しなかった場合でも点検を受けてください。
- ▶ 作動した安全装備は交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

9070\_3



## 発炎筒

発炎筒は、事故や故障で路上に停車したとき、周囲に危険を知らせるために使用します。

発炎筒は、助手席足元前部のドア側に固定してあります。



**警告**

火傷や火災につながる恐れがあります

- ▶ 燃料などの可燃物の近くでは使用しないでください。引火する恐れがあります。
- ▶ 発炎筒を使用するときは、顔や身体に向けたり、近づけたりしないでください。火傷をする恐れがあります。
- ▶ お子様がさわらないように注意してください。誤って使用すると火傷をしたり、車両を損傷する恐れがあります。



**注意**

トンネルの中などで使用すると、事故につながる恐れがあります

- ▶ トンネルの中など換気が悪い場所で使用すると、発炎筒の煙で視界が遮られて事故につながる恐れがあります。必要に応じてハザード・ライトを使用してください。

発炎筒の使い方

1. キャップを外してください。本体をひねりながら、ケースから取り出してください。
2. 本体を逆に orienting、ケースに差し込んでください。
3. 本体の点火部を、キャップの擦り葉でこすると着火します。

**知識**

- ▶ 発炎筒の燃焼時間は約5分間です。

発炎筒には有効期限があります。表示してある有効期限が切れる前に、新しい発炎筒に交換してください。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## お出かけの前に車両に関する重要な情報

### 車両の慣らし運転

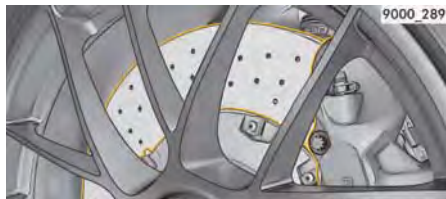


新車時は可動部品同士を馴染ませる慣らし運転を行う必要があります。走行距離が3,000kmに達するまでは慣らし運転が必要となります。この期間は、オイルと燃料の消費量が通常よりも若干多くなります。

慣らし運転中は、次の点に注意してください。

- ▶ 慣らし運転中はなるべく長距離を運転することを推奨いたします。できるだけ冷間始動と近距離運転の繰り返しは避けてください。
- ▶ 自動車レース、スポーツ・ドライビング・スクールなどに参加しないでください。
- ▶ エンジン回転数が4,200rpmを超えないようにしてください。エンジン冷間時は低回転域で運転してください。

## 新しいブレーキ・パッドの慣らし運転



新品のブレーキ・パッドおよびブレーキ・ディスクも、エンジンと同様に慣らし運転が必要です。新しい部品を装着してから最初の数百kmは、ブレーキ性能を完全には発揮できません。わずかながらブレーキの効きが弱くなるため、強めにブレーキを踏む必要があります。ブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクを新品に交換した場合も、同様に慣らし運転が必要です。

## 地上高に注意する



この車両は地上高が低いため、路面に接触しやすくなります。

- ▶ 急な傾斜路での走行は避けてください。
- ▶ 以下の状況では注意して運転してください。
  - 立体駐車場など、急勾配の上り坂や下り坂を走行するとき
  - 縁石
  - 凹凸のある路面を走行するとき
  - リフティング・プラットフォーム

フロント・アクスル・リフト・システム（装備仕様により異なる）は、車体の前部（フロント・スポイラーの前端部）を約40mm上昇させます。

## サーキット走行の前に



公道走行とくらべ、サーキット走行には過度に大きな車両負荷を伴うため、純粋なレーシング・カーでは短い間隔でのメンテナンスおよび構成部品の整備を行うことでこれに対処しています。これには、サーキット走行後毎の点検の実施および必要な場合の各構成部品の交換、規定期間の経過後のアッセンブリ全体のオーバーホールが含まれます。

## ブレーキ・システムおよびタイヤ

ブレーキ液には吸湿性があり、長期間使用すると大気中の水分を吸収します。水分を吸収すると沸点が低下し、高温時にブレーキの効きが大幅に低下することがあります。

サーキット走行時はブレーキ・パッドおよびブレーキ・ディスクに高負荷がかかります。

- ▶ 使用開始から12カ月以上経過したブレーキ・フルード：サーキット走行前に交換してください。
- ▶ サーキット走行の前後に、ブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクに摩耗がないか点検を受けてください。

## タイヤ

サーキット走行時はタイヤにも非常に高い負荷がかかります。

- ▶ サーキット走行の前後に、タイヤに摩耗がないか点検を受けてください。
- ▶ レース用タイヤは装着しないでください。ポルシェ社はレース用タイヤを承認していません。

## エンジン・オイル

- ▶ サーキット走行の前後に、エンジン・オイル・レベルを点検してください。
- ▶ 「エンジン・オイル・レベルの測定と表示」（265ページ）を参照してください。
- ▶ 「エンジン・オイルの選択と補充」（59ページ）を参照してください。

## 国外で走行する前に



すべてのポルシェ・モデルがすべての国で入手可能であるとは限りません。このため、スペア・パーツが入手できない、あるいは、ポルシェ正規販売店で修理作業が行えない場合があります。国外で走行する前に以下の点を確認してください。

- 車両が故障した場合、修理は可能ですか？
- 車両の技術的な調整が必要ではありませんか？
- 十分なオクタン価の燃料が入手可能ですか？
- ヘッドライトは左側/右側通行向けに変更する必要はありませんか？
- ▶ その場合は、「左側/右側通行でヘッドライトを切り替える」（275ページ）を参照してください。



## 車両へのテクニカル・データの保存

9000\_294



車両の各種電装部品は、車両の状態や事象、故障などに関する技術的な情報を一時的、または永久的に保存するデータ・メモリーを備えています。一般に、このデータには構成部品、モジュール、システムまたは環境の状態が保存されています：

- システム構成部品の作動状態（例：充填レベル）
- 車両および各構成部品に関するステータス・メッセージ（例：ホイール回転数/速度、減速度、横加速度）
- 重要なシステム構成部品（ライトやブレーキなど）の作動不良や故障
- 特別な走行状況での車両の反応（例：エアバッグの展開、スタビリティ・コントロール・システムの作動）
- 環境条件（例：温度）

このデータは常に技術的な性質のものであり、このデータを利用して故障の検出や修正、車両機能の最適化が行われます。

修理、サービス点検、保証での作業、品質保証などのサービスを受けるときは、サービス網の作業者（メーカーを含む）が専用の診断装置を使用して、事象および故障データ・メモリーからこの技術情報を読み出すことができます。作業者は必要に応じてより詳しい情報を提供いたします。不具合が解消すると、故障メモリーのデータが削除されるか、順次上書きされます。

車両を使用した際に、この技術情報およびその他の情報（事故報告書、車両の損傷、目撃者の証言など）を総合し、また専門家の指示のもとに個人とリンクさせ、個人データとなる状況が発生する場合があります。

ご要望に応じて、上記のデータを追加サービス・オプション\*のベースとして使用することもできます（例：ポルシェ車両追跡システム、ポルシェ・カー・コネクトなど）。データは、法律で認められている場合または明白な承諾がある場合のみ、データ保護法を考慮した上で、車両からポルシェ社、または第三者に転送することができます

### Porsche Connect App

お使いの携帯機器と組み合わせる Porsche Connect Appを使用することで、特定のマルチメディア、情報および通信サービスを車両で表示させて利用することができます。そのためには、Porsche Connect Appを使用して登録可能なサービス・プロバイダーにログインします。個人のログイン情報を使用して、これらのサービスのコンテンツにアクセスすることができます。情報のやり取りは、サービス・プロバイダー、お使いの携帯機器、そしてお客様の車両のインフォテイメント・システム間でのみ行われます。お使いの携帯機器で特定のルートや目的地をパーソナル設定するため、Porsche Connect Appはお客様の住所録、カメラおよび画像にアクセスし、お使いの携帯機器および車両のインフォテイメント・システムでこの情報を使用することができます。これらはお客様による明白な承諾があった場合のみ行うことができます。Porsche Connect Appは、ご希望のサービスへのデータ接続を確立しアプリを使用できるようにする目的のみ、ログイン情報やコンテンツなどの個人データを携帯機器や車両で局所的に収集、処理して使用します。

Porsche Connect Appは、このデータをポルシェ社や該当するサービス・プロバイダー以外の第三者に送信することはありません。

### PCMのオンライン機能

Google Earth<sup>®</sup>、Google Street View<sup>®</sup>およびリアルタイム交通情報などの特別な情報システムを使用可能にすることで、車両で追加の機能を利用することができます。このために、ポルシェ社は匿名のライセンス情報を該当するサービス・プロバイダーに送信します。その後、車両とサービス・プロバイダー間でのみの安全な接続を介して匿名情報をやり取りし、プロバイダーのコンテンツを車両で表示させることができます。ポルシェ社はこのコンテンツへのアクセス権を持ちません。サービスの利用を可能にするためにポルシェ社が必要とする記録および利用データは、サービスの実施および適切に機能させる目的のみ、該当する法律などの基準に従い処理して使用します。ポルシェ社がこのデータを第三者に転送することはありません。

### 位置情報

お使いの携帯機器の位置機能を有効にした場合は、Porsche Connect Appの使用中にサービス・プロバイダーはこの情報にアクセスすることができます。ポルシェ社は、Porsche Connect Appの使用にお客様の位置データを収集、処理または使用しません。

Google Earth<sup>®</sup>、Google Street View<sup>®</sup>およびリアルタイム交通情報などの統合的なサービスを有効にすることで、位置情報機能を車両で利用することもできます。この場合、車両とサービス・プロバイダー間の安全な接続を介して匿名の位置情報をやり取りし、位置情報についてのコンテンツを車両で表示させることができます。ポルシェ社は、これらのサービスの使用中に位置情報を収集、処理または使用しません。

\* 日本仕様に設定はありません。

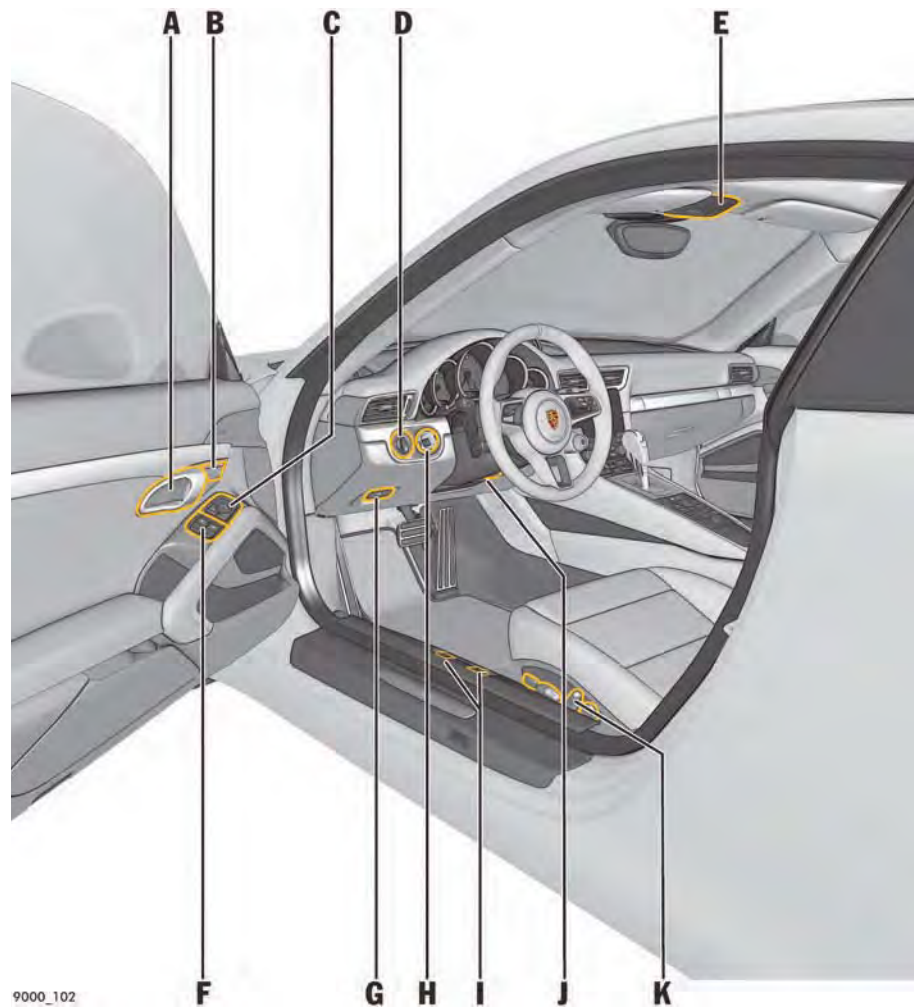


「オンライン検索（Google<sup>®</sup>検索）」機能を使用する場合は、位置情報および検索要求が車両からポルシェ社に匿名形式で送信され、これを使用して施設情報を検索します。このプロセスでは、匿名の検索要求がコンテンツ・プロバイダーにも送信されます。この場合、ポルシェ社は、サービスを実施し正しく機能させることのみを目的として、該当する法律などの基準に従ってお客様の位置情報を一時的に収集、処理および使用します。ポルシェ社が、個人的または潜在的に個人的な位置データをサービス・プロバイダーまたは第三者に転送することはありません。

「リアルタイム交通情報」を有効にすると、可能な限り正確に交通状況を把握して交通渋滞を予測するのに役立ちます。このために、車両の位置、進行方向および車速を含む匿名の位置情報が暗号化され、交通情報プロバイダーに送信され定期的に処理されます。この機能を希望しない場合は、いつでも「リアルタイム交通情報」をOFFにすることができます。

## 外観図

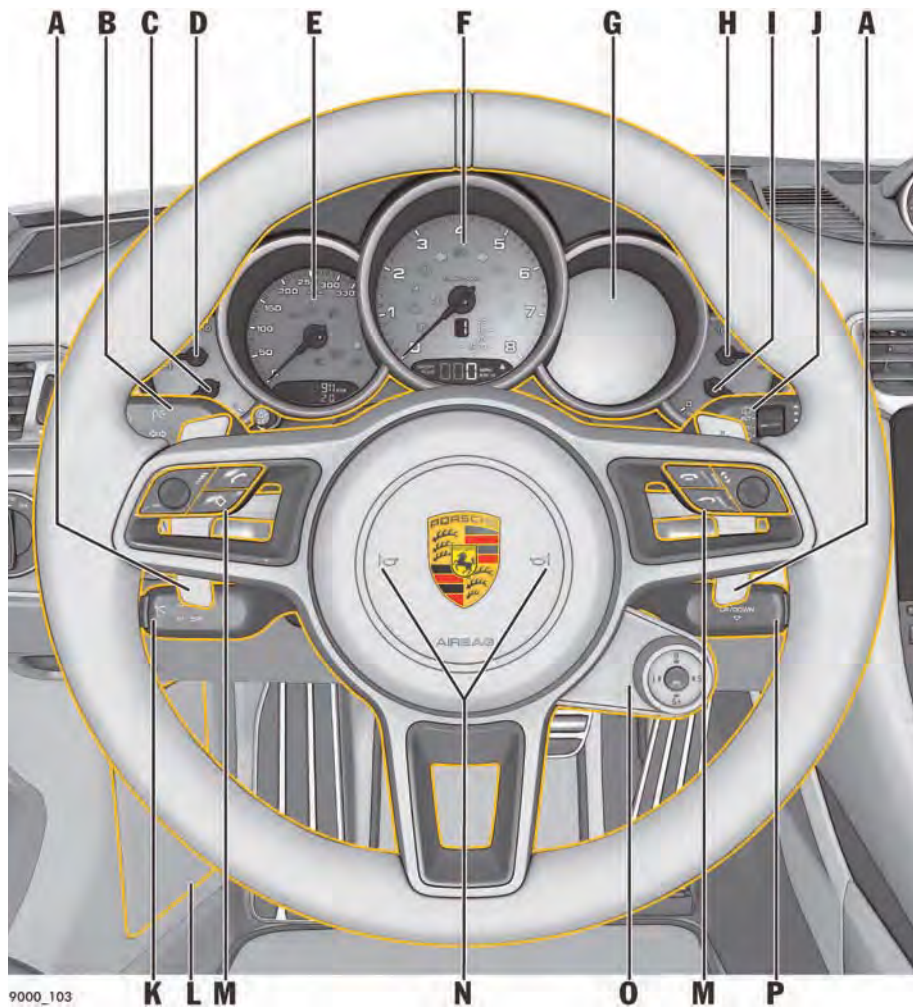
以降のページには、車両の全ての部位の外観図が簡略な説明とともに掲載されています。詳しい情報は該当するページをご覧ください。



## 運転席

- A インナー・ドア・ハンドル ▶ P155
- B パーソナル設定用メモリー・ボタン ▶ P218
- C ドア・ミラーの調整 ▶ P280
- D ライト・スイッチ ▶ P289
- E オーバーヘッド・コンソール ▶ P24
- F パワー・ウィンドウ ▶ P48
- G エレクトリック・パーキング・ブレーキ ▶ P229
- H イグニッション・ロック ▶ P62
- I エンジン・コンパートメント・リッド/トランク・リッドのロック解除 ▶ P197
- J ステアリング・ホイール調節 ▶ P131
- K シート調節 ▶ P122

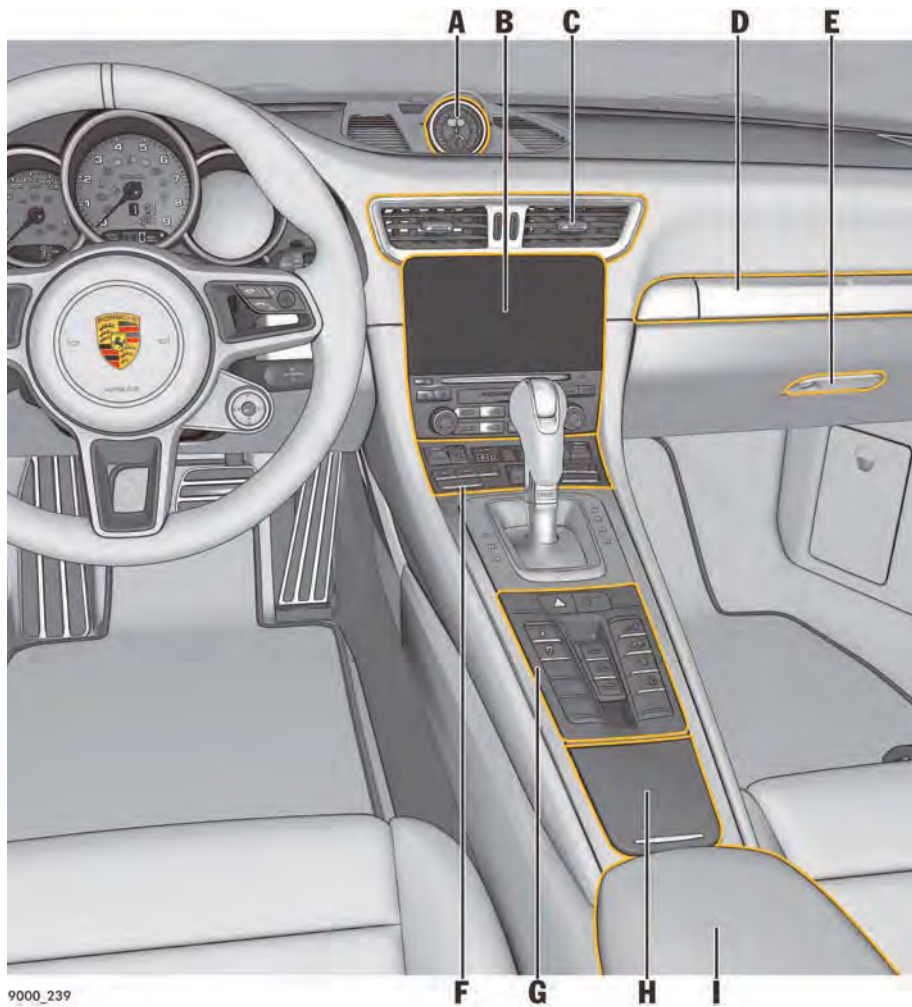
9000\_102



9000\_103

## ステアリング・ホイールおよび インストルメント・パネル

- |          |   |                |
|----------|---|----------------|
| <b>A</b> | PDKシフト・バドル  | ▷ P200         |
| <b>B</b> | 方向指示灯   | ▷ P292         |
| <b>C</b> | 油圧計   | ▷ P46          |
| <b>D</b> | 油温計   | ▷ P45          |
| <b>E</b> | スピードメーター<br>警告灯および表示灯                                       | ▷ P45<br>▷ P47 |
| <b>F</b> | タコメーター（回転計）<br>警告灯および表示灯                                    | ▷ P45<br>▷ P47 |
| <b>G</b> | マルチファンクション・ディスプレイ<br>警告およびインフォメーション・メッ<br>セージ               | ▷ P45<br>▷ P86 |
| <b>H</b> | 水温計   | ▷ P45          |
| <b>I</b> | 燃料計   | ▷ P46          |
| <b>J</b> | フロント・ワイパー   | ▷ P317         |
| <b>K</b> | クルーズ・コントロール   | ▷ P84          |
| <b>L</b> | 故障診断用ソケット   | ▷ P225         |
| <b>M</b> | 電話、ラジオ、マルチファンクション・<br>ディスプレイのマルチファンクショ<br>ン・ボタン             | ▷ P262         |
| <b>N</b> | ホーン   |                |
| <b>O</b> | モード・スイッチ  | ▷ P4           |
| <b>P</b> | マルチファンクション・ディスプレイ<br>の操作レバー（マルチファンクション・<br>ステアリング・ホイール非装備車） | ▷ P262         |



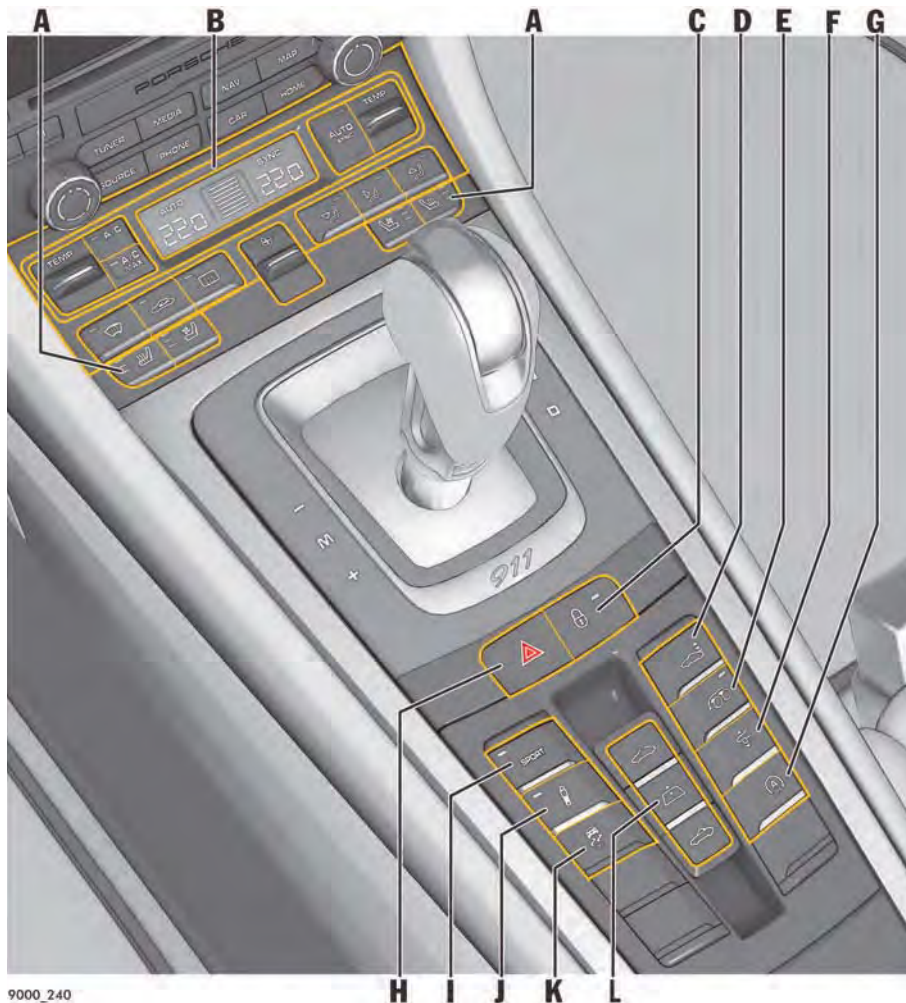
## センター・コンソール

- A スポーツ・クロノメーター ▷ P138
- B ポルシェ・コミュニケーション・  
マネージメント (PCM) ▷ P25
- C エア・ベント ▷ P54
- D カップ・ホルダー ▷ P73
- E グローブ・ボックス ▷ P241
- F エアコン・コントロール・パネル ▷ P23
- G コントロール・パネル ▷ P23
- H 灰皿、シガー・ライター ▷ P142
- I 小物入れ ▷ P242

9000\_239

F G H I



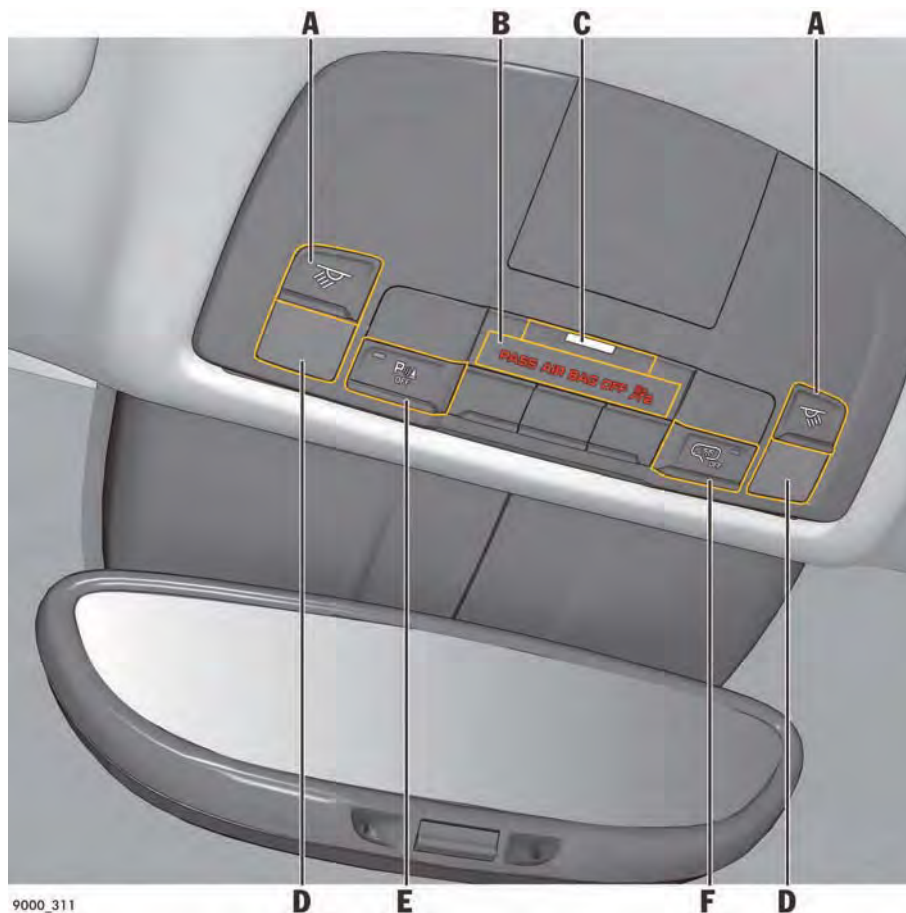


## コントロール・パネル

- A シート・ヒーター/シート・ベンチレーター ▶ P125
- B エアコン・コントロール・パネル ▶ P51
- C センター・ロック ▶ P152
- D リヤ・スポイラー・ボタン ▶ P302
- E スポーツ・エキゾースト・システム・ボタン ▶ P132
- F フロント・アクスル・リフト・システム ▶ P233
- G オート・スタート/ストップ・ボタン ▶ P64
- H ハザード・ライト ▶ P293
- I スポーツ・モード (装備仕様により異なる) ▶ P141
- J ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネジメント (PASM)・ボタン ▶ P243
- K ポルシェ・スタビリティ・マネジメント (PSM)・ボタン ▶ P259
- L スライディング/チルティング・ルーフ用コントロール・パネル  
 コンバーチブル・トップ ▶ P112  
 タルガ・ルーフ ▶ P164

## オーバーヘッド・コンソール

- A インテリア・ライト/読書灯用ボタン ▷ P43
- B 助手席エアバッグOFF警告灯 ▷ P58
- C インテリア・ライト ▷ P43
- D 読書灯 ▷ P43
- E パーキング・アシスタント ▷ P215
- F 自動インテリア・ライト ▷ P43



9000\_311

D E F D

P010\_1



## PCM の各操作部

- A 音量調節、PCM ON/OFFスイッチ ▷ P246
- B ラジオ ▷ P297
- テレビ (TV) ▷ P182
- C メディアおよびラジオ音源 ▷ P284
- D ミュージックおよびビデオ ▷ P284
- E 電話、メッセージおよびEメール ▷ P186
- F ナビ ▷ P206
- G 車両およびシステムの設定 ▷ P252
- H 地図および交通情報 ▷ P211
- I メイン・メニュー、サウンド設定 ▷ P252
- Porsche Connect App、▷ P326
- Apple CarPlay®、▷ P322
- MyScreen ▷ P249
- J ロータリー・プッシュ・ボタン ▷ P248
- (PCMの操作)
- K バック・ボタン：前の操作を取り消す、選択を中止する、または1つ前のメニューに戻る
- L メイン・メニュー、サウンド設定に応じた設定
- M 時刻の設定 ▷ P246
- N タッチスクリーン (PCMの操作) ▷ P247
- O 接続マネージャー (電話を接続する、WiFi設定を表示しWiFiホットスポットを設定する、Bluetooth®機器を接続する、Apple CarPlay®およびPorsche Connect Appの接続状態を表示する) ▷ P149
- P スキップ・ボタン (曲/放送局の設定)

P010\_2

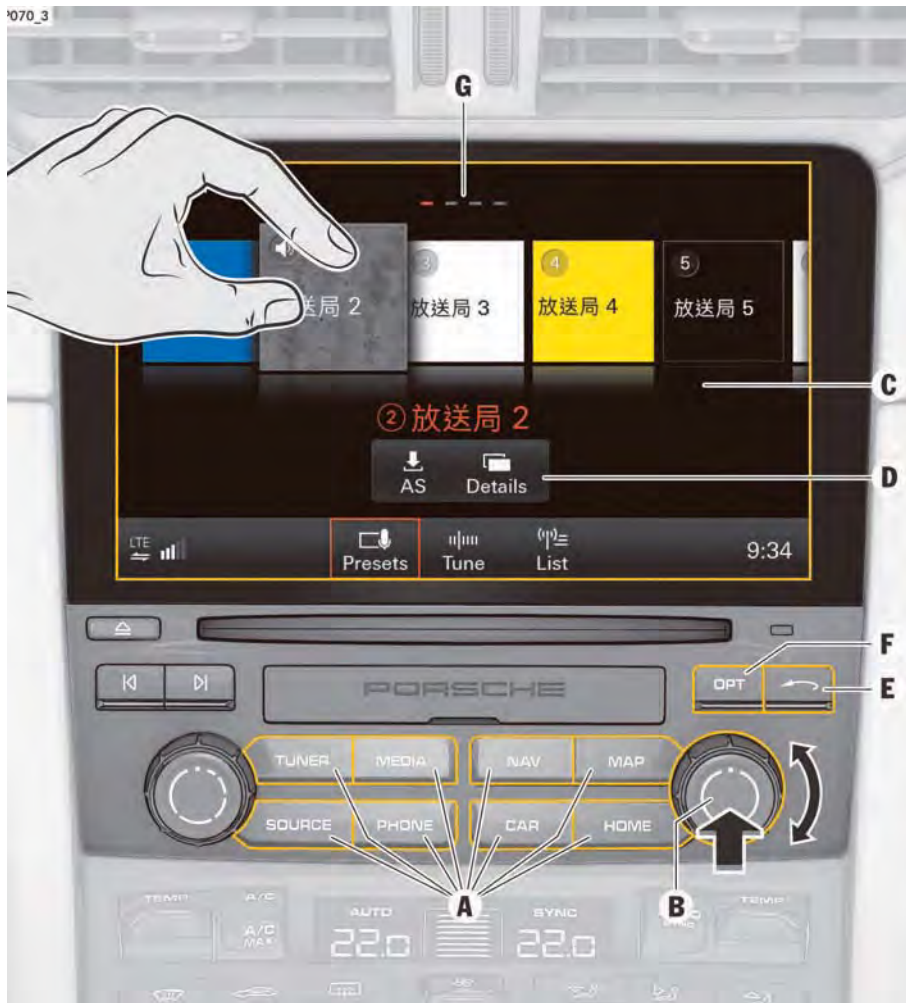
## PCM ドライブ

- A CD/DVDドライブ ▷ P250
- B SDカード・リーダー 1 ▷ P251
- C SIMカード・リーダー ▷ P188
- D SDカード・リーダー 2 ▷ P251
- E CD/DVDイジェクト・ボタン ▷ P250





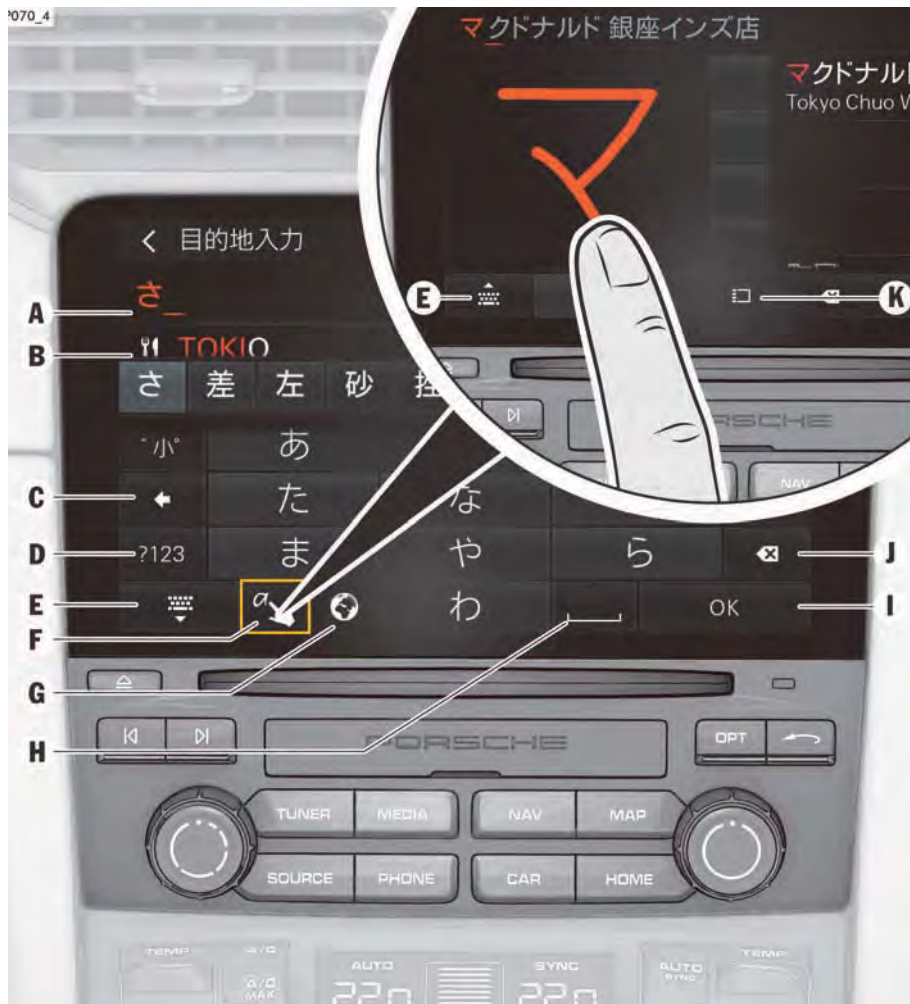
070\_3



## PCM の基本操作

- A** メイン・メニューを開く
- ▶ ボタン (例: **TUNER**) を押してください。  
または  
メイン・メニュー **HOME** の機能を選択してください。
- B** PCMの操作用ロータリー・プッシュ・ボタン ▶ P248
- ▶ ロータリー・プッシュ・ボタン**B**を回して機能を選択してください。
  - ▶ ロータリー・プッシュ・ボタン**B**を押して選択内容を確定してください。
- C** PCMの操作用タッチスクリーン ▶ P247
- ▶ タッチ (指で軽く触れる)
  - ▶ 長押し (指を押し付けてそのままにする)
  - ▶ スクロール (上下にスワイプする)
  - ▶ スワイプ (左右にスワイプする)
  - ▶ ドラッグ&ドロップ (項目をタッチして、希望の位置までドラッグして放す)
  - ▶ ズーム (2本の指をディスプレイに触れたまま広げるまたは狭める)
- D** コントローラーの機能を開く (近接センサーが作動している場合はPCMに手を近づける) ▶ P247
- E** バック・ボタン: 前の操作を取り消す、選択を中止する、または1つ前のメニューに戻る
- F** メイン・メニュー、サウンド設定に応じた設定
- G** 他のページを表示: 左右にスワイプして他のページを開く





## テキストおよび文字を PCM に入力する


- A 現在のカーソル位置 ▶ P248
- B 候補のリスト ▶ P248
- C 大文字と小文字を切り替える ▶ P248
- D 文字、数字および特殊文字の入力を切り替える ▶ P248
- E キーボードを表示する/隠す ▶ P248
- F 手書き文字認識機能（タッチスクリーンを使用して文字を入力する） ▶ P248
- G キーボードの調整 ▶ P248
- H スペースの挿入（手書き文字認識：タッチスクリーン上で指を左から右にスワイプする） ▶ P248
- I 入力を決定する ▶ P248
- J 項目を削除する（手書き文字認識：タッチスクリーン上で指を右から左にスワイプする） ▶ P248
- K 手書き文字認識機能（英語、ひらがな、カタカナ、ローマ字、漢字）代替文字の表示/非表示の切り替え ▶ P248

## 実用的なヒント

以降のページには、車両の各エリアに関する実用的なヒントが掲載されています。

## 実用的なヒント

### エアコン

項目	ヒント
アップパー・ベンチレーション・パネルのON/OFF	アップパー・ベンチレーション・パネルは、マルチファンクション・ディスプレイで <b>車両 ▶ 設定 ▶ エアコン ▶ 換気フィールド</b> の順に選択して、ON/OFFを切り替えることができます。
空気の状態に応じて、外気導入と内気循環を自動的に切り替える	自動内気循環モードは、マルチファンクション・ディスプレイで <b>車両 ▶ 設定 ▶ エアコン ▶ 自動内気循環</b> の順に選択してON/OFFを切り替えることができます。
ドライバーが1人で乗車するときのエアコン設定	ドライバーが一人で乗車するときは、運転席側のエアコン設定を車両全体に適用します。 ▶ エアコン・コントロール・パネルのボタン  を、エアコン・ディスプレイに <b>SYNC</b> が表示されるまで押し続けてください。

### 接続

項目	ヒント
接続マネージャーを開く	接続マネージャーは、機器の接続（例：電話またはBluetooth®オーディオ・プレーヤーの接続、PCMを外部WiFiホットスポットに接続、Apple CarPlay®およびPorsche Connect Appの使用）を集中管理します。 ▶ PCMのフッターのシンボル  または  を選択してください（接続状態により異なる）。 または ▶ <b>PHONE</b> ボタン ▶ <b>OPT</b> ▶ <b>Connections</b>
WiFiホットスポットまたは携帯電話経由でデータ接続を確立する	PCMは、WiFiホットスポット（公衆ホットスポットや携帯電話の個人向けホットスポットなど）にアクセスしてデータ接続を確立することもできます。 ▶ 必要に応じて、 <b>PHONE</b> ▶ <b>OPT</b> ▶ <b>SET PHONE</b> ▶ <b>WiFi settings</b> ▶ <b>Use external data</b> を選択して、PCMを設定してください。


## マルチファンクション・ステアリング・ホイール

項目	ヒント
マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールの◇ボタンを割り当てる	マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールの◇ボタンに、マルチファンクション・ディスプレイ、任意のPCMの機能または一般的な車両機能を個別に割り当てることができます。マルチファンクション・ディスプレイで希望の機能を選択してください。 車両 ▶ 設定 ▶ ハンドル操作 ▶ ◇ボタン ▶ PCM 機能または組み合わせ機能または車両機能

## ナビゲーション

項目	ヒント
目的地の検索または入力	検索またはオンライン検索 (Google <sup>®</sup> 検索) 機能により、希望の目的地を入力または検索することができます。検索機能では、PCMに内蔵されたデータベースにアクセスして目的地を検索します。インターネットで目的地を検索するには、 <b>オンライン検索</b> (Google <sup>®</sup> 検索) 機能を利用してください。 ▶ <b>NAV</b> ボタン ▶ を押してください。SearchまたはWeb Search ▶ 全文検索 (例：市、通り、名前)、リストから希望の項目を選択して ▶ <b>Start</b> 
制限速度表示	PCMの制限速度表示を有効にするには、 <b>MAP</b> ▶ <b>OPT</b> ▶ <b>SET Map</b> ▶ <b>General settings</b> ▶ <b>Show speed limits</b> 。 さらに、速度制限はマルチファンクション・ディスプレイの下部ステータス・エリアにも表示することができます。 <b>Vehicle</b> ▶ <b>Settings</b> ▶ <b>Display</b> ▶ <b>Top line</b> ▶ <b>Speed limit</b>

## ボイス・コントロール

項目	ヒント
ボイス・コントロールの作動	ステアリング・ホイール左側のレバーにある  ボタンを押すと、アプリケーションに応じて様々な機能が起動します。 – 短く押す：PCMのボイス・コントロールが有効になります。 – 長押しする：Siri <sup>®</sup> 音声認識機能が有効になります (Apple CarPlay <sup>®</sup> を組み合わせた場合のみ)。
乗員による音声操作	ボイス・コントロール用のハンズフリー・マイクロフォンはドライバー側に向いています。そのため、ドライバーのみがボイス・コントロールを使用してください。


## 給油

項目	ヒント
フィルター・フラップの位置の表示	燃料計の矢印は、車両のフィルター・フラップの付いている側面を示しています。 ▶ 「インストルメント・パネル」(45ページ)を参照してください。

## 電話

項目	ヒント
対応しているBluetooth®プロフィール	携帯電話に採用されているプロフィールのリストを表示するには、 <b>PHONE ▶ OPT ▶ SET PHONE ▶ Bluetooth ▶ Bluetooth devices ▶ Select relevant device ▶ Details</b> を押してください。 また、携帯電話の取扱説明書に記載されている情報にも注意してください。
複数の携帯電話を車内で同時に使用する	一度にPCMとの接続を有効にできるのは1台の携帯電話のみです。ただし、車内で複数の携帯電話をログオンすることができます。PCMをONにすると、最近接続された携帯電話を自動的に検索します。15秒以内に機器が見つからない場合は、システムは既にログオンされた他の携帯電話を検索します。
携帯電話の連絡先をPCMに転送する	どの携帯電話が接続されているか、またはSIMカードを使用しているかに関係なく、PCMの範囲内にある携帯電話からBluetooth®経由で連絡先を転送することができます。 ▶ <b>PHONE</b> ボタン ▶ <b>OPT</b> ▶ <b>SET PHONE ▶ Contacts ▶ Transfer contacts ▶ 連絡先の転送に使用する携帯電話を選択してください。</b>

## セントラル・ロッキング

項目	ヒント
車両のロックを解除すると、1つのドアのみロックが解除されます。	ドアのロックおよびロック解除の設定が変更されました。 設定内容に関係なくすべてのドアを開くことができます。 ▶ キーの  ボタンを5秒以内に2回押してください。 設定を変更するには、マルチファンクション・ディスプレイで <b>車両 ▶ 設定 ▶ ロック</b> を選択してください。



## トピック

以降のページには、五十音順に項目が掲載されています。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

## アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC)

✓ PDK装備車

アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) を使用すると、前走車のいない道路を走行する場合に、約30~210km/hの範囲でアクセルペダルを踏まなくても希望する速度を維持したまま走行できます。

アダプティブ・クルーズ・コントロールは自車と同一車線上に、設定した速度よりも遅い前走車を検出すると、あらかじめ設定した車間距離を自動的に維持するように速度を調節します。アダプティブ・クルーズ・コントロールは前走車との車間距離が短くなると減速し、車間距離が長くなると設定速度の範囲内で加速します。

### 警告 集中力の低下

アダプティブ・クルーズ・コントロールにより快適性は向上しますが、ドライバーは運転に責任を持ち、安全運転を心がけてください。ドライバーは、アダプティブ・クルーズ・コントロールが作動していても、安全な車間距離を保ち、適切なスピードで走行するなどの安全運転に努めてください。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ アダプティブ・クルーズ・コントロールの減速が不十分な場合は、直ちにフット・ブレーキをかけて車両を減速させてください。
- ▶ 常に車両がコントロールできるか確認してください。

### 警告

危険な交通状況や路面状態が悪い状況での走行

交通状況により前走車と安全な距離を保って一定の車速で走行できない場合は、アダプティブ・クルーズ・コントロールを使用すると事故を起こす危険があります。

- ▶ 激しい渋滞、道路工事区間、市街地、カーブの多い道、路面状態が悪い場合（冬場の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面）などでアダプティブ・クルーズ・コントロールを使用しないでください。

### 警告

アダプティブ・クルーズ・コントロールにより他の車両や障害物を検出できない場合

アダプティブ・クルーズ・コントロールは、停車中または低速走行中の車両、歩行者、路上の障害物、同一車線上の対向車、前方を斜め方向に横切る車両などは検出できません。

- ▶ 必要に応じて適切な運転操作をしてください。
- ▶ 進行方向の状況に常に気を配ってください。

## レーダー・センサー

アダプティブ・クルーズ・コントロールは、フロント・バンパー中央（矢印）のレーダー・センサーを使用します。

861\_0006



図1: レーダー・センサーの取り付け位置

### インフォメーション

- ▶ システムの正常な機能を維持するために、レーダー・センサーに付着した汚れ、氷、雪などを取り除いてください。車両のお手入れについて：
- ▶ 「お手入れ」(67ページ)を参照してください。

### 警告

レーダー・センサーの視界不良

雨水、雪、氷、多量の水しぶきなどでレーダー・センサーの機能が阻害される場合があります。前走車を正しく検出できないことや、全く検出できなくなることがあります。

- ▶ 上記のような状況下ではアダプティブ・クルーズ・コントロールを使用しないでください。

**例外**

レーダー・センサーの汚れが激しい場合や雪などで覆われているとき、豪雨など悪天候のとき、トンネルを通過中などにアダプティブ・クルーズ・コントロールが自動的に作動を停止することがあります。

マルチファンクション・ディスプレイにACCが停止中であることを示すメッセージが表示されます。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(86ページ)を参照してください。

**アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) の基本的な作動****前走車がないとき - 一般道路での運転**

アダプティブ・クルーズ・コントロールは車両の速度を調節します。設定された希望の速度が常に維持されます。

**前走車を検出したとき - フォロー・モード**

アダプティブ・クルーズ・コントロールは、自車と同一車線上に希望した設定速度よりも遅い前走車を検出すると、あらかじめ設定した車間距離を自動的に維持するように速度を調節します。

前走車が停止すると、アダプティブ・クルーズ・コントロールの制御範囲内で減速して停車します。

アダプティブ・クルーズ・コントロールは前走車が発進するまで停車状態を維持します。

前走車が発進すると、アダプティブ・クルーズ・コントロール(自動車速制御および自動車間距離制御)を再開することができます。

**追い越し加速**

アクセル・ペダルを踏むことにより、いつでも加速することができます。

設定速度よりも高速で走行すると、アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) が解除されます。

マルチファンクション・ディスプレイにACCが停止中であることを示すメッセージが表示されます。設定された希望の速度は保存されています。

アクセル・ペダルを放すと、ACCは、前走車がない場合は希望の速度まで加速し、前走車がある場合は車間距離を制御します。

ACCの作動状態に関するインフォメーション：

▷ 「アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) のON時の作動モード」(36ページ)を参照してください。

**アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) の操作**

アダプティブ・クルーズ・コントロールは、ステアリング・コラム左下にあるレバーで操作してください。

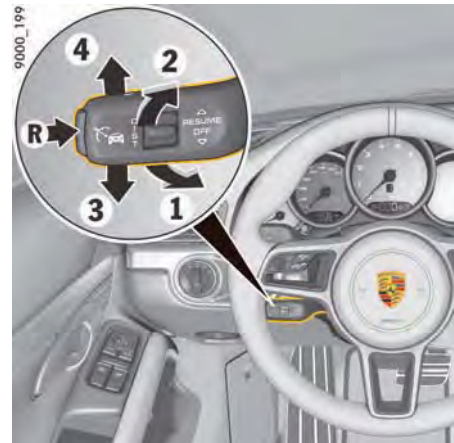


図2: アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) 操作レバー

R クルーズ・コントロールのON/OFF

1 加速/速度の設定

2 減速

3 中断 (OFF)

4 クルーズ・コントロールの再開 (RESUME)

**i インフォメーション**

ブレーキ・ペダルまたはアクセル・ペダルを操作した場合、いつでもドライバーの意志が優先されます。

## アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) の表示

アダプティブ・クルーズ・コントロールに関するすべての重要な情報、メッセージおよび警告はマルチファンクション・ディスプレイのACCメイン・メニューに表示されます。

9070\_21

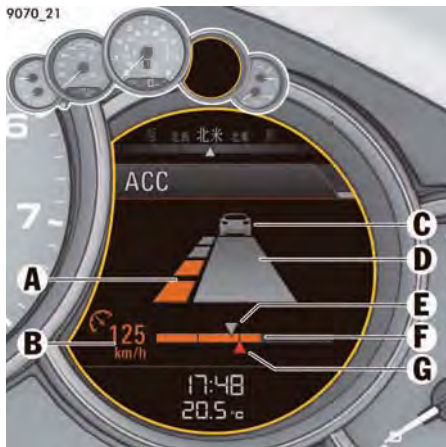


図3: マルチファンクション・ディスプレイのACC

- A 前走車との設定車間距離
- B ステータス表示と目標速度
- C 先行車両の検知
- D 先行車両からの現在の距離
- E 先行車両の現在の速度
- F 速度制御範囲のバー表示 (0~210km/h)
- G 実際の速度

アダプティブ・クルーズ・コントロールをONにすると、マルチファンクション・ディスプレイ左下にステータス・ディスプレイBが表示されます。

アダプティブ・クルーズ・コントロールが作動すると、ステータス・ディスプレイBが橙色に変わります。

アダプティブ・クルーズ・コントロールの作動を中断すると、ステータス・ディスプレイBが灰色になります。

アダプティブ・クルーズ・コントロールをONにすると、クルーズ・コントロールのシンボル・マークが表示されます。ただし設定速度を設定するまでは、速度表示が空欄になります。

設定速度を設定した後、前走車を検出した場合、車両のシンボル・マークと設定速度が表示されます。

設定速度を設定した後、前走車を検出していないときは、クルーズ・コントロールのシンボル・マークと設定速度が表示されます。

## アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) のON/OFF

### アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) を

- ▶ クルーズ・コントロール操作レバーのボタンRを押してください。マルチファンクション・ディスプレイに灰色のシンボル・マークが表示されます。アダプティブ・クルーズ・コントロールはスタンバイ状態になります。

## アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) をOFFにする

- ▶ クルーズ・コントロール操作レバーのボタンRを押してください。マルチファンクション・ディスプレイにACCが停止中であることを示すメッセージが表示されます。設定された希望の速度が削除されます。設定車間距離が初期値 (デフォルト値) にリセットされます。

## アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) のON時の作動モード

アダプティブ・クルーズ・コントロールON時には、3種類の作動モードがあります。

### アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) の作動

アダプティブ・クルーズ・コントロールが、速度および前走車との車間距離を自動的に制御します。ステータス・ディスプレイ Bが橙色になります。

### アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) のスタンバイ

ブレーキ・ペダルを踏んだときや、クルーズ・コントロール操作レバーを下方 (3の位置、OFF) に押したときは、アダプティブ・クルーズ・コントロール (自動車速制御および自動車間距離制御) が解除されます。

設定された希望速度および設定車間距離は保存されたままになります。

ステータス・ディスプレイBが灰色になります。アダプティブ・クルーズ・コントロール (自動車速制御および自動車間距離制御) の再開に関するインフォメーション:

- ▶ 「RESUME (自動車速制御と自動車間距離制御の再開)」 (39ページ) を参照してください。

## アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) の速度超過

アクセル・ペダルを踏むと、クルーズ・コントロールおよび車間距離制御が解除されます。マルチファンクション・ディスプレイにACCが停止中であることを示すメッセージが表示されます。

設定された希望速度および設定車間距離は保存されたままになります。

ステータス・ディスプレイBが灰色になります。アクセル・ペダルを放した後、アダプティブ・クルーズ・コントロール（自動車速制御および自動車間距離制御）は再開されます。

## 速度の設定/設定速度の変更

- ✓ アダプティブ・クルーズ・コントロールがON
- ✓ 車両が動いている
- ✓ 前方に静止した物体を検出していない

### 速度の設定

1. ステアリング・コラムの操作レバーを前方（図2ページ35の1の位置）に押ししてください。そのときの走行速度が希望速度として保存され、自動的に維持されます（30～210km/hの制御範囲内）。ステータス・ディスプレイBが橙色になります。速度制御範囲のバー・グラフの下部に表示されている赤色の▲マークGが、現在の速度を示しています。
2. アクセル・ペダルから足を放してください。自車よりも遅い速度の前走車が検出されるまで、設定速度が自動的に維持されます。

### i インフォメーション

停止中に操作レバーを前方（1の位置）に押し、マルチファンクション・ディスプレイに「ACC is not possible when parked (ACC 不可 停車中)」のメッセージが表示されます。

前方に静止した物体を検出すると、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

### 設定速度を上げる

- ▶ ステアリング・コラムの操作レバーを前方（図2ページ35の1の位置）に短く押ししてください。

速度が1km/h単位で上がります。

または

ステアリング・コラムの操作レバーを前方（1の位置）で保持してください。

速度が10km/h単位で上がります。

ステータス・ディスプレイBが新しく設定した速度を表示します。

速度制御範囲のバー・グラフの下部に表示されている赤色の▲マークGが、現在の速度を示しています。

### 設定速度を下げる

- ▶ ステアリング・コラムの操作レバーを手前（図2ページ35の2の位置）に短く引いてください。

速度が1km/h単位で下がります。

または

ステアリング・コラムの操作レバーを希望の速度になるまで手前（2の位置）で保持してください。

速度が10km/h単位で下がります。

ステータス・ディスプレイBが新しく設定した速度を表示します。

速度制御範囲のバー・グラフの下部に表示されている赤色の▲マークGが、現在の速度を示しています。

## 車間距離の設定

前走車との車間距離を4段階に設定できます。

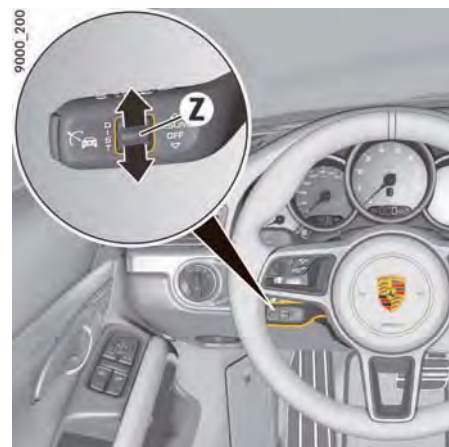


図4: 車間距離の設定



あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

## **i** インフォメーション

車間距離を設定すると、マルチファンクション・ディスプレイに「ACC」(アダプティブ・クルーズ・コントロール)のメイン・メニューが一時的に表示されます。

最初にロッカー・スイッチZを操作すると、設定車間距離を変更することなく、「ACC」メイン・メニューが表示されます。

## **i** インフォメーション

実際の車間距離は速度に応じて変化します。速度が低いときは車間距離が短くなり、速度が高くなると車間距離が長くなります。

### 車間距離を長くする

- ▶ スイッチZを上方向に押してください。  
前走車との設定車間距離を示す橙色のセグメントAの数が増えます。

### 車間距離を短くする

- ▶ スイッチZを下方向に押してください。  
前走車との設定車間距離を示す橙色のセグメントAの数が減ります。

### 前走車との車間距離を表示する

前走車を検出すると、マルチファンクション・ディスプレイまたはステータス・ディスプレイBに車両のシンボル・マークCが表示されます。灰色のゾーンDが、前走車との現在の車間距離を示します。



走行速度が高い道路での走行に適した車間距離です。前走車との車間距離は1秒です。この場合、120km/hのときに約33mの車間距離になります。



少し余裕のあるドライビングに適した車間距離です。前走車との車間距離は1.3秒です。この場合、120km/hのときに約43mの車間距離になります。



### 初期設定値

道路運行上の安全基準に即した車間距離です。前走車との車間距離は1.8秒です。この場合、120km/hのときに約60mの車間距離になります。



郊外路を走行するときに適しています。前走車との車間距離は2.3秒です。この場合、120km/hのときに約77mの車間距離になります。

## 自動ブレーキ制御での停止

アダプティブ・クルーズ・コントロールが作動しているときに前走車が停止すると、制御範囲内で減速して停車します。

インストルメント・パネルのHOLDインジケータ・ライトが点灯します。

車両は前走車が発進するまで停止状態を維持します。

HOLD機能に関するインフォメーション:

- ▶ 「HOLD機能:発進アシスタント、停止制御」(324ページ)を参照してください。

## **i** インフォメーション

周囲の交通の流れによっては(例えば、ゆっくりとした交通の流れの中では)、車両はゆっくりと徐行してから停車します。

## **i** インフォメーション

アダプティブ・クルーズ・コントロールが正常に機能している場合や、HOLD機能が作動したときは、ブレーキ・ペダルの感触が変化したり、ブレーキ・システムの油圧作動音が聞こえることがあります。

これはシステムの正常な作動であり、故障ではありません。

## 再発進

アダプティブ・クルーズ・コントロールの作動モードに応じて、停車後に再発進し、自動車速制御と自動車間距離制御を再開することができます。

## アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) の作動

- ▶ ステアリング・コラムの操作レバーを上方(4の位置、RESUME)に押してください。

または

アクセル・ペダルを短く踏んでください。  
車両が自動的に再発進します。

## **i** インフォメーション

前走車が停止しているときは発進できません。

## アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) のスタンバイ

車両が動いているときのみ、自動車速制御および自動車間距離制御を再開することができます。

1. 通常の運転操作で発進してください。

2. ステアリング・コラムの操作レバーを上方(4の位置、RESUME)に押してください。  
または  
速度を設定する、または設定速度を変更してください。

## アダプティブ・クルーズ・コントロール (自動車速制御および自動車間距離制御) の中断と再開

### OFF (自動車速制御と自動車間距離制御の中断)

- ▶ ブレーキ・ペダルを踏んでください。  
または  
ステアリング・コラムの操作レバーを下方(3の位置、OFF)に押してください。  
アダプティブ・クルーズ・コントロールの制御が中断されます。  
設定された希望速度および希望車間距離は保存されたままになります。

### RESUME (自動車速制御と自動車間距離制御の再開)

- ▶ ステアリング・コラムの操作レバーを上方(4の位置、RESUME)に押してください。  
自車よりも遅い速度の前走車を検出し、あらかじめ設定した車間距離よりも接近するまでは、車両は設定速度まで加速します。  
ステータス・ディスプレイBが灰色から橙色になります。  
または  
ステアリング・コラムの操作レバーを上方(4の位置、RESUME)で保持してください。  
通常よりもスポーティーなドライビング・スタイルで設定速度まで加速します。

### i インフォメーション

操作レバーを3の位置 (OFF) に動かして、自動車速制御および自動車間距離制御を中断した場合、発進後に前方に静止した物体を検出していないときのみ制御を再開できます。

### 警告メッセージ



図5: マルチファンクション・ディスプレイの警告メッセージ

### 制御モード (ACC作動中) でのドライバーへの運転操作の要求

アダプティブ・クルーズ・コントロールが作動しているときに、ドライバーのブレーキ操作が必要であると判断された場合、警告音が鳴り、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます。

### ▲ 警告

アダプティブ・クルーズ・コントロールによる自動ブレーキ時の不十分な制動力  
このような場合、アダプティブ・クルーズ・コントロールによる制動力は衝突を回避するには不十分です。  
▶ 直ちにブレーキをかけてください。

### アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) の例外

- 次のような状況では、アダプティブ・クルーズ・コントロールは利用できません。
- イグニッションがOFFのとき
  - PSM オフ
  - 運転席ドアが開き、運転席シートベルトを着用していないとき
  - 駐車時や操舵時に、ステアリング・ホイールをいっぱい切ったとき
  - エレクトリック・パーキング・ブレーキが作動しているとき
  - PDKセクター・レバーがN、RまたはPの位置にあるとき
  - 上り坂や下り坂の傾斜が20%より大きいとき
- アダプティブ・クルーズ・コントロールON時に、上記のいずれかの例外状況があてはまる場合、アダプティブ・クルーズ・コントロールはOFFになります。  
該当するメッセージがファンクション・ディスプレイに表示されます。

### レーダー・センサーが前走車を正常に検出できない状況

アダプティブ・クルーズ・コントロールのレーダー・センサーは、自車正面の比較的狭い範囲を円錐状に監視します。  
このため周囲の道路状況や、前走車の大きさによっては、レーダー・センサーが前走車を検出できない、または検知が遅れる場合があります。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

その結果、アダプティブ・クルーズ・コントロールの制動が遅れたり、ブレーキが突然かかることがあります。

停止中の車両は検出されません。アダプティブ・クルーズ・コントロールは停止中の車両に反応できません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 必要に応じて減速してください。

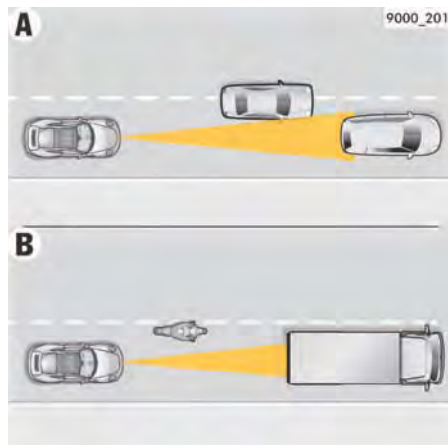


図6: 前方への割り込み、幅の狭い車両

## A - 前走車の車線変更/前方への割り込み

他の車両が自車のいる車線に入ってきたり同車線から出ていくとき、その車両は同車線内に完全に入っている間のみ検出されます。

**B - 投影面積が小さな車両/幅の狭い車両**  
小さな車両や幅の狭い車両は検出できないか、または検出のタイミングが遅れます。

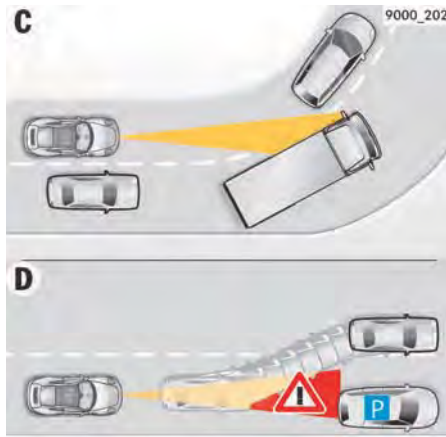


図7: コーナリング中および停車中の車両

## C - コーナーへの進入/脱出

コーナーにさしかかったときは、前走車を検出できなかったり、遅れて検出する場合があります。また、隣の車線を走行する車両に反応する場合があります。

## D - 停止中の車両

レーダー・センサーの監視エリアに突然停車中の車両が現れたとき（前走車が車線変更したときなど）は、アダプティブ・クルーズ・コントロールはその車両を検出しません。

## ▲ 警告

アダプティブ・クルーズ・コントロールの停止車両の不検出

アダプティブ・クルーズ・コントロールのレーダー・センサーは停車中の車両を検出しません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 必要に応じて減速してください。

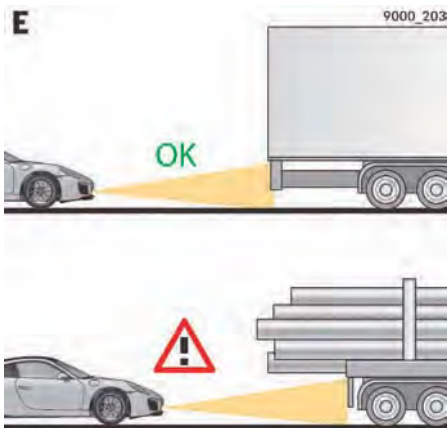


図8: オーバーハングの長い車両

## E - オーバーハングの長い車両

木材運搬トラックなどの車両後端部は正しく検出できません。

**▲ 警告**

前走車の後端が正しく検出されない

前走車のオーバーハングが長い場合、アダプティブ・クルーズ・コントロールのレーダー・センサーはその車両の後端を検出できない、または距離を正しく検出することができません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 必要に応じて減速してください。

## Porsche Active Safe (ポルシェ・アクティブ・セーフ) (PAS)

アダプティブ・クルーズ・コントロール・センサーはポルシェ「アクティブ・セーフ (PAS)」機能に使用されます。

機能内容：

### - ブレーキ・システム・プレフィル

前走車に危険なほど近づいていることをレーダー・センサーが検出すると、ブレーキ・システムの圧力をあらかじめ少し高めてブレーキ・パッドをブレーキ・ディスクに軽く押し付け、制動時の応答性を向上させます。

### - ブレーキ・アシスト

急ブレーキ操作時にブレーキ・ペダルを踏む力が弱いと、ブレーキ・ブースターが4輪すべてのブレーキ・システムの圧力を高め最大の制動力をかけます。

前走車に危険なほど近づいていることをレーダー・センサーが検出すると、ブレーキ・アシスト機能の作動開始が早まります。ブレーキ・アシストの作動は状況の危険度に応じて3段階で早まります。

### - ターゲット・ブレーキ

前走車に危険なほど近づいていることをレーダー・センサーが検出し、更にブレーキ制動力が不十分な場合、状況に応じてブレーキ圧力を増加します (必要に応じて最大の制動力まで)。

**i**

### インフォメーション

すべてのポルシェ・アクティブ・セーフ (PAS) 機能は約30km/h以上の速度で作動します。

### 潜在的な警告 (表示)

9070\_24



図9: 潜在的な警告 (表示)

車間距離が短い状態で長い時間走行している場合、前走車がブレーキをかけたときに衝突することを防ぐため、マルチファンクション・ディスプレイに潜在的な警告 (黄色のマーク) を表示してドライバーに警告します。

- ▶ 必要に応じて前走車との車間距離を十分に確保してください。

### 予期警告 (警告音、表示)

9070\_23



図10: 事前警告作動

前走車に危険なほど近づいており、前走車と衝突しそうなことをレーダー・センサーが検出すると、警告音と表示で予期警告を行います。ドライバーに警告を促し、ドライバーが適切に対応することで衝突を回避できます。

**▲ 警告**

車間距離の不足

前走車に追突する恐れがあります。

- ▶ 直ちにブレーキをかけてください。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z



あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

## 緊急警告（警告音、表示、ブレーキ振動）

9070\_23



図11: 事前警告作動

ドライバーが予期警告に対応せず、ブレーキをかけなかった場合、直ちに緊急警告が作動し、警告音と表示に加えてブレーキ振動で知らせます。

ブレーキ圧力を素早く高め、ブレーキ振動を発生させて警告します。これによりドライバーに交通状況を警告します。

この危険な状況では、ドライバーが適切に対応することで衝突を回避できます。

### ▲ 警告

車間距離の不足

前走車に追突する恐れがあります。

▶ 直ちにブレーキをかけてください。

## i インフォメーション

下記の状況ではドライバーは慎重に運転していると想定され、予期警告や緊急警告機能は作動しません：

- 急カーブを走行しているとき
- ブレーキをかけているとき
- 追い越し時などにドライバーが急加速したとき

## ボルシェ・アクティブ・セーフ (PAS) 警告のON/OFF

潜在的警告および予期警告の機能は初期設定ではOFFになっていますが、緊急警告機能は作動状態になっています。マルチファンクション・ディスプレイで潜在的警告および予期警告の機能をONにする：

- ▷ 「ボルシェ・アクティブ・セーフ (PAS) のON/OFFを切り替える前の事前警告」(275ページ)を参照してください。



## インストルメントおよび インテリア・ライト

### インストルメント・ライトの明 るさ調整

9000\_33



図12: 調節ボタン

ライト・センサーにより、周囲の明るさによって照明が自動的に調節されます。

更に、車両のライト・スイッチがONのときはインストルメント・パネルおよびスイッチの照明を手動で調節することができます。

- ▶ 調節ボタンAを、希望の明るさになるまで左右どちらかに回して保持してください。

#### ▲ 警告

走行中の輝度の調節

運転中に明るさ調節を行うと、車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 運転中は、ステアリング・ホイールのスポークの間に手を入れないでください。

### インテリア・ライトの点灯/消灯

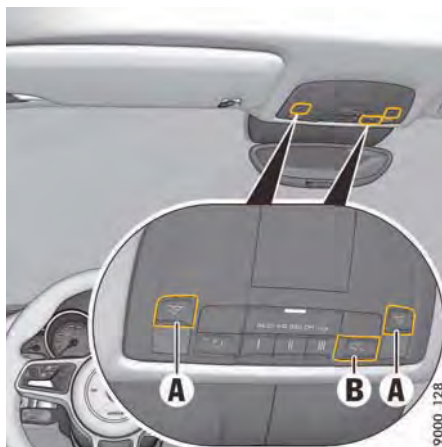


図13: インテリア・ライト/読書灯用ボタン

- A インテリア・ライト/読書灯用ボタン
- B インテリア・ライトの自動点灯/消灯機能

#### インテリア・ライト/読書灯の点灯/消灯

- ▶ ボタンAを押してください。

#### 明るさを調節する(減光)

- ▶ ボタンAを希望の明るさになるまで少なくとも1秒間押し続けてください。

#### ルーム・ランプの自動点灯/消灯機能

装備仕様により、自動インテリア・ライトはボタンBを使用して、またはマルチファンクション・ディスプレイのメニューからON/OFFを切り替えることができます。

#### ボタンBを使用する:

- ▶ ボタンBを押してください。  
インテリア・ライトをOFFにすると、ボタンのインジケター・ライトが点灯します。  
インテリア・ライトをONにすると、周囲が暗いときに次のように作動します。
- 以下の場合に点灯します: ドアをロック解除したとき、開いたとき、またはキーをイグニッション・ロックから抜いたとき
- 以下の場合に消灯します: 両方のドアを閉じたとき、約120秒の遅延後この遅延消灯時間は、マルチファンクション・ディスプレイで変更できます。イグニッションをONにしたときや、車両をロックしたときは、直ちにインテリア・ライトが消灯します。

#### マルチファンクション・ディスプレイでの操作:

- ▶ 「ドアを開いたときのインテリア・ライト自動点灯の有効/無効」(276ページ)を参照してください。

#### バッテリー保護のためのインテリア・ライトの自動消灯機能

周囲が暗いときは、バッテリー上がりを防止するためにエンジンを停止してから約15分後にインテリア・ライトが自動的に消灯します。

周囲が明るいときは、インテリア・ライトを手動で点灯した後、約1分が経過すると自動的に消灯します。

あ

## オリエンテーション・ライト

オーバーヘッド・コンソールおよびイグニッション・ロック部のライトにより、周囲が暗いときに車両の主要な装備の位置を照らして乗降性を高めます。これらのライトは車両のロックを解除したときに点灯し、車両をロックすると自動的に消灯します。

オリエンテーション・ライトの明るさはマルチファンクション・ディスプレイで調節（減光）することができます。

▷ 「オリエンテーション・ライトの明るさを調節する」(276ページ)を参照してください。

か

さ

た

な

は

## アンビエント・ライト

夜間の運転中、控えめな明るさのライトが車内をやわらかく照らします。アンビエント・ライトは、車両をロックすると自動的に消灯します。

ま

や

ら

わ

A-Z

## インストルメント・パネル

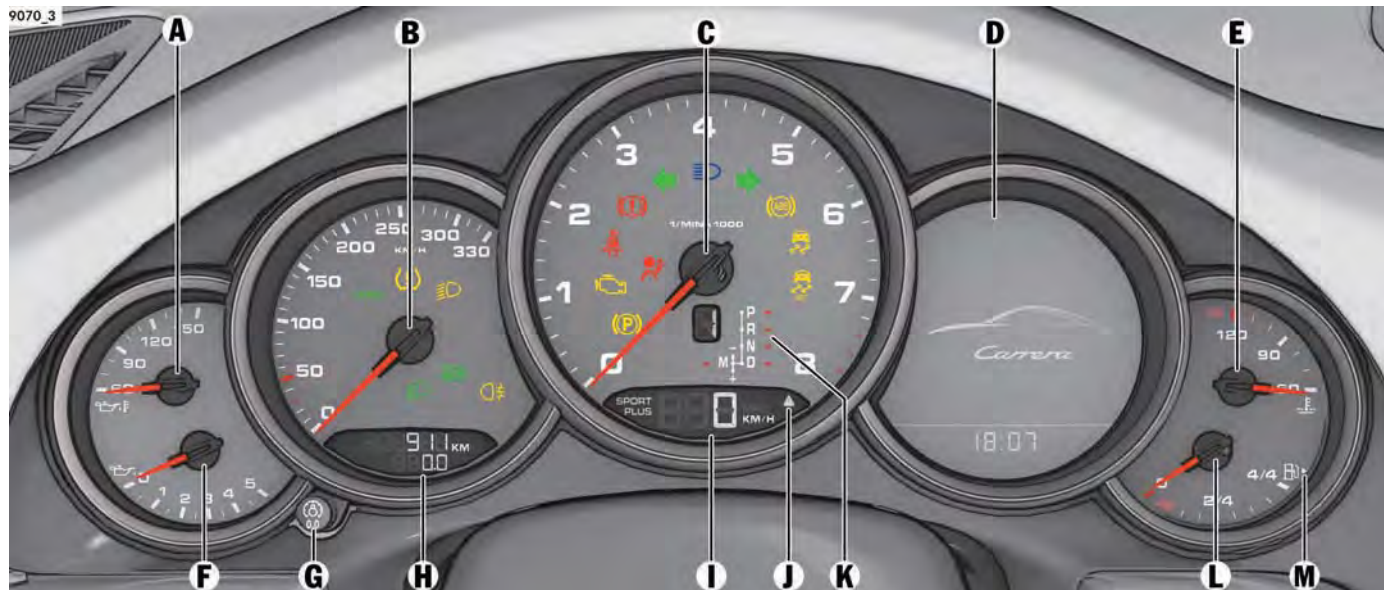


図14: インストルメント・パネルの表示

### A - 油温計

エンジン油温が高温になりすぎると、マルチファンクション・ディスプレイに警告シンボルが表示されます。

- ▶ 直ちにエンジンの回転数を下げ、エンジンの負荷を軽減してください。
- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(86ページ)を参照してください。

### B - スピードメーター

### C - タコメーター (回転計)

タコメーターの目盛りが赤色の部分は、エンジン回転数の許容上限を示しています。

### D - マルチファンクション・ディスプレイ

- ▶ 「マルチファンクション・ディスプレイ」(262ページ)を参照してください。

### E - 水温計

指針が低温域を示しているとき - エンジン冷間時

- ▶ エンジンを高回転域まで回さないください。また、大きな負荷をかけないください。

指針が中央付近にあるとき - エンジン暖機後 (通常の温度)

外気温が高いときにエンジンに大きな負荷をかけるとレッド・ゾーンを示すことがあります。

指針がレッド・ゾーンにあるとき - 作動温度が高すぎる

## 知識

エンジンを損傷する恐れがあります。冷却水温度が異常に高くなると、水温計の指針が最高温度マークまで動きます。エンジン温度が高いことを示す警告シンボルがマルチファンクション・ディスプレイに表示され、警告灯が点灯または点滅します。

- ▶ レッド・ゾーンに達した場合は、直ちに安全な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。運転を続けしないでください。
- ▶ 必要な措置を講じて、冷却水温度を低下させてください。
- ▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(86ページ)を参照してください。

クーラント・レベルが低い場合、急な坂道など車両が急角度で傾いたり、円状に走行するなどして長いカーブで横加速度が発生したりすると、警告メッセージが表示されることがあります。車両が「通常」の状態に戻ったときに警告メッセージが消えない場合、クーラント・レベルを点検してください。

- ▷ 「クーラント・レベルの点検と補充」(82ページ)を参照してください。

## F - 油圧計

エンジン油圧は、エンジンの作動状態に応じて制御されており、エンジン回転数が5,000rpmのときに少なくとも3.5barでなければなりません。

エンジン油圧は、エンジンの回転数や油温、エンジンの負荷によって変化します。

## 知識

エンジンを損傷する恐れがあります。オイル圧力が低くなりすぎると、マルチファンクション・ディスプレイに警告シンボルが表示されます。

- ▶ オイル圧力が低すぎる場合は、直ちに安全な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。運転を続けしないでください。
- ▶ 必要な措置を講じて、オイル圧力を上昇させてください。
- ▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(86ページ)を参照してください。

## G - トリップ・メーター・リセット・ボタン/インストルメント・ライトおよびPCMの明るさ調節ボタン

- ▷ 「インストルメント・ライトの明るさ調整」(43ページ)を参照してください。

## H - 積算距離計/トリップ・メーター

ディスプレイの上段は総走行距離を表示し、下段は区間走行距離を表示しています。9,999kmを超えると、トリップ・メーターの表示が「0」に戻ります。

- トリップ・メーターの手動リセット
- ▶ トリップ・メーター・リセット・ボタンGを約1秒間押し続けてください。
- トリップ・メーターが「0」に戻ります。

## I - デジタル・スピードメーター

## J - シフトアップ・インジケーター

経済的な運転を促すシフトアップ・インジケーターは、選択しているギヤ、エンジン回転数およびアクセル・ペダルの踏み込み量に応じて点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

マニュアル・モードでのみシフトアップ・インジケーターが使用可能です。

- ▶ シフトアップ・インジケーターが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。

## K - PDKセクター・レバー・ポジション・インジケーター/マニュアル・トランスミッションのギヤ・ポジション・ディスプレイ

## L - 燃料計

イグニッションがONのときに燃料の残量を示します。

- ▷ 「給油」(80ページ)を参照してください。

坂道などで車体の傾きが変化すると、燃料計の表示位置が少し変化することがあります。

## 燃料残量警告灯

燃料タンクの残量が規定値(モデルにより異なる)または最小残可走距離を下回り、イグニッションがON、またはエンジン作動している場合、燃料警告シンボルが表示されます。

- ▶ 最寄りの給油所で給油してください。

## 知識

燃料が不足した状態で走行を続けると、エミッション・コントロール・システムに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ 燃料タンクが空になるまで走行しないでください。
- ▶ 警告灯が点灯したり、燃料警告シンボルが表示された場合は、カーブを曲がる時にスピードを出さないでください。

## M-フィルター・フラップ位置の表示

矢印は車両のフィルター・フラップの付いている側面を示しています。

## 警告灯および表示灯

### 知識

イグニッションをONにすると、警告灯およびインジケーター・ライトが短時間点灯します。不具合は警告灯により示されます。

次の場合は、必ずボルシェ正規販売店にご相談ください。

- イグニッションをONにしたときに警告灯が点灯しないとき
- エンジン作動中または走行中に、警告灯が点灯または点滅するとき

ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### i インフォメーション

不具合の原因が解消した場合のみ、該当する警告灯が消灯します。

## スピードメーター内

 HOLD機能インジケーター・ライト



- タイヤ空気圧警告灯  
警告灯が点滅または点灯し続ける原因：
- タイヤ空気圧の低下
  - タイヤ空気圧モニタリング・システム (TPM) の故障または一時的な不具合
  - 新しく装着したホイール (タイヤ空気圧センサー) を学習している、またはホイールを認識できない場合
    - ▶ 適切な場所に停車して下さい。運転を続けしないでください。
    - ▶ 必要な措置を講じて、タイヤ空気圧モニタリング・システムの不具合を解消してください。
    - ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(86ページ) を参照してください。



PDLS 警告灯



ロー・ビーム・インジケーター・ライト



ダイナミック・ハイ・ビーム・インジケーター・ライト



リヤ・フォグ・ライト・インジケーター・ライト

## タコメーター内



「スポーツ」/「スポーツ・プラス」インジケーター・ライト



エレクトリック・パーキング・ブレーキ警告灯



エミッション・コントロール警告灯 (チェック・エンジン)

警告灯が点滅または点灯する原因：汚染物質の排出量を増加させ、損傷を引き起こす原因となる作動不良 (エンジンの失火など)

- ▶ 直ちにエンジンの回転数を下げ、エンジンの負荷を軽減してください。
- ▶ 必要に応じて、安全な場所に停車してください。可燃物 (乾燥した草や枯れ葉など) が高温の排気システムに接触しないよう注意してください。
- ▶ 必要な措置を講じて、エミッション・コントロール・システムの不具合を解消してください。
- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(86ページ) を参照してください。



エアバッグ警告灯



シートベルト警告灯



ブレーキ警告灯



方向指示灯、左



ハイ・ビーム・インジケーター・ライト



方向指示灯、右



ABS 警告灯



PSM 警告灯



PSM OFF 警告灯



## ウィンドウ

### ウィンドウの開閉



**警告**

ウィンドウの開閉

ウィンドウを開閉するときは、作動中のウィンドウと車両の固定部分の間に身体の各部が挟まれないように十分注意してください。特にワンタッチ作動で閉じるときは十分に注意してください。

- ▶ ウィンドウを開閉するときは乗員がケガをしないように十分注意してください。
- ▶ 車両を離れるときは必ずキーを抜いてください。またはポルシェ・エントリー&ドライブ装備車ではイグニッションをOFFにしてください。車両から離れるときは、必ずキーを携行してください。乗員がパワー・ウィンドウを誤って操作し、ケガをする恐れがあります。
- ▶ 危険が生じた場合、直ちにイグニッション・キーのボタンを放してください。ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車の場合は、直ちにドア・ハンドルのボタンを放してください。
- ▶ お子様のみを車内に残さないでください。

### ウィンドウの開閉

- ✓ イグニッションがONのとき  
または
- ✓ イグニッションをOFFにしてから10分以内  
運転席/助手席ドアをまだ開いていない

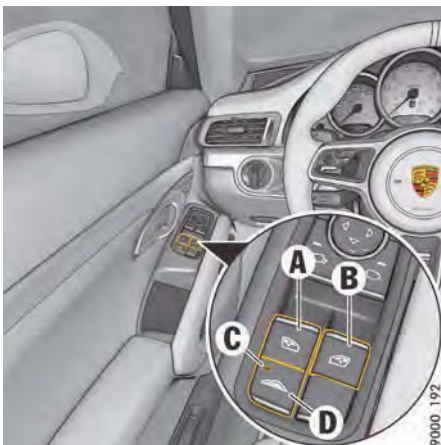


図15: 運転席ドアのパワー・ウィンドウ・スイッチ

- A 左側パワー・ウィンドウ・スイッチ
  - B 右側パワー・ウィンドウ・スイッチ
- カブリオレ:**
- C リヤ・ウィンドウのインジケーター・ライト
  - D フロント/リヤ・ウィンドウの切り替えスイッチ

### ウィンドウを開く

- ▶ ウィンドウが希望の位置になるまで希望のウィンドウのスイッチを押してください。

### ウィンドウを閉じる

- ▶ ウィンドウが希望の位置になるまで希望のウィンドウのスイッチを引いてください。

ロッカー・スイッチには**2段階の作動位置**があります。この2段階の作動位置は、スイッチを操作する際にははっきりと感じ取れます。

### 1段目 - 手動操作

- ▶ 該当するスイッチを1段目まで押すか、または引いてください。  
ウィンドウが手動で開閉します。  
スイッチを放すとウィンドウが止まります。

### 2段目 - ワンタッチ操作

- ✓ イグニッションがONのとき
- ▶ 該当するスイッチを2段目まで素早く押すか、または引いてください。  
ウィンドウが完全に開閉します。
- ▶ ウィンドウを希望の位置で停止させたいときは、もう1度スイッチを操作してください。

### カブリオレ: ウィンドウを選択する

- ▶ スイッチDを押して、フロント・ウィンドウまたはリヤ・ウィンドウを選択してください。  
リヤ・ウィンドウを選択すると、ボタンDのインジケーター・ライトCが点灯します。

コンバーチブル・トップが開いているときは、フロント・ウィンドウが閉じているときのみリヤ・ウィンドウを閉じることができます。

### インフォメーション

ドア・ウィンドウを閉じるときに障害物で作動が妨げられると、ウィンドウが停止した後、再び数センチ下がります。ウィンドウの作動が約10秒以内に2回妨げられると、そのウィンドウのワンタッチ操作ができなくなります。ウィンドウは手動で閉じることができます。ワンタッチ操作を再度有効にするには、ウィンドウを手動操作で1回完全に閉じてください。

**警告**

ウィンドウの自動閉  
操作

ワンタッチ操作がウィンドウの抵抗を感じて無効になった場合、自動閉機能を使用してウィンドウを閉じると、最大の力で閉じようとします。

- ▶ ウィンドウを閉じるとき、乗員がケガをしたり、挟まれたり、圧迫されたりしないことを確認してください。

キーによるウィンドウの開閉



図16: キーによるウィンドウの開閉

- ▶ ウィンドウが希望の位置になるまでキーの開閉ボタンを押し続けてください。

ドア・ハンドルのタッチ・センサーでウィンドウを閉じる (ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車)



図17: ドア・ハンドルのタッチ・センサーでウィンドウを閉じる (ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車)

- ▶ 車両をロックするときにウィンドウが希望の位置になるまで、ドア・ハンドルのタッチ・センサーに触れ続けてください。

ウィンドウ停止位置の保存

バッテリーを外したり、再接続したりしたときは、ウィンドウの停止位置が消去されます。ウィンドウのワンタッチ操作が無効になります。

すべてのウィンドウで以下の作業を行ってください:

1. ロッカー・スイッチを引いて、ウィンドウを1度完全に閉じてください。
2. ウィンドウが完全に閉じた後、スイッチを再度短く3回引き上げてください。
3. スイッチを押して、1回ウィンドウを完全に開いてください。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

## ウォッシャー液



図18: ウォッシャー液タンク

下記の点を必ず守ってください：


- ▶ 季節に合わせて、水と適切な添加剤（ウィンドウ・クリーナー濃縮液、不凍液）を混ぜ合わせてください。正しい混合比を遵守し、使用する添加剤の容器に記載されている注意事項に従ってください。
- **夏季**：水とウィンドウ・クリーナー濃縮液を入れてください。
- **冬季**：水、不凍液、およびウィンドウ・クリーナー濃縮液を入れてください。

次の条件を満たしているウィンドウ・クリーナー濃縮液のみを使用してください：

- 濃度1:100
- 無リン
- プラスチック・ヘッドライト・レンズに適しているもの

ポルシェ社が推奨するウォッシャー液濃縮液については：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

## 警告シンボルへの対応

ウォッシャー液のレベルが低下すると、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに  シンボルが表示されます。

- ▶ 次の機会にウォッシャー液を補充してください。
- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（86ページ）を参照してください。

## ウォッシャー液の補充

### 知識

ヘッドライトを損傷する危険性

- ▶ ウォッシャー液を補充するときに、ヘッドライトに寄りかからないようにしてください。

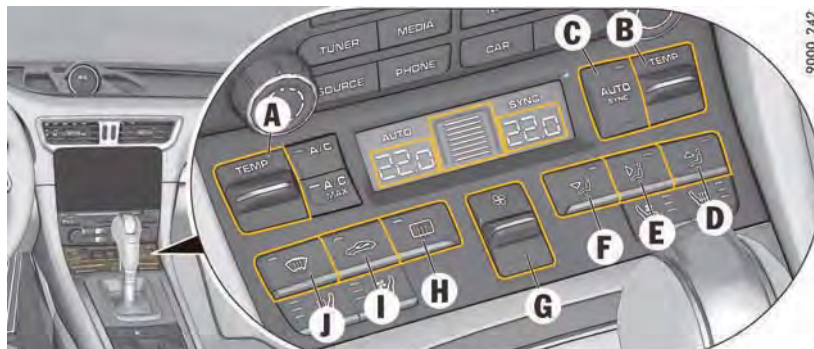
フロント・ウィンドウおよびヘッドライトのウォッシャー液タンクは、ラゲッジ・コンパートメントの後部右側にあります（図18）。

1. ウォッシャー液タンクのキャップを開いてください。
2. ウォッシャー液を補充してください。最大容量は約5リットルです。
3. キャップを慎重に閉じてください。

# エアコン (2ゾーン・オート・エアコン)

## 概要

この概要説明は後述の「エアコン (2ゾーン・オート・エアコン)」の広範囲な情報に代わるものではありません。特に、安全に関する指示事項および警告の代わりになるものではありません。



運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	ページ
オート・エアコンを使用する	ボタンCを押してください。	52
温度の設定	車内左側：ボタンAを上（温度を上げる）または下（温度を下げる）に押してください。 車内右側：ボタンBを上（温度を上げる）または下（温度を下げる）に押してください。	53
送風量を手動で設定する	ボタンGを上（多くする）または下（少なくする）に押してください。	53
送風口を手動で切り替える	フロント・ウィンドウ/サイド・ウィンドウへの送風ボタンDを押してください。 中央およびサイド・ベントからの送風：E ボタンを押してください。 足元への送風：ボタンFを押してください。	53
フロント・ウィンドウ・デフロスター	ボタンJを押してください。	56
リヤ・ウィンドウ・ヒーター/ドア・ミラー・ヒーターをONにする	ボタンHを押します。	301
手動で内気循環モードをONにする	ボタンIを押してください。	55

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

## 一般的なインフォメーション



図19: エアコン・コントロール・パネル

オート・モードでは、様々な環境条件（日射量、空気の状態など）に応じて室内の設定温度を維持するように、エアコン・システムが送風温度、送風量、送風口を全自動で制御します。温度は、**左と右**のゾーンで個別に設定可能です。エアコン・システムの設定を手動で変更すると、オート・モードが直ちに解除されます。ただし手動操作で変更しなかった機能については、自動制御を継続します。

## i インフォメーション

追加のエアコン設定は、マルチファンクション・ディスプレイで行うことができます：

▶ 「エアコン設定」(278ページ) を参照してください。

メモリー・パッケージ装備車では、エアコン・システムの設定がそのとき使用しているキーに保存されます。

▶ 「パーソナル設定」(218ページ) を参照してください。

## センサーを覆わない

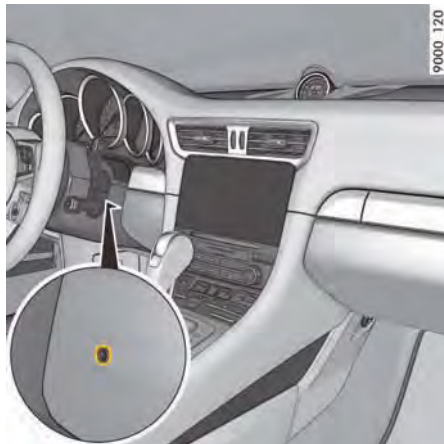


図20: エアコン用車内温度センサー

エアコン・システムの能力を維持するために、次のことを遵守してください：

▶ エアコン・システムの室内温度センサーの上にカバーを付けたり、ステッカー類を貼り付けたりしないでください。

## 冷房機能

冷房機能は空気を冷やしたり除湿します。

## i インフォメーション

- エンジンの負荷が大きくなると冷房機能が一時的にOFFになり、エンジンの過熱を回避します。外気温度が約2℃を下回ると自動的にOFFになり、このときは手動操作でもONにできません。
- 冷房機能は、ウィンドウを閉じた状態で最も効果的に作動します。ウィンドウを開いているときに車内に熱がこもった場合は、車内を短時間換気してください。
- 設定温度を一時的に希望の温度より上げ下げしても、希望する温度に到達する時間は変わりません。
- 外気温度および湿度によっては、除湿した水分により車両下部に水たまりができることがあります。これは正常な状態であり、故障ではありません。
- バッテリー電圧が極端に低い場合は、フレッシュ・エア・ブローアおよび冷房機能が制限されOFFになります。

## オート・モードをONにする

各ゾーンはオート・モードに切り替えることができます。

▶ エアコン・コントロール・パネルの**AUTO SYNC**ボタンを押してください。

エアコン・ディスプレイの**AUTO**インジケーターが点灯します。

温度、送風量および送風口が自動的に制御されます。



**i** インフォメーション

必要であればオート・モードの制御を手動調節できます。手動で設定を変更すると、その機能の設定を再度変更するか、または **AUTO SYNC** ボタンを押すまで設定が維持されます。

**温度の設定**

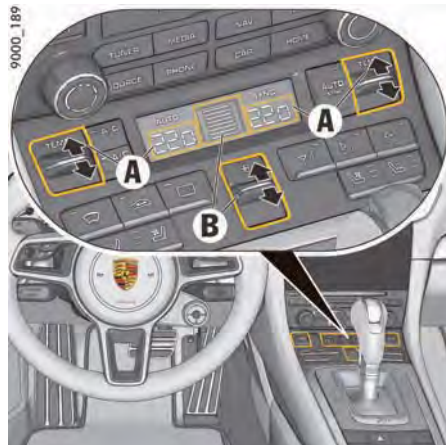


図21: 温度設定および送風量調節

- A 各ゾーンの温度設定
- B 送風量の設定

各ゾーンの温度は16℃～29.5℃の範囲で個別に調整できます。

推奨：22℃

選択した温度がディスプレイに表示されます。

**温度を上げる/下げる**

- ▶ 該当するゾーンの**TEMP**ボタンを上方向または下方向に押ししてください。

ディスプレイに**LO**または**HI**が表示された場合は、エアコンの作動は最大の冷房または暖房になっています。このときオート・モードはOFFになります。

**i** インフォメーション

- SYNCモード選択時にいずれかのゾーンで温度設定を**LO**または**HI**にすると、他のゾーンも**LO**または**HI**に設定されます。

**AUTO SYNC** ボタンを押すと、初期設定温度の22℃に切り替わります。

- ▶ 「運転席のエアコン設定を車内全体に適用する (SYNCモード)」(56ページ)を参照してください。

**送風量の設定**

**⌘**ボタンの上部にあるエアコン・ディスプレイに設定した送風量がバーで表示されます。バーの数が増えるほど、風量が多いことを示しています。

**送風量を上げる/下げる**

- ▶ **⌘**ボタンを上方向または下方向に押ししてください。

**AUTO SYNC** ボタンを押すと、オート・モードに戻ります。

送風量を最小にすると、エアコン・ディスプレイに**OFF**と表示され、外気導入による送風が停止し、エアコン・システムがOFFになります。

**警告**

風量**OFF**による視界の低下

送風量を**OFF**にした状態では、ウィンドウが曇りやすくなります。

- ▶ **⌘**ボタンを上方向に押ししてください (送風量が増加します)。

**送風口を切り替える**



図22: 送風口切り替えボタン

**送風口を手動で切り替える**

- ✓ エア・ベントが開いている
- ▶ **⌘**ボタンを押ししてください。フロント・ウィンドウおよびサイド・ウィンドウへの送風を開始します。
- ▶ **⌘**ボタンを押ししてください。中央および左右エア・ベントからの送風を開始します。
- ▶ スイッチ**⌘**を押ししてください。足元への送風を開始します。該当するボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

### 送風口の手動切り替えの解除

- ▶ インジケーター・ライトが点灯している(手動で切り替えた)送風口切り替えボタンを再度押してください。
- 該当するボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
- または  
AUTO SYNC ボタンを押してください。
- 送風量および送風口が自動的に制御されます。

### エア・ベントの調整



図23: エア・ベントの調整

### エア・ベントの開閉

- ▶ エア・ベントのロータリー・ノブを上方向または下方向に回してください。

### 送風方向の調節

- ▶ ルーバーの角度を調節して希望の方向に風を送ることができます。

### アッパー・ベンチレーション・パネルのON/OFF

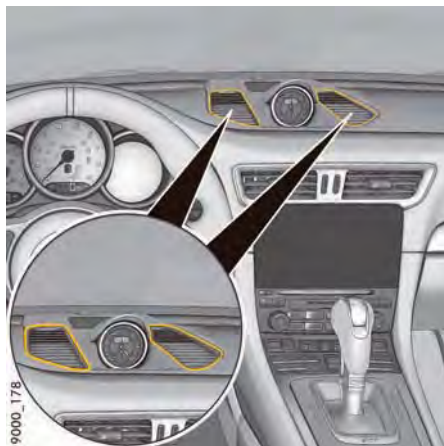


図24: アッパー・ベンチレーション・パネル

- スイッチ・パネル上部にあるベンチレーション・パネルは、個別にON/OFFを切り替えることができます。
- ベンチレーション・パネルをOFFにすると、室内で乗員に直接当たる風が和らぎます。エアコン・システムは送風量を自動的に調整します。
- アッパー・ベンチレーション・パネルのON/OFF切り替えに関するインフォメーション:
- ▶ 「エアコン設定」(278ページ)を参照してください。

### 冷房機能のON/OFF

- オート・モードでは、冷房機能が常にONになります。冷房出力は完全に自動制御されます。
- ▶ 「オート・モードをONにする」(52ページ)を参照してください。



図25: 冷房機能のON/OFF

### 冷房機能をONにする

- ▶ A/Cボタンを押してください。
- ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
- または  
▶ AUTO SYNC ボタンを押してください。
- 冷房機能が作動します。

### 冷房機能をOFFにする

- 例えば燃料を節約したいときなどには冷房機能を手動でOFFにすることができます。
- ▶ A/Cボタンを押してください。
  - ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
  - 冷房機能が解除されます。

## A/C MAXモード (最大冷房出力) のON/OFF

A/C MAXモードでは、エアコン・システムが最大出力で車内を冷却します。  
このとき車内温度は自動調節されません。



図26: A/C MAXモードの選択

### A/C MAXモードをONにする

- ▶ **A/C MAX** ボタンを押してください。  
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

### A/C MAXモードをOFFにする

- ▶ **A/C MAX** ボタンを押してください。  
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。  
または  
**AUTO SYNC** ボタンを押してください。

## 内気循環モードのON/OFF



図27: 内気循環モード・ボタン

### 手で内気循環モードをONにする



**警告**

手で内気循環モードでの視界の低下

手で内気循環モードを選択すると、ウィンドウが曇る恐れがあります。

- ▶ 手で内気循環モードは長時間 ON にしないでください。
- ▶ **内気循環モード** ボタンを押してください。  
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

### 手で内気循環モードをOFFにする

- ▶ **内気循環モード** ボタンを押してください。  
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。  
または  
**AUTO SYNC** ボタンを押してください。

### **i** インフォメーション

手で内気循環モードをOFFにすると、約3分後に内気循環モードが停止します。

### 自動内気循環モードの設定

自動内気循環モードでは、空気の状態に応じて自動的に外気導入と内気循環を切り替えます。外気温度が約5°Cを下回ると、ウィンドウの曇りを防止するため、内気循環モードが自動的に停止します。

自動内気循環モードの設定に関するインフォメーション:

- ▶ 「エアコン設定」(278ページ) を参照してください。

### **i** インフォメーション

通常は自動内気循環モード (初期設定) にしておくことを推奨いたします。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

## 運転席のエアコン設定を車内全体に適用する (SYNCモード)

SYNCモードでは、運転席のエアコン設定が車内全体に適用されます。

### SYNCモードを

- ▶ エアコン・ディスプレイに **SYNC**が表示されるまで、**AUTO SYNC** ボタンを押し続けてください。
- ▶ 運転席側の **TEMP** ボタンを操作して、運転席側および助手席側の温度を調整してください。

### SYNCモードをOFFにする

- ▶ **AUTO SYNC** ボタンを押ししてください。  
または  
助手席側の **TEMP** ボタンを押ししてください。  
エアコン・ディスプレイの **SYNC** インジケータが消灯します。

## 風量調節

オート・モードでは3段階で送風の強さを調節できます。


- 送風の強さ調節に関するインフォメーション:
- ▶ 「エアコン設定」(278ページ) を参照してください。

## フロント・ウィンドウ・デフロスター




図28: フロント・ウィンドウ・デフロスター・ボタン

### デフロスターをONにする

- ▶  ボタンを押ししてください。  
ボタンのインジケータ・ライトが点灯します。  
フロント・ウィンドウおよびサイド・ウィンドウへの送風を開始します。  
フロント・ウィンドウの曇りや水結を素早く取り除きます。

### デフロスターをOFFにする

- ▶  ボタンを押ししてください。  
ボタンのインジケータ・ライトが消灯します。  
または  
**AUTO SYNC** ボタンを押ししてください。



## エアバッグ・システム

### 適切なシート位置の選択

#### ⚠ 危険

不適切なシート位置または適切に収納していない荷物

すべての乗員がシートベルトを着用し、正しいシート位置を維持している場合にのみ、エアバッグ・システムは保護効果を発揮することができます。荷物は必ず安全に収納してください。

- ▶ 常にシートベルトを着用してください。
- ▶ 運転席と助手席の間、あるいは乗員とエアバッグが膨らむ空間に人や動物を座らせたり、物を置いたりしないでください。
- ▶ ステアリング・ホイールは、必ずリムの外側から持つようにしてください。
- ▶ エアバッグが保護効果を発揮するには、乗員との間に一定の空間が必要です。エアバッグに必要以上に近づきすぎない位置に、シート位置を調節してください。ドアの内側（サイド・エアバッグの拡張エリア）にもたれかからないでください。
- ▶ ドアの小物入れから中身がはみ出た状態にしないでください。走行中はドアの小物入れを常に閉じておいてください。
- ▶ 重い荷物をシートの上や前方に積載して輸送しないでください。
- ▶ ダッシュボードの上に物を置かないでください。
- ▶ 走行中はグローブ・ボックスを閉じてください。
- ▶ 走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシート・クッションの上に足を乗せないでください。
- ▶ 運転者はこの章で説明している内容を、すべての乗員に理解してもらってください。

### 機能

エアバッグは、シートベルトと併用することで衝突時の乗員の負傷を最小限に抑えるよう設計されています。

正面または側面から衝撃を受けた場合、エアバッグが作動し、運転者や乗員が受ける衝撃を吸収しつつ、頭部、骨盤、上半身を守ります。

**フロント・エアバッグ**は、運転席側はステアリング・ホイール中央のパッド内、助手席はダッシュボードの中に取り付けられています。

**サイド・エアバッグ**はシート側面のサイド・ピースに格納されています。

**ヘッド・エアバッグ**はドア・トリムの側面に取り付けられています。

それぞれのエアバッグは、衝撃の角度および強さに応じて作動します。

#### ⚠ 危険

エアバッグ・システムに変更を加えたことが原因の不具合

変更を加えたエアバッグ・システムは保護効果を十分に発揮できません。エアバッグが不意に作動したり、全く機能しなかったりする危険があります。エアバッグが不意に作動した場合、重傷を負う危険があります。

- ▶ エアバッグ・システムの配線や構成部品を改造しないでください。
- ▶ エアバッグの配線の近くには、アクセサリ類の配線を取り付けしないでください。
- ▶ ステアリング・ホイール、助手席エアバッグ付近、サイド・エアバッグ付近、ヘッド・エアバッグ付近にアクセサリを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。
- ▶ シートに保護カバーを装着しないでください。
- ▶ エアバッグ構成部品を取り外さないでください。

#### ⚠ 危険

作動済みエアバッグ・システムの交換

エアバッグ・システムは1回のみ作動するように設計されています。

- ▶ 作動したエアバッグは直ちにボルシェ正規販売店で交換してください。

### 警告灯への対応

エアバッグ・システムが故障した場合、タコメーターの赤い**エアバッグ警告灯**によって表示されます。

- ▶ 次の場合は、必ずボルシェ正規販売店にご相談ください。
  - イグニッションをONにしたときに警告灯が点灯しない
  - または
  - イグニッションがONのときに警告灯が消灯しない
  - または
  - 走行中に警告灯が点灯する

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z



## 助手席エアバッグをOFFにする

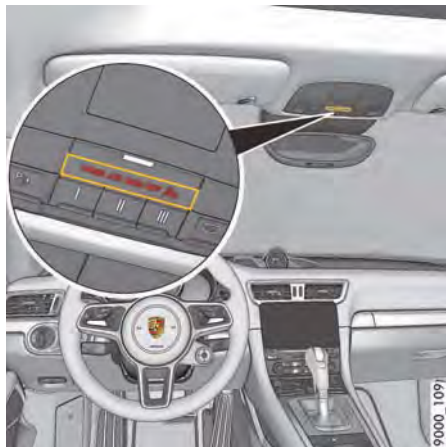


図29: 助手席エアバッグOFF警告灯

## ⚠ 危険

助手席エアバッグを  
OFFにする

チャイルド・シートを取り外した後に助手席エアバッグをOFFにしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- ▶ チャイルド・シートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグをOFFにしてください。
- ▶ チャイルド・シートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再びONにしてください。

## ⚠ 危険

助手席エアバッグの故障と作動不良

助手席エアバッグをOFFにして、イグニッションをONにしたときに**助手席エアバッグOFF**警告灯が点灯しなかった場合は、システムに不具合が発生している可能性があります。

- ▶ 助手席にチャイルド・シートを取り付けないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

助手席エアバッグをOFFにするキー・スイッチ、**助手席エアバッグOFF警告灯**およびISOFIXアタッチメント・ブラケットは、特定の装備仕様にのみ取り付けられています。ポルシェ正規販売店でオプションとして装着してください。

- ▶ 「助手席エアバッグのON/OFF - 助手席エアバッグOFF警告灯」(178ページ)を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ



A-Z

## エンジン・オイル

### エンジン・オイル・レベルの点検

オイル・レベルは定期的に点検してください（車両に燃料を補給するときなど）。

#### オイル・レベル警告への対応

オイル・レベルが低過ぎる場合、マルチファンクション・ディスプレイにまたはの表示が警告シンボルとともに表示され、直ちにエンジンにオイルを補充する必要があります。あることを知らせます。

- ▶ 86ページの警告およびインフォメーション・メッセージの章を参照してください。

#### マルチファンクション・ディスプレイのエンジン・オイル・レベルの読み取り

##### 知識

エンジンを損傷する恐れがあります。

オイル・レベルが下限マークより下にある場合、エンジンが適切に潤滑できません。

- ▶ オイル・レベルを定期的に点検してください。
- ▶ オイル・レベルが下限マークを下回らないように注意してください。

- ▶ 265ページのエンジン・オイル・レベルの測定と表示の章を参照してください。

## エンジン・オイルの選択と補充

### ▲ 警告

エンジン・コンパートメント・ブロワーおよびエンジン付近の他の可動部品

エンジン・コンパートメント内で作業する場合、手、指、衣服の一部、ネックレス、または長い髪などが可動部品（エンジン・コンパートメント・ブロワーまたはドライブ・ベルトなど）に引き込まれる恐れがあります。エンジン・コンパートメント・ブロワーはエンジン・コンパートメント・リッドの下に取り付けられています。エンジンをOFFにしてから約30分間はエンジン・コンパートメント内の温度が監視されます。この間は、温度に応じてエンジン・コンパートメント・ブロワが作動し続けたり、作動し始めたりすることがあります。

- ▶ この付近で作業する場合は、エンジンをOFFにして身体の一部、衣服の一部、または装飾類がラジエーター・ファン、エンジン・コンパートメント・ブロワー、ドライブ・ベルト、またはその他の可動部品に引き込まれないよう十分に注意してください。

### ▲ 警告

エンジン・オイルの発火

エンジン・オイルが過熱したエンジン部品に触れると発火する恐れがあります。エンジン・オイルの残りが付着したまま換気せずに廃棄または保管された布は、自然発火して火災が発生する原因となる恐れがあります。

- ▶ 布で飛散したエンジン・オイルを吸い取ってください。
- ▶ エンジン・オイルが浸み込んだ布は、廃棄するまで換気の良い場所で保管してください。
- ▶ エンジン・オイルを補充する前にエンジンを冷ましてください。

### ▲ 警告

高温のエンジン部品

エンジン稼働中はエンジン、周辺部品、およびエキゾースト・システムが高温になります。

- ▶ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾースト・システムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- ▶ エンジン・コンパートメント内の作業を行う前に、エンジンをOFFにし、十分に冷やしてください。
- ▶ エンジン・コンパートメント内で作業するときは十分注意してください。
- ▶ エンジン・オイルの補充はエンジンを停止し、イグニッションをOFFにしてから行ってください。

### 知識

エンジン・オイルの過不足はエンジンに損傷を与えます。エンジン・オイルが多すぎると青煙の原因になり、長期的には触媒コンバーターに損傷を与えます。

- ▶ オイル・レベルが下限マークを下回らないように注意してください。
- ▶ 上限マークを超えるまでエンジン・オイルを補充しないでください。補充しすぎた場合、次の機会にオイル量を適正に戻してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

下記の点を必ず守ってください：

- ポルシェ社が認証したエンジン・オイルのみを使用してください。定期点検時期（サービス・インターバル）を遵守してください。
- エンジンに適合するオイルであれば、互いに混ぜ合わせるができます。
- オイル添加剤を混ぜないでください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## エンジン・オイルの選択

Porsche recommends **Mobil 1**

認定品	SAE 粘度等級
Porsche A40	SAE 0W-40 <sup>1)</sup>
	SAE 5W-40 <sup>2)</sup>
	SAE 5W-50 <sup>2)</sup>

- 1) すべての温度範囲に適合  
 2) -25 °C を超える温度範囲に適合

## **i** インフォメーション

一般に、メーカーが認定するエンジン・オイルの仕様や規格は、オイル缶に記載されているかまたは販売店に表示されています。認定品かどうかを確認するには：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

## エンジン・オイルの補充

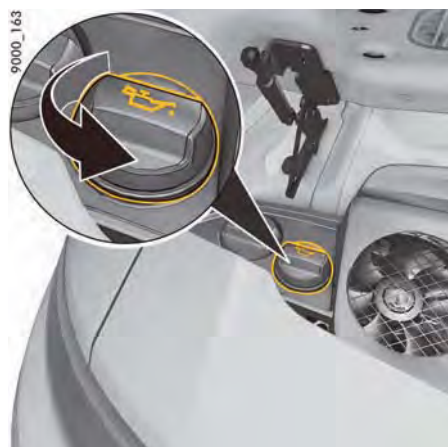


図30: クーペのオイル・フィルター・キャップ



図31: カブリオレのオイル・フィルター・キャップ



図32: タルガのオイル・フィルター・キャップ

1. マルチファンクション・ディスプレイのエンジン・オイル・レベルを確認してください。  
 ▷ 265ページのエンジン・オイル・レベルの測定と表示の章を参照してください。
2. エンジン・コンパートメント・リッド開いてください (カブリオレ: コンバーチブル・トップ・コンパートメント・リッド、タルガ: リヤ・ウィンドウ) を開いてください。
3. オイル・フィルター・キャップを緩めて取り外してください。
4. マルチファンクション・ディスプレイに表示されているエンジン・オイルの量を補充してください。  
 表示された補充量以上のエンジン・オイルを補充しないでください。下限マークと上限マークの差は約1.3リットルです。  
 ▷ 265ページのエンジン・オイル・レベルの測定と表示の章を参照してください。
5. オイル・フィルター・キャップを慎重に取り付けてください。

## エンジン・コンパートメント・リッド

### エンジン・コンパートメント・リッドの開閉

エンジン・コンパートメント・リッドを開く

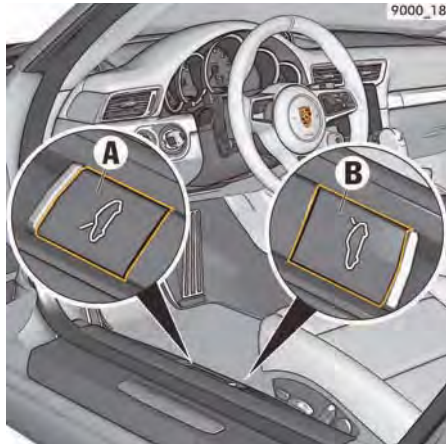


図33: エンジン・コンパートメント・リッドを開く

- A ラゲッジ・コンパートメント・リッド・ボタン  
B エンジン・コンパートメント・リッド・ボタン

#### 1. ボタンBを引いてください。

**クーペ:** エンジン・コンパートメント・リッドがロック解除されて持ち上げることができます。

**カブリオレ:** エンジン・コンパートメント・リッド (コンバーチブル・トップ・コンパートメント・リッド) が自動的にサービス・ポジションまで開きます。

**タルガ:** リヤ・ウィンドウが自動的にサービス・ポジションまで開きます。

エンジン・コンパートメント・リッドを閉じる

クーペ:

1. エンジン・コンパートメント・リッドを下げ、ロックに落としてください。ロック部分を手のひらで押し、エンジン・コンパートメント・リッドを閉じてください。
2. エンジン・コンパートメント・リッドが確実にロックされていることを確認してください。  
車両走行中にエンジン・コンパートメント・リッドが正しく閉じられていない場合、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

カブリオレ:

- ▶ ボタンBを引いてください。  
エンジン・コンパートメント・リッド (コンバーチブル・トップ・コンパートメント・リッド) が自動的に閉じます。

タルガ:

- ▶ リヤ・ウィンドウが完全に閉じるまでボタンBを引き続けてください。  
**または**
- ▶ タルガ・ルーフおよびリヤ・ウィンドウが完全に閉じるまでボタンを引き続けてください。
- ▶ 164ページのタルガ・ルーフ・システムの章を参照してください。

## エンジンの始動および停止

### イグニッション・ロック

キーは、ステアリング・コラム左側のイグニッション・ロックに差し込んでください。

ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車では、キーは携行するだけでイグニッション・ロックに差し込む必要がありません。キーはイグニッション・ロック内のコントロール・ユニットに変更されました。このコントロール・ユニットは、けん引のときを除いて常時イグニッション・ロックに差し込んでおいてください。

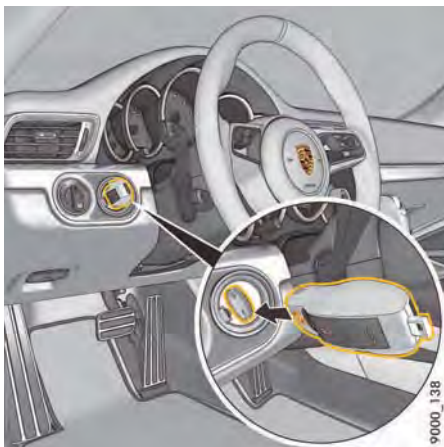


図34: イグニッション・ロックへのキーの差し込み

### i インフォメーション

キーを差し込んだまま放置するとバッテリーが消耗します。

バッテリー上がりの場合には、キー抜き取りの緊急操作を行った場合のみイグニッション・ロックからキーを抜き取ることができます：

▷ 「キー/コントロール・ユニットの緊急ロック解除」(78ページ)を参照してください。

イグニッション・ロックには3つのスイッチ位置があります。

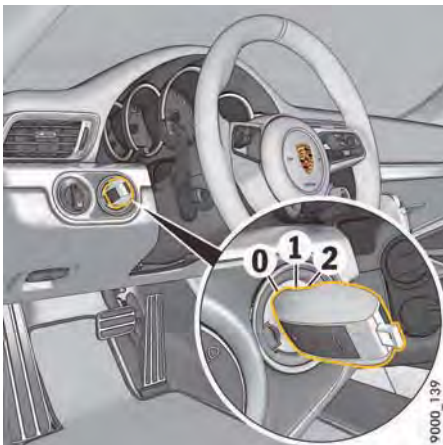


図35: イグニッション・ロックの位置

- 0 初期位置
- 1 イグニッション ON
- 2 エンジン始動

### 0-イグニッションOFF(初期位置)

イグニッション・ロックが位置0のときは、エンジンとイグニッションはOFFになっています。キーはこの位置で抜き取ることができます。

### 1-イグニッションON

すべての電装品が作動可能になります。インストルメント・パネルの警告灯が点灯し、ライトの作動を点検します。

### i インフォメーション

イグニッションをONにしてから10分以上電装品をONにしなかった場合、再度イグニッションをONにする必要があります。キーをロック位置0(初期位置)に回してください。

イグニッションを、またはエンジンを始動すると、キーが抜き取れなくなります。

### 2-エンジン始動

エンジンが始動すると、キーがロック位置2から1に自動的に戻ります。

### ステアリング・ホイールのロック/ロック解除

#### ポルシェ・エントリー&ドライブ非装備車

キーをイグニッション・ロックから抜き取ると、ステアリング・ホイールが自動的にロックされます。キーをイグニッション・ロックに差し込むと、ステアリング・ホイールが自動的にロック解除されます。

#### ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車

イグニッションをOFFにして運転席ドアを開いた場合、または車両をロックした場合は、ステアリング・ホイールが自動的にロックされます。



警報システムをキーで無効にした場合、ポルシェ・エントリー&ドライブで運転席ドアを開いた場合、またはイグニッションをONにした場合は、ステアリング・ホイールが自動的にロック解除されます。

## エンジンの始動

1. フット・ブレーキを踏んでください。
2. クラッチ・ペダルをいっぱい踏み込み、その位置で保持してください（マニュアル・トランスミッション装備車）。
3. ギヤ・レバーをニュートラルに、またはPDKセレクター・レバーを**P**または**N**の位置にしてください。
4. アクセル・ペダルは踏まないでください。エンジン・コントロール・ユニットが、エンジン始動に適切な燃料補正を行います。
5. キーまたはコントロール・ユニット（ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車）をロック位置**2**に回してください。エンジン・スターターを約10秒以上連続して作動させないでください。

イグニッション・ロック位置**2**（エンジン始動）にすると、直ちにエンジン始動制御が実行され、エンジンが自動的に始動します。

- ▶ エンジンが始動しない場合は、10秒程度間をおいてから再度始動させてください。再始動する場合は、はじめにキーをロック位置**0**（初期位置）に戻してください。停車した状態での暖機運転は行わず、直ちに発進してください。ただしエンジンが通常の作動温度になるまでは、スロットル操作を控えめにし、エンジン回転数を上げすぎないように注意して運転してください。

## エンジンの停止

### ⚠ 警告

パワー・ステアリングおよびブレーキ・ブースターの作動が停止します。

パワー・ステアリングおよびブレーキ・ブースターは、エンジンが作動しているときのみ作動します。エンジンが停止しているときは、ステアリング・ホイールやブレーキ・ペダルの操作に強い力が必要になります。

- ▶ イグニッションをOFFにする前に、必ず車両を停車させてください。

1. 停車してください。
2. キーまたはコントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置**0**に回してください。
  - ▶ 降車時はキーを抜き取り、エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させ、PDK装備車の場合はセレクター・レバーを**P**位置に、マニュアル・トランスミッション装備車の場合はギヤ・レバーを1速またはリバースにしてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

## オート・スタート/ストップ機能

例えば信号待ちや渋滞などで停車した場合、エンジンを自動で停止するためのすべての条件が満たされると、オート・スタート/ストップ機能が作動してエンジンが自動停止します。車両が徐行中に停車した場合も、エンジンが自動的に停止することがあります。これにより、オート・スタート/ストップ機能は燃料の消費を節減します。

エンジンが自動停止した後もイグニッションがONの状態が維持され、すべての安全機能が作動可能な状態になっています。

### エンジン自動停止の条件

- ✓ オート・スタート/ストップ機能がONになっている
- ✓ トランク・リッドが閉じている
- ✓ エンジン、トランスミッション、エアコンが作動温度に達している
- ✓ 前回エンジンが自動停止してから、車両が徐行運転した
- ✓ **PDK装備車**: ブレーキ・ペダルを踏んでいるセレクター・レバーがD、NまたはPの位置にある、または1速または2速ギヤを手動で選択している
- ▶ **マニュアル・トランスミッション装備車**: シートベルトを着用し、運転席ドアが閉じられている  
シフト・レバーがニュートラルで、クラッチ・ペダルを踏んでいない

## マニュアル・トランスミッション装備車: エンジンの自動停止および自動始動

### 自動停止

1. ブレーキ・ペダルを踏んで停車してください。
2. シフト・レバーをニュートラルにしてください。
3. クラッチ・ペダルから足を放してください。エンジンが停止します。

### 自動始動

- ✓ シートベルトを着用する
- ✓ 運転席ドアを閉じている
- ▶ クラッチ・ペダルを踏んでください。エンジンが始動した後は通常の運転操作で発進できます。

### **i** インフォメーション

坂道などで車両が動き始めたときや、エアコンで乗員の快適性を確保するためなど、特定の条件でエンジンが自動的に始動します。

## PDK装備車: エンジンの自動停止および自動始動

### 自動停止

1. ブレーキ・ペダルを踏んで停車してください。
2. ブレーキ・ペダルを踏み続けてください。  
または  
停車中にセレクター・レバーをPの位置に動かしてください。

### **i** インフォメーション

停車中にブレーキ・ペダルを素早くいっぱいまで踏み込むと、HOLD機能が作動します。この機能は、ブレーキ・ペダルを踏まなくても車両を停止した状態に維持します。

- ▶ [HOLD機能: 発進アシスタント、停止制御] (324ページ) を参照してください。

エンジンはアクセル・ペダルを踏む、またはエンジンを始動する必要が生じたときに自動的に始動します。

### **i** インフォメーション

アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) がONの場合、前走車が停車すると車両は走行を停止し、エンジンが自動的に停止します。

車両はHOLD機能によって停止状態に維持されます。

### 自動始動

- ✓ PDKセレクター・レバーがP、DまたはNの位置にある、あるいは1速または2速ギヤを手動で選択している
- ▶ ブレーキ・ペダルを放してください (セレクター・レバーがPの位置にない)。  
または  
アクセル・ペダルを踏み込んでください。  
または  
ステアリング・ホイールを動かしてください。  
または  
PDKセレクター・レバーをRの位置にしてください。  
エンジンが始動した後は通常の運転操作で発進できます。

**i** インフォメーション

坂道などで車両が動き始めたときや、エアコンで乗員の快適性を確保するためなど、特定の条件でエンジンが自動的に始動します。

**i** インフォメーション

アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) の作動中は、前走車が発進するとエンジンが自動的に始動します。

**降車後の作動 (セレクター・レバーがPの位置にあるとき)**

エンジンが自動停止した後、PDKセレクター・レバーをP位置にして、ガレージ・ドアを開くためなどの理由で車両から降車しようとした場合 (運転席ドアが開いていて、ブレーキ・ペダルが踏まれていない場合) には、エンジンは自動的に始動しません。

ドライバーが30秒以内に車両に戻り、運転席ドアを閉じてブレーキを踏むと、オート・スタート/ストップ機能が再開します。

上記の条件のいずれかが満たされなかった場合、エンジンは**手動**で始動する必要があります。エンジンを手動で始動することを示すメッセージが、マルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」 (86ページ) を参照してください。

**降車後の作動 (セレクター・レバーが、DまたはNの位置にあるとき)**

エンジンが自動停止した後、PDKセレクター・レバーをD、MまたはNの位置にして降車しようとした場合 (運転席ドアが開いていて、ブレーキ・ペダルが踏まれていない場合) には、

エンジンが自動的に始動し、オート・スタート/ストップ機能がまだ作動中であることをドライバーに知らせます。

セレクター・レバーがDまたはMの位置にある場合、エレクトリック・パーキング・ブレーキも作動します。

Ⓟ ボタンのインジケーター・ライトとブレーキ警告灯 (Ⓛ) が点灯します。

▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」 (86ページ) を参照してください。

**オート・スタート/ストップ機能の例外**

例えば次のような状況では、オート・スタート/ストップ機能は使用できません。

- スポーツ/スポーツ・プラス・モードが作動しているとき
- PSMまたはPSMスポーツ・モードがOFFのとき
- クリーピング時
- 「フロント・アクスル・リフト」の操作中
- AC MAXモード (最大冷却出力) の作動中
- 「フロント・デフロスター」が作動しているとき
- 標高が高いとき

例えば次のような状況では、オート・スタート/ストップ機能が一時的に制限されます。

- エアコンやヒーターを高負荷で作動させているとき
- バッテリーの充電状態が低いとき
- 上り坂や下り坂
- オート・エンジン・チェック機能など車両が初期点検を実行しているとき
- 外気温度やバッテリー温度が非常に低いかまたは高いとき
- 渋滞中で短時間の停車を繰り返すとき (国別仕様により異なる)

**i** インフォメーション

エンジンが自動停止した後、上記のいずれかの条件が満たされると、エンジンが自動的に再始動します。

**オート・スタート/ストップ機能のON/OFF**

図36: オート・スタート/ストップ・ボタン

**OFFにする**

- ▶ Ⓐ ボタンを押してください。  
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。  
オート・スタート/ストップ機能が停止します。

**ONにする**

- ▶ Ⓐ ボタンを押してください。  
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。  
停車すると、エンジンが自動的に停止します。

あ

## オート・スタート/ストップ機能の表示

か



エンジンの自動停止および再始動の準備

オート・スタート/ストップ機能でエンジンが自動停止した場合、マルチファンクション・ディスプレイのインジケーター・ライトが緑色に点灯します。

な



エンジンが自動停止しない、または再始動可能な状態になっていない

オート・スタート/ストップ機能が利用できない、またはエンジンが自動停止した後に再始動しない場合は、停車中にマルチファンクション・ディスプレイのインジケーター・ライトが黄色に点灯します。

は

ま

や

ら

わ

A-Z

以下の原因によります：

- エンジンを自動停止するための条件のいずれか1つが満たされていない。  
または
- オート・スタート/ストップ機能の例外条件が、少なくとも1つ以上満たされている。
- ▷ 「エンジン自動停止の条件」(64ページ)を参照してください。
- ▷ 「オート・スタート/ストップ機能の例外」(65ページ)を参照してください。

### 故障の表示

故障したときは、オート・スタート/ストップ機能が解除されたことを示すメッセージがマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## お手入れ

## 警告

ブレーキ・ディスクの水膜

洗車後は、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があります。

- ▶ 洗車後は、ブレーキとステアリングの作動を点検してください。
- ▶ ブレーキを乾燥させるため、後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。

## i インフォメーション

適切な方法で定期的に車両のお手入れを行うことは、車両の価値を長持ちさせるだけでなく、保証を受ける際の有利な条件になります。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。

- ▶ カー・ケア用品の使用に際しては、パッケージ等に記載された注意事項を必ず守ってください。
- ▶ これらの製品は、お客様の手が届かない安全な場所に保管してください
- ▶ 不要になった製品は、適切な方法で廃棄してください。

車両の状態ををしっかりと点検し、保証期間を最大限有効にするためには：ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店は状態レポートを用意し、小冊子「保証およびメンテナンス」の「長期保証状態レポート」にある車両のお手入れレベルを確認します。

## 知識

高圧洗浄機およびスチーム・クリーナーを使用すると、以下の構成部品に損傷を与える恐れがあります：

- コンパチブル・トップ
- コンパチブル・トップ・エレメント(タルガ)
- タイヤ
- ロゴ、エンブレム
- 塗装面
- デコラティブ・フィルム
- オルタネーター
- エンジン・コンパートメント内の電装部品とコネクタ
- パーキング・アシスタント・センサー
- アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) 用レーダー・センサー
- リバース・カメラ
- ▶ 各装置に付属の取扱説明書をよくお読みください。
- ▶ デコラティブ・フィルムを洗浄するときは、高圧洗浄機またはスチーム・クリーナーを使用しないでください。
- ▶ フラット・ジェット・ノズルやダート・ブラスターなどで洗車するときは、50cm以上離れた距離で使用してください。
- ▶ 高圧洗浄機またはスチーム・クリーナーと丸型ジェット・ノズルを組み合わせて使用しないでください。高圧洗浄機またはスチーム・クリーナーと丸型ジェット・ノズルを組み合わせて使用すると、車両が損傷の原因になります。特にタイヤは損傷しやすいため、丸型ジェット・ノズルで洗浄しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機を使用するときは、これらのコンポーネントにジェット・ノズルを直接向けしないでください。

## 知識

ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車を清掃する場合、ラゲッジ・コンパートメント・リッドが不意に開き、ラゲッジ・コンパートメント内に水が侵入する場合があります。

- ▶ 車両を清掃するときは、キーをラゲッジ・コンパートメント・リッド・センサーの範囲外に置いてください。

## ドア・ロックの保護

正しいお手入れのために以下のことを守ってください：

- ▶ ロック・シリンダーを無理に操作するなど、過大な力をかけないでください。
- ▶ ドア・ロックが凍結した場合は、市販の解凍剤を使用できます。

## 車両の洗浄

車両の外観を美しく保つには、日頃のお手入れが大切です。こまめに洗車し、ワックスで保護してください。解氷剤(塩分)、砂塵、ばい煙、昆虫の死骸、鳥の糞、樹液や花粉などは、車両に付着してからの時間が長くなるほど塗装に悪影響を与えます。

車両の塗装面に損傷を与えることなく洗車するために、次の点に注意してください：

- ▶ 車両下部は汚れが激しいため、少なくとも季節の変わり目には洗車して汚れを落としてください。
- ▶ ばい煙、油脂類、オイル、および重金属などが適切に処理できる場所でのみ洗車を行ってください。
- ▶ 直射日光の下や、塗装面の温度が高いときは洗車しないでください。
- ▶ 手洗いを行うときは、柔らかいスポンジ、洗車用ブラシ、カー・シャンプーを使用して多量の水で洗ってください。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z



あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

- ▶ 洗車を開始するときは、はじめに車両にたっぷり水をかけ、表面の主な汚れを洗い流してください。
- ▶ 洗剤を使った後は、水で十分にすすぎ、セームで拭き取ってください。ウィンドウには、ボディを洗ったときと同じセームを使用しないでください。

## 自動洗車機

### 知識

自動洗車機によっては、取り付けられたオプション部品やボディ表面から突出しているパーツが損傷する恐れがあります。

- ▶ 自動洗車機を使用する前に、洗車スタッフに確認してください。

以下の表を参考にし、車両を安全かつ慎重に洗車してください：

危険	守るべきこと
コンバーチブル・トップの素材への損傷(カプリオレ/タルガ)	▶ コンバーチブル・トップ部にホット・ワックス処理をしないでください。
洗車中、不意のワイパー作動による損傷	▶ フロント/リヤ・ウィンドウのワイパーをOFFにしてください。 ▶ 洗車機での洗車中はヘッドライト・ウォッシャーを操作しないでください。

危険	守るべきこと
外装部品への損傷	▶ ドア・ミラーを格納してください。 ▶ ルーフ・トランスポート・システムを完全に取り外してください。 ▶ 展開したスポイラーを格納してください。 ▶ 外部アンテナは取り外してください。
ホイールへの損傷	▶ 洗車機のガイド・レールの寸法をよく確認してください。 タイヤのリム径が大きく高さが低くなるに従い、損傷のリスクも大きくなります。 ▶ 洗車機のホイール用洗車ブラシを使用しないでください。
ハイグロスまたはシルクグロス・ホイールへの傷	▶ 洗車機のホイール用洗車ブラシを使用しないでください。

## コンバーチブル・トップ (カプリオレ) およびコンバーチブル・トップ・エレメント (タルガ) の清掃

### 知識

高圧洗車機の洗浄ジェット、またはホット・ワックス処理を行うと、コンバーチブル・トップおよびコンバーチブル・トップ・エレメントを損傷する恐れがあります。

- ▶ 高圧洗車機をコンバーチブル・トップおよびコンバーチブル・トップ・エレメントの洗浄に使用しないでください。
- ▶ コンバーチブル・トップ部にホット・ワックス処理をしないでください。

正しいお手入れと洗浄のために以下のことを守ってください：

- ▶ コンバーチブル・トップおよびコンバーチブル・トップ・エレメントは車両を洗車する度に毎回洗う必要はありません。通常は、清潔な水でコンバーチブル・トップ/コンバーチブル・トップ・エレメントを洗うのみで十分です。
- ▶ 雪や氷を縁の鋭いもので取り除かないでください。
- ▶ 毛の柔らかいブラシを使用して、織目に沿ってブラッシングしコンバーチブル・トップのほこりを取り除いてください。
- ▶ 汚れが頑固な場合にのみ、シャンプー&コンバーチブル・トップ・クリーナーを混ぜたぬるま湯で洗浄し、スポンジか柔らかいブラシで軽く擦ってください。
- ▶ その後きれいな水でシャンプー&コンバーチブル・トップ・クリーナーを残さず洗い流してください。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。
- ▶ 洗車後、少なくとも年に1度はコンバーチブル・トップ・ケア製品を使用してコンバーチブル・トップ・カバーのお手入れを行ってください。コンバーチブル・トップ用の

ケア用品が塗装面やガラスに付着しないよう注意してください。塗装に付着した場合はすぐに取り除いてください。

- ▶ コンバーチブル・トップ・カバー本体または縫い目や折り目から漏れが生じた場合は、コンバーチブル・トップ専用ケア用品を使用してください。容器に記載されている指示に従ってください。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。
- ▶ 鳥の糞は直ちに除去してください。糞に含まれる酸はゴム部品を膨張させ、コンバーチブル・トップおよびコンバーチブル・トップ・エレメントに水漏れを起こす原因になります。
- ▶ コンバーチブル・トップ/コンバーチブル・トップ・エレメントは必ず天候が良いときのみ開いてください。湿気による染みや擦り傷が付いて、取れなくなる恐れがあります。
- ▶ コンバーチブル・トップ・カバーから染みを落とす際は、柔らかいラバー・スポンジで慎重に擦って除去してください。

## 塗装面のお手入れ

### 知識

塗装面に付着した汚れの粒子は、適切にお手入れをしないと塗装に損傷を与える場合があります。

- ▶ 乾いた布でほこりを拭きとらないでください。

### 知識

適切にお手入れを行わないと構成部品の艶消し効果が失われる場合があります。

- ▶ 艶消し仕上げの部品にワックスや光沢剤を使用しないでください。

## 塗装面の保護

塗装面は経年変化により光沢が失われていくため、洗車後は塗装保護剤等で定期的に保護する必要があります。この作業により塗装の光沢

と強度を保つことができます。また、塗装面に新しい汚れが付着しにくくなり、ばい煙が浸透しにくくなります。

## 塗装面の艶出し

通常のワックスでは塗装の艶が戻らないときのみ、光沢剤を使用してください。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。

## 汚れ、染みの除去

タール、グリース、昆虫の死骸などはインセクト・リムーバーなどを使用して速やかに取り除き、その後丁寧にそのエリアを洗います。放置すると、時間とともに塗装の色褪せの原因となります。

## 小さな傷の補修

- ▶ 亀裂、引っかき傷、飛び石による塗装面の小さな傷は、ボディの腐食が進行する前に修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ボディが腐食したときは、はじめに錆を完全に除去してください。錆を取り除いたら、その箇所にプライマー（防錆剤）を塗布してから、上塗り塗装を施してください。

ペイント・データは車両のデータ・バンクに表示されています。

- ▶ 329ページの車両の識別データの章を参照してください。

## ウィンドウの清掃

- ▶ 321ページのワイパー・ブレードの章を参照してください。

## i インフォメーション

フロント・サイド・ウィンドウには、ガラスの汚れを抑制する（疎水性の）撥水剤がコーティングされています。このコーティングは経年変化で徐々に劣化します。また新たにコーティングすることもできます。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

正しい清掃のために以下のことを守ってください。

- ▶ 定期的にウィンドウ・クリーナーを使用して、ウィンドウの内側と外側を清掃してください。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。
- ボディを拭き取ったセームで乾いたウィンドウを拭かないでください。ワックスや光沢剤がウィンドウに付着し、視界が悪くなる恐れがあります。
- ▶ 昆虫の死骸は、ポルシェ推奨のインセクト・リムーバーで取り除いてください。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。

## アンダーコーティングの補修

### ▲ 警告

エキゾースト・システム付近の可燃物

エキゾースト・システム部に防錆剤やアンダー・コーティング剤を塗布すると、運転中に過熱して引火する恐れがあります。

- ▶ エキゾースト・マニホールド、エキゾースト・パイプ、触媒コンバーター、ヒート・シールド、およびその周囲には、アンダー・コーティング剤や防錆剤を塗布しないでください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

車両下部は、化学的および物理的なダメージに耐えるよう保護されています。しかし、走行中に保護コーティングが損傷することは避けられません。

- ポルシェ正規販売店で定期的に車両下部の点検を受け、必要に応じて保護コーティングを修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。

## デコラティブ・フィルムの清掃

### 知識

清掃中にデコラティブ・フィルムが剥がれ損傷する恐れがあります。

- ▶ ポリッシュやホット・ワックスを使用しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機やスチーム・クリーナーを使用しないでください。
- ▶ 柔らかいスポンジ、中性洗剤、および多めの水を使用してください。

## ヘッドライト、ライト類、プラスチック製部品と表面、アダプティブ・クルーズ・コントロール用レーダー・センサーおよび車両カメラの清掃

### 知識

洗剤がコントローラまたはスイッチに侵入し、損傷させる恐れがあります。不適切な洗剤を使用するとプラスチック面に損傷を与える場合があります。

- ▶ 車内のプラスチック製部品に直接水や室内用ウィンドウ・クリーナーをスプレーしないでください。
- ▶ ヘッドライト、ライト類、プラスチック製部品とその表面、アダプティブ・クルーズ・コントロール用センサー、および車両カメラの清掃には、きれいな水と、少量の中性洗剤または室内用ウィンドウ・クリーナーのみを使用してください。このとき、柔らかいスポンジまたは柔らかい不織布を使用してください。
- ▶ 他の化学成分が入ったクリーナーや溶剤を使用しないでください。

## ホイールのお手入れ

### 警告

クリーナーなどの溶剤によるブレーキ・ディスク上の膜の発生

ブレーキ・ディスクにクリーナー（リム・クリーナーなど）が付着した場合、ブレーキ・ディスクに膜ができて制動力が低下する恐れがあります。

- ▶ ブレーキ・ディスクにホイール・クリーナーなどの溶剤が付着しないようにしてください。
- ▶ ブレーキ・ディスクにホイール・クリーナーなどの溶剤が付着した場合、高圧洗浄機などで完全に洗い流してください。
- ▶ 周囲の交通状況に注意してブレーキを作動させ、ブレーキ・ディスクを乾かしてください。

軽合金製ホイールの表面に付着した金属の微粒子（ブレーキ・ダストに含まれる黄銅や銅など）は長期間放置しないでください。金属同士の接触による腐食が発生し、小さな穴（ピッチング）が生じます。

塗装の被膜を破壊するような光沢剤やpH値が不適切なクリーナー、研磨機具、研磨剤などは使用しないでください。

- ▶ ポルシェ指定軽合金製ホイール・クリーナー（pH値9.5）をご使用ください。pH値の不正な製品を使用すると、ホイールの表面を損傷する場合があります。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。
- ▶ 可能であれば、2週間ごとにスポンジまたは洗車ブラシを使用してホイールを洗浄してください。冬季に凍結防止剤がまかれる地域や、ばい煙が多い地域では、毎週洗浄するようにしてください。
- ▶ 68ページの自動洗車機の章を参照してください。

## ステンレス・スチール・テールパイプのお手入れ

ステンレス製テール・パイプは、ほこり、高温の熱、排気ガスの残留物で変色することがあります。

- ▶ 市販の金属光沢ワックスまたは金属用ポリッシュを使用することによって新車時の光沢を取り戻すことができます。

## ドア、ルーフ、リッドとウィンドウ・シールの清掃

### 知識

インナー・ドア・シールをコーティングしている潤滑剤は、不適切な清掃や洗剤の使用によりダメージを受けることがあります。

- ▶ 合成洗剤や溶剤を使用しないでください。
- ▶ 防錆剤を使用しないでください。

正しい清掃のために以下のことを守ってください。

- ▶ シールの汚れ（傷、汚れ、凍結防止剤、砂塵など）は、温かい石鹼水で定期的に洗浄してください。
- ▶ 凍結する恐れがある場合は、適切なカー・ケア用品でアウター・ドア・シール、リッドやフラップのシールを保護してください。

## 革製品のお手入れ

### 知識

不適切なクリーナーやケア製品を使用したり、不適切な処理を行なうと革製品を痛める場合があります。

- ▶ 刺激性の強い洗剤や、硬い清掃用品を使用しないでください。
- ▶ 表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないように注意してください。
- ▶ 革製品に付着した水滴は直ちに取り除いてください。

正しいお手入れと清掃のために以下のことを守ってください：

- ▶ 無色の柔らかい毛織物または市販のマイクロ・ファイバー布を湿らせて、表面の細かい汚れを拭き取り、すべてのタイプの本革を定期的にお手入れしてください。
- ▶ 汚れがひどいときは（水などによる染み以外）レザー・クリーナーで取り除いてください。容器にある使用上の注意を確認してください。ポルシェ社では、Porsche Equipment 製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。
- ▶ 清掃後は、本革専用のケア剤でお手入れしてください。ポルシェ社では、Porsche Equipment 製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。

### シート・ベンチレーション付きシートの清掃

雨水や湿気により、表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革シートに染みが付く可能性があります。

#### 水染み/湿気による染みを取り除く

- ✓ シート・ヒーターとシート・ベンチレーションをOFFにする
- ✓ 直射日光を避ける

1. 清潔な吸水性スポンジと蒸留水を使用して、シート・クッションまたはバックレストの表面全体を拭き取ってください。表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないように注意してください。
2. シート・カバーは直射日光を避けて室温で完全に乾かしてください。シート・カバーを乾かす際、シート・ヒーターやシート・ベンチレーションをONにしないでください。
3. 乾いた後、シート・カバーを乾燥した不織布で拭いてください。

## カーペット、フロア・マットの清掃

### ▲ 警告

ペダル操作の妨げ

不適切なフロア・マットや正しく固定されていないフロア・マットはペダルの可動域を制限したり、ペダル操作を妨げたりする可能性があります。

- ▶ フロア・カーペットの上に敷くみのマットを使用しないでください。

正しい清掃のために以下のことを守ってください。

- ▶ 掃除機か、中程度の硬さのブラシで清掃してください。
- ▶ ひどい汚れや染みは、染み抜き剤で除去してください。ポルシェ社では、Porsche Equipment 製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。

フロア・カーペットの汚れや傷付きを防ぐため、この車両に適したサイズの固定具付きフロア・マットをカー・アクセサリとして用意しています。

## エアバッグ・カバーの清掃



危険

不適切な清掃

エアバッグの周りを不適切な方法で清掃すると、エアバッグ・システムが故障する危険があります。事故が起きた場合にエアバッグ・システムが作動しない危険があります。

- ▶ ステアリング・ホイールのパッド、インストルメント・パネル、フロント・シート、ドア・パネルなどの部品を改造しないでください。
- ▶ これらの部品を清掃するにはポルシェ正規販売店にご相談ください。

## 内張りの清掃

ピラー、ヘッドライナー、サンバイザーなどのファブリック・ライニングは、素材に適した洗剤やドライ・フォームと柔らかいブラシを使用して清掃してください。

## Alcantara®のお手入れ

Alcantara®の清掃に、本革用のカー・ケア用品を使用しないでください。日常のお手入れとしては、表面を柔らかいブラシで拭けば十分です。研磨材を使用したり、強く擦ったりすると、Alcantara®の表面が傷むので注意してください。

- ▶ 軽い汚れは、柔らかい布を水または中性の石鹼水で濡らして、汚れを拭き取ってください。
- ▶ 汚れがひどい場合は、温めのお湯または薄めたクリーニング用溶剤で柔らかい布を濡らし、外側から汚れた部分を軽くたたいてください。

## シートベルトの清掃

正しい清掃のために以下のことを守ってください。

- ▶ ベルトの汚れには中性洗剤を使用してください。
- ▶ シートベルトを乾燥させるときは、直射日光を避けてください。
- ▶ 適切な洗剤のみを使用してください。
- ▶ シートベルトを染色および脱色しないでください。シートベルト素材の強度が低下し、安全性が損なわれます。

## PCMの清掃

### 知識

不適切なクリーナーやケア製品を使用したり、不適切な処理を行なうとPCMを損傷する場合があります。

- ▶ PCMの清掃に変性アルコール、シンナー、ガソリン、アセトン、アルコール類（エタノール、メタノール、またはイソプロピルアルコール）などの溶剤、または研磨剤などを使用しないでください。
- ▶ PCMに直接クリーナーや他の液体を吹きかけないでください。水が侵入するとPCMが損傷する原因になります。代わりに布を湿らして慎重に画面を拭いてください。

正しい清掃のために以下のことを守ってください：

- ▶ 画面は傷が付きやすくなっています。時々、清潔で柔らかい乾いた布（マイクロファイバー・クロス）やクリーニング用ブラシで慎重にPCMを清掃してください。清掃の際、表面に大きな力を加えないでください。
- ▶ 指紋は少し湿らせた布や刺激性の少ない洗浄剤で取り除いてください。

## 車両の保管

車両を長期保管する場合ポルシェ正規販売店にご相談ください。腐食保護対策、お手入れとメンテナンス、および保管に関する情報およびアドバイスを提供いたします。

- ▶ 220 ページのバッテリーの章を参照してください。

バッテリーを切り離れた状態で車両をロックする場合はインフォメーション：

- ▶ 156ページの緊急ドア・ロックの章を参照してください。



## カップ・ホルダー

### カップ・ホルダーを使用する

グローブ・ボックス上側のパネル後部に折り畳み式カップ・ホルダーが2個装備されています。

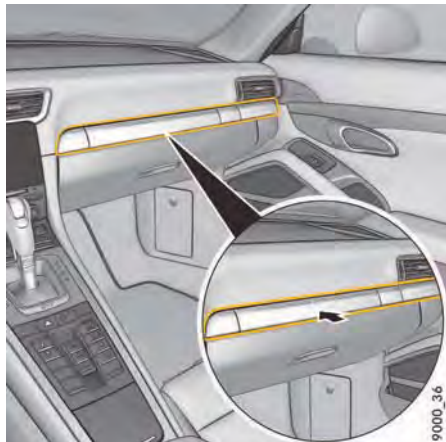


図37: カップ・ホルダー

#### ▲ 注意

熱い飲み物がこぼれる恐れ

熱い飲み物がこぼれるて火傷をする恐れがあります。

- ▶ カップ・ホルダーに収まる容器のみを使用してください。
- ▶ 中身がいっぱいに満たされた容器をカップ・ホルダーに置かないでください。
- ▶ 熱い飲み物が入った容器には適していません。
- ▶ 運転中はカップ・ホルダーを収納しておいてください。

#### 知識

飲み物がこぼれて車両を損傷する恐れがあります。

- ▶ カップ・ホルダーに収まる容器のみを使用してください。
- ▶ 中身がいっぱいに満たされた容器をカップ・ホルダーに置かないでください。

### カップ・ホルダーの引き出し



図38: カップ・ホルダーの引き出し

1. カップ・ホルダー・パネルを押してください(図37)。パネルが開きます。
2. 左右どちらかのカップ・ホルダーのマークを押してください。カップ・ホルダーが開きます。
3. パネルの中央を開けて、カップホルダーを固定してください。

### カップ・ホルダーを引き出す

カップ・ホルダーを引き出すと、大きな容器を置くこともできます。



図39: カップ・ホルダーを引き出す

1. ホルダーを引き出してください(図39)。
2. カップ/容器を入れてください。
3. 慎重にホルダーを押し込み、カップ/容器のサイズに合わせてください。

### カップ・ホルダーを折り畳む

1. カップ・ホルダーを押し込んでください。
2. 中央のパネルを開いてください。
3. カップ・ホルダーを折り畳み、はめ込んでください。
4. 中央のパネルを閉じてください。

## ガレージ・ドア・オープナー（ホームリンク®）\*

### 車両のガレージ・ドア・オープナーを使用する



図40: ホームリンク®システムのボタン

ホームリンク®システムは、様々なリモート・コントロール装置（ガレージ・ドア、自宅の門や警報システム、家のライトなど）を車内から作動させることができます。

ホームリンク®には最大3種類のリモート・コントロールを登録することができます。オーバーヘッド・コンソールの3つのメモリー・ボタンに、リモート・コントロール信号を割り当てることができます。プログラミングしたメモリー・ボタンを操作して、各装置を作動させることができます。

- ▶ 各種装置のリモート・コントロールの取扱説明書をよくお読みください。

### **i** インフォメーション

車両のホームリンク®システムと各種装置のリモート・コントロールの互換性に関するインフォメーション:

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。
- ▶ ウェブサイトwww.homelink.comにアクセスするか、ホームリンク®のフリーコール(0)800046 635 465または(0)8000 HOMELINKまでお問い合わせください。

### **▲** 警告

操作した機器による挟み込み、締め付けまたは圧迫

ガレージ・ドア・オープナー\*の使用時またはプログラミング時に、ガレージ・ドア・オープナー\*で操作する装置の可動範囲に人や動物がいたり、物があったりすると、事故につながる恐れがあります。

- ▶ ホームリンク®システムを操作またはプログラミングするときは、装置の可動範囲に人や動物がいないか、物がないか確認してください。
- ▶ 装置のリモート・コントロール取扱説明書の注意事項を遵守してください。

### **i** インフォメーション

- ▶ 車両を売却するときは、ガレージ・ドア・オープナーのプログラム信号を消去してください。

## ガレージ・ドア・オープナーの操作

- ✓ イグニッションがONのとき。
  - ✓ 車両を受信機の方向、かつ受信機のエリア内に向けて（信号は車両の進行方向前方に送信されます）
  - ▶ オーバーヘッド・コンソールの該当するホームリンク®ボタンを押したまま保持してください。
- 信号送信中は、ボタンII（図40）のインジケーター・ライトが点灯します。

## ガレージ・ドア・オープナーのプログラミング

ホームリンク®システムは、オーバーヘッド・コンソールと車両の前方付近でプログラミングをします。

- ✓ イグニッションがONのとき。
- ✓ 方向指示灯をOFFにする。
- ✓ エンジンOFFにする。
- ✓ 車両を受信機の方向、かつ受信機のエリア内に向けて（信号は車両の進行方向前方に送信されます）



図41: ガレージ・ドア・オープナーのプログラミング

\* 日本仕様に設定はありません。

## プログラミングした信号をボタンから消去する

この操作では、ホームリンク®のすべてのプログラミングを消去します。プログラミングしたボタンを個別に消去することはできません。

▶ ボタンに信号を追加登録するときは、この操作を行わないでください。

1. オーバーヘッド・コンソールのインジケーター・ライトAが素早く点滅し始めるまで、2つの外側ボタンIおよびIIIを約20秒間押し続けてください。
2. ボタンを放してください。  
ホームリンク®ボタンの割り当てが消去されます。ホームリンク®ボタンを再プログラミングすることができます。

## ガレージ・ドア・オープナー信号をボタンに登録する - 固定コード式システム

### オーバーヘッド・コンソール：

1. プログラミング作業を初めて実施する前に、新車出荷時に設定されている標準コードを消去しなければなりません。  
▶ 「プログラミングした信号をボタンから消去する」（75ページ）を参照してください。
2. オーバーヘッド・コンソールのインジケーター・ライトAがゆっくりと点滅し始めるまで、希望のボタンを押し続けてください。ボタンの登録作業は5分以内に完了しなければなりません（タイムアウト時間）。
3. プログラミングする装置のリモート・コントロールを持って車両の前方に立ってください。

\* 日本仕様には設定はありません。



図42: 装置のリモート・コントロールを車両前方で持つ車両の前方：

4. 受信部（図42）から約20cmの位置で、装置のリモート・コントロールを保持してください。車両の方向指示灯が3回点滅するまで、またはオーバーヘッド・コンソールのインジケーター・ライトAが素早く点滅し始めるまで、送信ボタンを押し続けてください（場合によっては約1分以上）。新しい信号のプログラミングが完了すると、車両の方向指示灯が3回点滅し、インジケーター・ライトAが素早く点滅します。車両と装置のリモート・コントロールの距離を変えて、数回実行しなければならない場合があります。  
システムによっては、装置のリモート・コントロールのインジケーター・ライトを消灯するときに、装置のリモート・コントロールの送信ボタンをもう1回押す必要があります。

5. 登録作業開始から5分が経過するとタイムアウトになり、方向指示灯が1回点滅します。手順2~4を繰り返してください。
6. その他のボタンにも信号を登録するには：手順2~4を繰り返してください。

## ガレージ・ドア・オープナー信号をボタンに登録する - 可変コード式システム

システムによっては、可変式コードもホームリンク®システムにプログラミングする必要があります。作業を2人で行うと、プログラミングが容易になります。

### 可変式コードの識別

- ▶ 以前プログラミングしたホームリンク®ボタンを押したまま保持してください。インジケーター・ライトAが素早く点滅し、約2秒後に常時点灯する場合、装置は可変コード式システムです。
- ▶ 同期に関するインフォメーションは、プログラミングするシステムの取扱説明書も参照してください。

## ガレージ・ドア・オープナー信号をボタンに登録する

### オーバーヘッド・コンソール：

1. プログラミング作業を初めて実施する前に、新車出荷時に設定されている標準コードを消去しなければなりません。  
▶ 「プログラミングした信号をボタンから消去する」（75ページ）を参照してください。
2. インジケーター・ライトAがゆっくりと点滅し始めるまで、オーバーヘッド・コンソールの希望のボタンを押し続けてください。ボタンの登録作業は5分以内に完了しなければなりません（タイムアウト時間）。
3. プログラミングする装置のリモート・コントロールを持って車両の前方に立ってください。

**車両の前方：**

4. 受信部（75ページ、図42）から約20cmの位置で、装置のリモート・コントロールを保持してください。車両の方向指示灯が3回点滅するまで、またはオーバーヘッド・コンソールのインジケーター・ライトAが素早く点滅し始めるまで、送信ボタンを押し続けてください（場合によっては約1分以上）。新しい信号のプログラミングが完了すると、車両の方向指示灯が3回点滅し、インジケーター・ライトAが素早く点滅します。車両と装置のリモート・コントロールの距離を変えて、数回実行しなければならない場合があります。システムによっては、装置のリモート・コントロールのインジケーター・ライトを消灯するときに、装置のリモート・コントロールの送信ボタンをもう1回押す必要があります。
5. 登録作業開始から5分が経過すると、方向指示灯が1回点滅します。手順2～4を繰り返してください。
6. その他のボタンにも信号を登録するには：手順2～4を繰り返してください。
7. ガレージ・ドア・オープナーのモーター・ユニットなど、プログラムする装置の受信機のプログラミング・ボタンの位置を特定してください。

**システムを同期する**

8. プログラムする装置の受信機のプログラミング・ボタンを押すか、別の人にボタンを押してもらってください。その後、約30秒以内（装置によって異なる）に次の手順に進んでください（通常、モーター・ユニットの設定インジケーターが点灯します）。

9. 手順2で選択したオーバーヘッド・コンソールのボタンを3回押してください（装置によっては、登録を完了するまでにボタンを数回押さなければならない場合があります。）
  - ▶ 上記の手順2～9を繰り返して、その他のボタンにも別の装置を登録してください。

プログラミングが完了した後、メモリー・ボタンを押すと速やかにホームリンク®信号を認識して起動することを確認してください。

**キーパッドの各ボタンへの再プログラミング**

ホームリンク®ボタンは、残りのボタンの登録を消去せずに個別に再プログラミングすることができます。

**オーバーヘッド・コンソール：**

1. インジケーター・ライトAがゆっくり点滅し始めるまで、オーバーヘッド・コンソールの希望のボタンを押し続けてください。ボタンの登録作業は5分以内に完了しなければなりません（タイムアウト時間）。
2. プログラムする装置のリモート・コントロールを持って車両の前方に立ってください。

**車両の前方：**

3. 受信部（75ページ、図42）から約20cmの位置で、装置のリモート・コントロールを保持してください。車両の方向指示灯が3回点滅するまで、またはオーバーヘッド・コンソールのインジケーター・ライトAが素早く点滅し始めるまで、送信ボタンを押し続けてください（場合によっては約1分以上）。新しい信号のプログラミングが完了すると、車両の方向指示灯が3回点滅し、インジケーター・ライトAが素早く点滅します。車両と装置のリモート・コントロールの距離を変えて、数回実行しなければならない場合があります。

システムによっては、装置のリモート・コントロールのインジケーター・ライトを消灯するときに、装置のリモート・コントロールの送信ボタンをもう1回押す必要があります。

4. 登録作業開始から5分が経過すると、方向指示灯が1回点滅します。手順2～4を繰り返してください。
5. その他のボタンにも信号を登録するには：手順2～4を繰り返してください。

**i インフォメーション**

本書の手順、および各装置のリモート・コントロール取扱説明書の記述に従って慎重に登録作業を行ってもボタンに信号を登録できない場合は：

- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。
- ▶ ガレージ・ドア・オープナー\*のリモート・コントロールに新品の電池が入っていることを確認してください。電池が弱っていると、信号の送信不良が生じることがあります。その結果、ガレージ・ドア・オープン機構が正しく認識できない誤ったコードが登録されます。

\* 日本仕様に設定はありません。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z



## キー キーを使用する場合



9000\_14

図43: キー

- A ロック解除
  - B ロックする
  - C トランク・リッドのロック解除
  - D カブリオレ：コンバーチブル・トップの開閉
- タルガ：ルーフ・システムの開閉

キーには常にエマージェンシー・キーが内蔵されています。これらのキーを使用して、車両のすべてのロックを操作できます。

- ▶ キーの取り扱いには細心の注意を払ってください。特別な状況を除いて、キーを放置しないでください。
- ▶ わずかな時間でも車両から離れるときは、キーを抜き取り、携帯してください。
- ▶ キーを車内に残さないでください。

## エマージェンシー・キーを使用する場合

エマージェンシー・キーを取り外す



9000\_233

図44: エマージェンシー・キーを取り外す

1. リリース・ボタンを横に押してください (図44)。
2. エマージェンシー・キーを抜き取ってください。

### エマージェンシー・キーを収納する

- ▶ リリース・ボタンのロック音が聞こえるまで、エマージェンシー・キーを押し込んでください。

## キーの電池交換

キーの電池が弱まり交換が必要になると、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

### **i** インフォメーション

- ▶ 電池の廃棄に関する指示を遵守してください。



9000\_232

図45: 電池の交換

### 電池の交換 (CR 2032、3V)

1. エマージェンシー・キーを取り出してください。
2. 適切な物 (エマージェンシー・キーなど) を使用して、キー・ハウジング背面のカバーを持ち上げてください。
3. 電池を交換してください (電極の向きに注意してください)。
4. カバーを元通りにして、しっかりとはめ合わせてください。
5. エマージェンシー・キーを元に戻してください。



## キー/コントロール・ユニットの緊急ロック解除

車両のバッテリーが上がった場合、キーを抜き取るには、緊急解除を行う必要があります。車両とキーの電波通信が混信したときや、キーのバッテリー残量が低下すると、ポルシェ・エントリー&ドライブが正常に機能しなくなります。このような場合、イグニッション・ロックからコントロール・ユニットを取り外し、キーで車両を始動することができます。

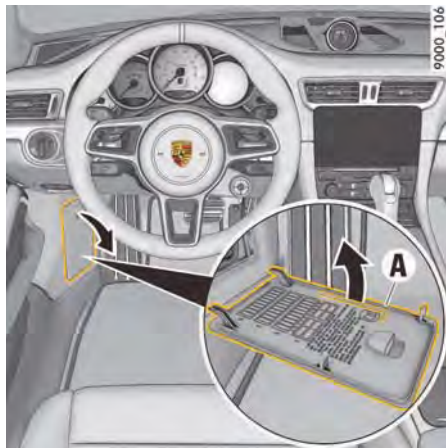


図46: メタル・フックの取り外し

1. 運転席側のヒューズ・ボックス・カバーのハンドルをつかみ、引いて取り外してください。
2. ヒューズ・ボックス・カバーの裏に収納してあるメタル・フックAを取り出してください。

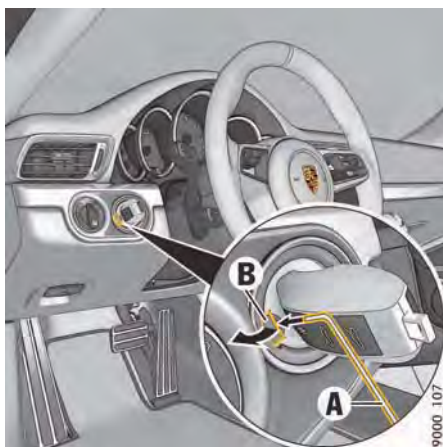


図47: イグニッション・ロックからのプラスチック・カバーの取り外し

3. メタル・フックAを使用して、イグニッション・ロックからプラスチック・カバーBを取り外してください。
4. 取り外したプラスチック・カバーBは紛失しないように十分注意してください。

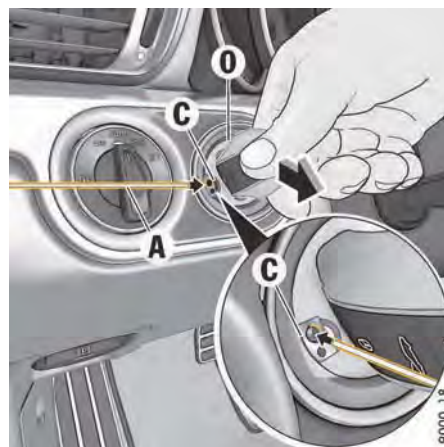


図48: 緊急ロック解除

5. コントロール・ユニット / キーをイグニッション・ロック位置O（初期位置）に回してください。
  6. メタル・フックAを開口部Cに押し込んでください。
  7. 初期位置Oでコントロール・ユニット/キーを取り外してください。
  8. プラスチック・カバーBを元の位置に取り付けてください。
- キー/コントロール・ユニットの解除音が聞こえます。

## スペア・キーの注文と登録

車両のスペア・キーは、ポルシェ正規販売店のみでお求めいただくことができます。新しいキーを注文してからお手元に届くまでには大変時間がかかる場合がございます。

- ▶ いつでもスペア・キーを使えるように、あらかじめご用意いただくことを推奨いたします。
- ▶ スペア・キーは安全な場所に保管し、決して車内や車両の近くには置かないでください。

新しいキーを車両に登録するには：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 車両のすべてのキーを再登録してください。

### **i** インフォメーション

最大で8本のキーを登録することができます。

### **i** インフォメーション

- ▶ キーを紛失した場合または盗難にあった場合は、ポルシェ正規販売店でこのキーを無効にし、必要に応じてメカニカル・ロックを交換してください。
- ▶ キーを紛失したり盗難にあったとき、またはスペア・キーを追加したり交換したときは、ご契約の損害保険会社に連絡してください。

## 給油

## ⚠ 警告

給油時の火災の危険

燃料は強燃性であり、燃焼または爆発が発生する恐れがあります。

- ▶ 燃料を取り扱うときは、火気や裸火を近づけたり、喫煙をしたりしないでください。

## ⚠ 警告

燃料蒸発ガスの吸引、および燃料の皮膚への付着

燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。


- ▶ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。

## i インフォメーション

場合により燃料に硫黄が多く含まれることがあります。このため、エンジンで燃焼する際に特定の運転条件下で不快な臭い（いわゆる腐った卵の匂い）が発生する可能性があります。ポルシェ社にはこの特性に対する責任はなく、車の故障を示すものではありません。

イグニッションをと、インストルメント・パネルに燃料の残量が表示されます。

- ▶ 「L - 燃料計」(46ページ)を参照してください。

タンク内の燃料残量が一定量(モデルによって異なる)を下回り、イグニッションがON、またはエンジンが作動している場合、マルチファンクション・ディスプレイの警告灯  が点灯します。

- ▶ 最寄りの給油所で給油してください。
- ▶ 「充填容量」(330ページ)を参照してください。

## 適切な燃料の選択

## 知識

不適切な燃料を使用するとエンジン、燃料系統、およびエキゾースト・システムを損傷する恐れがあります。

- ▶ 下記の仕様に準拠する燃料のみを使用してください。
- ▶ メタノールを含む燃料を使用しないでください。

エンジンは**金属系添加物を含まないオクタン価98 RON/88 MONの無鉛プレミアム・ガソリン**を使用した場合に最適に作動するように設計されています。この車両のエンジンはエタノール含有量10%以下の燃料の使用に対応しています。エタノール含有燃料を使用すると燃費が悪化することがあります。

**オクタン価95 RON/85 MON以上の金属系添加物を含まない無鉛ガソリン**を代用することができます。

## i インフォメーション

通常、燃料のオクタン価に関する情報は、ガソリン・スタンドの給油機に掲載されています。ガソリン・スタンドのスタッフからも情報が得られます。推奨燃料が入手困難な場合は、緊急措置として**オクタン価91 RON/82.5 MONの金属系添加物を含まない無鉛ガソリン**を使用することができます。ただし、この場合はエンジン出力が低下し、燃費が悪化することがあります。

- ▶ オクタン価が**91 RON/82.5 MON以上の金属系添加物を含まない無鉛ガソリン**を使用してください。
- ▶ オクタン価が**91 RON/82.5 MONの無鉛ガソリン**を使用した場合は、**フルスロットルで走行しないでください。**

## オクタン価の低い燃料と添加剤の使用

## 知識

ポルシェ社が承認していない添加剤を使用した場合、エンジン、燃料系統、エキゾースト・システムに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ ポルシェ社が承認した添加剤のみを使用してください。

地域によっては、燃料の析出挙動がポルシェ社の基準を満たしていないことがあります。ポルシェ社の基準を満たす燃料を入手できない場合は、推奨する添加剤を混ぜ合わせてください。詳しくはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ポルシェ部品番号：000 043 206 89

- ▶ 混合比率は、添加剤に付属の取扱説明書に従ってください。
- ▶ 定期点検時期（サービス・インターバル）、特にオイル交換時期を遵守してください。

## 燃料の給油

## 知識

デコラティブ・フィルムに燃料が付着すると、フィルムが色褪せる原因になります。

- ▶ デコラティブ・フィルムに燃料が付着したときは、直ちに拭き取ってください。

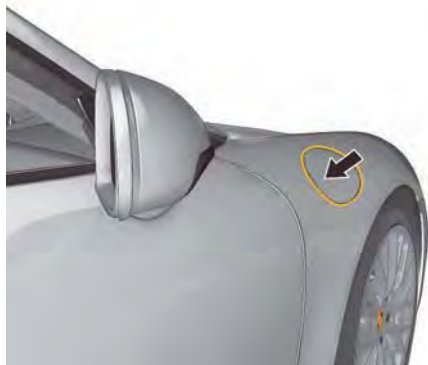


図49: フィラー・フラップを開く

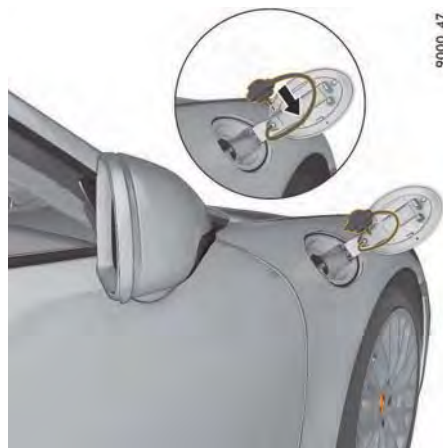


図50: タンク・キャップを開く

9000\_46

- ✓ エンジンを停止する
- ✓ イグニッションをOFFにする
- ✓ 車両をロック解除する

1. フィラー・フラップの後部 (図49) を押すと、フラップが開きます。

この車両に使用できる燃料の種類については、フィラー・フラップの裏のステッカーに明示されています。

2. タンクのキャップをゆっくり開いて取り外してください。

3. 取り外したキャップをホルダー (図50) にかけてください。

4. 給油ノズルは確実にフィラーの奥まで差し込み、注入時はノズルを下に向けて給油してください。

5. 給油ノズルを操作して、燃料を給油してください。給油ノズルが自動停止したら、それ以上給油を続けしないでください。無理に給油すると、タンクの燃料が吹き返したり、燃料が温まったときにあふれ出したりすることがあります。

▷ 「充填容量」(330ページ) を参照してください。

6. 給油後は直ちにキャップを取り付けて、ロック音と手ごたえを感じるまで、しっかりと締め込んでください。

7. フィラー・フラップを閉じてフィラー・フラップの後部 (矢印) を押し、しっかりと閉じてください。

### **i** インフォメーション

タンクのキャップを紛失したときは、必ずボルシェ純正部品を使用してください。

### フィラー・フラップの緊急操作

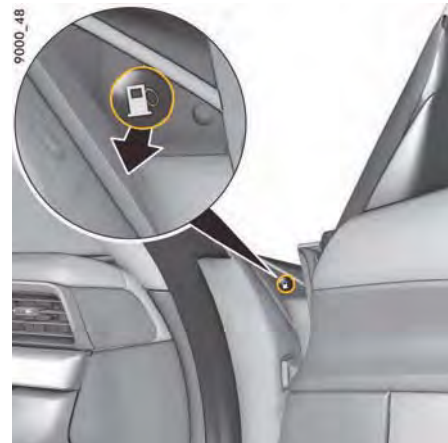


図51: 緊急時のフィラー・フラップの操作

フィラー・フラップの電動ロック解除機構が故障したときは、手でフィラー・フラップを開くことができます。

1. 右側ドアを開いてください。
2. 右側ドア開口部にあるボタン (図51) を引いてください。

フィラー・フラップが開きます。

## クーラント（冷却水）

### ▲ 警告

エンジン・コンパートメント・ブローアおよびエンジン周りの可動部品

エンジン・コンパートメント内で作業する場合、手、指、衣服の一部、ネックレス、または長い髪などが可動部品（エンジン・コンパートメント・ブローアまたはドライブ・ベルトなど）に引き込まれる恐れがあります。エンジン・コンパートメント・ブローアはエンジン・コンパートメント・リッドの下に取り付けられています。エンジンをOFFにしてから約30分間はエンジン・コンパートメント内の温度が監視されます。この間は、温度に応じてエンジン・コンパートメント・ブローアが作動し続けたり、作動し始めたりすることがあります。

- ▶ この付近で作業する場合は、エンジンをOFFにして身体の一部、衣服の一部、または装飾類がラジエーター・ファン、エンジン・コンパートメント・ブローア、ドライブ・ベルト、またはその他の可動部品に引き込まれないよう十分に注意してください。

### 知識

警告シンボルが表示された後も走行を続けると、エンジンを損傷する恐れがあります。



- ▶ 車両を停車してください。
- ▶ クーラント・レベルが適正でも警告が表示され続けるときは、運転を続けしないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。

エンジン・クーラントには年間を通じた腐食防止と、-37°Cまでの凍結防止の働きがあります。クーラント・レベルを定期的に点検することは、メンテナンスの一部です。

- ▶ ポルシェ社が認証した凍結防止剤のみを使用してください。

ポルシェ社では、Glysantin® G40®またはG12+®/VW TL 774-Gに準拠した同等の不凍液の使用を推奨いたします。

## 警告シンボルへの対応

冷却水温度が高温になりすぎると、マルチファンクション・ディスプレイにシンボル  が表示されます。シンボル  が表示された場合は、クーラント・レベルが低くなりすぎています。

- ▶ エンジンをOFFにして冷やしてください。
- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（86ページ）を参照してください。

## クーラント・レベルの点検と補充

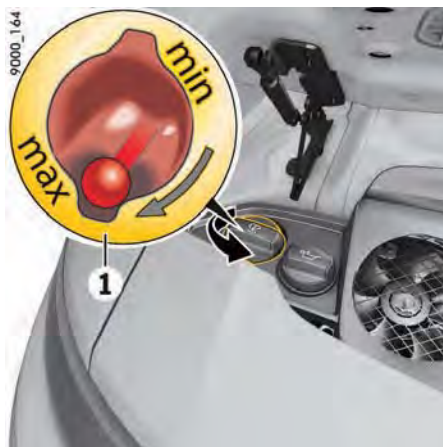


図52: クーラント・リザーバー・タンクの赤色のインジケター

### ▲ 警告

高温のエンジン部品やクーラント

エンジン作動中は、エンジンと周辺の部品、エキゾースト・システム、クーラントなどが非常に熱くなっています。

クーラント・タンクには圧力がかかっています。クーラント・タンクを不用意に開くと、熱いクーラントが突然吹き出す恐れがあります。

- ▶ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾースト・システムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- ▶ エンジン・コンパートメント内の作業を行う前に、エンジンをOFFにし、十分に冷やしてください。
- ▶ エンジン・コンパートメント内で作業するときは十分注意してください。
- ▶ クーラントの補充はエンジンを停止し、イグニッションをOFFにしてから行ってください。
- ▶ エンジンが熱いときは、クーラント・リザーバー・タンクのキャップを**開かない**でください。水温計の表示が60°Cを下回るまで待ってください。
- ▶ 「E - 水温計」（45ページ）を参照してください。

1. 慎重にクーラント・リザーバー・タンクのキャップを開き、内部の圧力を逃がしてください。
2. 圧力が完全に抜けてから、キャップを完全に取り外してください。
3. クーラント・レベルを読み取ってください。水平な場所に停車し、エンジンが冷えているときに、赤色の表示1がMINマークとMAXマークの間になければなりません。



4. 必要に応じてクーラントを補充してください。不凍液と蒸留水を同量混ぜ合わせた物のみを補充してください。赤色の表示がMAXマークに到達したときが上限です。MAXマークを超えないようにしてください。
5. リザーバー・タンクのキャップがしっかりとロックするまでねじ込んでください。
6. 冷却システムを点検してください。  
ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### **i** インフォメーション

緊急で水のみを補充した場合は、速やかに不凍液の混合比率を修正してください。

クーラントの減りが著しい場合は、冷却システムに漏れが発生しています。

- ▶ 早急に修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## クルーズ・コントロール

クルーズ・コントロールを使用すると、約30～240km/hの範囲でアクセル・ペダルを踏まなくても希望する速度を維持したまま走行できます。クルーズ・コントロールは、ステアリング・コラム左下にあるレバーで操作します。

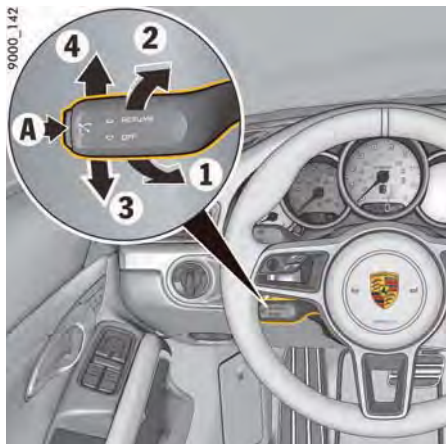


図53: クルーズ・コントロール操作レバー

- A クルーズ・コントロールの ON/OFF
- 1 設定 / 希望する速度を上げる
  - 2 設定速度を下げる
  - 3 クルーズ・コントロールの中断 (OFF)
  - 4 保存した速度の再開 (RESUME)

### **i** インフォメーション

アクティブ・ブレーキ機能は、特に下り坂などで設定速度を維持するため、自動的に作動します。

### **▲** 警告

危険な交通状況や路面状態が悪い状況での走行

交通状況により十分な距離と一定の速度での走行に適さない場合、クルーズ・コントロールの使用が事故の原因となる場合があります。

- ▶ 激しい渋滞、カーブの多い道、路面状態が悪い場合（冬場の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面など）でクルーズ・コントロールを使用しないでください。

## クルーズ・コントロールON (スタンバイ)

- ▶ クルーズ・コントロール操作レバーのボタンAを押してください。



### クルーズ・コントロール ON

マルチファンクション・ディスプレイのグレーのアイコンは使用可能状態を示します。

## 速度の設定 (維持)

1. アクセル・ペダルの操作で希望する速度まで加減速してください。
2. ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを前方 (1)の位置) に押してください。



### 設定速度

オレンジ色に変わったクルーズ・コントロール・アイコンの下に走行中の速度が表示され、自動的に維持されます。

## 速度の変更

- ▶ 速度を上げる場合は、ステアリング・ホイールの操作レバーを前方に押します (図53:1)。短く押す = 1 km/h、長押し = 10 km/h
- ▶ 速度を落とす場合は、ステアリング・ホイール側に操作レバーを引きます (図53:2)。短く引く = 1 km/h、引き続ける = 10 km/h 新しく設定した速度がマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

### **i** インフォメーション

通常走行と同じようにアクセル・ペダルを踏むと加速します。これにより保存された速度は変更されません。アクセルを緩めると保存した速度に戻ります。

## クルーズ・コントロールの中断 (OFF)

クルーズ・コントロールを中断したときは、直前の設定速度が保存され、クルーズ・コントロール操作レバーを押すと設定速度を呼び出すことができます。

- ▶ 85 ページのクルーズ・コントロールの再開 (RESUME) の章を参照してください。
- ▶ コントロール操作レバーを下に押しください (図53:3) または
- ▶ ブレーキまたはクラッチ・ペダルを踏むか、またはPDKセレクター・レバーをN位置に入れてください。

**クルーズ・コントロールの自動中断：**

- 設定速度より約25km/h以上速い速度で、20秒以上走行した場合
- 上り坂などで、設定速度より約60km/h以上遅い速度で60秒以上走行した場合
- ポルシェ・スタビリティ・マネージメント (PSM) が0.5秒以上作動した場合

**クルーズ・コントロールの再開 (RESUME)**

- ▶ 操作レバーを上を押してください (図53:4)。設定速度に加減速します。

**クルーズ・コントロールOFF**

- ▶ クルーズ・コントロール操作レバーのボタンAを押してください。設定速度が消去され、シンボルマークが消灯します。

** インフォメーション**

イグニッションをOFFにすると保存した速度が消去されます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## 警告およびインフォメーション・メッセージ

警告シンボルが表示されたときは、本書の該当する章を必ずお読みください。








一部の警告灯には、点灯すると警報も同時に鳴るものがあります。

すべての前提条件が満たされた場合にのみ、警告シンボルが表示されます。そのため、すべてのフルード・レベルは定期的に点検してください。

## 警告と情報メッセージの分類

<b>赤色</b>	システムの故障または警告
<b>黄色</b>	故障、システム故障、情報、または指示
<b>白色</b>	故障、システム故障、情報、または指示

## 安全

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
 点灯	 <b>安全ベルトを装着します</b>	1つまたは複数のシート・ベルトが装着されていません。 ▶ すべての乗員がシート・ベルトを装着していることを確認してください。
	 <b>助手席エアバッグ オン/オフ</b>	助手席エアバッグがONまたはOFFです。
	 <b>故障 エアバッグ表示灯 要修理</b>	エアバッグ警告灯が故障しています。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 <b>ステアリングを解除します</b>	ステアリング・ロックに大きく負荷がかかっています。 継続走行可能です。 ▶ ステアリング・ホイールを左右に回して、ステアリング・ロックを解除してください。
	 <b>完了するとハンドルがロックされます</b>	ステアリング・ロックが作動していません。 ▶ ステアリング・ホイールをロックするには、車両をロックしてください。
	 <b>故障 ステアリングサポート 上昇したエネルギー消費 継続走行可</b>	パワー・ステアリングは利用できません。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*















\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

安全		意味および必要な措置
インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	
	 <b>ステアリングサポート制限中 相応の継続走行可</b>	パワー・ステアリングが一時的に制限されます。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点灯	 <b>ブレーキ液レベル 安全な場所に停車して下さい</b>	ブレーキ液レベルが低すぎます。 ▶ 適切な場所に停車して下さい。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点灯	 <b>故障 制動力配分 安全な場所に停車して下さい</b>	制動力配分に故障があります。 ▶ 適切な場所に停車して下さい。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点灯	 <b>ブレーキ冷却故障</b>	ブレーキ温度が高すぎます。 ▶ 適切な場所に停車して下さい。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点灯	 <b>故障 ABS/PSM 相応の継続走行可</b>	ABSまたはポルシェ・スタビリティ・マネージメントシステム (PSM) に故障があります。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 <b>摩耗限度 ブレーニング要交換 継続走行可能</b>	ブレーキパッドが摩耗しています。 ▶ 直ちにブレーキ・パッドを交換してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点滅	 <b>緊急ブレーキ</b>	エレクトリック・パーキング・ブレーキの緊急ブレーキ機能が作動中です。 緊急ブレーキの後、シンボルは消灯します。
 点灯	 <b>故障パーキングブレーキ</b>	パーキング・ブレーキに故障があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。











あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z









安全		意味および必要な措置	
あ	インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	
か		 <b>電動パーキングブレーキがサービスモードです</b>	パーキング・ブレーキがサービス・モードになっています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
さ		 <b>パーキングブレーキ解除</b>	パーキング・ブレーキが作動しています。 ▶ エレクトリック・パーキング・ブレーキのスイッチを引いてください。 ▶ 「エレクトリック・パーキング・ブレーキ」(229ページ)を参照してください。
た	 点滅	 <b>ブレーキを踏みます</b>	パーキング・ブレーキが作動しています。 ▶ エレクトリック・パーキング・ブレーキを解除するときは、ブレーキ・ペダルを踏んでください。
な	 点灯	 <b>ダイナミックハイビーム使用不可</b>	ハイビーム・アシスタンスは使用できません。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
は		 <b>雨/光センサー故障修理が必要です</b>	雨/光センサーが故障しています。 ▶ フロント・ワイパーおよびライトを手動でONにしてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
ま	 点滅	 <b>バンディングライト故障要修理</b>	コーナリング・ライトが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
や	 点灯	 <b>ビームライト制御故障要修理</b>	ドライビング・ライト制御が故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
ら		 <b>ヘッドライトレベリング制御故障要修理</b>	ヘッドライトレベリング制御が故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
わ	 点滅	 <b>ヘッドライト制御故障要修理</b>	ヘッドライト制御が故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*






\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## 安全





インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
		例：左前ウィンカーを点検します インジケーター・ライトが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		ヘッドライト点灯 ドライビング・ライトまたはパーキング・ライトが点灯しています。
		パーキングライトオン 左または右のパーキング・ライトが点灯しています。
		ワイパー故障要修理 ワイパーが故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点灯		タイヤ要点検 1つまたは複数のタイヤに著しい空気圧の低下があります。 ▶ 適切な場所に停車して下さい。 ▶ 該当するタイヤに損傷がないか点検してください。 ▶ 「タイヤ損傷の点検」(159ページ)を参照してください。 ▶ 必要に応じてシーラントを追加してください。 ▶ 「パンクしたとき」(223ページ)を参照してください。 ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▶ 「タイヤ空気の充填」(158ページ)を参照してください。
 点灯		空気を充填 1つまたは複数のタイヤの空気圧が不足しています。 ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▶ 「タイヤ空気の充填」(158ページ)を参照してください。
 点灯		故障監視タイヤ圧要修理 タイヤ空気圧モニタリング・システム (TPM) が故障しています。 タイヤ空気圧は監視されません。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点灯		監視タイヤ圧短時間無効 タイヤ空気圧モニタリング・システム (TPM) に一時的な故障が発生しています。 タイヤ空気圧は監視されません。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ か	安全		意味および必要な措置
インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ		
 点灯		25km/hを越えてモニタリング・システムの登録なし	<p>タイヤ空気圧モニタリング・システム (TPM) がタイヤの登録を完了するまでには一定の時間が必要です。</p> <p>このプロセスを実行中は、マルチファンクション・ディスプレイに現在のタイヤ空気圧は表示されません。</p> <p>▶ 後ほどタイヤ空気圧モニタリングを再実行してください。</p>
 点灯		ホイールを交換しますか? 選択し直します	<p>タイヤを交換した後は、タイヤ設定を更新する必要があります。</p> <p>▶ マルチファンクション・ディスプレイのタイヤ設定を更新してください。</p> <p>▷ 「タイヤ空気圧メニュー - タイヤ空気圧モニタリング (TPM)」(267ページ)を参照してください。</p>
 点灯		コンフォート圧力 速度を低減します	<p>設定したコンフォート・プレッシャーの最高速度を超過しています。</p> <p>▶ 速度を落としてください。</p>
* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。			

エンジン	インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
		<b>油量最低以下 直ちにオイル充填</b>	<p>オイル・レベルが最低値を下回りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 直ちに適切な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。</li> <li>▶ 運転を続けしないでください。</li> <li>▶ 車体または車体の下に明らかなオイル漏れがないか点検してください。明らかなオイル漏れがあるときは走行を続けしないでください。</li> <li>▶ マルチファンクション・ディスプレイ上でオイル測定を選択してください： <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 「エンジン・オイル・レベルの測定と表示」(265ページ)を参照してください。</li> </ul> </li> <li>▶ 必要に応じてエンジン・オイルを補充してください。</li> <li>▷ 「エンジン・オイルの選択と補充」(59ページ)を参照してください。</li> </ul> <p>▶ オイル・レベルが適正であるにもかかわらず警告メッセージが表示されるときは、運転を続けしないでください。</p> <p>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</p>
		<b>油量上限超過 整備工場へ 継続走行可</b>	<p>オイル・レベルが最大値を超過しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
		<b>Oil level measurement fault Consult a garage Service required (故障オイル 量測定整備工場へ要修理)</b>	<p>オイル・レベル測定に故障があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
		<b>Minimum oil level reached</b>	<p>オイル・レベルが最低値に達しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ エンジン・オイルを補充してください。</li> <li>▷ 「エンジン・オイルの選択と補充」(59ページ)を参照してください。</li> </ul>
		<b>現在オイルレベルへの情報信号 は利用できません</b>	<p>状況により、オイル・レベルが表示されないことがあります。以下の場合に発生します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- エンジン冷間時</li> <li>- エンジンを高回転で全負荷運転した後の停車時</li> <li>- エンジン油温が高すぎる場合</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ オイル・レベル測定を再度実施してください。</li> <li>▷ 「エンジン・オイル・レベルの測定と表示」(265ページ)を参照してください。</li> </ul>

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ か	<b>エンジン</b>		<b>意味および必要な措置</b>
さ た な は ま	インストルメント・ パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイの メッセージ	
や ら		<b>油圧が低すぎます 停車して下さい</b>	<p>エンジン・オイル圧力が低すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 直ちに適切な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。</li> <li>▶ 運転を続けしないでください。</li> <li>▶ 車体または車体の下に明らかなオイル漏れがないか点検してください。</li> <li>▶ マルチファンクション・ディスプレイ上でオイル測定を選択してください：             <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 「エンジン・オイル・レベルの測定と表示」(265ページ)を参照してください。</li> </ul> </li> <li>▶ 必要に応じてエンジン・オイルを補充してください。</li> <li>▶ 「エンジン・オイルの選択と補充」(59ページ)を参照してください。</li> <li>▶ オイル・レベルが適正であるにもかかわらず警告メッセージが表示されるときは、運転を続けしないでください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
わ A-Z		<b>故障油圧測定 継続走行可 整備工場へ</b>	<p>オイル圧力測定に故障があります。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
		<b>油温高過ぎ 負荷軽減</b>	<p>エンジン油温が高すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 適切な場所に停車して下さい。エンジンをOFFにして冷やしてください。</li> <li>▶ 運転を続けしないでください。</li> <li>▶ マルチファンクション・ディスプレイ上でオイル測定を選択してください：             <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 「エンジン・オイル・レベルの測定と表示」(265ページ)を参照してください。</li> </ul> </li> <li>▶ 必要に応じてエンジン・オイルを補充してください。</li> <li>▶ 「エンジン・オイルの選択と補充」(59ページ)を参照してください。</li> </ul>
		<b>故障表示油温 整備工場へ 継続走行可</b>	<p>エンジン油温計が故障しています。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



## エンジン

インストルメント・  
パネルの表示

マルチファンクション・ディスプレイの  
メッセージ

意味および必要な措置

クーラント表示が  
最高マーク



**すぐに冷却水を充填して下  
さい  
継続走行不可**

- クーラント・レベルが低すぎます。
- ▶ 直ちに適切な場所に停車して下さい。エンジンをOFFにして冷やしてください。
  - ▶ クーラント・レベルを点検してください：
  - ▷ 「クーラント（冷却水）」（82ページ）を参照してください。
  - ▶ 必要に応じてクーラントを補充してください。

故障が継続する場合：

- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*



**冷却水要充填  
エンジン温度要監視**

- クーラント・レベルが低くなっています。
- ▶ クーラント・レベルを点検してください：
  - ▷ 「クーラント（冷却水）」（82ページ）を参照してください。
  - ▶ 必要に応じてクーラントを補充してください。

故障が継続する場合：

- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*

クーラントまたは  
エンジン・オイル  
の温度表示が最高  
マーク



**エンジン温度超過  
停車して冷まして下さい**

- クーラント温度または油温が高すぎます。
- ▶ 直ちに適切な場所に停車して下さい。エンジンをOFFにして冷やしてください。
  - ▶ ラジエーターおよび車体周辺の空気取り入れ口がゴミなどで塞がれていないか点検してください。
  - ▶ クーラントおよびエンジン・オイルのレベルを点検してください：
  - ▷ 「クーラント（冷却水）」（82ページ）を参照してください。
  - ▷ 「エンジン・オイル・レベルの測定と表示」（265ページ）を参照してください。
  - ▶ 必要に応じてクーラントを補充してください。
  - ▷ 「クーラント・レベルの点検と補充」（82ページ）を参照してください。

故障が継続する場合：

- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*










**故障表示冷却水温  
継続走行可  
整備工場へ**









- 冷却水温度計が故障しています。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z









あ	<b>エンジン</b>			
か	インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置	
さ		<b>故障冷却システム 整備工場へ 要修理</b>	冷却システムが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*	
た な		<b>故障エンジンルームファン 全負荷回避 継続走行可</b>	エンジン・ルーム・ブローアが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*	
は ま			<b>Reduced engine power Driving permitted Consult a garage (エンジン出力低下継続走行可整備工場へ)</b>	エンジン出力が低下します。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
や			<b>故障エンジン制御 整備工場へ 継続走行可</b>	エンジン制御システムが故障しています。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
ら	水温計の警告灯が点滅します。		<b>故障エンジン制御</b>	エンジン制御システムが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
わ	* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。			

## 車両

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
	故障ジェネレーター 停車して下さい	オルタネーターが故障しています。 ▶ 適切な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	バッテリー機能制限中 整備工場へ	バッテリー機能が制限されます。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	バッテリー弱 エンジンを始動ししばらく稼働させて下さい	バッテリーの充電状態が低すぎます。 ▶ バッテリーを充電するため、エンジンを始動してください。
	バッテリー弱 消費装置オフ	バッテリーの充電状態が低すぎます。 バッテリーの放電を防ぐため、コンフォート機能への電源供給が停止されます。 継続走行可能です。
	停車中にバッテリー保護が有効 でした	バッテリー保護が有効です、または有効でした。 バッテリーの放電を防ぐため、停車時に電装品の作動が停止されました。 継続走行可能です。
	Discharging safeguard battery empty, Capacity xx % (放電防止装置バッテリー 上がり、容量xx%)	バッテリー放電保護が有効です、または有効でした。 バッテリーの放電を防ぐため、車両電装品の作動が停止されました。 継続走行可能です。 ▶ バッテリー容量を監視してください。必要に応じてバッテリーを充電してください。 ▶ 「バッテリーの充電」(221ページ)を参照してください。
	バッテリー要充電 正しい極性に注意	バッテリーの充電状態が低すぎます。 ▶ バッテリーを充電してください。 ▶ 「バッテリーの充電」(221ページ)を参照してください。
	エンジンを手動で始動してく ださい	▶ イグニッションを使用して、手動でエンジンを始動してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

あ か	車両		意味および必要な措置
さ	インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	<p>バッテリー上がりを防止してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ エンジンが自動停止した後、車両から離れるときはイグニッションをOFFにしてください。</li> </ul>
た な	セレクター・レバー・ポジション・ディスプレイが点滅		イグニッションをOFFにしてください
は			ギアセレクターを正確に入れて下さい
ま			選択レバーをP位置にします
や			選択レバーをP位置またはN位置にします
ら			ブレーキを踏みます
わ A-Z	セレクター・レバー・ポジション・ディスプレイが点滅		T/M故障 安全に停車してください
セレクター・レバー・ポジション・ディスプレイが点滅		Gearbox fault Poss. no R gear Drive on poss. (T/M故障リ バースギヤ不可運転可能)	<p>PDK装備車：トランスミッションが故障しています。リバース・ギヤに入らないことがあります。スムーズな変速ができなくなりますが、継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
		変速機温度超過 冷却のため停車して下さい	<p>PDK装備車：トランスミッションの温度が高すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 適切な場所に停車して下さい。トランスミッションを冷やして下さい。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両	インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
		<b>T/M温度高すぎる 負荷を下げる</b>	<p>PDK装備車：トランスミッションの温度が高すぎます。継続走行可能です。車両発進時に異常を知らせる不自然な動きが感じられるとともに、エンジン出力が制限されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 適切な場所に停車して下さい。</li> <li>▶ エンジンにかかる負荷を小さくしてください。</li> <li>▶ アクセル・ペダルで車両を保持せず、ブレーキを使用してください。</li> <li>▶ 警告が消えるまでセレクター・レバーをPまたはNの位置にしてエンジンをアイドリングしてください。</li> </ul>
		<b>クラッチを踏んでください</b>	<p>マニュアル・トランスミッション装備車：クラッチ・ペダルが踏まれているときのみ始動可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 始動時はクラッチ・ペダルを踏んでください。</li> </ul>
		<b>VTS強化、コードを入力して 確定してください</b>	<p>ポルシェ車両追跡システム (PVTs) が作動しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ PVTs (ポルシェ車両追跡システム) を停止するには、リモート・キーパッドの数字キーを使用してコードを入力し、決定します。</li> </ul>
		<b>VTS強化、X分以内にコード を入力してください</b>	<p>ポルシェ車両追跡システム (PVTs) が作動しています。*</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ PVTs (ポルシェ車両追跡システム) を停止するには、リモート・キーパッドの数字キーを使用してコードを入力し、決定します。</li> </ul>
		<b>ドライバーカード 認識不可</b>	<p>ドライバー・カードが検出されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ キーを使用してドライバー・カードを再度作動してください。</li> <li>▶ 必要に応じてコントロール・センターにご相談ください。*</li> </ul>
		<b>ドライバーカード電池不足 交換して下さい</b>	<p>ドライバー・カードの電池が消耗しています。*</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 電池を交換してください。</li> </ul>
		<b>リモートキーパッド電池不足 交換して下さい</b>	<p>リモート・キーパッドの電池が消耗しています。*</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 電池を交換してください。</li> </ul>
		<b>コードが間違っています再入力 してください</b>	<p>リモート・キーパッドの数字キーを使用して入力したコードが間違っています。*</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ PVTs (ポルシェ車両追跡システム) を停止するには、リモート・キーパッドの数字キーを使用してコードを入力し、決定します。</li> </ul>
		<b>窃盗未遂が検知されました、 VTSアラーム有効</b>	<p>盗難未遂が検知されました。*</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ コントロール・センターに連絡してください。</li> </ul>

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

\* 日本仕様に設定はありません。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z



あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

車両		意味および必要な措置
インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	
	<b>表示外気温故障 要修理</b>	外気温表示に故障があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	<b>Rear-wh steering failure. Careful continuation possible (故障4輪操舵慎重に継続走行可)</b>	リヤ・アクスル・ステアリングが故障しています。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	<b>Rear-wh steering fault Adapted driving permitted (故障4輪操舵慎重に走行して下さい)</b>	リヤ・アクスル・ステアリング・システムが故障しています。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	<b>前部 沈下せず 減速して下さい</b>	速度制限「X km/h」を超過しています。 車両が下がりません。 ▶ 「X km/h」に減速してください。
	<b>故障リフトシステム 要修理</b>	リフト・システムが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	<b>リフトシステムは現在不可</b>	リフト・システムは使用できません。 外気温度が低い、システムの温度保護、またはチャイルドロック・プロテクションが原因で、車両を上昇または下降させることができない場合があります。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	<b>Front vehicle is raised (車両前部が上昇)</b>	終端位置に達するとメッセージは消えます。
	<b>Body front section is raised (ボディ前部が上昇)</b>	終端位置に達するとメッセージは消えます。
	<b>Front vehicle is lowered (車両前部が下降)</b>	終端位置に達するとメッセージは消えます。

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。






## 車両

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
	前部が沈下	終端位置に達するとメッセージは消えます。
	空カリヤスポイラー サンルーフ閉める	空カリヤ・スポイラーまたはサンルーフが閉じていません。 ▶ 空カリヤ・スポイラーまたはサンルーフを閉じてください。
	サンルーフ完全に閉める	サンルーフが閉じていません ▶ スライディング・ルーフを完全に閉じてください。
	故障スポイラー 要減速	走行安定性が損なわれます。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	減速 幌を停止位置へ移動	▶ コンバーチブル・トップを全開または全閉にしてください。
	Convertible top is opening/ closing (コンバーチブル・ トップ開/閉動中)	終端位置になるとメッセージが消えます。
	幌要修理 車両運転不可	コンバーチブル・トップがサービス・ポジションにあります。 ▶ サービス・ポジションを終了してください。
	Roof control fault Service required (故障幌制御 要修理)	▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ウインドストップを上昇します/ 格納します	終端位置になるとメッセージが消えます。
	タルガトップを開きます/ 閉じます	終端位置になるとメッセージが消えます。
	減速 タルガトップを停止位置 移動	▶ ルーフを全開または全閉にしてください。

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ か	車両		意味および必要な措置
さ	インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	
た		タルガトップはサービス位置です	コンバーチブル・トップがサービス位置にあります。 ▶ サービス・ポジションを終了してください。
な		故障タルガトップ制御要修理	▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
は		Observe clearance for roof mechanics/surrounding (ルーフ機構/周辺の間隔に注意)	▶ 車両の上方および後方に、十分な空間があることを確認してください。
ま		例： xxx kmでのメンテナンス	▶ 表示されている距離/期日を過ぎる前にメンテナンスを行ってください。 なお、整備手帳に掲載されているサービス・インターバルを優先してください。
や	燃料計の警告灯が点灯		ソコウカノウキョリチュウイ
ら		Fuel gauge fault service necessary (故障燃料計表示要修理)	燃料タンクが空です。 ▶ 最寄りの給油所で給油してください。 ▶ 「給油」(80ページ)を参照してください。
わ	点灯		外蓋要点検
A-Z		扉が開いています	タンク・キャップが完全に閉じていません。 ▶ 燃料給油口のキャップを正しく取り付け、確実に閉じてください。 ▶ 「燃料の給油」(80ページ)を参照してください。
		洗浄水を補充します	ウォッシャー液が空です。 ▶ ウォッシャー液を補充してください。 ▶ 「ウォッシャー液」(50ページ)を参照してください。
		故障ポルシェエントリー&ドライブ	ポルシェ・エントリー & ドライブが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		キーが見つからない/障害あり キーの位置を変更して下さい	ポルシェ・エントリー & ドライブ装備車： キー位置が正しくありません。 ▶ キーを携行するか、キー位置を変更してください。

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両	インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
		キーをトランクから抜いて下さい	<p>ポルシェ・エントリー&amp;ドライブ装備車： キーがラゲッジ・コンパートメント内にあります。</p> <p>▶ ラゲッジ・コンパートメントからキーを取り出してください。</p>
		車両内に複数のキーが検知されました	<p>ポルシェ・エントリー&amp;ドライブ装備車： 車内に複数のキーがあります（乗員の荷物の中など）。</p>
		車両キー内のバッテリーを交換します	<p>キーの電池が消耗しています。</p> <p>▶ 電池を交換してください。</p> <p>▷ 「キーの電池交換」(77ページ)を参照してください。</p>
		イグニッションキーを抜いて下さい	<p>▶ イグニッション・キーを抜き取ってください。</p>
		スイッチ部：左へ回し、取り外し、キーを差し込む	<p>ポルシェ・エントリー&amp;ドライブ装備車： 車内にキーが検出されません。 イグニッションをONにできず、エンジンを始動できません。</p> <p>▶ コントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置0に戻し、イグニッション・ロックから取り外してください。</p> <p>▶ キーを使用してイグニッションをONにしてください（エマージェンシー・キーは除く）。</p>
<p>* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。</p>			

あ か	<b>ドライビング・システム</b>		意味および必要な措置	
	インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ		
さ た な	  点灯		<b>PSMシステム故障</b> 安全な場所に停車して下さい	ポルシェ・スタビリティ・マネージメント (PSM) システムが故障しています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 適切な場所に停車して下さい。</li> <li>▶ 運転を続けしないでください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
は ま	 点灯		<b>ABS/PSM failure</b> <b>Consult a garage</b> <b>Adapted driving permitted</b> (故障ABS/PSM整備工場へ 慎重に走行して下さい)	ポルシェ・スタビリティ・マネージメントが故障しています。 継続走行可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
や	 点灯		<b>PSMオフ</b>	ポルシェ・スタビリティ・マネージメント (PSM) がOFFになっています。
ら			<b>PSMオン</b>	ポルシェ・スタビリティ・マネージメント (PSM) がONになっています。
わ A-Z	  インジケーター		<b>PSMが診断モードです</b>	ポルシェ・スタビリティ・マネージメント (PSM) が診断モードです。
			<b>PADM無効</b> <b>要修理</b> <b>継続走行可</b>	ポルシェ・アクティブ・ドライブトレイン・マウント (PADM) が無効になっています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



## ドライビング・システム

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
	故障シャシシステム	<p>サスペンション・システムが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 直ちに適切な場所に停車してください。</li> <li>▶ 運転を続けしないでください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
	<p>Suspension system fault Adapted driving permitted (故障サスペンションシステム 慎重に走行して下さい)</p>	<p>サスペンション・システムが故障しています。 ハンドリング性能に悪影響が出ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
	<p>Suspension system fault Adapted driving permitted (故障サスペンションシステム 慎重に走行して下さい)</p>	<p>サスペンション・システムが故障しています。 ハンドリング性能に悪影響が出ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
	<p>PDCC fault Adapted driving permitted (故障PDCC慎重に走行して下 さい)</p>	<p>ポルシェ・ダイナミック・シャーシ・コントロール (PDCC) が故障しています。 コーナリング時の車体の傾きが大きくなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
	<p>No all-wheel sys. Only rear-wh drive Adapted driving permitted (故障4輪駆動後輪のみ駆動慎重 に走行して下さい)</p>	<p>ポルシェ・トラクション・マネージメント (PTM) に一時的な不具合が発生しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 負荷を小さくしてください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
	<p>All-wheel system temperature limit Reduce load (4輪駆動システム温度限界 負荷軽減)</p>	<p>ポルシェ・トラクション・マネージメント (PTM) の負荷が過大です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 負荷を小さくしてください。</li> </ul> <p>故障が継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
	<p>All-wheel overload Only rear-wh drive Reduce load Driving permitted (4輪駆動過負荷後輪のみ駆動 負荷軽減継続走行可)</p>	<p>ポルシェ・トラクション・マネージメント (PTM) に一時的な不具合が発生しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 負荷を小さくしてください。</li> </ul> <p>故障が継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ

A-Z

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

## ドライビング・システム

インストール・  
パネルの表示









マルチファンクション・ディスプレイの  
メッセージ

意味および必要な措置








	<p>All-wheel function restricted Adapted driving permitted (4輪駆動機能制限中慎重に走行して下さい)</p>	<p>ボルシェ・トラクション・マネージメント (PTM) は制限付きで利用可能です。 ▶ 負荷を小さくしてください。 故障が継続する場合： ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</p>
	<p>All-wheel drive system fault Adapted driving permitted (故障4輪駆動システム慎重に走行して下さい)</p>	<p>ボルシェ・トラクション・マネージメント (PTM) が故障しています。 ▶ 負荷を小さくしてください。 故障が継続する場合： ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</p>
	<p>Fault differential lock Possible to drive on (故障デフロック継続走行可能)</p>	<p>ボルシェ・トラクション・マネージメント (PTM) が故障しています。 ▶ 負荷を小さくしてください。 故障が継続する場合： ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</p>
	<p>Full beam assis unavailable Operate full beam manually Service necessary (ハイビームアシスト使用不可ハイビーム手動で操作要修理)</p>	<p>ハイビーム・アシスタントが故障しています。 ▶ ハイビームを手動で点灯してください。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</p>
	<p>Full beam assistant currently restricted No camera view Clean windshield if necessary (ハイビームアシスト現在不可、カメラ視野無必要に応じてフロントウインドウ洗浄)</p>	<p>カメラの故障により、ハイビーム・アシスタントが一時的に使用できなくなっています。 ▶ 必要であればウインドウを清掃してください。 故障が継続する場合： ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</p>
	<p>PDLS+制限中カメラ視野無場合により要センサー洗浄</p>	<p>カメラの故障により、ボルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス (PDLSプラス) は一時的に使用できません。 ▶ 必要であればウインドウを清掃してください。 故障が継続する場合： ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</p>
	<p>故障 PDLS+ ハイビーム手動で操作 要修理</p>	<p>ボルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス (PDLSプラス) が故障しています。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</p>

\* ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ドライビング・システム





インストールメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
	故障アシスタントシステム/ カメラ 要修理	アシスタンス・システムまたは車両カメラが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	視野前面カメラ制限中場合により要ガラス洗浄	アシスタンス・システムまたはカメラが天候状態やウィンドウの汚れにより一時的に使用できなくなっています。 ▶ 必要であればウィンドウを清掃してください。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ローンチコントロールが有効です	ローンチ・コントロールが作動しています。
	System fault Possible to drive on Visit garage (システムエラー 継続走行可能要修理)	複数の電気系統のシステムが故障している可能性があります。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	故障音声出力コンビ機器/フロントパークアシスタント前 要修理	警告音およびパーキング・アシスタントなどの距離信号が使用できません。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	故障音声出力パークアシスタント 要修理	警告音およびパーキング・アシスタントの距離信号が使用できません。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ 駐車時に問題が起きる可能性があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	故障パークアシスト	パーキング・アシスタント・システムに関する故障 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ 駐車時に問題が起きる可能性があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	車間距離 ブレーキを操作	前走車との車間距離が十分ではありません。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ 先行車両との車間距離を大きくしてください。

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ か	<b>ドライビング・システム</b>		<b>意味および必要な措置</b>
さ た な	インストルメント・ パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイの メッセージ	<p>車両前部のセンサーの汚れまたは天候によってアダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）が悪影響を受けている可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ センサーの清掃が必要な場合があります。</li> </ul> <p>故障が継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
は ま		<p><b>ACC/PAS unavailable Sensor dirty Please clean (ACC/PAS使用不可センサーに 汚れ要洗浄)</b></p>	<p>アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）が故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> </ul> <p>故障が継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
や ら		<p><b>ACC/PAS使用不可 要修理</b></p>	<p>故障が継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
わ A-Z		<p><b>ACC/Cruise control not possible Move gear selector to D/M (ACC/クルーズ・コントロール 不可ギヤセレクターをD/M へ切替)</b></p>	<p>PDK装備車： アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）はセレクターレバーがD位置またはM位置にある場合にのみ可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ セレクター・レバーをD位置またはM位置に入れてください。</li> </ul>
		<p><b>制限1/制限2を越えました</b></p>	<p>設定した速度制限1または2を超過しています。</p>
		<p><b>制限速度表示制限中カメラ視野 無要ガラス洗浄</b></p>	<p>悪天候またはフロント・ウィンドウの汚れにより、制限速度表示が一時的に利用できなくなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 必要であればウィンドウを清掃してください。</li> </ul> <p>故障が継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
		<p><b>制限速度表示現在制限中</b></p>	<p>ナビゲーション・データを一時的に受信できなくなっています。</p> <p>故障が継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
		<p><b>制限速度表示現在使用不可</b></p>	<p>一時的にカメラ画像を評価できなくなっています。</p> <p>故障が継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ドライビング・システム

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
	<b>故障制限速度表示 要修理</b>	カメラまたはナビゲーション・システムが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	<b>LCA現在使用不可</b>	レーン・チェンジ・アシスト (LCA) が天候状態や粉塵により一時的に利用できなくなっています。
	<b>LCA故障 要修理</b>	レーン・チェンジ・アシスト (LCA) が故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	<b>LCAセンサー遮断 リアバンパー要洗浄</b>	レーン・チェンジ・アシスト (LCA) センサーが、ステッカー、汚れ、または氷結などにより遮断されています。 ▶ センサーの清掃が必要な場合があります。

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z



## 警報システム

警報システムは、次の警報接点を監視します：

- ドア、トランク・リッド、エンジン・コンパートメント・リッド、リヤ・ウィンドウおよびヘッドライトの警報接点
- 室内モニタリング・システム：車両をロックした後の車内への侵入（例えばウィンドウを壊して車内に侵入したとき）
- 傾斜センサー（国別の装備仕様）：車両の傾き（例えば車両をけん引して盗難しようとしたとき）\*

これらの警報接点のいずれか1つでも不正な動きを検出すると、アラーム・ホーンが約30秒間鳴り、ハザード・ライトが点滅します。

その後、5秒間警報が中断され、再度警報が作動します。この作動を最大10回繰り返します（国により異なる）。

### i インフォメーション

国別仕様によって、キーをイグニッション・ロックから抜き取った状態で、ドアまたはトランク・リッド/エンジン・コンパートメント・リッドをすべて閉じてから30秒が経過すると、警報システムが自動的に作動する場合があります。これは車両をロックしていない場合でも同様です。

室内モニタリング・システムおよび傾斜センサーが解除されます。ドアまたはトランク・リッド/エンジン・コンパートメント・リッドを開くと、警報が作動します。

- ▶ 降車時は常に車両をロックしてください。
- ▶ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

作動した警報システムを解除するには：

- ▶ ドアをロック解除するまたはイグニッションをONにしてください。

## 警報システムのON/OFFを切り替える

- ▶ 車両をロックすると、警報システムが作動します。
- ▶ 車両をロック解除すると、警報システムが解除されます。

### i インフォメーション

ドア・ロックにエマージェンシー・キーを差し込んで車両のロックを解除した場合、警報システムの作動を回避するため、15秒以内にイグニッションをON（イグニッション・ロックの1の位置）にしなければなりません。

警報システムが作動するまでの時間は、国によって異なる場合があります。

## 作動した警報システムをOFFにする

- ▶ ドア・ロックを解除します。  
または  
イグニッションをONにしてください。

## 室内モニタリング・システムおよび傾斜センサー\*をOFFにする

車内に人や動物を残して車両をロックするときや、鉄道または船舶などで車両を輸送する場合、室内モニタリング・システムと傾斜センサー\*を一時的にOFFにする必要があります。

- ▶ 「ドアをロックする」(153ページ)を参照してください。
- ▶ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

### i インフォメーション

室内モニタリング・システムと傾斜センサー\*は、ロック解除後いずれのドアも開かず、30秒後に自動的にロックされた場合、OFFの状態を維持します。

## キーを使用する

- ▶ キーの①ボタンを2秒以内に2回押してください。  
ハザード・ライトがゆっくり1回点滅します。  
ドアはロックされますが、内側から開くことができます。

## 機能表示

ポルシェ・エントリー&ドライブ非装備車の場合、セントラル・ロッキング・ボタンのライトの点滅速度のより車両のロック状態が示されます。ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車の場合、ドアのインジケーター・ライトの点滅速度により車両のロック状態が示されます。

### 警報システムを起動させたとき

車両をロックしたときにインジケーター・ライトが素早く点滅し、その後は通常の速さで点滅します。

### 警報システムを起動させたとき（室内モニタリング・システムと傾斜センサー\*がOFFのとき）

車両をロックしたときにインジケーター・ライトが素早く点滅した後、10秒間消灯し、その後は通常の速さで点滅します。

### セントラル・ロッキング・システムと警報システムの故障

インジケーター・ライトが10秒間点灯した後、通常の倍の速さで20秒間点滅し、その後は通常の速さで点滅します。

\* 日本仕様に設定はありません。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

## けん引およびけん引によるエンジンの始動

### **i** インフォメーション

- ▶ けん引およびけん引によるエンジンの始動を行うときは、法規等を遵守してください。
- ▶ 車両をけん引するときは十分注意してください。発進する前に、けん引する車両とけん引される車両の両方のドライバーが、けん引によるエンジンの始動とけん引時の通常とは異なる運転特性をしっかりと理解しておくことが大切です。
- ▶ 電気系統の不具合が発生している場合、エレクトリック・パーキング・ブレーキやステアリング・コラム・ロックを解除するために外部電源の接続が必要なことがあります。

## けん引ロープまたはけん引バーの使用

- ▶ けん引ロープ/けん引バーの規格と取り扱い方法は、製品メーカーの取扱説明書を参照してください。製品メーカーが指示する注意事項と取り扱い方法に従ってください。
- ▶ 必ずけん引ロープまたはけん引バーの定格荷重を遵守してください。けん引ロープまたはけん引バーの許容荷重が、けん引される車両の重量よりも大きいことを確認してください。製品メーカーが指定する定格荷重を超えてはなりません。
- ▶ ブレーキが故障した車両をけん引しないでください。

### けん引ロープを使用する

- ▶ 車両をけん引するときは、けん引フックを車両に取り付けてから、けん引ロープをけん引フックに取り付けてください。
- ▶ 「けん引フックの取り付け」(110ページ)を参照してください。
- ▶ けん引による走行中は、ロープがたるまないように注意し、ロープに急激な衝撃を与えないでください。

### けん引バーを使用する

- ▶ けん引バーを斜め方向に取り付けしないでください。

## けん引または押しがけによる始動

バッテリーに不具合があるとき、またはバッテリーが完全に上がってしまったときは、バッテリーを交換するか、ジャンパー・ケーブルを使用してエンジンを始動させてください。

- ▶ 「バッテリー」(220ページ)を参照してください。
- ▶ 「ジャンパー・ケーブルによる始動」(129ページ)を参照してください。
- ▶ Porsche Doppelkupplung (PDK) 装備車では、トランスミッションに重大な損傷を与える恐れがあるため、けん引または押しがけによるエンジンの始動はできません。
- ▶ マニュアル・トランスミッション装備車のけん引または押しがけによるエンジンの始動は、エンジン冷間時のみ実施してください。エンジンが熱いと、未燃焼ガスにより触媒コンバーターが損傷する場合があります。

## けん引

### **⚠ 警告**

パワー・アシスト機能が作動しないことによる操舵力とブレーキ踏力の増加

けん引される車両のエンジンが停止している場合、ステアリング・アシストが働きません。ブレーキやステアリング操作に大きな力が必要となります。ステアリング操作およびブレーキ操作に大きな力が必要となります。

- ▶ 車両をけん引するときは十分注意してください。

車両をけん引する場合、この車両より車両重量の大きい車両はけん引しないでください。エンジンが停止している場合、トランスミッション・オイルが循環しません。トランスミッションの損傷を回避するため、次の点に注意してください。

### PDK装備車に関する重要なインフォメーション:

- ▶ PDKが緊急作動モードになっている場合(トランスミッションの不具合を示す警告メッセージが表示されます)、車両をけん引しないでください。この場合は、4輪すべてを**接地**した状態で、車両輸送専用車またはトレーラーで車両を輸送してください。
- ▶ セレクター・レバーの緊急解除を行った場合、車両をけん引しないでください。この場合は、4輪すべてを**接地**した状態で、車両輸送専用車またはトレーラーで車両を輸送してください。
- ▶ 「PDKセレクター・レバーの解除」(325ページ)を参照してください。

### 4WD/ボルシェ・トラクション・マネージメントシステム (PTM) に関する重要なインフォメーション:

- ▶ 4輪すべてを**接地**した状態で、車両輸送専用車またはトレーラーで車両を輸送してください。片側のアクスル(フロントまたはリヤ)あるいは4輪すべてを持ち上げた状態でけん引しないでください。

### 4輪すべてが接地した状態でのけん引に関する注意(後輪駆動車のみ)

- ▶ けん引される車はイグニッション・スイッチをONにして、ブレーキ・ライトや方向指示灯が機能し、ステアリング・ロックが解除されるようにしてください。

片側のアクスルを持ち上げた状態でのけん引に関する注意（後輪駆動車のみ）

- ▶ イグニッションをOFFにしてください。キーをイグニッション・ロックに残し、ステアリング・ロックがかからないようにしてください。ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車では、コントロール・ユニットをイグニッション・ロックから取り外して、キーを挿入してください。
- ▶ 「キー/コントロール・ユニットの緊急ロック解除」（78ページ）を参照してください。
- ▶ 車両のライトが十分に点灯していることを確認してください。

### けん引

- ▶ マニュアル・トランスミッション装備車：シフト・レバーをニュートラルにしてください。
- ▶ PDK装備車：PDKセクター・レバーをNの位置にしてください。セクター・レバーの表示も含めて正しくNの位置にするには、車両をけん引する前にエンジンを一度始動しなければなりません。セクター・レバーがNの位置にあり、ディスプレイ上でもセクター・レバー位置がNになれば、車両をけん引できます。
- ▶ けん引されるときの速度は50km/h以下にしてください。けん引距離は50km以内にしてください。50kmを超える場合は、車両輸送専用車またはトレーラーで車両を輸送してください。

### 雪や砂などで立ち往生した車両の救援

- ▶ 立ち往生した車両を救出するときは十分に注意してください。
- ▶ 車両を急に引っ張ったり、角度を付けて斜め方向に引いたりしないでください。
- ▶ 可能な限り、立ち往生した車両を進入したタイヤの軌跡に沿って元の方向に引き出してください。

### けん引フックの使用



図54: リヤのけん引フック



図55: フロントのけん引フック

### けん引フックの取り付け

けん引フックはトランク・ルーム内左側の工具セットの中にあります。

1. プラスチック・カバーの下端をバンパー内に押し込む、またはドライバーで慎重にプラスチック・カバーを取り外してください。
2. カバーをバンパーから引き出し、カバーに付いているひもで吊り下げられた状態にしてください。
3. けん引フックAを反時計回りにいっぱいねじ込み（逆ねじ）、手で締め付けてください。

### けん引フックの取り外し

1. けん引フックAを外してください（時計回りに回転させてください（逆ねじ））。
2. 開口部の下端にプラスチック・カバーを差し込んでください。
3. カバーをかぶせ、上端を押してバンパーにはめ込んでください。
4. けん引フックを工具セットに収納してください。

9000\_64

## 故障診断用ソケット



図56: 左側足元のヒューズ・ボックスにある故障診断用ソケット

故障診断用ソケットAはボルシェ正規販売店で診断装置を接続するためのものです。

### 警告

車両電気システムへの不当な介入

外部装置（ナビゲーション・ユニット、ヘッドアップ・ディスプレイなど）を故障診断用ソケットに接続した場合、車両システムの機能に支障をきたす恐れがあります。

- ▶ 故障診断用ソケットに装置を接続しないでください。

### 警告

運転席足元の装置のゆるみ / ケーブルの垂れ下がり

運転席足元で装置がゆるんでいたりケーブルが垂れ下がっていたりすると、減速時やコーナリング時にペダル周辺の作動スペースを遮ったり、ペダルの間に絡まったりする恐れがあります。

- ▶ 運転席の足元に装置やケーブルを置かないでください。

### 知識

イグニッションOFFの状態ですべての故障診断用ソケットを使用して外部装置（ナビゲーション・ユニット、ヘッドアップ・ディスプレイなど）を作動させると、バッテリーが上がる恐れがあります。車両を長期にわたって駐車したままにすると、バッテリーが完全に消耗し、損傷する（完全に上がる）可能性があります。

- ▶ 故障診断用ソケットに装置を接続しないでください。



## コンバージョンル・トップ

- ▷ 運転席側サン・バイザーの裏にある簡易操作説明を参照してください。
- ▷ 67ページのお手入れの章を参照してください。
- ▷ 86ページの警告およびインフォメーション・メッセージの章を参照してください。

### 知識

コンバージョンル・トップとコンバージョンル・トップ機構を損傷する恐れがあります。

- ▶ 次の場合には、コンバージョンル・トップを操作しないでください。
  - 温度が0℃以下のとき
  - 車両の片側が縁石、リフト、ジャッキなどで持ち上がっているとき
  - 荷物の一部、またはその他の物（リヤ・シートの後側など）がコンバージョンル・トップの動作を妨げているとき
  - ロールオーバー・プロテクションが展開しているとき
- ▶ エンジンを停止した状態でコンバージョンル・トップを何度も操作しないでください。車両のバッテリーがすぐに消耗します。
- ▶ 走行するときは、コンバージョンル・トップは必ず完全に開いた状態か完全に閉じた状態にしてください。
- ▶ コンバージョンル・トップの開閉はコンバージョンル・トップの上方に十分な空間があることを確認してから行ってください。ガレージなどでは特に注意が必要です。
- ▶ 染みや擦り切れを防ぐため、コンバージョンル・トップは乾いた清潔な状態のときのみ開いてください。
- ▶ 日光を長時間浴びると布地やラバーが傷んだり色褪せが起るため、可能であれば車両は日陰に駐車してください。
- ▶ コンバージョンル・トップは、水平な路面を走行しているときのみ操作できます。
- ▶ 風の強い状況下ではコンバージョンル・トップを作動させないでください（約80km/h以上）。

## コンバージョンル・トップの開閉操作

### ▲ 警告

コンバージョンル・トップの開閉操作

コンバージョンル・トップを開閉するときは、コンバージョンル・トップ機構またはコンバージョンル・トップ・コンパートメント・リッドと車両の固定部品との間に身体の一部が挟まれないように十分に注意してください。

- ▶ コンバージョンル・トップ機構またはコンバージョンル・トップ・コンパートメント・リッドによって乗員がケガをしないように注意してください。
- ▶ 車両が見えない状況でキーによるコンバージョンル・トップの操作はしないでください。
- ▶ 万一、危険な状況になった場合は、直ちにスイッチもしくはキーのボタンから手を放し、操作を中止してください。
- ▶ コンバージョンル・トップを開閉するときは、サンバイザーのバンティアー・ミラーのカバーを閉じておいてください。

コンバージョンル・トップが開くと、フロントおよびリヤ・サイド・ウィンドウは自動的に下がります。

コンバージョンル・トップが終端位置に達した後もコンバージョンル・トップの操作を続けると、フロント・サイド・ウィンドウが自動的に閉じます。

コンバージョンル・トップが閉じると、フロントおよびリヤ・サイド・ウィンドウは自動的に下がります。コンバージョンル・トップが終端位置に達した後もコンバージョンル・トップの操作を続けると、それらは自動的に閉じます。

## 車内のスイッチを使用したコンバージョンル・トップの開閉

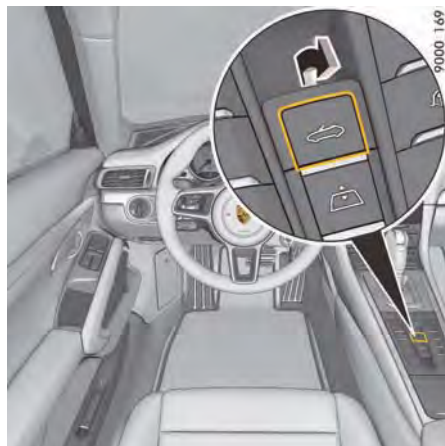


図57: スイッチによるコンバージョンル・トップの開操作

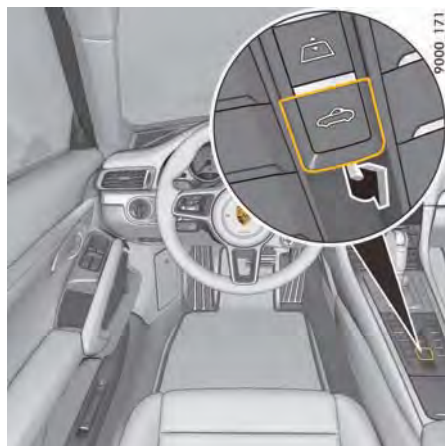


図58: スイッチによるコンバージョンル・トップの閉操作



- ✓ イグニッションがONのとき
- ✓ 速度が約50km/h以下  
制限速度を超えると開閉操作は中断します。
- ▶ コンバーチブル・トップが終端位置に達するまで、またはウィンドウが希望の位置になるまでコンバーチブル・トップ開閉スイッチを引き続けてください。  
マルチファンクション・ディスプレイの関連するメッセージが消えます。

危険が発生した場合

- ▶ スイッチを放してください。  
コンバーチブル・トップは作動を停止します。

キーを使用したコンバーチブル・トップの開閉（国別仕様による）

1. ドアをロック解除してください。
2. コンバーチブル・トップが終端位置になるか、ウィンドウが希望の位置になるまで、キーのボタンを押してください。

危険が発生した場合

- ▶ ボタンを放してください。  
コンバーチブル・トップは作動を停止します。
- 3. 必要に応じてドアをロックしてください。

ウィンド・デフレクターの上昇/下降

**警告**

ウィンド・デフレクターの上昇

- ウィンド・デフレクターの上昇時、リヤ・シートの乗員が挟まれる可能性があります。
- ▶ ウィンド・デフレクターの上昇時、乗員がケガをしないように注意してください。
  - ▶ 万一、危険な状況になった場合は、直ちにスイッチの操作を中止してください。

知識

ウィンド・デフレクターおよびシート・バックレストの損傷の恐れがあります。バックレストを極端な角度にすると、ウィンド・デフレクターがシート・バックレストと衝突する可能性があります。

- ▶ ウィンド・デフレクターの上昇前に、両方のシート・バックレストを垂直位置に調節してください。

- ✓ イグニッションがONのとき
- ✓ 上昇時の最高速度は約200 km/h以下、下降時は約120 km/h以下  
この速度を超えた場合、ウィンド・デフレクターの上昇/下降を行うことはできません。

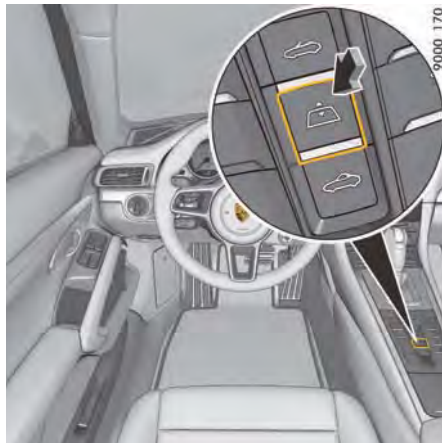


図59: ウィンド・デフレクターの上昇/下降

- ▶ スイッチを押し続けてウィンド・デフレクターが終端位置に達すると、マルチファンクション・ディスプレイの関連するメッセージが消えます。

コンバーチブル・トップとウィンド・デフレクターの緊急操作

**警告**

緊急操作中のコンバーチブル・トップの作動

- ▶ 緊急操作を行うときは十分に注意してください。
- ▶ 緊急操作中は、コンバーチブル・トップまたはウィンド・デフレクターをスイッチまたはキーで操作しないでください。

知識

コンバーチブル・トップとコンバーチブル・トップ機構を損傷する恐れがあります。

- ▶ 緊急操作中または操作後は、コンバーチブル・トップまたはウィンド・デフレクターをスイッチまたはキーで操作しないでください。
- ▶ ゆっくりと慎重に運転してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

コンバーチブル・トップ・システムの点検

緊急操作を行う前に以下を点検します。

- スイッチを使用してウィンド・デフレクターおよびコンバーチブル・トップの操作中にイグニッションをONにしましたか？
- ヒューズに不具合がありませんか？
- ▶ 225ページのヒューズの点検および交換の章を参照してください。
- ▶ ウィンド・デフレクターおよびコンバーチブル・トップが不意に動き出さないよう、キーを抜き取ってください。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

手順1: リヤウォール・ライニングを取り外す

1. ラゲッジ・コンパートメントにあるツール・キットからドライバーを取り出します。  
▷ 294ページのタイヤ・シーラント/車載工具の取り外しの章を参照してください。

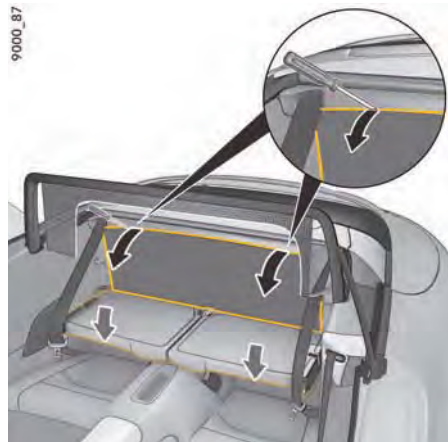


図60: リヤ・シート・バックレストとリヤウォール・ライニングを前に倒す

2. シート・バックを前に倒します (図60)。
3. ドライバーを使用してリヤウォール・ライニングを固定ポイントから慎重に持ち上げ、前に倒します。

または

リヤウォール・ライニング両側のループで引き出し、前に倒します (装備されている場合) (図60)。

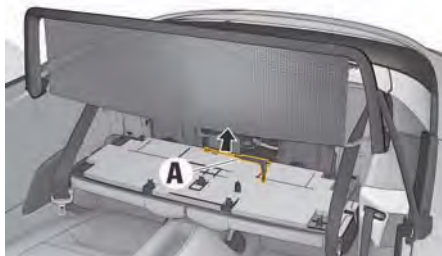


図61: 緊急操作キーを抜き取る

4. 緊急操作キー A をリヤウォール・ライニングから抜き取ります。

ウィンド・デフレクターの緊急操作の実施

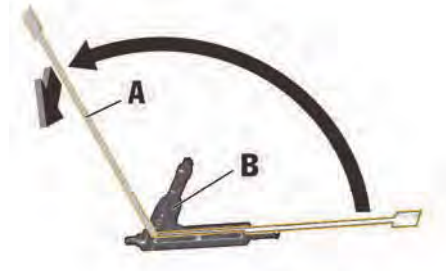


図62: 緊急操作キー

1. プラスチック・アタッチメントBを緊急操作キー Aから取り外してください。
2. メタル・インサートをプラスチック・アタッチメントBから約90°上方に回し、前方に引き抜いて取り外してください。

9000\_87

9000\_176

9000\_177

9000\_88

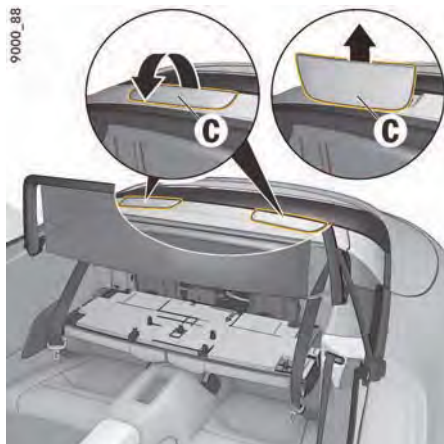


図63: ロールオーバー・プロテクション・カバーの取り外し

3. 両側のロールオーバー・プロテクション・カバー C を前方に倒し、上方に引いて外します。

9000\_89

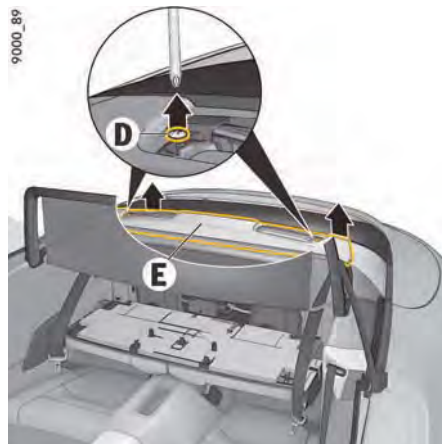


図64: ロールオーバー・プロテクション・カバーの取り外し

4. ドライバーを使用してロールオーバー・プロテクション・カバーの両側のスクリュー D を緩めて取り外してください。
5. ロールオーバー・プロテクション・カバー E を上方に引き、固定ポイントから外してください。

9000\_90



図65: ウィンド・デフレクターの格納

6. 緊急操作キーのメタル・インサート A (TORX®) を使用してウィンド・デフレクター・モーターのスクリュー F を緩めて取り外してください。
7. リテーニング・ブラケット G を前方に引き (必要に応じてドライバーでこじり外してください)、ギヤの締結を解除してください。
8. リテーニング・ブラケットを取り外してください。
9. ウィンド・デフレクターを手動で格納してください。

## コンバーチブル・トップ機構のテンションの解除

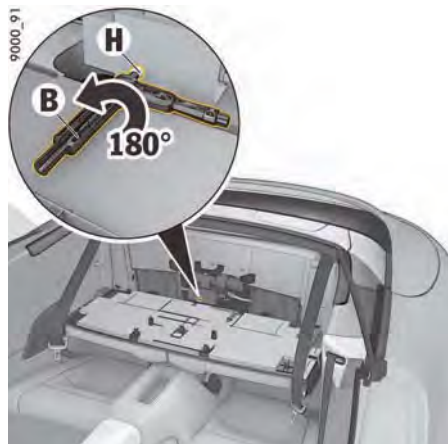


図66: コンバーチブル・トップ機構のテンションの解除

- ▶ プラスチック・アタッチメントBの六角部を使用して、エマージェンシー・ハンド・スクリューHを約180°反時計回りに回してください。

### 知識

- ▶ エマージェンシー・ハンド・スクリューHはゆるめるのみで、完全には取り外さないでください。

## コンバーチブル・トップ・コンパートメント・リッドの開操作



図67: 緊急操作キーの挿入

1. プラスチック・アタッチメントBとメタル・インサートAを組み立ててください。
2. 緊急操作キーのメタル・エンドをコンバーチブル・トップ・コンパートメント・リッドとコンバーチブル・トップ間に挿入してください。  
プラスチック・アタッチメントBの屈折部が車両後方を向いていることを確認してください。
3. 緊急操作キーをプラスチック・トリムに沿って前方向に移動させ、開口部Kにプラスチック・アタッチメントBをマーク1まで挿入してください。

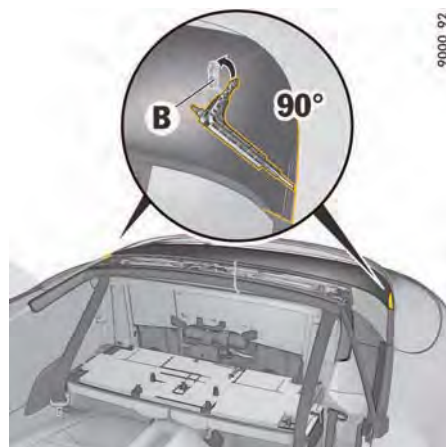


図68: コンバーチブル・トップ・コンパートメント・リッドのロック解除 (手順1)

4. 緊急操作キーを進行方向に約90°回転させ、プラスチック・アタッチメントBを上方向に向けてください。



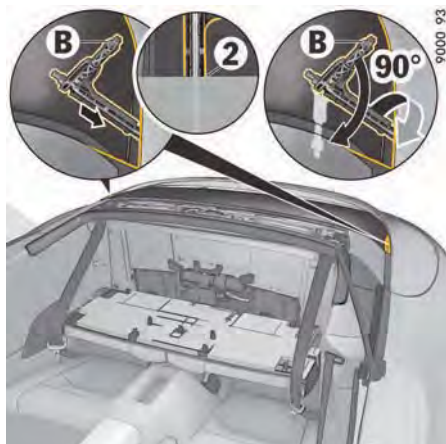


図69: コンバーチブル・トップ・コンパートメント・リッドのロック解除 (手順2)

5. 緊急操作キーをプラスチック・アタッチメントBのマーク2まで挿入し、抵抗を感じなくなるまで進行方向に90°以上回転させてください。
6. 緊急操作キーを進行方向と反対に約90°回転させて、取り外してください。
7. 反対側でも同じ手順を繰り返してください (ステップ2~6)。

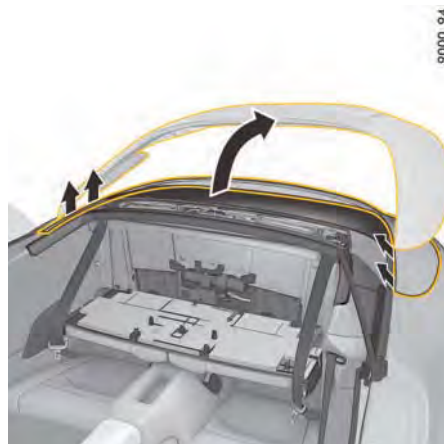


図70: コンバーチブル・トップ・コンパートメント・リッドの上昇

8. 両手を運転席側と助手席側に置いて、慎重にコンバーチブル・トップ・コンパートメント・リッドを上方向に引き上げてください。
9. 後ろからコンバーチブル・トップ・コンパートメント・リッドの中央を持って、直立位置にしてください。

リヤ・サイド・トリム・パネル・フラップの緊急操作

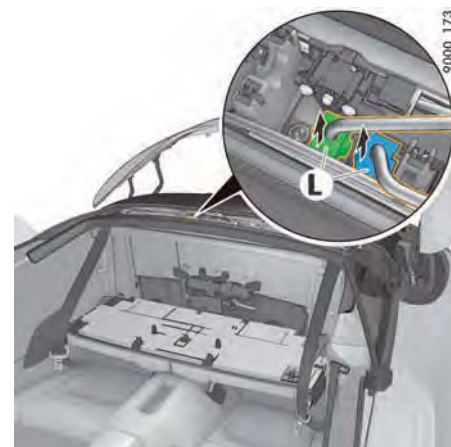


図71: コネクターLの取り外し

1. 両方のコネクターLを取り外します。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z



あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

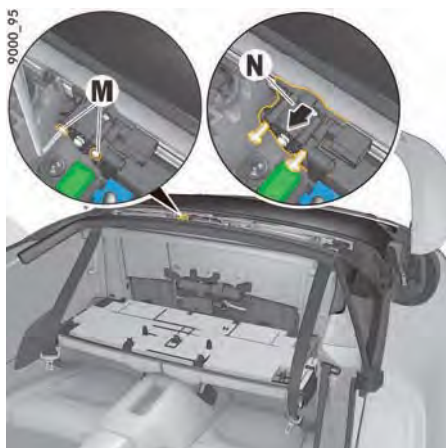


図72: スクリューを緩め、モーター/ギア・ユニットを前方に引いてください。

2. モーター/ギア・ユニットの両方のスクリュー **M** を緊急操作キーのメタル・インサート **A** (TORX®) で緩めてください。
3. モーター/ギア・ユニット **N** を前方に引き (必要に応じてドライバーでこじり外してください)、ギヤの締結を解除してください。

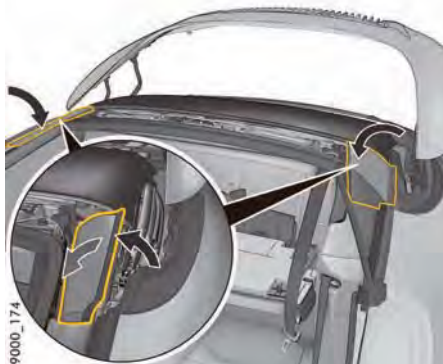


図73: リヤ・サイド・フラップを押し下げる

4. 終端位置に達するまでリヤ・サイド・フラップを押し下げてください。

コンバーチブル・トップの閉操作



図74: コンバーチブル・トップ機構を格納コンパートメントから引き出す

1. 車室側からコンバーチブル・トップの中央を持って、格納コンパートメントから約半分閉じるま引き出してください。

**注意**

閉じるときに挟まれてケガをする恐れがあります

閉じるときに、コンバーチブル・トップが作動する範囲内またはコンバーチブル・トップ・ロック付近に身体の一部があると、挟まれる恐れがあります。

- ▶ 以下に注意してください。
- 閉じるときは、コンバーチブル・トップの作動範囲内に誰もいないこと。
- コンバーチブル・トップ・ロックの部品に手が挟まれないようにすること。



図75: プラグの取り外し

2. プラグ**O**をコンバーチブル・トップ・ロックの緊急操作用アクセス・ポイントから取り外してください。



図76: コンバーチブル・トップ・ラッチ・フックの展開

3. プラスチック・アタッチメント**B**を緊急操作キーから取り外してください。
4. メタル・インサート**A**をプラスチック・アタッチメント**B**から約90°上方に回し、前方に引いて取り外してください。
5. プラスチック・アタッチメント**B**をコンバーチブル・トップ・ロックの緊急操作用アクセス・ポイントに挿入し、締結するまで左または右に回してください。
6. プラスチック・アタッチメント**B**を反時計回りに回してラッチ・フックを完全に開いてください（抵抗を感じます）。



図77: コンバーチブル・トップの閉操作

7. コンバーチブル・トップをフロント・ウィンドウのフレームに引き寄せてください。
8. コンバーチブル・トップを完全に閉じるためには、プラスチック・アタッチメント**B**を時計回りに（抵抗を感じるまで）回し、ラッチ・フックを完全にキャッチに締結してください。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

## コンバーチブル・トップ・コンパートメント・リッドの閉操作



**警告**

コンバーチブル・トップ・コンパートメント・リッドの閉操作

コンバーチブル・トップ・コンパートメント・リッドを閉じるとき、コンバーチブル・トップ・コンパートメント・リッドと車両の固定部分の間に身体の各部が挟まれる恐れがあります。

▶ 手は必ずコンバーチブル・トップ・コンパートメント・リッドの上において閉じてください。

3. コンバーチブル・トップ・コンパートメント・リッドを終端位置まで押し込みます。コンバーチブル・トップ・コンパートメント・リッドはまだロックされていません。
4. 車室内のエマージェンシー・ハンド・スクリュウ H を時計回りに手で締めます。



図78: コンバーチブル・トップ・コンパートメント・リッドの閉操作

1. 車両の後方に立ってください。
2. コンバーチブル・トップ・コンパートメント・リッドのブレーキ・ライト上部を保持し、完全に閉じてから抵抗が感じられるまで前方に押してください。

## サン・バイザー

### サン・バイザーの調節



図79: サン・バイザーの調節

- ▶ サンバイザーを手で下げて、正面方向からの直射日光を遮ってください。
- 左右方向から眩しい光が入る場合：
  - ▶ 内側のブラケットからサンバイザーを外して回転させ、ドア・ウィンドウ側にセットしてください。

## バニティー・ミラーを開く

### ▲ 注意

バニティー・ミラーのカバーを開くとき

カバーを開いている状態で事故が起きた場合、ミラーが割れて車内にガラスの破片が散乱する恐れがあります。

- ▶ 走行中はカバーを閉じてください。



図80: バニティー・ミラーを開く

- ▶ サンバイザー内側にあるバニティー・ミラーのカバーを開きます。バニティー・ミラーのライトが点灯します。

### 知識

バニティー・ミラーのカバーを損傷する恐れがあります。

- ▶ カバーを全開位置から無理に開かないでください。

## シート

## 適切なシート位置の選択

安全で疲れにくい運転には、正しい着座姿勢が重要です。運転席シート位置を調整するには、以下の手順を実施してください。

1. シートの高さを頭上の空間に余裕があり、周囲がよく見える高さに調節してください(バケット・シートを除く)。
2. シートの前後位置を調節し、ブレーキ・ペダルをいっばいに踏み込んだときに、足が伸びきらない状態になる位置に調節してください。
3. ステアリング・ホイールの上部分を握ってください。バックレストの角度とステアリング・ホイールの位置は肩をバックレストに預けた状態で肘が少し曲がる位置に調節してください(バケット・シートを除く)。
4. 必要に応じて、シートの前後位置を調節してください。

## シートの調節



警告

運転中のシート調節

運転中にシート調節を行うと、シートが必要以上に大きく動き、運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 運転中はシート調節を行わないでください。



注意

シート調節

シート位置を調節するときに、シートが動く範囲に人や動物がいると、身体の各部が圧迫されたり挟まれたりする恐れがあります。

- ▶ シートが動く範囲に人や動物がいないことを確認してからシート位置を調節してください。

## 知識

ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーなどを損傷する恐れがあります。

- ▶ ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーとの間に十分なスペースを確保してからシート位置を調節してください。

## i インフォメーション

チャイルド・シート・システム用ISOFIXリテニング・ラグを助手席に取り付けた車両では、助手席シート・バックレストの調節範囲が制限され、

## スポーツ・シート/スポーツ・シート・プラスの調整

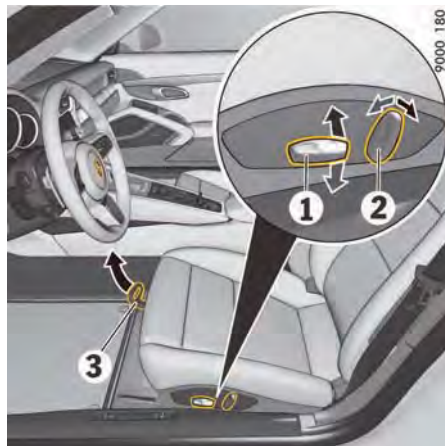


図81: スポーツ・シート/スポーツ・シート・プラスの調整

- 1 シートの高さ調節
- 2 バックレストの角度調節
- 3 シートの前後調節

- ▶ 各スイッチを矢印方向に押し、希望のシート位置、またはリミット位置まで調節してください。
- ▶ ロック・レバー3を引き上げ、シートを希望の前後位置に移動させてからレバーを放してください。シートがしっかり固定されていることを確認してください。



## フル電動スポーツ・シートの調節

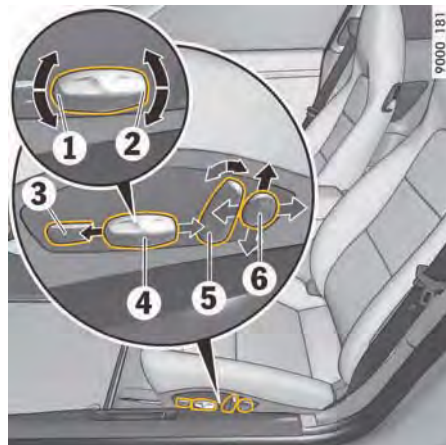


図82: フル電動スポーツ・シートの調節

- 1 シートの角度調節
- 2 バックレストの角度調節
- 3 座面の深さ調節
- 4 シートの前後調節
- 5 バックレストの角度調節
- 6 ランバー・サポートの調節

▶ 各スイッチを矢印の方向に押して、希望のシート位置、または終端位置まで調節してください。

## アダプティブ・スポーツ・シート・プラスの調節

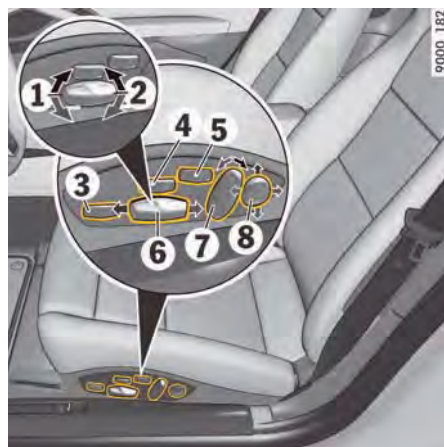


図83: アダプティブ・スポーツ・シート・プラスの調節

- 1 シートの角度調節
- 2 シートの高さ調節
- 3 座面の深さ調節
- 4 座面のサイド・サポートの調節
- 5 バックレストのサイド・サポートの調節
- 6 シートの前後調節
- 7 バックレストの角度調節
- 8 ランバー・サポートの調節

▶ 各スイッチを矢印の方向に押して、希望のシート位置、または終端位置まで調節してください。

## バケット・シートの調節

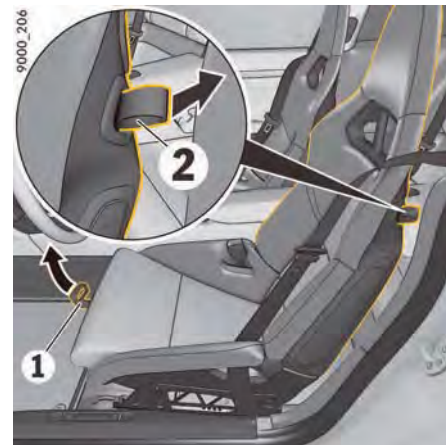


図84: バケット・シートの調節

**危険** チャイルド・シートの使用

バケットシートでのチャイルド・シートの使用は、重傷または致命傷を負う危険があります。バケット・シートでのチャイルド・シートの使用は、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

▶ バケット・シートではチャイルド・シートを使用しないでください。

▶ ロック・レバー**1**を引き上げ、シートを希望の前後位置に移動させてからレバーを放してください。  
シートがしっかり固定されていることを確認してください。

## シート設定の保存

シート設定の保存および呼び出しに関するインフォメーション：

- ▷ 218ページのパーソナル設定の章を参照してください。

## バックレストを倒す



図85: バックレストを倒す

## バックレストを倒す

- ▷ バックレストの側面にあるレバーを引き上げて(図85)、バックレストを前方に倒してください。

## バックレストを垂直位置に調節する

### ▲ 警告

バックレストが固定されていない

シートのバックレストが固定されていないと怪我を負う危険があります。

- ▷ シート・バックレストを後方へ倒した場合、固定されていることを確認してください。
- ▷ バックレストがカチッとハマるまで後方へ倒してください。

## バケット・シートを前方へ倒す



図86: バケット・シートを前方へ倒す

## バケット・シートのバックレストを前方へ倒す

- ▷ バックレストの側面にあるループ 2 を引いて、バックレストを前方に倒してください。

## バケット・シートのバックレストを垂直位置に調整する

### ▲ 警告

バックレストが固定されていない

シートのバックレストが固定されていないと怪我を負う危険があります。

- ▷ シートのバックレストを後方へ倒した場合、固定されているかを確認してください。
- ▷ バックレストがカチッとハマるまで後方へ倒してください。

## イージー・エントリー機能を使用する

イージー・エントリー機能は、車両への乗り降りをしやすくするための装備です。

- ▷ 277ページのイージー・エントリーのON/OFFの章を参照してください。

### ▲ 注意

運転席シートの自動調節

自動シート調節により、運転席の後ろにいる乗員や動物がシートに挟まれる恐れがあります。

- ▷ 運転席の真後ろに乗員がいるときはイージー・エントリー機能をOFFにしてください。

## 降車するとき

- ✓ 機能が作動している

## ポルシェ・エントリー & ドライブ非装備車：

1. キーを抜き取ってください。  
ステアリング・ホイールが上方に移動します。
2. 運転席ドアを開いてください。  
運転席シートが後方に移動します。

## ポルシェ・エントリー & ドライブ装備車：

- ▷ イグニッションをOFFにし、さらに運転席ドアを開いてください。  
ステアリング・ホイールが上方に移動します。  
運転席シートが後方に移動します。

## 乗車するとき

- ✓ 機能が作動している
- ✓ 運転席シートおよびステアリング・ホイールがイージー・エントリー位置にある
- ▷ 運転席ドアを閉じてキーを挿入する、またはポルシェ・エントリー & ドライブ装備車の場合はイグニッションをONにしてください。  
運転席シートとステアリング・ホイールが保存した位置まで戻ります。

**i** インフォメーション

キーを交換した場合、シートおよびステアリング・ホイールはそのキーに保存された位置に移動します。

**i** インフォメーション

シート設定を手動で変更すると、イージー・エントリー機能が中断します。

- ▶ ドライビング・ポジションを手動で調節してください。

## シート・ヒーター/シート・ベンチレーター



図87: シート・ヒーターボタン



図88: シート・ベンチレーターボタン

## シート・ヒーター/シート・ベンチレーターをONにする

✓ エンジンを作動状態にする

- ▶ 該当のボタンを押してください（数回）。ヒーターまたはベンチレーターの設定に応じた数のインジケーター・ライトが点灯します。

## シート・ヒーター/シート・ベンチレーターをOFFにする

- ▶ 該当のボタンをすべてのインジケーター・ライトが消灯するまで（数回）押してください。

**i** インフォメーション

室内の温度が高いときはシート・ヒーターを使用できません。

バッテリー電圧が低すぎると、シート・ヒーター/シート・ベンチレーターの作動が制限され、その後OFFになります。

## リヤ・シートのバックレストを前方へ倒す



図89: リヤ・シート・バックレストを前方に倒す

## リヤ・シート・バックレストを前方に倒す

- ▶ レバーを手前に引いて（図）、バックレストを前方に倒してください。

## リヤ・シートのバックレストを垂直位置に戻す

**▲ 警告**

バックレストが固定されていない

シートのバックレストが固定されていないと怪我を負う危険があります。

- ▶ シート・バックレストを後方へ倒した場合、固定されていることを確認してください。
- ▶ バックレストを固定される場所まで後方に倒してください。シートベルトが正しく取り回されていることを確認してください。

## シートベルト

## シートベルトの適切な着用



危険

シートベルトを着用していない、または正しく使用していない

シートベルトを着用していない場合、事故の際に保護効果を発揮できません。シートベルトを正しく着用していない場合、事故の際に負傷する危険が高まります。

- ▶ 安全のため、すべての乗員がシートベルトを着用することが義務付けられています。
- ▶ また、運転者はこの章で説明している内容を、すべての乗員の方に理解してもらってください。
- ▶ **1本**のシートベルトを同時に2人で使うことは、絶対に避けてください。
- ▶ だぶついた衣服はシートベルトが正しく着用できない上に、動作の自由を奪うこととなりますので、乗車時は必ず脱ぐようにしてください。
- ▶ 堅い物や壊れやすい物（眼鏡、ボールペン、煙草のパイプなど）の上にシートベルトがかからないようにしてください。衝突の際にケガをする危険性が高くなります。
- ▶ シートベルトはねじれやたるみがないように着用してください。



危険

損傷したシートベルトを使用した場合

損傷したシートベルト、強い負荷のかかったシートベルト、または摩耗したシートベルトは、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

シートベルト・プリテンショナー・システムは1回しか作動できません。作動した場合、早急に交換してください。

- ▶ すべてのシートベルトを定期的に点検し、ベルトの帯が損傷していないか、またバックルと取り付け部が正常な状態にあるかどうかを確認してください。
- ▶ 損傷したシートベルトや事故などにより強い負荷のかかったベルトは早急に交換してください。同様に、作動したシートベルト・プリテンショナー・システムとフォース・リミッターも早急に交換してください。更に、シートベルトのアンカー部分についても点検してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ベルトを使用しないときは、汚れや損傷を防ぐために完全にリトラクターに巻き取らせてください。

## シートベルト・プリテンショナー

シートベルト・プリテンショナーは、事故時の衝撃の大きさに応じて作動します。

シートベルト・プリテンショナーの作動条件：


- 前方または後方から強い衝撃を受けた場合
- 側面から強い衝撃を受けた場合
- 車両が転倒した場合




## インフォメーション


シートベルト・プリテンショナー・システムが作動すると煙が発生しますが、これは異常ではありません。この煙は車両火災の兆候ではありません。

## シートベルト警告灯および警告シンボルを確認する

イグニッションをONにすると、インストルメント・パネル内の赤色の警告灯が機能点検のため、数秒間点灯します。

インストルメント・パネルの赤色の警告灯は、運転席側シート・ベルトが装着されるまで点灯し続けます。

更に、マルチファンクション・ディスプレイに警告シンボルが表示されます。

速度が約24km/hを超えると、インストルメント・パネルの赤色の警告灯が点滅し、警告音が鳴ります。



## シートベルトを着用する



図90: シートベルトを着用する

1. 自然な姿勢で安全に運転できる位置に着座してください。
2. シートベルトを着用したときに、ベルトが肩の中央を通過して上半身を斜めに横切るように、シートのバックレストを調節してください。
3. シートベルトのラッチを手で持ち、ゆっくりと一定の速さで引き出して、腰の低い位置および胸部にかかるように着用してください。

### **i** インフォメーション

坂道など傾斜地に停車しているときや、シートベルトを急に引いたときは、シートベルトがロックされて引き出せないことがあります。加速時または減速時、カーブや傾斜地を走行中にもシートベルトが引っかかる場合があります。

4. シートベルトのラッチは、着座しているシート側部のバックルにカチッと音がするまで確実に差し込んでください(図90)。
5. シートベルトが引っかかったり、ねじれたり、鋭利な物に擦れたりしないように注意してください。
6. 腰ベルトは必ず腰の低い位置(骨盤)にぴったりとかかるようにしてください。このためには、シートベルトを装着した後、肩ベルトを上引っ張ってください。  
妊婦：腰ベルトをできる限り低い位置まで下げて骨盤部を横切るように調整し、腹部の圧迫を避けるようにしてください。
7. 走行中も肩ベルトを定期的に引き上げ、腰ベルトがゆるまないようにしてください。

## シートベルト・バックルを解除してシートベルトを外す

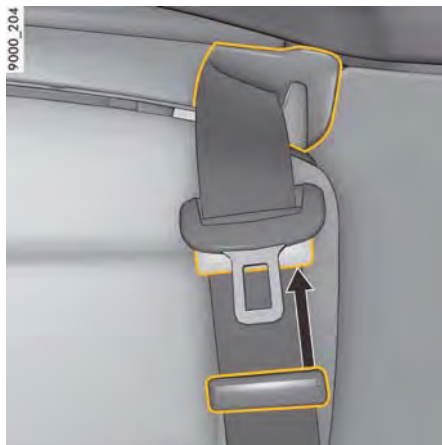


図91: シートベルトの解除

1. シートベルトのラッチを手で持ってください。
2. バックルの赤色のボタンを押してください。
3. ベルト・ラッチは、シートベルト引き出し口の約7cm下にプラスチック・スライドで固定してください(図91)。プラスチック・スライドがシート・ベルト・ラッチを手の届きやすい位置で保持します。



## ジャッキおよびリフティング・プラットフォーム

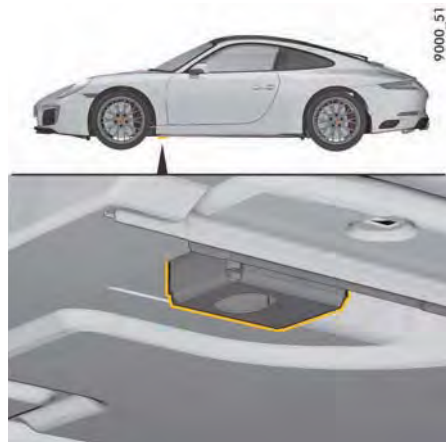


図92: フロント側のリフティング・プラットフォームとジャッキのジャッキ・ポイント

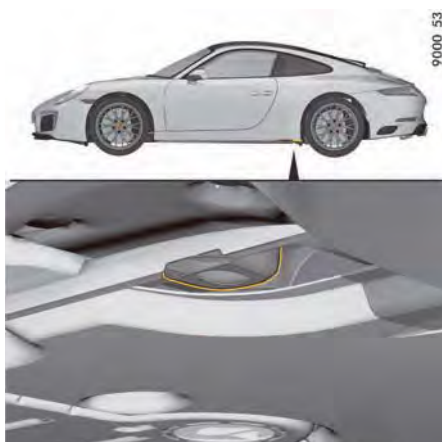


図93: リヤ側のリフティング・プラットフォームおよびジャッキ用のジャッキ・ポイント

## ジャッキ、トロリー・ジャッキ、またはリフティング・プラットフォームによるリフト・アップ

### 警告

不十分な車両の固定

車両がしっかり固定されていない、または正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティング・プラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷を受ける場合があります。

- ▶ 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
  - ▶ 車両は必ず、車両下回りにある規定のジャッキアップ・ポイント（図 92、図 93）で持ち上げてください。
  - ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポート・スタンドで車体を支えてください。
  - ▶ 車両をジャッキアップ後は、エンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下する恐れがあります。
  - ▶ やむを得ずエンジンをかけたまま作業する場合は、必ずエレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させて、ギヤ・レバーをニュートラル位置に入れるか、またはPDKセレクター・レバーをPの位置にしてください。
- ▶ 「ホイールの交換」(162ページ) を参照してください。

## ジャンパー・ケーブルによる始動

バッテリーが上がったときは、他の車両のバッテリーを使用してエンジンを始動したり、ジャンパー・ケーブルを使用して外部電源を接続することができます。どちらの車両も12Vバッテリー搭載車でなくてはなりません。支援車側のバッテリーの容量(Ah)が、バッテリーが上がった車両のバッテリーの容量に比べ低すぎないように確認してください。上がったバッテリーを車両電気系統に正しく接続してください。

▶ 「バッテリー」(220ページ)を参照してください。

### ▲ 警告

ジャンパー・ケーブルや始動手順が不適切な場合：

不適切なジャンパー・ケーブルを使用した場合や、ジャンパー・ケーブルによる始動が適切に行われなかった場合、ショートする恐れがあります。ショートは火災の原因となります。

- ▶ ジャンパー・ケーブルはエンジン始動に適した製品を使用し、バッテリー容量に対して十分な断面積があることを確認してください。また、端子接続部のクリップが完全に絶縁体で覆われているものを使用してください。ジャンパー・ケーブルのメーカーが定めた取り扱い方法を遵守してください。
- ▶ 車両同士を接触させないでください。電流が流れ、ショートする恐れがあります。
- ▶ 指輪、ネックレス、時計バンドなど、電気を通す装飾品が通電部に触れないように注意してください。
- ▶ ジャンパー・ケーブルは絶対にバッテリーへ直接接続しないでください。ジャンパー・ケーブルは、必ずトランク・ルーム内のジャンパー・ケーブル接続用端子に接続してください。

### ▲ 警告

凍結したバッテリーの充電

凍結したバッテリーを充電すると、爆発や酸による火傷の危険があります。

▶ ジャンパー・ケーブルを接続する前に、凍結したバッテリーは解凍してください。

### 知識

鉛バッテリーには腐食性のあるバッテリー液が入っており、皮膚や衣服に付着すると損傷を負う恐れがあります。

▶ バッテリーを傾けないでください。

## ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動

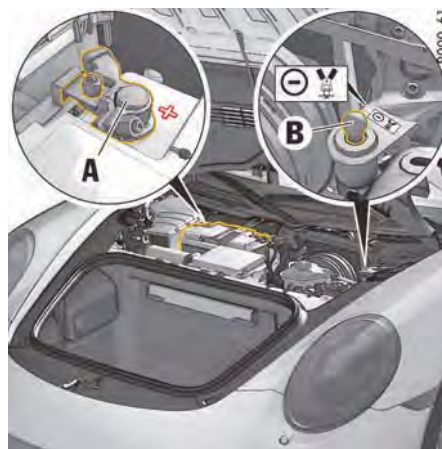


図94: 電極

A プラス端子 +

B アース箇所 (マイナス端子) -

1. トランク・リッドを開いてください：
  - ▶ 「トランク・リッドの緊急解除」(199ページ)を参照してください。
2. トランク・ルーム・カバーを取り外してください。
  - ▶ カバーを取り外すには：「タイヤ・シーラント/車載工具の取り外しおよび収納」(294ページ)を参照してください。
3. プラス側のケーブル(赤)をまずジャンプ・スタートするバッテリーのプラス端子Aに接続し、次に支援車のバッテリーのプラス端子(+)に接続してください。
4. マイナス側のケーブル(黒)を支援車のバッテリーのマイナス端子に接続し、次にアース箇所Bに接続してください。
5. 支援車のエンジンを始動し、回転数を上げてください。
6. エンジンを始動してください。ジャンパー・ケーブルを使用してエンジンを始動するときは、スターターを15秒以上作動させないでください。始動に失敗したときは、1分以上待ってから再試行してください。
7. エンジンが作動状態のまま、最初に、マイナス側のケーブルをアース箇所Bから外してください。次に、支援車のバッテリー・マイナス端子からケーブルを外してください。
8. エンジンが作動状態のまま、支援車のバッテリー・プラス(+)端子からケーブルを外してください。次に、ジャンプ・スタートした車両のバッテリーのプラス端子Aからケーブルを外してください。

## 消火器\*

消火器を正しく安全に使用するために、以下の点に注意してください。

- ▶ 消火器の定期点検時期を遵守してください。定期点検の期間を過ぎた消火器は正しく作動しないことがあります。
- ▶ 必ず消火器の取扱説明書の指示に従ってください。
- ▶ 消火器のハンドルに貼付されている消火器メーカーの安全に関する指示に従ってください。
- ▶ 消火器は1～2年毎にボルシェ正規販売店で点検を行ってください。
- ▶ 消火器を使用した後は消火剤を再充填してください。

## 消火器を取り外す

車両に消火器が装備されている場合、助手席シートの下に取り付けられています。

- ▶ 緊急時に消火器を取り外す場合、片手で消火器を押さえて、消火器ホルダーの**PRESS**ボタンをもう片方の手で押してください。

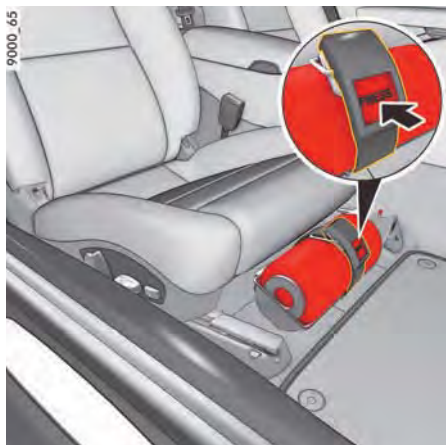


図95: 助手席シートの下の消火器

## ステアリング・ホイール

### ステアリング・ホイールの調節



警告

運転中のステアリング・ホイールの調節

運転中にステアリング・ホイール調節を行うと、ステアリングが予期せず大きく動き、運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 運転中はステアリング・ホイールの調節を行わないでください。

### ステアリング・ホイールの手動調節

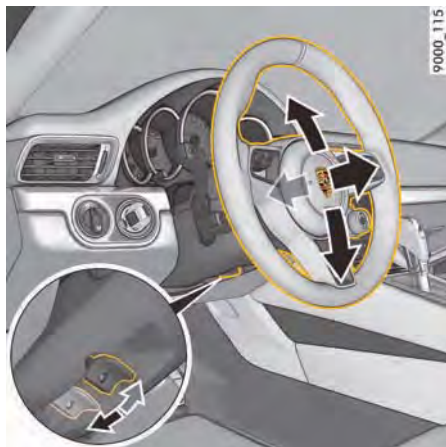


図96: ステアリング・ホイール調節用ロック・レバー

1. キーをイグニッション・ロックに完全に差し込んでください。
2. ロック・レバーを押し下げてください。
3. シート・バックレスト角度や着座位置に合わせて、ステアリング・ホイールを前後上下に動かし、希望の位置に調節してください。

4. ステアリング・ホイールが確実に固定されるまで、ロック・レバーを元の位置まで戻してください。

### ステアリング・ホイールの電動調節



注意

メモリー設定の不意の呼び出し

ステアリング・ホイールを調節するとき、人や動物がステアリング・ホイールの動く範囲にいたり、身体の一部が圧迫されたり挟まれたりする恐れがあります。

- ▶ お子様のみを車内に残さないでください。



図97: ステアリング・ホイール調節用コントロール・スイッチ

- ▶ ステアリング・コラム下に取り付けられているコントロール・スイッチを前後上下に動かして、ステアリング・ホイールを希望の位置に調節してください。

## ステアリング・ホイール設定の保存

メモリー・パッケージ装備車では、ステアリング・ホイールの設定を運転席ドアやキーのメモリー・ボタンに保存することができます。

- ▶ 「パーソナル設定」(218ページ)を参照してください。

## ステアリング・ホイール・ヒーターのON/OFF



図98: ステアリング・ホイール・ヒーター・ボタン

- ✓ エンジンを作動状態にする

- ▶ マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「ステアリング ホイール ヒーティングオン」または「ステアリング ホイール ヒーティングオフ」が短時間表示されるまで、センター・ステアリング・ホイール・スポークのボタン(図98)を押してください。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ


## スポーツ・エキゾースト・システム

### スポーツ・エキゾースト・システムのON/OFF



図99: センター・コンソールのスポーツ・エキゾースト・システム操作ボタン

スポーツ・エキゾースト・システムはイグニッションがONのときに排気音最適化モードに切り替えることができます。

- ▶  ボタンを押してください。  
スポーツ・エキゾースト・システムが作動すると、ボタンのインジケータ・ライトが点灯します。

A-Z



## スポーツ・クロノ・ストップウォッチ

スポーツ・クロノ・ストップウォッチはレース・サーキットや業務上の走行時等の時間計測にご使用いただけます。計測した時間は保存したり、評価したりすることができます。

以下の情報を保存および評価することができます。

- ラップ回数
- ラップ距離
- ラップ・タイム
- オプション：その他の各種データ（車両位置、速度、または外気温度など）

記録中、以下の項目を表示することができます。

- 現在のラップ回数
- 最速ラップ・タイムおよび、それと比較した現在のラップ・タイム
- 基準ラップに関して走行した距離の割合
- 現在のラップ・タイムが最新のラップ・タイムより速いか、遅いか、または同一かを表示するカラー・レート
- 現在の燃費の残量で走行可能な残りの距離およびラップ回数
- まだ残っている記憶時間
- オプション：現在のラップのトラック進捗状態と基準ラップ

## スイッチ・パネル上のストップウォッチ



図100: スイッチ・パネル上のスポーツ・クロノ・ストップウォッチ

ストップウォッチにはアナログ・ディスプレイとデジタル・ディスプレイがあります。

### アナログ・ディスプレイ

- 大きい指針：秒
- 小さい指針：時間および分

このディスプレイは12時間が経過するとゼロから再スタートします。

### デジタル・ディスプレイ

- 秒、1/10秒、および1/100秒

デジタル・ディスプレイおよびマルチファンクション・ディスプレイは99時間と59分まで表示できます。

### ストップウォッチの明るさ調節

- ▷ 「インストルメント・ライトの明るさ調整」(43ページ) を参照してください。

### スイッチ・パネルのストップウォッチ・ライトのON/OFF：



- ▷ 「インストルメント・ライトの明るさ調整」(43ページ) を参照してください。

### ストップウォッチ時刻の表示

- ▷ 「ダッシュボードのストップウォッチの時刻表示」(274ページ) を参照してください。

## ストップウォッチ・タイムの表示

ラップ・タイムは異なる場所に表示することができます。

- スイッチ・パネル上のスポーツ・クロノ・ストップウォッチ
- マルチファンクション・ディスプレイのクロノメニュー
- PCMのメイン・メニュー  のSC 

## マルチファンクション・ディスプレイでの実行

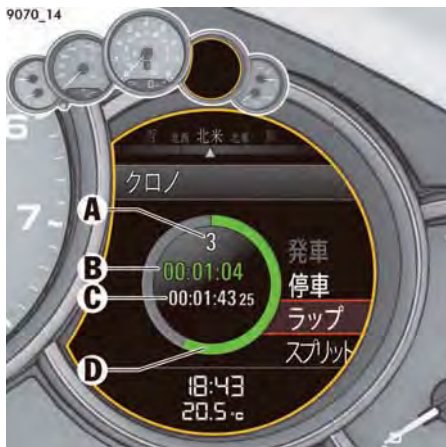


図101: クロノメニュー

- A ラップ・カウンター・現在のラップ回数
- B 現在のラップ・タイム（緑色：最速ラップよりも速い、黄色：最速ラップと同タイム、赤色：最速ラップよりも遅い）
- C 最速のラップ・タイム
- D サークル・ディスプレイ（基準ラップと比較してどれだけラップを完了しているかを示す）

### **i** インフォメーション

ストップウォッチ作動中にクロノメニューを終了しても、計測は続きます。ストップウォッチはイグニッションをOFFにすると停止します。約4分以内にイグニッションを再度と、ストップウォッチは作動を再開します。

### 計時の開始

- ▶ クロノ ▶ 発車  
データの記録が開始されます。基準ラップがまだ保存されていない場合は、記録の中の初めラップが基準ラップとして使用されます。

### 計時の停止

- ✓ 計時が開始されている

- ▶ クロノ ▶ 停車

### 計時の継続

- ✓ 計時が停止している

- ▶ クロノ ▶ 停車 ▶ 連続

### ラップの停止/新しいラップの開始

現在のストップウォッチ・タイムはラップ・タイムとして保存されますが、ストップウォッチは停止しません。

- ✓ 計時が開始されている

- ▶ クロノ ▶ Lap (ラップ)

ラップ・カウンターの値（図101、A）が1ずつ増えます。最速で終了したラップのタイムが最速ラップ・タイム（図101、C）として保存されます。現在のラップ・タイム（図101、B）とサークル・ディスプレイ（図101、D）の色が変わることによって、現在のラップ・タイムが最速ラップより速いか、遅いか、または同一かを表示します。

### **i** インフォメーション

1回のセッションで最大99ラップを保存することができます。

### 中間ラップの保存

- ✓ 計時が開始されている

- ▶ クロノ ▶ 間隔  
中間タイムが短時間表示されますが、保存はされません。時間測定はバックグラウンドで継続しています。

### ストップウォッチ・タイムのリセット

- ✓ 計時が停止している

- ▶ クロノ ▶ 停車 ▶ リセット  
すべてのストップウォッチ・タイムをゼロにリセットすることができます。

## PCMでの計時の表示

### i インフォメーション

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:  
 ▶ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作」(245ページ) を参照してください。

### ストップウォッチの表示

- ✓ 計時が開始されていること。
  - ▶ 「計時の開始」(134ページ) を参照してください。

#### 1. CAR ボタン ▶ SC

2. ストップウォッチ・ディスプレイをスクロール (スワイプ) してください。



図102: ストップウォッチ・ディスプレイ (記録中)

- A ラップ・カウンター - 現在のラップ回数
- B 現在のラップ・タイム (緑色: 最速ラップよりも速い、黄色: 最速ラップと同タイム、赤色: 最速ラップよりも遅い)
- C 最速のラップ・タイム
- D サークル・ディスプレイ (基準ラップと比較してどれだけラップを完了しているかを示す)
- E まだ残っている記憶時間
- F 現在の燃費の残量で走行可能なラップ回数

### トラック進捗の表示

- ✓ 計時が開始されている
  - ▶ 「計時の開始」(134ページ) を参照してください。
- ✓ CAR ボタン ▶ SC SET Sport Chrono、Record additional data機能が作動している

#### 1. CAR ボタン ▶ SC

2. トラック進捗ディスプレイをスクロール (スワイプ) してください。



図103: 記録中 - トラック進捗ディスプレイ

- A 現在の車両位置
- B 現在のラップ (緑色: 最速ラップよりも速い、黄色: 最速ラップと同タイム、赤色: 最速ラップよりも遅い)
- C 基準ラップ (灰色)

## 記録の表示および編集

1回のセッションで最大99ラップを記録することができます。基準ラップがまだロードされていない場合は、記録の中の初めラップが基準ラップとして使用されます。最大で10時間の記録が可能です。

### 記録の表示

- ✓ 計時が停止されている
  - ▶ 「計時の停止」(134ページ) を参照してください。

#### 1. CAR ボタン ▶ SC

2. Recordingsページにブラウズ (スワイプ) してください。
3. Recordingsフォルダーを選択してください。
4. 希望の記録を選択して (記録001など)、記録を表示させてください。


### 記録データの表示

#### 1. CAR ボタン ▶ SC

2. Recordingsページにブラウズ (スワイプ) してください。
3. Recordingsフォルダーを選択してください。
4. 希望の記録を選択して (記録001など)、記録を表示させてください。
5. コントローラーのStatisticsを選択してください。個別のラップに関する情報が表示されます。




## 記録のトラック進捗の表示

✓ **CAR** ボタン ▶ SC ▶ SET Sport Chrono.  
Record additional data機能が作動している

1. **CAR** ボタン ▶ SC 
2. Recordingsページにブラウザ（スワイプ）してください。
3. Recordingsフォルダーを選択してください。
4. 希望の記録を選択して（記録001など）、記録を表示させてください。
5. コントローラーのMap  を選択してください。  
ラップのトラック進捗に関する情報が表示されます。


## ラップの表示および編集

1. **CAR** ボタン ▶ SC 
2. Recordingsページにブラウザ（スワイプ）してください。
3. Recordingsフォルダーを選択してください。
4. 希望の記録を選択して（記録001など）、記録を表示させてください。
5. コントローラーのStatistics  を選択してください。  
個別のラップに関する情報が表示されます。
6. 希望のラップを選択してください。
7. コントローラーの希望の設定を選択してください。

- **Store** : 基準ラップとしてラップの保存
- **Map** : ラップのトラック進捗を表示
- **Delete** : ラップの削除


## 基準ラップの設定

- ✓ 計時が停止されていて、リセットされている
  - ▷ 「マルチファンクション・ディスプレイでの実行」（134ページ）を参照してください。

1. **CAR** ボタン ▶ SC 
2. Recordingsページにブラウザ（スワイプ）してください。
3. Reference lapsの中から希望の基準ラップを選択してください。  
希望の基準ラップが表示されます。
4. コントローラーのSet Ref.を選択してください。

## PCMの設定入力

### 記録および基準ラップの管理

1. **CAR** ボタン ▶ SC  ▶ **OPT** ボタン
2. 希望のオプションを選択してください。

- **データ名を変更する**：基準ラップおよび記録のデータ名を変更することができます。
- **データを移動**：記録および基準データを、SDカードまたはUSB大容量記憶装置にエクスポート、またはインポートすることができます。
  - **Import**：データをインポートできるようにするためには、データが記憶装置のスポーツクロノ・フォルダーに保存される必要があります。**Select**および**Deselect**で、インポートするデータを選択してください。**Import**で、選択したデータをインポートしてください。
  - **Export**：**Select**および**Deselect**で、エクスポートするデータを選択してください。**Export**で、選択したデータをエクスポートしてください。
- **データを削除**：基準ラップおよび記録のデータ名を削除することができます。

## その他の設定

1. **CAR** ボタン ▶ **SC**  ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET Sport Chrono**

2. 希望のオプションを選択してください。

- **追加データを記録**：ラップの長さおよびラップ・タイムとは別に、他の走行データ（速度など）を1秒間隔で記録することができます。トラック進捗も地図に表示させることが可能です。
  - ▷ 「記録の表示および編集」（135ページ）を参照してください。
- **許容距離差**：基準ラップの長さと任意のラップの長さがどのくらい異なるかを表示します。長さの逸脱が大きいラップは評価に含まれません。
- **評価の最大タイム差**：記録時に速度が同一（黄色マーク）と評価されたラップ間の最大のタイム差を表示します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z



## スポーツ・クロノ・モード・スイッチ

### モード・スイッチでのモード選択

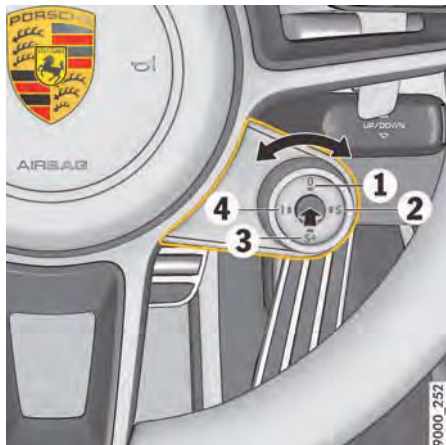


図104: ステアリング・ホイールのモード・スイッチ

- 1 ノーマル・モード
- 2 スポーツ・モード
- 3 スポーツ・プラス・モード
- 4 個別モード

#### スイッチ中央スポーツ・レスポンス・ボタン

- ▶ モード・スイッチを左または右に回して、希望の走行モードを選択します。  
選択したモードのインジケーター・ライトが点灯し、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

各モードの車両設定に関するインフォメーション:

- ▶ 「選択した走行モードの車両設定の概要」(139ページ)を参照してください。

## 個別モードの設定

個別モードでは、PASM、スポーツ・エキゾースト・システム、オート・スタート/ストップ機能、およびリヤ・スポイラーの設定を、ノーマル、スポーツ、またはスポーツ・プラスの各モードに基づいて個別に組み合わせることができます。保存した組み合わせは、次回の車両始動時にモード・スイッチを回すことで再び呼び出すことが可能です。

マルチファンクション・ディスプレイでの個別モードの設定に関するインフォメーション:

- ▶ 「個別モードの調整」(275ページ)を参照してください。

## スポーツ・レスポンス・モードの使用

✓ PDK装備車

9010\_28



図105: スポーツ・レスポンスの表示

スポーツ・レスポンス・モードでは、エンジンおよびトランスミッションが時間制御されて、最大レスポンスに設定されます。

- ブースト・プレッシャーの急速上昇
- PDKが専用の変速特性に切り替わる

## スポーツ・レスポンス・モードの作動

- ▶ **スポーツ・レスポンス**・ボタンを押してください。

マルチファンクション・ディスプレイ内の減少する緑色のバーは、この機能が有効な残り時間を示しています。約20秒が経過すると、車両は前に選択していたモードに戻ります。

## スポーツ・レスポンス・モードの作動停止

- ✓ **スポーツ・レスポンス・モード**が作動している
- ▶ **スポーツ・レスポンス**・ボタンを再度押してください。  
車両は前に選択していたモードに戻ります。

## 選択した走行モードの車両設定の概要

走行モード	ノーマル	スポーツ	スポーツ・プラス	個別	スポーツ・レスポンス・ボタン
<b>T/M温度</b>					
レスポンス	ノーマル	スポーツ	パフォーマンス	事前選択： ノーマル、スポーツ、またはスポーツ・プラス	パフォーマンス
レブ・リミッター	ノーマル	スポーツ	スポーツ		スポーツ
アイドル回転数上昇	-	作動	作動		作動
シフトダウン時のスロットル・ブリップ					
車内のエンジン・サウンド最適化					
バックファイアー	-	作動	-		-
ローンチ・コントロール	-	-	作動		作動
PDK	ノーマル	スポーツ	パフォーマンス		スポーツ・レスポンス
PTM	ノーマル	ノーマル	スポーツ		事前選択： ノーマル、スポーツ、またはスポーツ・プラス
オート・スタート/ストップ・ボタン	作動	-	-		 OFF/ON
<b>シャーシ</b>					
ダイナミック・エンジン・マウント	ノーマル	スポーツ	パフォーマンス	事前選択： ノーマル、スポーツ、またはスポーツ・プラス	事前選択： ノーマル、スポーツ、またはスポーツ・プラス
PTVプラス	ノーマル	ノーマル	スポーツ		
PASM	ノーマル	ノーマル	スポーツ	シャーシ・スポーツ	
PDCC					
リヤ・アクスル・ステアリング					
PSM	センター・コンソールのPASMボタンによるPSMスポーツ機能				

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

あ	走行モード	ノーマル	スポーツ	スポーツ・プラス	個別	スポーツ・レスポンス・ボタン
か	その他					
さ	ライト・システム	ノーマル	スポーツ	スポーツ	事前選択： ノーマル、スポーツ、またはスポーツ・プラス	事前選択： ノーマル、スポーツ、またはスポーツ・プラス
た	アダプティブ・クルーズ・コントロール					
な	スポーツ・エキゾースト・システム・ボタン	—	作動	作動	<input checked="" type="checkbox"/> ON/OFF	
は	リヤ・スポイラー	走行速度による			<input checked="" type="checkbox"/> 展開/格納	

### ノーマル

日常の走行において、コントロール・システムは快適性と経済性が両立するように作動します。

### スポーツ

日常の走行において、躍動感とダイナミズムを向上させるようコントロール・システムを切り替えます。

### パフォーマンス

レース・サーキット走行のように、性能を最大限に発揮できる設定に切り替わります。

## スポーツ・モード

全体的によりスポーティーで多様なシャーシ設定が選択できます。

**スポーツ・モード**は日常の走行において、躍動感とパフォーマンスを向上させるようにコントロール・システムを切り替えます。

スポーツおよびスポーツ・プラス・モードの車両設定に関するインフォメーション：

- ▶ 「選択した走行モードの車両設定の概要」(139ページ)を参照してください。

## スポーツ・モードのON/OFF

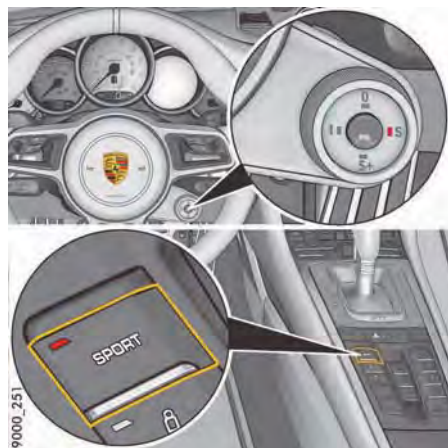


図106: スポーツ・モードのON/OFF

- ▶ **SPORT**ボタンを押すか、またはステアリング・ホイールのモード・スイッチを**S**に回します（車両装備によって異なる）。スポーツ・モードがONになると、ボタン/スイッチのインジケータ・ライトが点灯します。デジタル・スピードメーターに**SPORT**の文字が表示されます。

### **i** インフォメーション

イグニッションをOFFにすると、スポーツ・モードは自動的にノーマル・モードにリセットされます。

## スモーカーズ・パッケージ

### 灰皿の使用

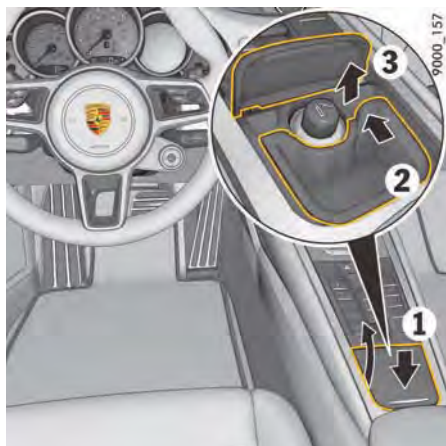


図107: 灰皿を開く/中身を空にする

#### ▲ 警告

灰皿による火災の危険

灰皿に紙くずなどを入れると発火するおそれがあります。

- ▶ 絶対に灰皿を紙くず入れとして使用しないでください。

#### 灰皿を開く

1. 灰皿のリッドを短く押してください (図107、1)。  
リッドは自動で開きます。

#### 灰皿を空にする

2. 灰皿インサートの右上を前方に押し、ロック解除してください (図107、2および3)。

3. 灰皿のインサートを引き上げて取り外してください。
4. 灰皿インサートを空にした後は、元の位置に戻し、手応えを感じるまで押し込んでください。

### シガー・ライターを使用する

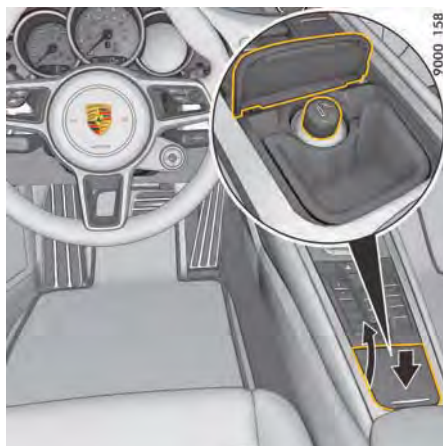


図108: シガー・ライターを使用する

#### ▲ 警告

高温のシガー・ライター

シガー・ライターの先端は、使用後は非常に熱くなります。

- ▶ お子様のみを車内に残さないでください。
- ▶ ヒーター・エレメントまたはシガー・ライターの側面部は絶対に触れないでください。
- ▶ 作動ボタン以外で高温のシガー・ライターを持たないでください。

1. 灰皿のリッドを短く押してください (図107、1)。

2. 作動ボタンをソケットに押し込んでください。

ライターのフィラメントが赤熱すると、シガー・ライターが元の位置まで飛び出します。

3. シガー・ライターを取り外してください。

シガー・ライター・ソケットで充電アダプターを使用する際のインフォメーション:

- ▶ 「充電アダプターの接続」(185ページ)を参照してください。



## スライディング/チルティング・ルーフ

### スライディング/チルティング・ルーフの開閉操作

#### 警告

スライディング/チルティング・ルーフおよびサン・ブラインドの開閉操作

スライディング/チルティング・ルーフまたはサン・ブラインドを開閉するときは、作動中のルーフまたはサン・ブラインドと車両の固定部分の間に身体の各部が挟まれないように十分注意してください。特にワンタッチ操作で開閉するときは十分に注意してください。

- ▶ スライディング/チルティング・ルーフまたはサン・ブラインドを操作するときは、同乗者がケガをしないように十分注意してください。
- ▶ 車両を離れるときは必ずキーを抜いてください。またはポルシェ・エントリー&ドライブ装備車ではイグニッションをOFFにしてください。車両から離れるときは、必ずキーを携帯してください。同乗者（お子様など）がスライディング/チルティング・ルーフまたはサン・ブラインドを誤って操作し、ケガをする恐れがあります。
- ▶ 危険が生じたときは、スライディング/チルティング・ルーフまたはサン・ブラインド・ボタンを押すか、車両の開閉操作中である場合は、直ちにキーのボタンを放してください。

#### 知識

ルーフ・トランスポート・システムを装着している場合に、スライディング/チルティング・ルーフを開いたり上げたりすると、ルーフや荷物が損傷します。

- ▶ ルーフ・トランスポート・システムを装着している場合は、スライディング/チルティング・ルーフを開いたり、上げたりしないでください。

#### インフォメーション

- スライディング・チルティング・ルーフおよびサン・ブラインドは挟み込み防止機能を備えています。これらの開操作中に障害物があると、すぐにもう1回開きます。
- スライディング/チルティング・ルーフは、極端に走行速度が高い場合や気温が極端に低い場合作動しません。

### スライディング/チルティング・ルーフおよびサン・ブラインドの操作

✓ イグニッションがONのとき

スライディング/チルティング・ルーフおよびサン・ブラインドの操作ボタンには**2段階の作動位置**があります。この2段階の作動位置は、スイッチを操作する際にははっきりと感じ取れます。

### スチール・スライディング/チルティング・ルーフを開く



図109: スチール・スライディング/チルティング・ルーフの操作

- A スライディング/チルティング・ルーフを開く
- B スライディング/チルティング・ルーフをチルトアップする
- C スライディング/チルティング・ルーフを閉じる

#### 1段階 - 手動操作

- ▶ 希望の位置になるまで、ボタンAを1段階目で引き続けてください。ボタンを放すとウィンドウが止まります。

#### 2段階 - ワンタッチ操作

- ▶ ボタンAを短く2段階目で引いてください。スライディング/チルティング・ルーフが自動的にいっぱいまで開きます。
- ▶ ボタンAまたはCをもう1回引くと作動が中断します。

ガラス・スライディング/チルティング・ルーフを開く

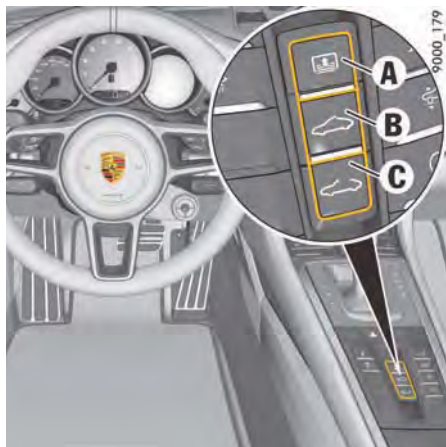


図110: ガラス・スライディング/チルティング・ルーフの操作

- A サン・ブラインドを開閉する
- B スライディング/チルティング・ルーフをチルトアップする
- C スライディング/チルティング・ルーフを開閉する

1段目 - 手動操作

- ▶ 希望の位置になるまで、ボタンCを1段目まで押し続けてください。ボタンを放すとウィンドウが止まります。

2段目 - ワンタッチ操作

- ▶ ボタンCを短く2段目まで押してください。スライディング/チルティング・ルーフが自動的にいっぱいまで開きます。
- ▶ ボタンCをもう1回押すと作動が中断します。

スライディング/チルティング・ルーフの上下操作

- ▶ ボタンBを押してください。スライディング/チルティング・ルーフがいっぱいまで上がります/下がります。
- ▶ ボタンBをもう1回押すと作動が中断します。

スライディング/チルティング・ルーフの閉操作

1段目 - 手動操作

- ▶ 希望の位置になるまで、ボタンCを1段目まで引き続けてください。ボタンを放すとウィンドウが止まります。

2段目 - ワンタッチ操作

- ▶ ボタンCを短く2段目まで引いてください。スライディング/チルティング・ルーフが自動的にいっぱいまで閉じます。
- ▶ ボタンCまたはAをもう1回押すと作動が停止します（スチール・スライディング/チルティング・ルーフのみ）。

スライディング/チルティング・ルーフの開操作が障害物に妨げられた場合、手で強く押して手動で閉じることができます。

1. 障害物を取り除いてください。
2. スライディング/チルティング・ルーフが閉じて閉位置で止まるまで、ボタンCを1段目まで引いて保持してください。

必要な場合は、閉操作を繰り返してください。

キーによるスライディング/チルティング・ルーフの開閉操作

スライディング/チルティング・ルーフを開く

- ▶ スライディング/チルティング・ルーフが希望の位置になるまでキーのボタンⓂを押し続けてください。

スライディング/チルティング・ルーフの閉操作

- ▶ スライディング/チルティング・ルーフが希望の位置になるまで、またはルーフが閉じてサン・ブラインドが希望の位置になるまで、キーのボタンⓂを押し続けてください。

ドア・ハンドルのタッチ・センサーでスライディング/チルティング・ルーフを閉じる（ボルシェ・エントリー&ドライブ装備車）

- ▶ 車両をロックする場合、スライディング/チルティング・ルーフが希望の位置になるまで、またはルーフが閉じてサン・ブラインドが希望の位置になるまで、ドア・ハンドルのタッチ・センサー触れてください。

サン・ブラインドの開閉操作

1段目 - 手動操作

- ▶ 希望の位置になるまで、ボタンAを1段目まで引いた状態、または押した状態で保持してください。
- ▶ ボタンを放すとウィンドウが止まります。

2段目 - ワンタッチ操作

- ▶ ボタンAを2段目まで短く引くか、または押してください。
- ▶ サン・ブラインドが自動的にいっぱいまで開/閉します。
- ▶ ボタンAをもう1回押すと作動が中断します。

スライディング/チルティング・ルーフを途中まで、または完全に開いた場合、サン・ブラインドはスライディング/チルティング・ルーフのフロント端までしか閉じません。

サン・ブラインドが閉じている場合は、スライディング/チルティング・ルーフを開くと自動的に開きます（一緒に引っ張られます）。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

## 警告シンボルへの対応

スライディング/チルティング・ルーフに故障がある場合、閉じることを促す警告シンボルがマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

- ▷ 86ページの警告およびインフォメーション・メッセージの章を参照してください。
- ▶ ボタンCでスライディング/チルティング・ルーフを閉じてください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## スライディング/チルティング・ルーフ・ドライブ・メカニズムが故障している場合のルーフの閉操作

ルーフ・ドライブ・メカニズムが故障した場合、車載工具の六角キー・レンチを使用して手動でスライディング/チルティング・ルーフの開閉操作を行うことができます。

- ▶ 緊急操作を行う前に、ヒューズが切れていないか点検してください。
- ▷ 225ページのヒューズの点検および交換の章を参照してください。



図111: ルーフライナーのカバー・キャップを取り外す

1. ラゲッジ・コンパートメントの工具セットから六角キー・レンチとドライバーを取り出してください。
- ▷ 294ページのタイヤ・シーラント/車載工具の取り外しの章を参照してください。
2. ドライバーなどを使用して、ルーフ・ライナーからカバー・キャップを慎重に外してください。(図111)

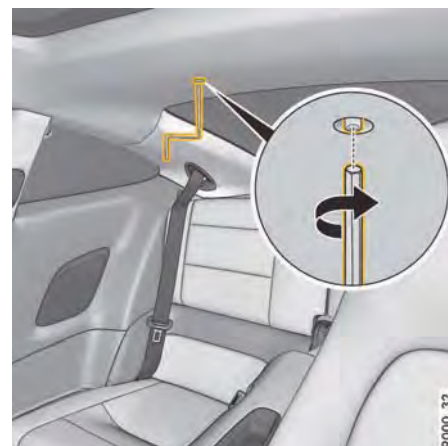


図112: 六角キー・レンチでスライディング/チルティング・ルーフを閉じる

3. 六角キー・レンチを開口部に入るところまで差し込んでください(図112)。
4. 上方向に力を加えながら、スライディング/チルティング・ルーフが完全に閉じるまで六角レンチを時計回りに回してください(図112、矢印)。
5. 六角レンチを抜き取ってください。
6. キャップを再度取り付けてください。
7. レンチを工具セットに収納してください。
- ▷ 294ページのタイヤ・シーラント/車載工具の収納の章を参照してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## スライディング/チルティング・ルーフおよびサン・ブラインドの停止位置の保存

バッテリー上がり、緊急操作、ヒューズの交換、またはバッテリーの切り離し/再接続を行うと、スライディング/チルティング・ルーフおよびサン・ブラインドの停止位置のメモリーが消去されます。

### ▲ 警告

停止位置の保存

停止位置の保存時はスライディング/チルティング・ルーフおよびサン・ブラインドが最大の力で閉じます。

- ▶ 停止位置の保存作業を行うときは乗員がケガをしないように注意してください。

✓ 停車しているとき

1. イグニッションをONにしてください。
2. スライディング/チルティング・ルーフが閉じて閉位置で止まるまで、ボタンC (143ページの図109または144ページの図110) を1段目まで引いて保持してください。

約10秒後に停止位置を保存するプロセスが開始されます。ここでスライディング/チルティング・ルーフが1回自動的に開閉し、停止位置が保存されます。

このプロセスが完了しなかった場合、以下の手順を実行してください：

3. スライディング/チルティング・ルーフが完全に閉じて止まるまで、ボタンCを1段目まで引き続けてください。
4. 必要な場合は、スライディング/チルティング・ルーフが完全に止まるまで開操作を繰り返してください。

このプロセスは最大15秒で完了します。

スライディング/チルティング・ルーフが完全に停止する前にボタンから手を放した場合：

- ▶ 保存手順をもう一度やり直してください。

- ▶ ボタンA (143ページの図109または144ページの図110) を使用して、サン・ブラインドの手順1~4を繰り返します。

## エア・デフレクターの清掃

### スライディング/チルティング・ルーフ開状態でエア・デフレクターの清掃

1. イグニッションをONにして、スライディング/チルティング・ルーフをボタンB (143ページの図109) で完全に開いてください。エア・デフレクターが完全に伸張していない場合は、完全に伸張するまでスライディング/チルティング・ルーフ開状態で短い距離を走行してください。
2. 水を含んだスポンジでウィンド・デフレクターとカバーを清掃してください。

## 制限速度表示\*

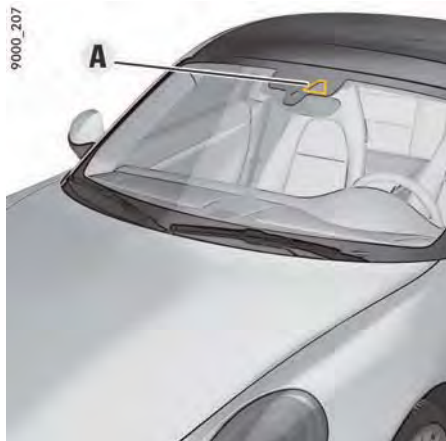


図113: カメラの取り付け位置

制限速度表示は、カメラAを使用して、制限速度と追い越し禁止ゾーンの始点と終点を検出します。

交通標識はナビゲーション・システムの地図データと連動して評価され、マルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

濡れた路面、分岐レーン、または時限式標識などで制限速度が低くなる場合、車両から供給される情報（レイン・センサー、ナビゲーションの日時など）と比較して補助標識が表示されます。

制限速度表示は国によって異なるため、すべての国別仕様に適用されるわけではありません。ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の速度制限表示に関するインフォメーション：

▷ 「地図設定の変更」(213ページ) を参照してください。

\* 日本仕様に設定はありません。

## 警告

集中力の低下

ドライバーは、制限速度表示に関係なく、適切な速度で走行するなど安全運転に努めてください。このシステムは、あくまでも補助的な機能のため運転時には細心の注意を払ってください。

制限速度表示には、車両が制限速度を超過した場合の警告機能はありません。設定した制限速度に車両の速度を調整する機能でもありません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 交通状況に応じた速度で運転してください。

## 警告

交通標識を検出するカメラの不良

雨水、雪、氷、多量の水しぶき、対向車のヘッドライトなどでカメラの視界が低下すると、カメラは交通標識を検出できない、または正しく検出できない場合があります。このような場合、制限速度が表示されなかったり、誤った制限速度が表示されたりします。マルチファンクション・ディスプレイに表示された制限速度よりも、実際の道路交通標識を常に優先して確認してください。

- ▶ 走行中は道路標識に常に注意を払ってください。
- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 進行方向の状況に常に気を配ってください。

## i

インフォメーション

例えば次のような状況では、制限速度表示機能が一時的に制限されます。

- カメラがひどく汚れている、氷で覆われている、あるいは（ステッカーなどで）塞がれている場合
- 悪天候（豪雨など）
- 速度超過
- 交通標識が見えにくい状態、または損傷している

## i

インフォメーション

カメラの作動を干渉する物がないことを確認してください：

- ▶ ルーム・ミラーのカメラの視界（図113）をステッカーなどで遮らないでください。
- ▶ 正常な機能を維持するために、カメラの視界に付着した汚れ、氷、雪などを取り除いてください。

車両のお手入れについて：

- ▷ 「お手入れ」(67ページ) を参照してください。

## i

インフォメーション

交通標識がカメラによって検出されない場合、ナビゲーション・システムに保存されている制限速度が自動的に表示されます。



制限速度の表示\*

9070\_2



図114: マルチファンクション・ディスプレイの速度制限

- A 主要交通標識
- B 補助標識

マルチファンクション・ディスプレイの「Speed limit」メイン・メニューに、補助標識Bを含む主要交通標識Aを最大3個まで表示することができます。最も優先順位の高い交通標識が左側に表示されます。

イグニッションをONにした後、マルチファンクション・ディスプレイに有効な最新の制限速度が表示されます。

制限速度が検出されない場合（制限速度がない高速道路など）、または現在地で速度制限表示が利用できない場合は、メッセージがマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

- ▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（86ページ）を参照してください。

**i** インフォメーション

- 制限速度表示は、メイン・メニューまたはマルチファンクション・ディスプレイの上部ステータス・エリアに表示できます。
  - ▷ 「上部のステータス・エリアの表示を変更する」（272ページ）を参照してください。
- 交通静音化対策地域または住宅地では、制限速度表示は「5km/h」と表示されます。
- 交通標識のない高速道路や（中央分離帯のある）幹線道路の入口/出口では、郊外道路の該当する制限速度が表示されます。

A-2

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ

## 接続

### データ接続を確立する（接続）

ポルシェ専用SIMカードを使用してデータ接続を確立する

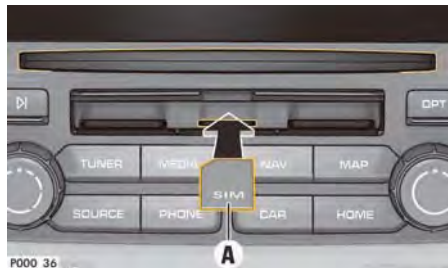


図115: SIMカードの挿入および取り出し

✓ SDおよびSIMカード・リーダーのカバーAが開いている

1. SIMカードBを挿入してください。切り欠き部分を前方左側にして、チップ面を下にしてください。

2. **Enable**を選択し、データ接続を有効にしてください。

このメッセージを繰り返し表示させない場合、 **Don't ask again**を選択してください。データ接続が確立されます。

▶ SIMカードを取り出すには、挿入されたカードを押して抜き出します。

#### 知識

SIMカードを正しく使用しないと、PCMを損傷する恐れがあります。

SIMカード・アダプターを使用すると、振動によりSIMカードがアダプターから外れ、カード・ピースがPCMから取り出せなくなる恐れがあります。

▶ SIMカード・アダプターは使用しないでください。

#### i インフォメーション

複数のアクセス・ポイントが利用可能な場合は、**複数のアクセスポイント (APN) が使用できます**。選択してください。というメッセージが表示されます。利用可能なアクセス・ポイント (APN) のリストが表示されます。

▶ 希望のアクセス・ポイント (APN) を選択してください。SIMカードにアクセス・ポイントが設定されていない場合は、サービス・プロバイダーにAPNの設定を確認してください。**アクセスポイントを設定**を選択し、PCMにAPNの設定を行ってください。設定をリセットするには、**設定をリセット**を選択してください。

#### i インフォメーション

お使いの携帯電話の料金体系に応じて、また海外で使用する場合は、インターネットからデータ・パッケージを受信する際に追加料金が発生する場合があります。定額データ・プランのご利用をお勧めします。

データ接続の設定に関するインフォメーション：  
▶ 「データ接続の設定」(193ページ) を参照してください。

電話の設定に関するインフォメーション：  
▶ 「電話設定の変更」(193ページ) を参照してください。

Bluetooth®を使用した携帯電話のPCMへの接続に関するインフォメーション：

▶ 「電話」(186ページ) を参照してください。

### 外部WiFiホットスポット経由でデータ接続を確立する\*

✓ SIMカード・リーダーが空の状態である

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET PHONE** ▶ **WiFi settings**

2. 必要に応じて、**Activate WiFi**を選択してWiFi機能を有効にしてください。

3. **Use external data connection**を有効にしてください。

4. **Connect external WiFi hotspot**を選択してください。

5. WiFiホットスポット（公衆ホットスポットや携帯電話の個人向けホットスポットなど）を検出し、PCMにWiFiアクセス・データを入力します。データ入力時は、大文字/小文字に注意してください。

外部WiFiホットスポットへの接続が確立します。

WiFi設定に関するインフォメーション：  
▶ 「WiFi設定の設定」(193ページ) を参照してください。

\* 日本仕様に設定はありません。

## 接続の利用

### 「NAV」および「MAP」メイン・メニューでの接続

- ✓ 挿入されたSIMカードまたは外部WiFiホットスポットにより、データ接続が正常に確立されている
  - ▷ 「データ接続を確立する（接続）」（149ページ）を参照してください。
- ナビゲーション目的地の入力時のGoogle®検索
  - ▷ 「目的地の検索」（207ページ）を参照してください。
- Google Earth®およびGoogle Street View®の地図画面
  - ▷ 「マップ・ビューを開いて設定する」（210ページ）を参照してください。
- インターネットから入手した事故、道路工事、交通量情報やその他の事象等に関するリアルタイム交通情報
  - ▷ 「交通情報の表示」（211ページ）を参照してください。

### 「アプリ」メニューでの接続

- ✓ Porsche Connect Appがお使いの携帯電話にインストール済みで、起動している
- ✓ 携帯電話がPCMにWiFiで接続されている
- お使いの携帯電話の住所録またはPCMのカレンダーから、個人的なPOI（施設情報）および目的地を保存する
- PCM 経由で音楽を再生する、またはオンライン・ラジオを聴く
  - ▷ 「Porsche Connect App」（326ページ）を参照してください。

## i インフォメーション

- お使いの携帯電話の料金体系に応じて、また海外で使用する場合は、インターネットからデータ・パッケージを受信する際に追加料金が発生する場合があります。定額データ・プランのご利用をお勧めします。
- サービスの利用可否、範囲およびプロバイダーは国、年式、機器および使用料金によって異なる場合があります。
- リアルタイム交通情報、Google Street View®およびGoogle Earth®のサービスは少なくとも12カ月の無料利用期間を提供しており、www.porsche.com/connect から有料にて延長が可能です。これらのサービスを利用するには、データ対応のSIMカードおよび無線インターネット接続が必要となります。携帯電話プロバイダーとの料金ベースの個別契約が必要です。

### サービス情報の表示

- ▷ **HOME** ボタン ▶ **Apps** ▶ **OPT** ボタン ▶ **Service information**  
購入したサービスおよび契約期間に関する情報が表示されます。

## WiFiホットスポットの使用

- この機能により、機器（携帯電話など）をPCMにWiFi経由で接続してPCMのWiFiホットスポットを使用することができます。
- ✓ SIMカード経由でデータ接続が確立されている

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **PHONE設定** ▶ **WiFi settings**
2. 必要に応じて、**Activate WiFi動**を選択してWiFi機能を有効にしてください。
3. **Configure WiFi hotspot in the PCM**を選択してください。  
PCMのWiFiアクセス・データ（機器名およびWiFiパスワード）が表示されます。
4. PCMのWiFiアクセス・データを機器のWiFi設定に入力してください。  
PCMのWiFiホットスポットとの接続が確立します。

WiFi設定に関するインフォメーション：

- ▷ 「WiFi設定の設定」（193ページ）を参照してください。

## i インフォメーション

- お使いの携帯電話の料金体系に応じて、また海外で使用する場合は、インターネットからデータ・パッケージを受信する際に追加料金が発生する場合があります。定額データ・プランのご利用をお勧めします。
- WiFiホットスポットを利用するときは、データ・セキュリティ・ソフト、ウイルス対策およびデータ損失対策用ソフトを各機器にインストールしてください。

## セントラル・ロッキング

### 概要 - 車外からのドアの開閉 操作とロック

この概要説明は「セントラル・ロッキング・システム」に記載されているすべての情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図 116: キー

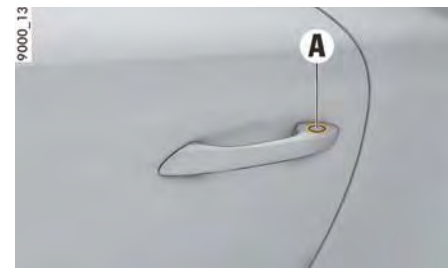






図 117: ポルシェ・エントリー & ドライブ

運転者が何をしたいか?	その操作方法は?	その結果は?	ページ
ロック解除	キーを使用する: ▶ キーの  ボタンを押してください。 ポルシェ・エントリー & ドライブ装備車: ▶ ドア・ハンドルをしっかりと握ってください。	ハザード・ライトが1回点滅します。ドアを開くことができます。	152
ロック	キーを使用する: ▶ キーの  ボタンを押してください。 ポルシェ・エントリー & ドライブ装備車: ▶ ドア・ハンドルのタッチ・センサー <b>A</b> に触れてください。	ハザード・ライトが2回点滅します。ドアがロックされ、インナー・ドア・ハンドルを引いて車内からドアを開くこともできなくなります (セーフロック)。	153
人/動物を車両に残してロックする - 車両のロック時にセーフロックを解除する および - 室内モニタリング・システムをOFFにする	キーを使用する: ▶ キーの  ボタンを2回押してください (約2秒以内)。 ポルシェ・エントリー & ドライブ装備車: ▶ ドア・ハンドルにある近接センサー <b>A</b> に2回触れてください (約2秒以内)。	ハザード・ライトがゆっくり1回点滅します。ドアはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。	153
アラーム・システムのアラーム音をOFFにする	▶ 車両キーの  ボタンを押してください。 または イグニッションをONにしてください。	アラーム音がOFFになります。	108

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

## セントラル・ロッキング・システムの使用

車両装備により、キーまたはポルシェ・エントリー&ドライブ装備車ではキーを使用せずにドアのロックおよびロック解除ができます。

セントラル・ロッキング・システムは、次の部位をロック/ロック解除します：

- ドア
- フィラー・フラップ（燃料給油口カバー）

### キーを使用する

- ▶ キーのボタンを使用します。

### **i** インフォメーション

ここでは初期設定の機能をもとに説明しています。ロック/ロック解除の設定変更に関するインフォメーション：

- ▶ 277ページのドア・ロック機能を設定するの章を参照してください。

### ポルシェ・エントリー & ドライブ 装備車

ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車の場合、キーを使用せずにロックおよびロック解除を行なうことができます。車両がロックされていてもリッドを開くことができます。

- ▶ キーを強い電磁波にさらさないください。ポルシェ・エントリー&ドライブに悪影響を与える場合があります。


## ドア・ロックを解除してドアを開く

### ドアのロック解除機能の設定

設定により運転席ドアのみをロック解除する、または助手席ドアも同時にロック解除することができます。

- ▶ 277ページのドア・ロック機能を設定するの章を参照してください。


選択した設定にかかわらず、両側のドアがロック解除します：

- ▶ キーの  ボタンを5秒以内に2回押してください。

### キーによるドアのロック解除



図118: キーによるドアのロック解除

1.  ボタンを押してください。ハザード・ライトが1回点滅します。ドア・ロックが解除されます。
2. ドア・ハンドルを引いてドアを開いてください。

## ポルシェ・エントリー & ドライブ（キーレス）によるドアのロック解除



図119: ポルシェ・エントリー & ドライブによるドアのロック解除

- ✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携帯する
1. ドア・ハンドルをしっかりと握ってください。ハザード・ライトが1回点滅します。ドア・ロックが解除されます。
  2. ドア・ハンドルを引いてドアを開いてください。

### **i** インフォメーション

車両のロックを一定時間以内に解除しなかった場合、ポルシェ・エントリー&ドライブの作動待機がOFFになります。運転席ドアは96時間後、助手席ドアは36時間後に作動待機がOFFになります。

1. ドア・ハンドルを1回引くと、ポルシェ・エントリー&ドライブが作動待機状態に戻ります。
2. ドア・ハンドルをもう1回引くと、ドアが開きます。



## i インフォメーション

ロックを解除した後、ドアまたはトランク・リッドを開かなかつた場合、30秒後に自動的に再ロックされます。警報システムは起動します。傾斜センサー\*と室内モニタリング・システムは解除されます（盗難防止機能が制限されます）。

この場合、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。

▶ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

再度ロックされた後は、室内モニタリング・システムおよび傾斜センサー\*が再び作動します。

## i インフォメーション

エアバッグが作動する事故が起きた場合、救助者が車両に入りやすくするためにドアが自動的にロック解除されます。更に、ハザード・ライトも自動的に作動します。

## ドアをロックする

### セーフロックの使用

セーフロックは、ロックされた車両のインナー・ドア・ハンドルとセントラル・ロッキング・ボタンを無効にし、不正な車内への侵入を難しくします。

## ⚠ 警告


車外からのドアのロック

車外からドアをロックすると、車内からドアやウィンドウを開くことができなくなります（セーフロック）。そのため、ロックする前に車両に人または動物が残っていないことを確認してください。ロックされたドアによって緊急時に救助者が車内に入ることが困難になります。

▶ 車両をロックするときは、車内に人や動物がいないことを確認してください。

### キーによるドアのロック

1. ドアを閉じてください。


2.  ボタンを1回押してください。

ハザード・ライトが2回点滅します。

車外、車内のどちらからもドアを開くことができなくなります。

または

人や動物を車内に残してロックする場合（ロックされた車両のセーフロックの解除）:

▶  ボタンを2秒以内に2回押してください。

ハザード・ライトがゆっくり1回点滅します。

ドアはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。

▶ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

## i インフォメーション

– ドアまたはトランク・リッドが完全に閉じていない場合、車両をロックできません。警告音が鳴り、マルチファンクション・ディスプレイに警告シンボルが表示されます。ハザード・ライトは点滅しません。

– 運転席ドアのみが閉じている状態でロックすると、車両はプリロックされます。

▶ 残りのドア/トランク・リッドをロックするときは、キーを車内に置き忘れているか確認してください。

キーを車内に残したままにすると、スペア・キーを使用しなければロックを解除することができなくなります。

### ポルシェ・エントリー & ドライブ（キーレス）によるドアのロック

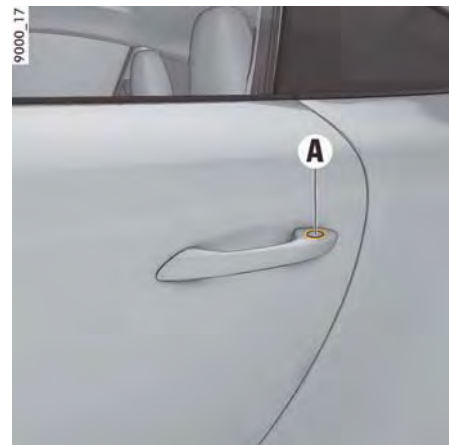


図120: ポルシェ・エントリー & ドライブによるドアのロック

\* 日本仕様に設定はありません。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携行する

1. ドアを開けてください。
2. ドア・ハンドルのタッチ・センサー A に触れてください。

ハザード・ライトが2回点滅します。

車外、車内のどちらからもドアを開くことができなくなります。

または

**人や動物を車内に残してロックする場合（ロックされた車両のセーフロックの解除）：**

- ▶ ドア・ハンドルのタッチ・センサー A に2秒以内に2回触れてください。

ハザード・ライトがゆっくり1回点滅します。

ドアはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。

- ▶ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

## **i** インフォメーション

- ロックするときは、ドア・ハンドルのタッチ・センサーにのみ触れるようにしてください。
- ロック時にドア・ハンドルを握った場合、車両のドアはロックできません。
- ドアまたはトランク・リッドが完全に閉じていない場合、車両をロックできません。警告音が鳴り、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。ハザード・ライトは点滅しません。
- ドアをロックするときはキーを車外に持ち出してください。キーが車内にあるとドアをロックできません。

## 車内からのドアの開閉操作とロック

### ドアをロックする



図121: セントラル・ロッキング・ボタン

- ✓ ドアを閉じる
- ▶ **i** ボタンを押してください。  
すべてのドアがロックされます。  
イグニッションがONの場合、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。  
ドアはインナー・ドア・ハンドルを引くことにより開くことができます。

### 自動ドア・ロック

この機能が作動しているときは、車両の速度が約5km/hを超えると自動的にロックされます。

- ▶ 277ページのドア・ロック機能を設定するの章を参照してください。

## ドア・ロックの解除

- ▶ **i** ボタンを押してください。  
すべてのドアがロック解除されます。  
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

### 自動ドア・ロック解除

ポルシェ・エントリー & ドライブ非装備車：  
キーを抜くと、車両のロックが自動的に解除されます。

ポルシェ・エントリー & ドライブ装備車  
運転席ドアを開くと、車両は自動的にロック解除されます。

- ▶ 277ページのドア・ロック機能を設定するの章を参照してください。

## **i** インフォメーション

キーまたはスペア・キーで車両をロックした場合、セントラル・ロッキング・ボタンでロックを解除することはできません。

## ドアを開く

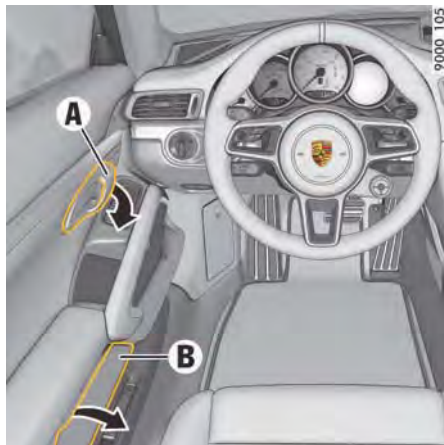


図122: 車内からドアを開く

- A インナー・ドア・ハンドル  
B ドアの収納ボックス

- ▶ インナー・ドア・ハンドルAを引いてください(図122)。

### i インフォメーション

車両がロックされ、セーフロックが作動している場合、ドア、ラゲッジ・コンパートメント、ガラス・リヤ・ウィンドウ(タルガ)およびエンジン・コンパートメント・リッドを内側から開くことはできません。

### 緊急ドア操作

キーのリモコンが機能しない場合、リモコンなしでもドアを開閉することができます。

リモコンが作動しない場合は、以下の原因が考えられます。

- 送信中に電磁波が干渉している場合があります(ポルシェ・エントリー & ドライブの場合、キーと車両間の電波接点)。
- キーと電源の入った電子機器(携帯電話、ノートパソコン、充電ケーブルなど)と一緒に保管しないように注意してください。
- リモコンが作動しない場合、故障が原因と考えられます。
- キーのバッテリーが切れている場合があります(77ページのキーの電池交換の章を参照してください)。

### 緊急ドア・ロック解除

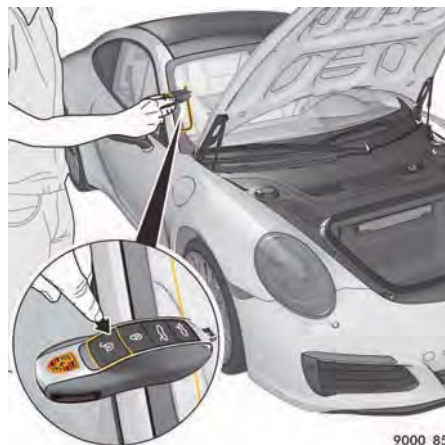


図123: リモコンが故障した場合の緊急解除

- ▶ 助手席側のフロントガラスの外端部にキーを置き、同時にGボタンを押してください(図123)。

車両のロックがまだ解除できない場合:

1. エマージェンシー・キーをキーから取り外してください。
  - ▶ 77ページのエマージェンシー・キーを使用する場合の章を参照してください。



図124: ドア・ロック・シリンダー

2. エマージェンシー・キーで運転席ドアのロックを解除し、ドアを開いてください: ドア・ハンドルを引いたまま保持してください。
3. ドア・ロックにエマージェンシー・キーを挿入し、90°時計回りに回してエマージェンシー・キーを再度抜き取ってください(図124)。
4. ドア・ハンドルから手を離し、もう1回引いてドアを開いてください。
5. 盗難防止警報システムの作動を回避するため、10秒以内にイグニッションをONにしてください。

## ボルシェ・エントリー&ドライブ装備車の追加作業：

イグニッションをONにできない、またはエンジンが始動しない場合は、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「キーが見つからない/障害キーの位置を変更して下さい」が表示されます。

5. コントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置0に戻してください。
6. エンジンを再度始動してください。  
エンジンが始動しない場合、メッセージ「キーが見つからない/障害キーの位置を変更して下さい」が再度表示されます。
7. 約1秒後、メッセージ「スイッチ部:左に回す、取り外、カギをさす」が表示されます。
8. コントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置0に戻し、イグニッション・ロックから取り外してください。
  - ▷ 78ページのキー/コントロール・ユニットの緊急ロック解除の章を参照してください。
9. キーを使用してイグニッションをONにしてください（エマージェンシー・キーは除く）。

## 緊急ドア・ロック

1. エマージェンシー・キーをキーから取り外してください。
  - ▷ 77ページのエマージェンシー・キーを使用する場合の章を参照してください。
2. 運転席ドアを開いてください。
3. 運転席ドアのドア・ハンドルを持ち上げます（ページ155の図124）。  
ドア・ロックにエマージェンシー・キーを挿入し、進行方向と反対に90°回してエマージェンシー・キーを再度抜き取ってください。ハザード・ライトが2回点滅して車両がロックされたことを知らせます。

4. ドア・ハンドルから手を離し、ドアを閉じてください。  
運転席ドアがロックされます。
5. 助手席ドアの緊急ロックの場合、エマージェンシー・キーを運転席ドアのドア・ロックに再び挿入し、進行方向と反対に90°回し、エマージェンシー・キーを再び抜き取ります。  
助手席ドアがロックされます。

## **i** インフォメーション

セントラル・ロッキング・システムに異常があるときは、運転席ドアのドア・ロックにエマージェンシー・キーを差し込んでロックすると、正常に機能しているロックのみが作動します。

- ▶ セントラル・ロッキング・システムの故障を修理してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ボルシェ・エントリー&ドライブ

9070\_2



## ボルシェ・エントリー&ドライブのアンテナの取り付け位置

ボルシェ・エントリー&ドライブ装備車は、リモート・コントロール付きキーと車両のアンテナが電波で通信することで、ドアやリヤ・リッドをロック/ロック解除できます。

植え込み型心臓ペースメーカーまたは植え込み型除細動器を装着されているお客様へ

## **⚠** 警告

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、車室外アンテナAおよび車室内アンテナBから約22cm以内の範囲に、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を近づけないでください。

- ▶ 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、車室外アンテナAおよび車室内アンテナBから約22cm以内の範囲に近づかないでくだ

さい。アンテナからは電波が出ており、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与える恐れがあります。

- ▶ 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用されている方は、医師や医療用電気機器製造業者などに電波の影響の有無について事前に確認してください。電波により医療用電気機器の作動に影響を与える恐れがあります。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z



## タイヤとホイール

タイヤの寿命は、タイヤ空気圧やシャーシ設定以外に、お客様の運転スタイルにも大きく左右されます。

急加速や高速でのコーナリング、ブレーキを酷使用する運転スタイルは、タイヤの摩耗を早めます。また、外気温が高いときや悪路での走行も、タイヤの摩耗を早める原因です。

### 積載重量と速度

- ▶ 適切な速度で運転してください。
- ▶ 過積載を避け、ルーフに積載する場合は注意してください。
- ▶ 「重量（メーカー発表値）」（332ページ）を参照してください。

## タイヤ空気圧の点検

### 知識

タイヤ空気圧が不足していると、タイヤが過熱して目に見えない損傷が発生します。

- ▶ このような損傷が発生した場合は、空気圧を調整しても正常な機能を回復できません。
- ▶ タイヤの温度が高い状態で空気圧を調整しない（空気を抜かない）でください。タイヤの温度が上昇すると、空気圧も上昇します。温度が下がったときに空気圧が不足する原因になります。

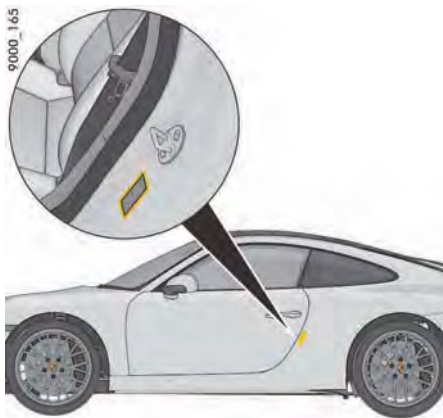


図125: ドア・シル（ドア開口部）のタイヤ空気圧プレート

タイヤを規定の空気圧に保ってください。タイヤ空気圧は運転席側ドア・シル（ドア開口部）にあるタイヤ空気圧プレート（図125）、および本書（338ページ）の「テクニカル・データ」の章に記載されています。タイヤ空気圧の規定値は、タイヤが冷えているとき（20℃）を基準にしています。

- ▶ 少なくとも2週間に1回はタイヤの冷間時にタイヤ空気圧を点検してください。
- ▶ 「タイヤ空気圧メニュー - タイヤ空気圧モニタリング（TPM）」（267ページ）を参照してください。

## タイヤ空気の充填

### 知識

タイヤに空気を充填する間、コンプレッサーの充填ホースが高温になり、やけどの原因となります。

- ▶ 作業用手袋を着用してください。

コンプレッサーはトランク・ルーム内のカバーの下にあります。

- ▶ 「タイヤ充填コンプレッサーの取り外しおよび収納」（295ページ）を参照してください。
- ▶ コンプレッサーの取扱説明書に従ってください。

1. 充填ホースをタイヤ・バルブにねじ込んでください。
2. コンプレッサーを車両のプラグ・ソケットに接続し、コンプレッサーをONにしてください。タイヤに空気が充填されます。
3. 空気圧計で充填した圧力を点検し、必要であれば調整してください。もう1回タイヤ空気圧を点検してください。
4. コンプレッサーをOFFにしてください。
5. コンプレッサーの充填ホースをタイヤ・バルブから取り外してください。

### i インフォメーション

また、ガソリンスタンドでもタイヤ空気圧の点検、およびタイヤに空気の充填ができます。

## ラジアル・タイヤ表記の読み取り



図126: ラジアル・タイヤの見方

- A タイヤ幅 (mm)
- B 扁平率 (%)
- C タイヤの構造記号 (ラジアル)
- D リム径 (インチ)
- E ロード・インデックス
- F 速度記号

速度記号Fは、そのタイヤの許容最高速度を示します。この記号はタイヤの側面 (サイド・ウォール) に表示されています。

- T 190km/h まで
- H 210km/h まで
- V 240km/h まで
- W 270km/h まで
- Y 300km/h まで

(Y) 300km/hまで (Y記号タイヤの場合) タイヤのロード・インデックス (最大積載容量) の85%までを積載した状態で300km/h以上の速度で走行することも可能です (300km/h以上で走行する場合はタイヤ・メーカーの確認が必要です)。

## 合金製ホイール記号の読み取り

ホイールの情報は、タイヤ・バルブの近くのホイール・スポーク裏面に刻印されています。



図127: 軽合金製ホイールの記号

- G リム幅 (インチ)
- H リムフランジ形状記号
- I ドロップ・センター・リム記号

- J リム径 (インチ)
- K ダブル・ハンプ
- L リム・オフセット (mm)

## タイヤ損傷の点検



警告

見えないタイヤ損傷とリム・フランジの損傷

タイヤが損傷すると、特に高速走行時にタイヤがバースト (破裂) する恐れがあります。

- ▶ 定期的にはタイヤの状態 (側面も含めて) を点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、側面の膨れなどがいないか確認してください。
  - ▶ 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。傾斜が大きく縁が尖った縁石や角ばった物体 (石など) に強くぶつかったり乗り上げたりしないように注意してください。
  - ▶ ホイールを損傷した可能性があるとき (特に内側) は、専門家による点検を受けてください。
- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ いかなる場合も、タイヤを修理しないでください。パンク修理剤を使用したタイヤのシーリングは、緊急の場合に限り1回のみ、最寄りの修理工場までの短距離移動を可能にします。

タイヤに次のような損傷を受けた場合は、安全のためにタイヤを交換してください:

- タイヤ内部の構造物の層が損傷した可能性があるとき
- タイヤ空気圧が不足しているときや、損傷箇所がある場合など、それらが原因でタイヤが過熱したり、異常な負荷がかかったりした可能性があるとき

## タイヤとホイールの交換

- ▶ ホイールを交換するときは、イグニッションをOFFにしてください。

**▲ 警告** グリップしない

新品のタイヤはグリップ性能を十分に発揮できません。

- ▶ 最初の200kmは、控えめな速度で走行して新しいタイヤを慣らしてください。これによりタイヤ寿命を伸ばし性能を最大限に引き出すことができます。

- ▶ 原則として、4輪に装着するタイヤは同一メーカーの同一仕様（N0、N1など）に統一してください。

- ▶ ポルシェ社がテストを行い、承認したメーカーのタイヤのみを使用してください。

- ▶ 同一アクスル上のトレッド溝の深さの差は30%を超えないようにしてください。

- ▶ 使用経歴が不明な中古タイヤは使用しないでください。

- ▶ トレッド溝の深さの差を原因とする不必要な車両操作への影響を避けるため、同一アクスル上の両方のタイヤは必ず同時に交換してください。

- ▶ タイヤの交換は、必ず専門の整備工場を実施してください。

ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。

## i インフォメーション

新しいホイールには、タイヤ空気圧モニタリング（TPM）のタイヤ空気圧センサーを取り付けなければなりません。

- ▶ この車両のTPMシステムに適合するホイールであることを確認してください。適正ホイールとTPMに関する情報：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

- ▶ タイヤを交換する場合、タイヤ空気圧センサーのバッテリー充電状態を点検してください。

## i インフォメーション

フロントまたはリア・タイヤのみを交換した場合は、前後タイヤのトレッド溝の深さに差があるため、それまでの走行とはっきりした違いが感じられます。この違和感は特にリア・タイヤを交換した場合に顕著になります。この違和感は、走行距離が伸びるにつれて次第に減少します。

ZR規格のタイヤは240km/hの速度に耐えられるように設計されていますが、その速度を強要するものではありません。法定速度を遵守して走行してください。

- ▶ 新しいタイヤに交換する前に、最新の承認タイヤについてポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。

## バルブおよびバルブ・キャップの点検と交換

- ▶ タイヤ空気圧モニタリング（TPM）用のポルシェ純正バルブのみを使用してください。

- ▶ タイヤを交換する場合は必ずバルブを点検し、必要に応じて交換してください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

バルブ・キャップがない場合、ほこりや汚れからバルブを保護することができないため、漏れの原因になることがあります。

- ▶ バルブ・インサートの汚れを防ぐため、必ずバルブ・キャップをしっかりと閉めてください。バルブが汚れると、タイヤ空気圧減少の原因となります。

- ▶ 紛失した場合は、直ちに新しいバルブ・キャップを取り付けてください。

- ▶ プラスチック製のバルブ・キャップのみを使用してください。

## ウィンター・タイヤを使用する

**▲ 警告** 最高許容速度の超過

最高許容速度を超えると、タイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。

- ▶ タイヤの最高許容速度を守ってください。

- ▶ タイヤの側面に「M+S」の表示があるタイヤに限り、許容最高速度がこの車両の最高速度に満たないウィンター・タイヤを装着できます。オール・シーズンおよびオールラウンド・タイヤも速度制限の対象となり、これが表示されています。

- ▶ 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。法定速度を遵守してください。

- ▶ マルチファンクション・ディスプレイで最高許容速度を制限速度として設定する：

- ▶ 「制限速度の設定」（266ページ）を参照してください。

- ▶ 積雪や凍結の恐れがある時期が近づいたら、早めにウインター・タイヤを装着してください。
- ▶ ポルシェ社がテストを行い、承認したメーカーのタイヤのみを使用してください。
- ▶ 新しいタイヤに交換する前に、最新の承認タイヤについてポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。

## i インフォメーション

タイヤを気温が低い時に使用し続けると、ドライ/ウェット路面に関係なく、走行中やコーナリング後の加速中にジャダー・ノイズが発生することがあります。

サマー・タイヤの走行性能は、気温が7℃を下回ると低下し、快適性も損なわれます。このため、ポルシェ社では気温が7℃を下回る時期にはウインター・タイヤへの交換を推奨しています。更に外気温度が極端に低くなると（-15℃以下）、サマー・タイヤに恒久的な損傷が生じることがあります。

ウインター・タイヤは、トレッド溝の深さが4mm以下になると性能が低下します。

## スノー・チェーンを使用する

スノー・チェーンはリヤ・タイヤのみに装着してください。また「テクニカル・データ」の章を参照して、スノー・チェーンの装着に適したタイヤ/ホイールを使用しなければなりません。

- ▶ スノー・チェーンとホイール・ハウジングのクリアランスを十分に確保するため、ポルシェ社が承認したファイン・リンク・スノー・チェーンのみを使用してください。
- ▶ 認定スノー・チェーンに関するインフォメーション：「タイヤとホイール」（336ページ）を参照してください。
- ▶ スノー・チェーンを装着する前に、ホイール・ハウジングの内側にこびりついた雪や氷を取り除いてください。
- ▶ 最高速度については各国の法規に従ってください。

## タイヤ・トレッドの点検

- ▶ タイヤのトレッドを定期的に点検してください。特に長距離走行の前後は、入念に点検してください。
- ▶ 多くのタイヤはトレッド中央分にウェア・インジケータを備えています。ウェア・インジケータは主要なトレッド溝に設けられており、トレッド溝の深さが最少の1.6mmになると現れます。安全のため、ウェア・インジケータが現れる前にタイヤを交換してください。ウインター・タイヤは、トレッド溝の深さが4mm以下になると性能が低下します。

## トレッド溝の深さの測定

- ▶ 市販のトレッド溝ゲージまたはキャリパーをタイヤ・トレッドの中央に挿入し、タイヤ・トレッドの深さを測定してください。

## i インフォメーション

タイヤの摩耗に偏りがある場合、車両の不具合が考えられます：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## タイヤの保管

- ▶ タイヤは、常に乾燥した暗冷場所に保管してください。ホイールに装着していないタイヤは、立たせた状態で保管してください。
- ▶ 外気温が-15℃以下の場所にサマー・タイヤを保管したり、またはサマー・タイヤ装備車を駐車したりしないでください。
- ▶ 燃料、オイル、グリースなどがタイヤに触れないようにしてください。
- ▶ 製造から6年以上が経過したタイヤは**使用しないでください**。年数が経過すると、ゴムに弾性を与えるために添加している化学添加物の効果が弱まり、ゴムがもろくなります。タイヤの製造時期は、タイヤ側面のDOTコードでわかります。例えば、コードの下4桁が「3015」の場合、2015年の第30週に製造されたタイヤです。

## ホイールのバランス調整

安全で快適なドライブを楽しんでいただくために、サマー・タイヤは春に、「M+S」付きのスノー・タイヤは冬に入る前にホイール・バランスの調整を受けてください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z



## ホイールの交換

### ▲ 警告

車両の下に入った作業

- ジャッキから車両が滑り落ちる恐れがあります。
- ▶ ジャッキ・アップしてタイヤを交換する前に、すべての乗員を降ろしてください。
  - ▶ 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップ・ポイントで持ち上げてください。
  - ▶ 車両が斜面（上り坂や下り坂など）や道路脇に駐車されている場合は絶対にジャッキ・アップしないでください。
  - ▶ ジャッキは、タイヤ交換時に車両を持ち上げるためのみに使用してください。
  - ▶ やむを得ず車体の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポート・スタンドで車体を支えてください。ジャッキで車体を支えるのは危険ですでおやめください。

### i インフォメーション

- タイヤ・シーラントおよび電動コンプレッサーをラゲッジ・コンパートメントに常備しておく、パンク時にホイールの交換をする必要はありません。
- ▷ 「パンクしたとき」(223 ページ) を参照してください。

### i インフォメーション

- ホイール交換に必要な工具（ジャッキ、ホイール・ボルト・レンチ、組み付け補助工具など）は車両に標準装備されておりません。必要となる工具に関する情報：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

### i インフォメーション

- 前輪と後輪のタイヤ/ホイール・サイズは異なります。
- ホイールを取り外す場合は、各ホイールの回転方向や取り付け位置をマーキングしておき、取り付け時はこれを目印にしてください。
- ▶ 認可されたサイズの前輪/後輪用ホイール/タイヤを必ず使用してください。

### ホイール取り付け面のお手入れ

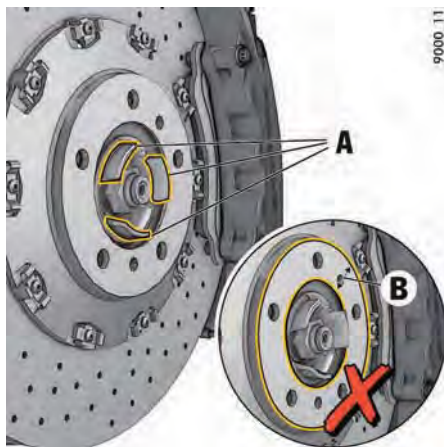


図128: ホイール取り付け面

### 知識

ホイールおよびホイール取り付け面を損傷する恐れがあります。

- ▶ ブレーキ・ディスクのホイール取り付け面Bおよびホイール本体の取り付け面に**油脂類を塗布しないでください**。
- ▶ A部分のみに油脂類を塗布できます。この部分にはOptimoly® TAグリースを薄く塗布してください。他の油脂類は使用しないでください。

### ホイール・ボルトのお手入れ

- ▶ ホイール・ボルトは取り付けの前に、必ず清掃してください。
- ▶ ホイール・ボルトには油脂類を塗布しないでください。
- ▶ 損傷したホイール・ボルトは交換してください。この車両専用のボルシェ純正ホイール・ボルト、またはボルシェ社が要求する性能、品質基準を満たす同等部品のみを使用してください。
- ▶ ホイール・ボルトは160Nmの締め付けトルクで締め付けてください。



## 盗難防止ホイール・ボルトの使用



9000\_56

図129: 盗難防止ホイール・ボルト・アダプター

盗難防止ホイール・ボルト用アダプターは、工具セットに収納されています。

- ▶ 盗難防止ホイール・ボルトを脱着するときは、このアダプターをホイール・ボルトとホイール・ボルト・レンチの間に入れて使用してください。
- ▶ アダプターを取り付けるときは、ホイール・ボルトの歯がしっかりと噛み合っていることを確認してください。

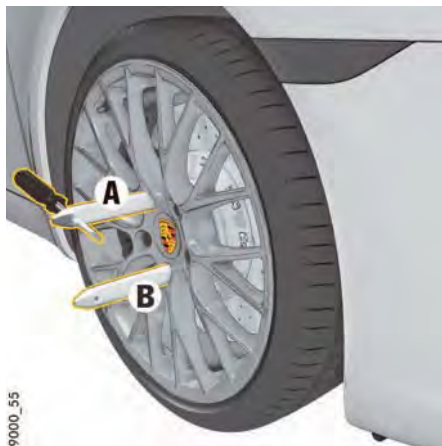
## ホイールの交換

### 車両の準備

1. ギヤ・レバーを1速にしてください。  
または  
PDKセレクター・レバーをPの位置にシフトしてください。
2. キーを抜き取ってください。  
ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車：コントロール・ユニットを取り外してください。

3. 車両が動き出さないよう、反対側のタイヤの下に輪止めをかけるなどして固定してください。
4. 取り外すホイールのボルトを少しだけゆるめてください。
5. 車両のリフト・アップは必ず所定のジャッキアップ・ポイントで行ってください。  
▶ 「ジャッキおよびリフティング・プラットフォーム」(128ページ)を参照してください。
6. 車両を持ち上げ、ホイールを地面から浮かせてください。

### ホイールの交換



9000\_55

図130: 組み付け補助工具

1. 2本のホイール・ボルトを取り外してください(図130)。
2. 取り外したホイール・ボルトの代わりに、ホイール取り付け補助工具(図130)をねじ込んでください。

### 知識

正しくホイール交換を行わないと、ブレーキ・ディスクを損傷する恐れがあります。特にPCCB装備車の場合は注意してください。

▶ タイヤを交換する場合は、組み付け補助工具を取り付けてください。

3. 残りのホイール・ボルトを取り外してください。
4. 交換するタイヤを外し、新品のタイヤを取り付けてください。  
▶ 「ホイール取り付け面のお手入れ」(162ページ)を参照してください。  
▶ 「ホイール・ボルトのお手入れ」(162ページ)を参照してください。
5. ホイール・ボルトを挿入し、手で仮締めしてください。
6. ホイール取り付け補助工具を外し、残りのホイール・ボルトを仮締めしてください。  
すべてのホイール・ボルトを対角線方向の順に少しだけ締め付け、ホイールの中心位置を合わせてください。
7. 必要に応じてタイヤの空気圧を調整してください。  
▶ 「タイヤ空気圧」(338ページ)を参照してください。
8. 車両を完全に下げた後、ジャッキを取り外してください。
9. ホイール・ボルトを対角線方向の順に完全に締め付けてください。

ホイール・ボルトを締め付けたら、直ちにトルク・レンチを使用してホイール・ボルトを160Nmの締め付けトルクで増し締めしてください。

### i インフォメーション

ホイール交換後、タイヤ空気圧モニタリング・システム(TPM)の設定をマルチファンクション・ディスプレイで更新する必要があります。

▶ 「タイヤ空気圧メニュー - タイヤ空気圧モニタリング(TPM)」(267ページ)を参照してください。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ

A-Z

## タルガ・ルーフ・システム

- ▶ 「お手入れ」(67ページ)を参照してください。
- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(86ページ)を参照してください。

### 知識

タルガ・ルーフおよびルーフ駆動機構を損傷する恐れがあります。

- ▶ 次の場合には、タルガ・ルーフを操作しないでください：
  - 温度が0℃以下のとき
  - 車両の片側が縁石、リフト、ジャッキなどで持ち上がっているとき
  - ルーフの作動する範囲に荷物などがあるとき
- ▶ バッテリーの消耗が早くなるため、エンジン停止時にルーフの操作を繰り返すことは避けてください。
- ▶ 走行するときは、タルガ・ルーフを必ず完全に開いた状態または完全に閉じた状態にしてください。
- ▶ 染みや擦り切れを防ぐため、タルガ・ルーフは乾いた清潔な状態のときのみ開いてください。
- ▶ 日光を長時間浴びると布地やラバーが傷んだり色褪せが起るため、可能であれば車両は日陰に駐車してください。

### 知識

タルガ・ルーフまたはリヤ・ウィンドウを損傷する恐れがあります。

タルガ・ルーフを開閉するときにリヤ・ウィンドウがボディ面から突出します。

- ▶ タルガ・ルーフの開閉または操作を行う前に、車両の上方および後方に十分な空間があることを確認してください。ガレージなどでは特に注意が必要です。
- ▶ 「パーキング・アシスタント」(215ページ)を参照してください。

## タルガ・ルーフの開閉操作

### ▲ 警告

タルガ・ルーフの開閉操作

タルガ・ルーフを開閉するときは、ルーフ機構、コンバーチブル・トップ・エレメントまたはリヤ・ウィンドウと車両の固定部品との間に身体の一部が挟まれないように十分に注意してください。

- ▶ タルガ・ルーフを開閉するときは、タルガ・ルーフ、コンバーチブル・トップ・エレメントまたはリヤ・ウィンドウによって、乗員がケガをしないように注意してください。
- ▶ 車両が見えない状況での車両キーによるタルガ・ルーフの操作は行わないでください。
- ▶ 万一、危険な状況になった場合は、直ちに車両のスイッチもしくは車両キーのボタンから手を放し、ルーフの操作を中止してください。
- ▶ タルガ・ルーフを閉じるときは、サンバイザーのバンティーマラーのカバーを閉じておいてください。

タルガ・ルーフを開閉するときに、ルーフが終端位置になった後もスイッチの操作を続けると、サイド・ウィンドウが少し開いた後、再び自動で閉じます。

## 車内のスイッチを使用したタルガ・ルーフの開閉操作

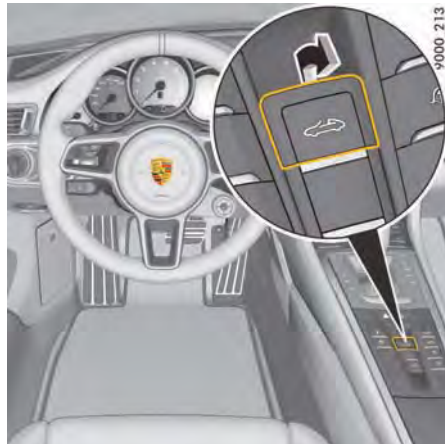


図131: スイッチによるタルガ・ルーフの開閉操作

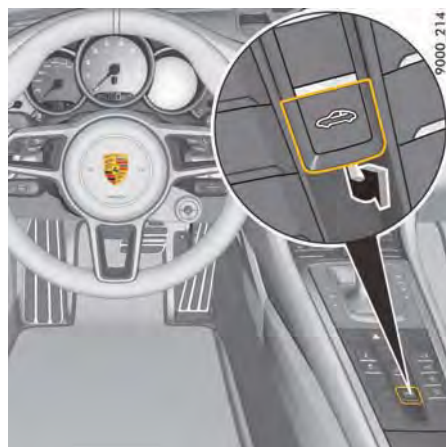


図132: スイッチによるタルガ・ルーフの開閉操作

- ✓ イグニッションがONのとき
  - ✓ 車両は停止している
  - ▶ タルガ・ルーフが停止位置に達するまで、またはウィンドウが希望の位置になるまでタルガ・ルーフ開/閉スイッチを引き続けてください。  
マルチファンクション・ディスプレイの関連するメッセージが消えます。
- 危険が発生した場合：
- ▶ スイッチを放してください。  
ルーフは作動を停止します。

### キーを使用したタルガ・ルーフの開閉 (仕向国による)

1. ドアをロック解除してください。
  2. タルガ・ルーフが終端位置になるか、ウィンドウが希望の位置になるまで、キーのボタンを押し続けてください。
- 危険が発生した場合：
- ▶ ボタンを放してください。  
ルーフは作動を停止します。
3. 必要に応じてドアをロックしてください。

### エア・デフレクターの展開/ 格納

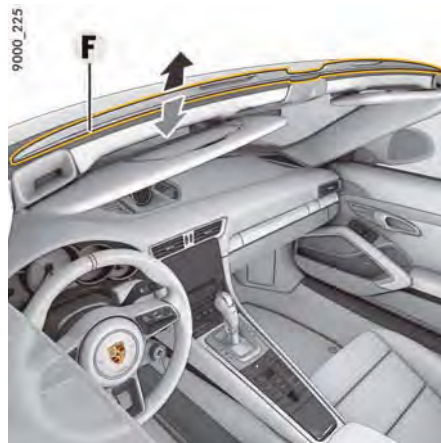


図133: エア・デフレクターの展開/格納

タルガ・ルーフを閉じた後再度開いても、エア・デフレクターは前回の位置を維持します。

### エア・デフレクターの展開

- ▶ タルガ・ルーフが開いているときに、エア・デフレクターのF(矢印)を押してください。

### エア・デフレクターの格納

- ▶ タルガ・ルーフが開いているときに、エア・デフレクターのF(矢印)をウィンドウのフレームにはまるまで押してください。

### i インフォメーション

市街地を走行しているときなど、車両の速度によって「こもり」音が発生することがあります。このような場合は、エア・デフレクターを展開してください。

高速走行をしているとき（郊外を走行しているときなど）に、風切り音が発生することがあります。高速走行時には、エア・デフレクターを格納してください。エア・デフレクターは、車内に入る風の量を減少させることはできません。

## タルガ・ルーフの緊急操作

### ▲ 警告

緊急操作中のルーフ・システムの作動

- ▶ 緊急操作を行うときは十分に注意してください。
- ▶ 緊急操作を行っている間は、スイッチまたは車両キーを使用してタルガ・ルーフを操作しないでください。

### 知識

タルガ・ルーフおよびルーフ駆動機構を損傷する恐れがあります。

- ▶ 緊急操作を行っている間は、スイッチまたは車両キーを使用してタルガ・ルーフを操作しないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ルーフ・システムの点検

緊急操作を行う前に以下を点検します。

- タルガ・ルーフをスイッチで操作するとき、イグニッションをONにしましたか?
- ヒューズに不具合がありませんか?
- ▶ 「ヒューズの点検および交換」(225ページ)を参照してください。
- ▶ タルガ・ルーフが不意に動き出さないよう、キーを抜き取ってください。

## リヤウォール・ライニングの取り外し

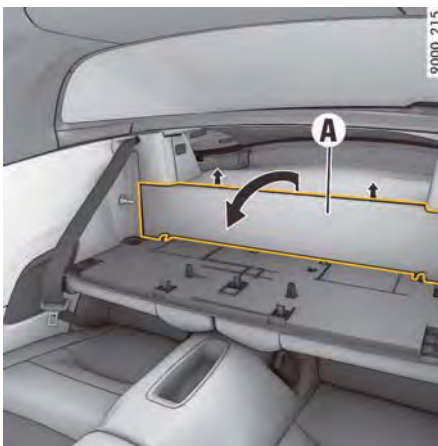


図134: リヤウォール・ライニングの取り外し

1. フロント・シート・バックレストを前方に倒してください。リヤ・シート・バックレストを前方に倒してください。
2. リヤ・ウォール・ライニングAを慎重に前方向に引いて固定ポイントから外し、上方向に取り外してください(図134)。
3. リヤ・ウォール・ライニングAの裏側から緊急操作キーを取り外してください。

## ルーフ駆動機構のテンションの解除

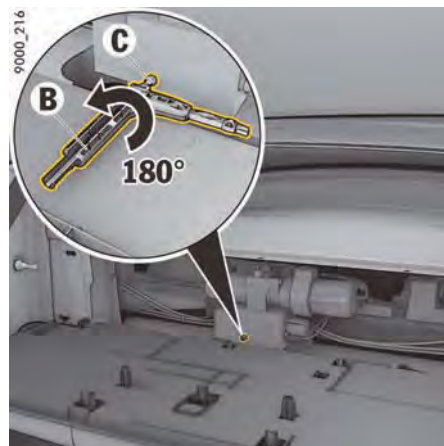


図135: ルーフ駆動機構のテンションの解除

1. 緊急操作キーBの六角部を使用して、エマージェンシー・ハンド・スクリューCを約180°反時計回りに回してください。
2. 緊急操作キーを取り外してください。

### 知識

- ▶ エマージェンシー・ハンド・スクリューCはゆるめるのみで、完全には取り外さないでください。



## ガラス・リヤ・リッドのロック解除

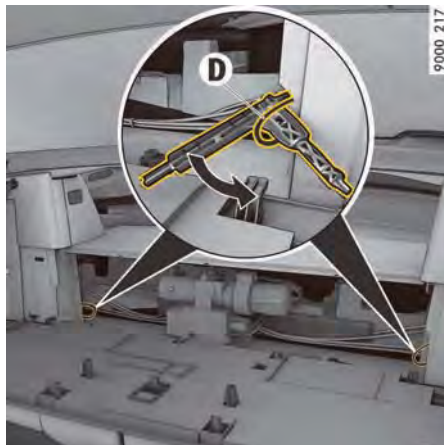


図136: ガラス・リヤ・リッドのロック解除

- ▶ 緊急操作キーを使用して、2個のロック解除ループDをそれぞれ前方向に約10cm引き出してください。

## ガラス・リヤ・リッドを開く



図137: ガラス・リヤ・リッドを開く

3. エア・グリルの下端に手を入れて、ガラス・リヤ・リッドを両手で上からつかんでください。はじめにリッドを持ち上げ、次に終端位置に到達するまで後方へ引いてください。

## カバーの取り外し



図138: カバーの取り外し

- ▶ カバーEの下部を外し、上方向に取り外してください。



あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

## エア・デフレクターの固定

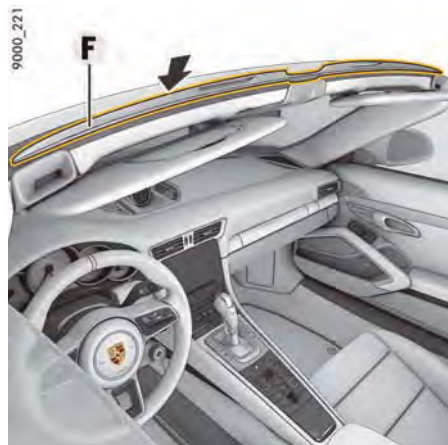


図139: エア・デフレクターの固定

### 知識

エア・デフレクターを損傷する恐れがあります。

- ▶ タルガ・ルーフを閉じる前に、エア・デフレクターを固定してください。
- ▶ エア・デフレクターFが展開している場合、エア・デフレクターをフロント・ウィンドウのフレームにはまるまで下方向に押ししてください。

## コンバーチブル・トップ・エレメントの閉操作



図140: コンバーチブル・トップ・エレメントの閉操作

1. フロント・シートの背後に回り、車両後方を向ってください。
2. コンバーチブル・トップ・エレメントの前端を握って、タルガ・バー上方で垂直な位置になるまで前方に動かしてください。コンバーチブル・トップ・エレメントをタルガ・バーよりも前に動かさないでください。ルーフライナーを損傷する恐れがあります。
3. コンバーチブル・トップ・エレメントをこの位置で保持してください。

## コンバーチブル・トップ・エレメントのロック



図141: ルーフ・キャッチ緊急操作用アクセス・ポイントからプラグの取り外し

1. ルーフ・キャッチ緊急操作用アクセス・ポイントからプラグ0を取り外してください。

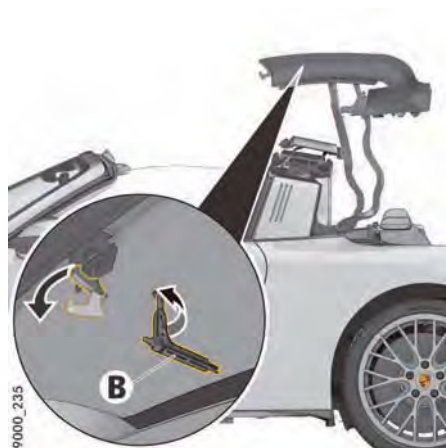


図142: コンバーチブル・トップ・ラッチ・フックの展開

2. 緊急操作キー **B** をルーフ・キャッチの緊急操作アクセス・ポイントに挿入し、左右に回してマウントにはめ込んでください。
3. プラスチック・アタッチメント **B** を反時計回りに回してラッチ・フックを完全に開いてください (抵抗を感じます)。



図143: コンバーチブル・トップ・エレメントを前方に引く

4. コンバーチブル・トップ・エレメントをフロント・ウィンドウのフレームに引き寄せてください。

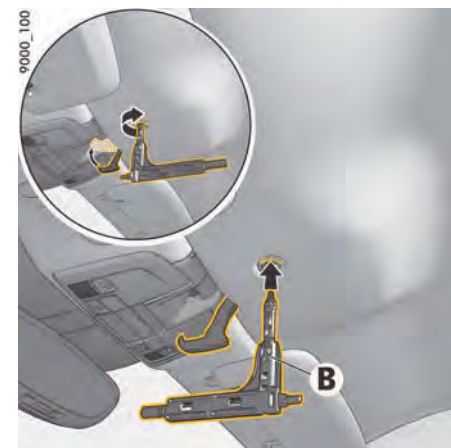


図144: コンバーチブル・トップ・エレメントのロック

5. コンバーチブル・トップ・エレメントを完全に閉じるためには、緊急操作キー **B** を時計回りに抵抗を感じるまで回し、ラッチ・フックを完全に締結してください。

カバーの取り付け



図145: カバーの取り付け

1. カバーを車両右側に差し込んでください。
2. 車両左側のカバーを押し下げ、ロックしてください。

ガラス・リヤ・リッドの閉操作

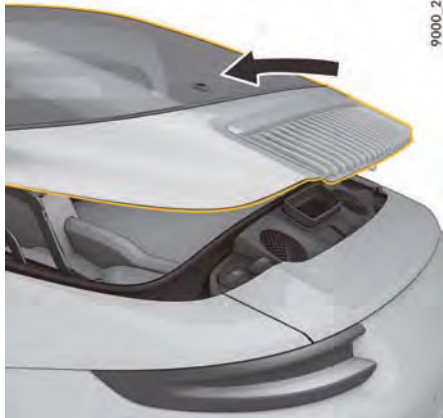


図146: ガラス・リヤ・リッドの閉操作

**▲ 警告**

ガラス・リヤ・リッドの閉操作

ガラス・リヤ・リッドを閉じるときは、ガラス・リヤ・リッドと車両の固定部品との間に手が挟まれないように十分に注意してください。

▶ 閉じるときにガラス・リヤ・リッドの後端部を持たないでください。

1. ガラス・リヤ・リッドをエア・グリルの上部から手を伸ばしてつかんでください。ガラス・リヤ・リッドを前方向に押し、ゆっくりと閉じてください。
2. エマージェンシー・ハンド・スクリュー C を緊急操作キーで時計回りに回して締め付けてください（抵抗を感じます）。
3. リヤ・ウォール・ライニングを取り付けてください。

## テスト・スタンドでの測定

### ▲ 警告

有毒な排気ガスの吸引

排気ガスを吸引して中毒を起こす恐れがあります。

排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中毒を起こす恐れがあります。

- ▶ エンジンを作動させた状態で作業するときは、必ず車両を屋外に駐車させるか、または換気の良い場所で行ってください。

### ▲ 警告

不十分な車両の固定

車両がしっかり固定されていない、または正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティング・プラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷を負う恐れがあります。

- ▶ 車両をジャッキで持ち上げる場合は、固く水平な場所でのみ行ってください。
- ▶ 車両は必ず、車両下回りにある規定のジャッキアップ・ポイント（128ページ：図92、128ページ：図93）で持ち上げてください。
- ▶ やむを得ず車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポート・スタンドで車体を支えてください。
- ▶ 車両をジャッキアップ後は、エンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下する恐れがあります。

## テスト・スタンド測定の実施

### パフォーマンス・テスト

ボルシェ社ではローラー・タイプ・テスト・スタンドでのパフォーマンス・テストを承認していません。

### ブレーキ・テストの実施

- ▶ ブレーキ・テストには、ローラー・タイプ・テスト・スタンドのみを使用してください。以下の制限値を超えないでください。
  - 測定速度：7.5km/h以下
  - 測定時間：20秒以内

### エレクトリック・パーキング・ブレーキのテスト

- ▶ ブレーキ・テスト・スタンドでエレクトリック・パーキング・ブレーキを測定するときは、**イグニッションをONにし、マニュアル・トランスミッション車ではギヤシフト・レバーをニュートラルに、Porsche Doppelkupplung (PDK)車はセレクター・レバーをNの位置にしなければなりません。**

車両が自動的にブレーキ・テスト・モードに切り替わり、エレクトリック・パーキング・ブレーキのテストが可能になります。マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

## チャイルド・シート

### 安全に関する注意事項

**▲ 危険**

チャイルド・シート装置の誤った使用

チャイルド・シートを正しく使用しなかった場合、重傷または致命傷を負う危険があります。車種に適さないチャイルド・シートを使用した場合、またはチャイルド・シートを車両に正しく取り付けしていない場合は、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

- ▶ チャイルド・シートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。
- ▶ バケット・シートにはチャイルド・シートを使用しないでください。「チャイルド・シートの各種シートへの取り付け」(178ページ)を参照してください。
- ▶ チャイルド・シートは道路交通法に従って使用してください。
- ▶ ポルシェ社が推奨するチャイルド・シートのみを使用してください。ポルシェ社推奨のチャイルド・シートは、ポルシェ社がテストを実施し、この車両のインテリアやお様の体重グループに適するように調整されています。
- ▶ 推奨外のISOFIXシステム付きチャイルド・シートを使用すると、万一のときに負傷する危険性が高まります。
- ▶ 助手席エアバッグをOFFにしてください。

ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のチャイルド・シートを使用することを推奨いたします。

取り付け方法に関するインフォメーション：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。
- ▶ 「チャイルド・シートの使用(シートベルトによる固定)」(174ページ)を参照してください。
- ▶ 「推奨するチャイルド・シートの使用(ISOFIXシステムによる固定)」(176ページ)を参照してください。

**▲ 危険**

チャイルド・シートの助手席での使用

助手席エアバッグは、ある程度の体格と最低限の体重のある乗員にのみ保護効果を発揮します。チャイルド・シートを助手席に取り付けた場合、または小柄な乗員が助手席に乗車している場合、助手席エアバッグが作動することにより重傷または致命傷を負う危険があります。

- ▶ チャイルド・シートを助手席に取り付けるときは、必ず助手席エアバッグをOFFにしてください。
- ▶ 「助手席エアバッグのON/OFF - 助手席エアバッグOFF警告灯」(178ページ)を参照してください。
- ▶ チャイルド・シートを取り付けるときは、常にシート・ヒーターのスイッチをOFFにしてください。

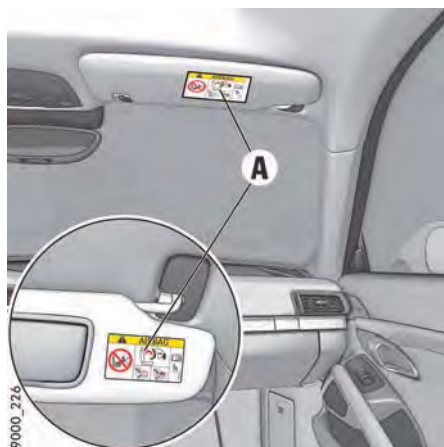


図147: サンバイザーのエアバッグ警告ラベル

- ▶ 決してエアバッグの警告ステッカー A を剥がしたり、表面を汚したり読み取りできない状態にしないでください。

#### 台湾のみ：

- ▶ 台湾の関連法規に則り、「乳幼児や子供を助手席シートに乗せることはできません」。





## チャイルド・シートの体重グループによる分類

**体重グループ0、0+のお子様：13kgまで**

この体重グループのお子様は、**後ろ向きに着座するタイプ**のチャイルド・シートを必ず使用してください。

このタイプのチャイルド・シートは、必ず助手席に取り付けてください。

**体重グループIのお子様：9～18kg**

この体重グループのお子様は、**前向きに着座するタイプ**のチャイルド・シートを必ず使用してください。

このタイプのチャイルド・シートは、可能な限りリヤ・シートに取り付けてください。

**体重グループIIのお子様：15～25kg**

この体重グループのお子様は、**前向きに着座するタイプ**のチャイルド・シートを必ず使用してください。

このタイプのチャイルド・シートは、可能な限りリヤ・シートに取り付けてください。

**体重グループIIIのお子様：22～36kg**

この体重グループのお子様は、**前向きに着座するタイプ**のチャイルド・シートを必ず使用してください。

このタイプのチャイルド・シートは、可能な限りリヤ・シートに取り付けてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## チャイルド・シートの使用（シートベルトによる固定）

### 推奨するチャイルド・シート（シートベルトによる固定）

「チャイルド・シートの使用（シートベルトによる固定）」（175ページ）を参照してください。

体重グループ	メーカー	形状	承認番号	ポルシェ部品番号	助手席への取り付け	リヤ・シートへの取り付け
<b>グループ0</b> および <b>0+</b> ： 13kgまで	Britax-Römer	ポルシェ・ ベビー・シート G0+	E1 04301146	955.044.802.94	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 後ろ向きに取り付けること。</li> <li>- 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。</li> <li>- 助手席エアバッグをOFFにすること。</li> </ul>	取り付け不可
<b>グループI</b> ： 9~18kg	Britax-Römer	ポルシェ・ ジュニア・シート ISOFIX G1	E1 04301199	955.044.802.88	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 前向きに取り付けること。</li> <li>- 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。</li> <li>- 助手席エアバッグをOFFにすること。</li> </ul>	可能： 助手席シートをいっぱいまで前方に調節すること。
<b>グループII</b> ： 15~25kg	Britax-Römer	ポルシェ・ ジュニア・プラス G2 + G3	E1 04301169	955.044.802.90	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 前向きに取り付けること。</li> <li>- 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。</li> <li>- 助手席エアバッグをOFFにすること。</li> </ul>	可能： 助手席シートをいっぱいまで前方に調節すること。
<b>グループIII</b> ： 22~36kg	Britax-Römer	ポルシェ・ ジュニア・プラス G2 + G3	E1 04301169	955.044.802.90	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 前向きに取り付けること。</li> <li>- 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。</li> <li>- 助手席エアバッグをOFFにすること。</li> </ul>	可能： 助手席シートをいっぱいまで前方に調節すること。

### チャイルド・シートの使用（シートベルトによる固定）

下表は、ECE-R16規格を遵守し、シートベルトで固定して使用できるチャイルド・シートの概要です。

「汎用（ユニバーサル）」のマークは、チャイルド・シートのECEラベル（オレンジ色）に表示されています（図148を参照）。

体重グループ	チャイルド・シートの助手席での使用 <sup>1) 2)</sup>	リヤ・シートで使用できるチャイルド・シート
グループ0： 10kgまで	U/L	X
グループ0+： 13kgまで	U/L	X
グループI： 9～18kg	U/L	L
グループII： 15～25kg	U/L	L
グループIII： 22～36kg	U/L	L



SF1-529

図148: ECEラベル

- A サイズ分類
- B 「汎用（ユニバーサル）」または「準汎用（セミ・ユニバーサル）」マーク
- C 体重グループ

- 1) 助手席エアバッグをOFFにすること。（174ページ）の助手席へのチャイルド・シート取り付けに関する注意事項を参照してください。
- 2) 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。

X：この体重グループに属するチャイルド・シートの取り付けには適していません。

U：この体重グループに属する「汎用（ユニバーサル）」のチャイルド・シートの取り付けに適しています。

L：（174ページ）に記載されている特定のチャイルド・シートの取り付けに適しています。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

## 推奨するチャイルド・シートの使用（ISOFIXシステムによる固定）

### 推奨するチャイルド・シート（ISOFIXシステムによる固定）

「チャイルド・シートの使用（ISOFIXシステムによる固定）」（177ページ）を参照してください。

体重グループ	メーカー	形状	承認番号	ポルシェ部品番号	助手席への取り付け	リヤ・シートへの取り付け
<b>グループ0</b> および <b>0+</b> ： 13kgまで	Britax-Römer	ポルシェ・ ベビー・シート G0+ <b>使用部品：</b> ISOFIXベース	E1 04301146	955.044.802.94 <b>使用部品：</b> 955.044.802.95	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 後ろ向きに取り付けること。</li> <li>- 助手席シートをいっばいまで後方、上方に調節すること。</li> <li>- 助手席エアバッグをOFFにすること。</li> </ul>	取り付け不可
<b>グループI：</b> 9～18kg	Britax-Römer	ポルシェ・ ジュニア・シート ISOFIX G1	E1 04301199	955.044.802.88	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 前向きに取り付けること。</li> <li>- 助手席シートをいっばいまで後方、上方に調節すること。</li> <li>- 助手席エアバッグをOFFにすること。</li> </ul>	可能： 助手席シートをいっばいまで前方に調節すること。
<b>グループII：</b> 15～25kg	Britax-Römer	ポルシェ・ ジュニア・プラス ISOFIX G2 + G3	E1 04301198	955.044.802.96	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 前向きに取り付けること。</li> <li>- 助手席シートをいっばいまで後方、上方に調節すること。</li> <li>- 助手席エアバッグをOFFにすること。</li> </ul>	可能： 助手席シートをいっばいまで前方に調節すること。
<b>グループIII：</b> 22～36kg	Britax-Römer	ポルシェ・ ジュニア・プラス ISOFIX G2 + G3	E1 04301198	955.044.802.96	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 前向きに取り付けること。</li> <li>- 助手席シートをいっばいまで後方、上方に調節すること。</li> <li>- 助手席エアバッグをOFFにすること。</li> </ul>	可能： 助手席シートをいっばいまで前方に調節すること。

### チャイルド・シートの使用 (ISOFIXシステムによる固定)

下表は、ECE-R16規格に従ってISOFIXシステムで固定して使用できるチャイルド・シートの概要です。

「汎用 (ユニバーサル)」または「準汎用 (セミ・ユニバーサル)」のマークは、チャイルド・シートのECEラベル (オレンジ色) に表示されています。

体重グループ	サイズ分類	固定具	車両の ISOFIX リテーニング・ラグ	
			助手席シート <sup>1) 2) 3)</sup>	リヤ・シート
ベビー・シート (左向きまたは右向きチャイルド・シート)	F	ISO/L1	X	X
	G	ISO/L2	X	X
グループ0: 10kgまで	E	ISO/R1	IL/SU	X
グループ0+: 13kgまで	E	ISO/R1	IL/SU	X
	D	ISO/R2	IL/SU	X
	C	ISO/R3	X	X
グループI: 9~18kg	D	ISO/R2	IL/SU	X
	C	ISO/R3	X	X
	B	ISO/F2	IL/SU	IL/IUF
	B1	ISO/F2X	IL/SU	IL/IUF
	A	ISO/F3	IL/SU	X
グループII: 15~25kg			IL/SU	IL
グループIII: 22~36 kg				IL

- 1) 助手席エアバッグを OFF にすること。(176 ページ) の助手席へのチャイルド・シート取り付けに関する注意事項を参照してください。
- 2) 助手席シートをいっぱいまで後方、**上方**に調節すること。
- 3) **助手席シート**に ISOFIX 用のリテーニング・ラグが装備されている場合、「準汎用 (セミ・ユニバーサル)」のチャイルド・シートの取り付けに適しています。チャイルド・シートに付属の車両リストおよびボルシェ社が推奨するチャイルド・シート (176 ページ) を参照してください。

X: このサイズ分類のチャイルド・シートには適していません。

SU: 「準汎用 (セミ・ユニバーサル)」 ISOFIX システム認証のチャイルド・シートの取り付けに適しています。チャイルド・シートに付属の車両リストを参照してください。

IL: (176 ページ) に記載されている特定の ISOFIX チャイルド・シートに適しています。

IUF: この体重グループへの使用が認可され、ISOFIX システムおよび「トップ・テザー」固定ストラップで固定する「汎用 (ユニバーサル)」分類の前向きタイプのチャイルド・シートに適しています。「ISOFIX チャイルド・シート・システムの取り付け」(180 ページ) を参照してください。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z



## チャイルド・シートの取り付け

### チャイルド・シートの各種シートへの取り付け

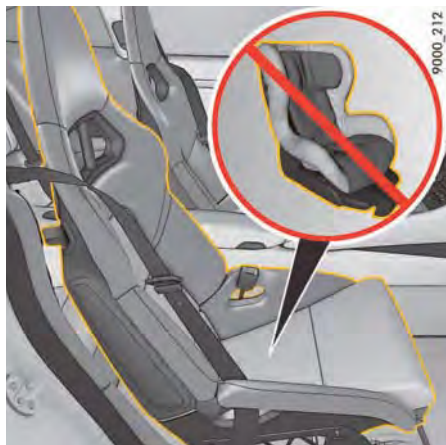


図149: バケット・シート

バケット・シートではチャイルド・シートを使用しないでください (図149を参照)。

その他の種類のシートでは、推奨するチャイルド・シートが使用できます。

- ▷ 「シート」(122ページ)を参照してください。
- ▷ 「推奨するチャイルド・シート (シートベルトによる固定)」(174ページ)を参照してください。
- ▷ 「推奨するチャイルド・シート (ISOFIXシステムによる固定)」(176ページ)を参照してください。

### ベビー・キャリア

サイズ分類FおよびGの左向きまたは右向きタイプのチャイルド・シート (ベビー・キャリアなど) は、いかなるシートにも使用できません。

- ▷ 「チャイルド・シートの使用 (ISOFIXシステムによる固定)」(177ページ)を参照してください。

ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のチャイルド・シート (ポルシェ・ベビー・シートISOFIX GO+など) を使用することを推奨いたします。

- ▷ 「推奨するチャイルド・シート (シートベルトによる固定)」(174ページ)を参照してください。
- ▷ 「推奨するチャイルド・シート (ISOFIXシステムによる固定)」(176ページ)を参照してください。

### 助手席エアバッグのON/OFF - 助手席エアバッグOFF警告灯

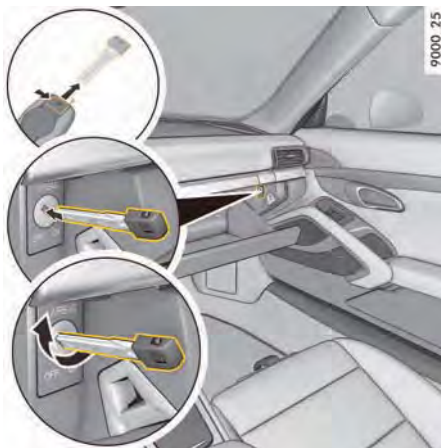


図150: 助手席エアバッグのON/OFF

### 台湾のみ:

助手席エアバッグのON/OFF用キー・スイッチは、装備されていません。

- ▶ 台湾の関連法規に則り、「乳幼児や子供を助手席シートに乗せることはできません」。

1. イグニッションをOFFにしてください。
  2. グローブ・ボックスを開いてください。
  3. エマージェンシー・キーをキーから取り外してください。
- ▷ 「エマージェンシー・キーを使用する場合」(77ページ)を参照してください。

### 知識

助手席エアバッグ・スイッチまたはエアバッグ・システムが損傷することがあります。

- ▶ エマージェンシー・キーはキー・スイッチに挿入するときに、2回抵抗を感じた位置でのみ回してください。
- ▶ 助手席エアバッグは、イグニッションがOFFのときにのみ、ONまたはOFFに切り替えてください。

4. キー・スイッチにエマージェンシー・キーを2回抵抗を感じる位置まで挿入してください。  
キーの歯がキー・スイッチ内に約3/4まで挿入されます。
5. エマージェンシー・キーに大きな力をかけずに回し、助手席エアバッグを**OFF (解除)**または**ON (作動)**にしてください。  
**助手席エアバッグOFF警告灯が点灯します。**

**⚠ 危険**

助手席エアバッグの  
不意の作動により重傷ま  
たは致命傷を負う危険

キー・スイッチにエマージェンシー・キーを挿入したまま走行した場合、振動によってエマージェンシー・キーが不意に回転してエアバッグが作動する危険があります。

- ▶ キーを助手席エアバッグ・スイッチに挿入したまま走行しないでください。

- エマージェンシー・キーをキー・スイッチから取り外してください。
- グローブ・ボックスを閉じてください。

**⚠ 危険**

助手席エアバッグを  
OFFにする

チャイルド・シートを取り外した後も、助手席エアバッグをOFFにしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- ▶ チャイルド・シートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグをOFFにしてください。
- ▶ チャイルド・シートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再びONにしてください。

**i インフォメーション**

助手席エアバッグをOFFにしているときは、助手席シートベルト警告シンボルも解除されます。

**i インフォメーション**

助手席エアバッグをOFFにするキー・スイッチ、**助手席エアバッグOFF警告灯**および助手席のISOFIXアタッチメント・ブラケットは、特定の装備仕様にのみ取り付けられています。ポルシェ正規販売店でオプションとして装着してください（バケット・シート装備車には取り付けができません）。このシステムを取り付けた場合、助手席シート・バックレストの調節範囲が制限されます。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

助手席側（シート2）エアバッグをOFFにした場合、イグニッションをONにしたとき、またはエンジン作動中にオーバーヘッド・コンソールの**助手席エアバッグOFF警告灯**が常時点灯します。

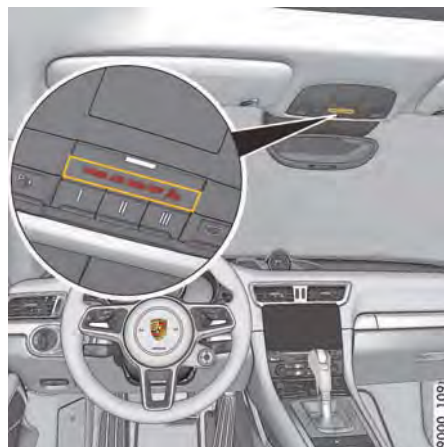


図151: 助手席エアバッグOFF警告灯

**⚠ 危険**

助手席エアバッグの故  
障と作動不良

助手席エアバッグをOFFにして、イグニッションをONにしたときに**助手席エアバッグOFF警告灯**が点灯しなかった場合は、システムに不具合が発生している可能性があります。

- ▶ 助手席にチャイルド・シートを取り付けないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で早急に故障を修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

ISOFIXチャイルド・シート・システムの  
取り付け



図152: 助手席シートのISOFIXアタッチメント・ブラケット

- ▶ 「推奨するチャイルド・シート (ISOFIXシステムによる固定)」(176ページ)を参照してください。
- ▶ チャイルド・シートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。

**台湾のみ：**

助手席シートのISOFIXアタッチメント・ブラケットは装備されていません。

- ▶ 台湾の関連法規に則り、「乳幼児や子供を助手席シートに乗せることはできません」。



図153: 助手席シートのISOFIXアタッチメント・ブラケット

ISOFIXチャイルド・シートを固定するリテーニング・ラグAの位置を示すマークは、助手席シートのシート・クッションおよびリヤ・シートのバックレスト下部にあります(装備によって異なります)。

リヤ・シートへの取り付け：



図154: リヤ・シートのISOFIXアタッチメント・ブラケット

- ▶ まず中央上部(マジック・テープ)を外し、シート・バック下部をISOFIXリテーニング・ラグAから取り外してください。

**助手席シートへの取り付け：**

- ▶ エマージェンシー・キーを使用して、助手席エアバッグをOFFにしてください。オーバーヘッド・コンソールの**助手席エアバッグOFF**警告灯が点灯します。
- ▶ 「助手席エアバッグのON/OFF - 助手席エアバッグOFF警告灯」(178ページ)を参照してください。

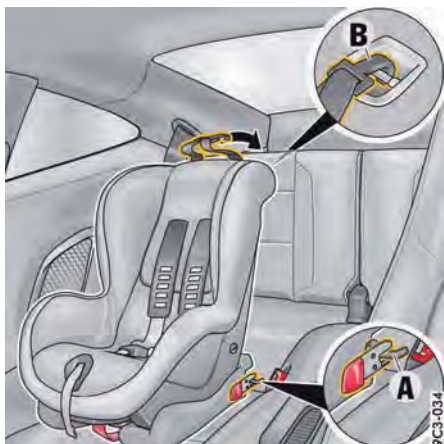


図155: ISOFIXシステム付きチャイルド・シートの取り付け

**ISOFIXチャイルド・シート・システムの取り付け**

1. チャイルド・シートを付属の説明書に従ってリテーニング・ラグAに固定してください。
2. チャイルド・シートを引っ張って、両側のリテーニング・ラグに確実に固定されているか点検してください。

**クーペのみ: ISOFIXトップ・テザー付きチャイルド・シートの上部固定位置**

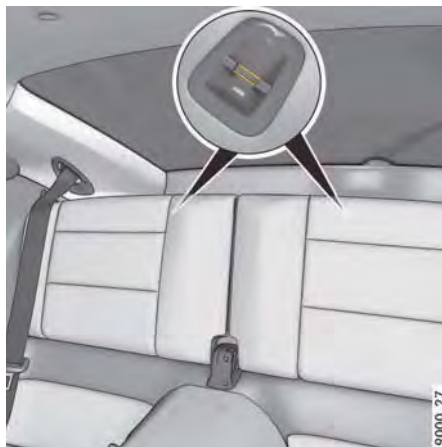


図156: トップ・テザー

トップ・テザー付きチャイルド・シートを使用する場合は、リヤ・シート後部の固定位置（図156を参照）を使用してISOFIXトップ・テザーを固定してください。

- ▶ さらに、ISOFIXトップ・テザーをリヤ・シート後部の固定箇所固定し、トップ・テザーを締め付けてください（図155、Bを参照）。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

## テレビ (TV)







### 概要

この概要説明は「テレビ (TV)」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく安全に関する指示および警告を必ずお読みください。

ポルシェ・コミュニケーション・マネジメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:  
▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネジメント (PCM) の操作」(245ページ) を参照してください。



図 157: 放送局の選択

運転者が何をしたいか?	その操作方法は?	ページ
テレビ (TV) の呼び出し	▶ ヘッドラインにTVと表示されるまで、 <b>TUNER</b> ボタンを押してください (Aを参照)。	183
放送局リストから放送局を選択	▶ <b>TUNER</b> ボタン ▶ List  ▶ 放送局を選択してください。	183
放送局リストから放送局を保存	▶ <b>TUNER</b> ボタン ▶ List  ▶ Store  ▶ Store  /放送局ボタン	183
保存した放送局を選択	▶ <b>TUNER</b> ボタン ▶ Presets ▶ 希望の放送局ボタンを押してください (Bを参照)。	183
放送局リストをスクロール	▶ 希望の放送局が表示されるまで  または  を繰り返し押してください。	
プログラム・ガイド (EPG) の呼び出し	▶ <b>TUNER</b> ボタン ▶ <b>OPT</b> ボタン ▶ EPGを選択してください。	184



## テレビ (TV) の選択

1. **SOURCE** ボタンを押してください。

2. **TV** を選択してください。

または

▶ TV チューナーが選択されるまで

**TUNER** ボタンを押してください。

または

1. **TUNER** ボタンを押してください。

2. ヘッドラインに表示された周波数帯を選択してください。

3. **SOURCE** メニューの **TV** 機能を選択してください。

PCMのTVチューナーにより、12セグTVまたはワンセグTVで暗号化されていない地上波デジタルISBD放送TVチャンネルを選局することができます。

法的要件により、走行中は画像を表示することはできません。走行中は音声信号のみとなります。

## 選局

保存した放送局を表示および選択する (プリセット)



図158: TVチャンネルを含む放送局ボタン (プリセット)

1. **TUNER** ボタン ▶ **TV** ▶ **Presets**

2. TV画像を表示するには、コントローラーで **TV** を選択してください。

TVおよびラジオ放送局を保存するために合計15個の放送局ボタン (プリセット、**B**を参照) が用意されており、最初の3ページに自由に割り当てることができます (現在選択されているページの表示については、**C**を参照)。

受信電波の最も強い5つのラジオ放送局が、自動的に4ページの放送局ボタンに割り当てられます (「ベストFMレベル」)。

▶ 「放送局の保存」(183ページ) を参照してください。

## 放送局リストから選局する

▶ **TUNER** ボタン ▶ **TV** ▶ **List**

現在の周波数帯にあるすべてのTV放送局が、放送局リストに表示されます (最高100局まで)。設定に応じて、放送局リストは電波品質または最後に選択した放送局に従ってアルファベット順に並べ替えられます。

### **i** インフォメーション

選択した放送局がEPG情報を提供している場合は、TV放送局をEPGから選択することもできます。

▶ 「プログラム・ガイド (EPG) の呼び出し」(184ページ) を参照してください。

## 放送局の保存

### 選局した放送局を保存する

1. **TUNER** ボタン ▶ **TV** ▶ **Presets**

2. **Store** を3秒間押し続けてください。放送局が選択した放送局ボタンに保存されます。

### 放送局リストから放送局を保存する

1. **TUNER** ボタン ▶ **TV** ▶ **List**

2. 放送局を選択して、 を選択してください。

3. **Store** または希望の放送局ボタンを選択してください。

## 設定から放送局を保存する

1. **TUNER** ボタン ▶ TV ▶ **OPT** ボタン ▶ Store station
2. 希望の放送局ボタンを押してください。

## プログラム・ガイド (EPG) の呼び出し

放送局がEPG情報を提供している場合、PCMはデジタル番組に関する様々な情報を含む電子プログラム・ガイド (EPG) を備えます。番組は時間順に掲載されます。

## プログラム・ガイドを表示する

- ▶ **TUNER** ボタン ▶ TV ▶ **OPT** ボタン ▶ Electronic Program Guide (EPG)

## プログラム・ガイド内を移動する

- ✓ プログラム・ガイド (EPG) を表示してください。



図159: 電子プログラム・ガイド

- A 矢印ボタンを操作して、ページを移動
- B **Details**: 黄色でマーキングされた番組情報の詳細表示
- C **View**: 番組情報の詳細ビューと全体ビューの切り替え
- D **Play**: 選択した番組の表示
- E 番組プレビュー +/-24h の表示

## 設定の変更

1. **TUNER** ボタン ▶ TV ▶ **OPT** ボタン ▶ SET TV
2. 希望の項目を選択してください。

- **放送局トラッキング**: 機能が有効になっていて電波品質が低い場合は、システムが自動的に選局した放送局の代替周波数に切り替えます。
- **暗号化 (CAS)**: B-CAS IDがPCMディスプレイに表示されます。これはライセンスの有効化や延長に必要となります。
- **TVノルム**: 納車時に、該当する国向けのTVノルムが設定されます。
- **緊急警報システム (EWS)**: 緊急メッセージのON/OFFを切り替えます。
- **イメージパラメーター**: サイド・メニューのコントロールを操作して、明るさ、コントラスト、色調を希望の値に設定してください。
  - **Brightn** (明るさ設定)、**Contrast** (コントラスト設定) または **Color** (色調設定) を選択してください。
- **アスペクト比**: TV 放送局の希望のフォーマット、**自動**、**16: 3**または**4: 3**を設定してください。
- **オーディオチャンネル**: オーディオ・チャンネルを選択してください。
- **字幕**: 機能を有効化すると、字幕が表示されます (利用可能な場合)。

## i インフォメーション

無効なまたは損傷したB-CASカードを使用すると、TV受信ができなくなります。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## 電気ソケット

### 12Vプラグ・ソケットの使用

12Vプラグ・ソケットには、12V仕様の電装品（アクセサリ）を接続できます。

12Vプラグ・ソケットは助手席側の足元にあります。

### 充電アダプターの接続

#### **i** インフォメーション

- 12Vプラグ・ソケットおよび接続している電装品（アクセサリ）は、イグニッションがOFFのときでも、キーを抜いた状態でも使用できます。

エンジンを停止したままアクセサリを使用すると、バッテリー上がりの原因になります。車両のバッテリーを保護するため、30分後に電源の供給が遮断されます。電装品への電源供給を再開するには、イグニッションをONにしてください。

- 電装品が1つだけ作動している場合、12Vプラグ・ソケットまたはシガー・ライターの最大電流値は20Aです。複数の電装品を同時に使用する場合は、12Vプラグ・ソケットまたはシガー・ライター1つ当たりの電流値が10Aを超えないようにしてください。
- シールドされていない機器を使用すると、ラジオ、TVおよび車両電装品に対する電波干渉の原因となることがあります。

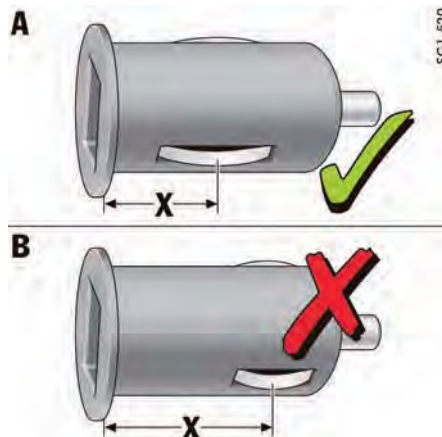


図160: 12Vプラグ・ソケットおよびシガー・ライター用の充電アダプター

A 使用可能な充電アダプター

B 使用できない充電アダプター

#### 知識

電気系統を損傷する恐れがあります。

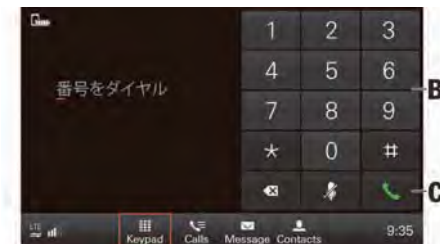
- ▶ 適切な充電アダプター (A) のみを使用してください: グラウンド端子部から充電アダプター上端までの寸法Xが16mm以下である必要があります。
- ▶ グラウンド端子部から充電アダプター上端までの寸法Xが16mm以上の不適切な充電アダプター (B) を使用すると、12Vプラグ・ソケットが損傷することがあります。

## 電話

## 概要

この概要説明は「電話」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全に関する指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:  
 ▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作」(245ページ) を参照してください。



PO70\_14

A

図 161: 電話番号を入力する (キーパッド)



PO70\_53

D E F

図 162: 電話番号を入力する (キーパッド)

運転者が何をしたいか?	その操作方法は?	ページ
携帯電話をBluetooth®で接続する (携帯電話の準備)	▶ <b>PHONE</b> ボタン ▶ <b>Connect phone</b> ▶ <b>Search for new phone</b>	187
データ接続を確立する (接続)	▶ SIMカード経由でデータ接続を確立します。	149
番号をダイヤルする	▶ <b>PHONE</b> ボタン ▶ <b>Keypad</b> (Aを参照) ▶ 数字フィールドBを使用して番号を入力 ▶ 選択  (Cを参照)	189
着信に応答する/拒否する	▶ <b>Accept</b> または <b>Cancel</b> を選択してください。	189
通話を終了する	▶ フッターまたは電話メニューの  を選択してください。	189
電話会議を開始する*	▶ <b>PHONE</b> ボタン ▶ 番号をダイヤルする ▶ <b>Keypad</b> ▶  ▶ 他の参加者の番号をダイヤルする ▶  ▶	190
ボイスメールを聞く	▶ <b>PHONE</b> ボタン ▶ <b>Keypad</b> ▶ 押し続けます <b>1</b> .	189
通話履歴を表示する	▶ <b>PHONE</b> ボタン ▶ <b>Calls</b> (Dを参照) ▶ 通話履歴を選択します。	190
メッセージを表示する*	▶ <b>PHONE</b> ボタン ▶ <b>Messages</b> (Eを参照) ▶ <b>SMS</b> または <b>E-mail</b> ▶ フォルダーを選択します。	191
連絡先を表示する	▶ <b>PHONE</b> ボタン ▶ <b>Contacts</b> (Fを参照) を選択します。	191

\* 日本仕様に設定はありません。

**⚠ 警告**

事故を起こす恐れがあります

走行中に携帯電話を使用すると、交通状況に対する注意力が低下する恐れがあります。運転操作を誤る恐れがあります。

▶ 必ずハンズフリー機器を使用してください。

**⚠ 警告**

怪我をする恐れがあります。

ガソリン・スタンド、燃料貯蔵所、化学工場、およびの爆破作業の近くなど、危険な場所では携帯電話の電源を切ってください。携帯電話は車両の装備品と電波干渉を起こすことがあります。

▶ 常に法律および各地域の規定、および取扱説明書に従ってください。

**i インフォメーション**

適合する携帯電話の一覧はウェブサイト ([www.porsche.com](http://www.porsche.com)) から入手することができます。


**携帯電話をBluetooth®で接続する (携帯電話の準備)****新しい携帯電話を接続する**

- ✓ 携帯電話のBluetooth®機能を有効にし、他の機器から探索可能な状態にする
- ✓ PCMのBluetooth®機能を有効にする
  - ▶ 「PCMのBluetooth®機能を有効にする」 (187ページ) を参照してください。

**1. PHONE ボタン ▶ Connect phone**

**2. Search for new phone**を選択し、機器リストから携帯電話を選択してください。

6桁のBluetooth®コードが生成され、PCMおよび携帯電話に表示されます。

**3. PCM および携帯電話の Bluetooth® コードを確認し、一致していれば確定してください。** 電話の接続に成功すると、数字入力 (メニュー **Keypad** ) が表示されます。

**i インフォメーション**

Windows®およびiOS®オペレーティング・システムを搭載した携帯電話については、携帯電話から接続を開始することをお勧めします。

- ▶ 携帯電話の Bluetooth® メニューから利用可能な機器を検索してください。 **PHONE** ボタンを押してPCMを探索可能な状態にしてください。接続作業にはディスプレイに**Search for phone**を表示する必要があります。
- ▶ 利用可能な機器リストからPCMを選択してください。PCMのBluetooth®デバイス名を表示させるには、 **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET PHONE** ▶ **Bluetooth** ▶ **Bluetooth name**を選択してください。
  - ▶ 「Bluetooth® 機能およびデバイスの管理」 (193ページ) を参照してください。

**PCMのBluetooth®機能を有効にする**

**1. PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET PHONE**

**2. Bluetooth** ▶ **Activate Bluetooth**を選択して、PCMのBluetooth®機能を有効にしてください。

**i インフォメーション**

Bluetooth®接続の場合、ハンズフリー・プロファイル (HFP) またはSIMアクセス・プロファイル (SAP) \*を介して、携帯電話をPCMに接続することができます。



ハンズフリー・プロファイルを使用すると、PCMは接続された携帯電話のBluetooth®ハンズフリー・ユニットとして機能し、携帯電話によっては電話帳、通話履歴、およびメッセージの内容にアクセスすることができます。そのため、車両を停車した後現在の通話を携帯電話に転送し、車両の外でも通話を継続することができます。

それに対して、SIMアクセス・プロファイル (SAP) を使用すると、携帯電話のSIMはBluetooth®を経由して直接PCMに接続されます。このように、携帯電話はPCMで利用可能なデータにアクセスするネットワークを構築します。\*

- ▶ Bluetooth®のプロファイルに関する詳細な情報は、携帯電話の取扱説明書を参照してください。



## 携帯電話を再接続する

1. フッターの  または  を選択してください (接続状態により異なる)。  
または  
**PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **Connections**
2. **PHONE** を選択してください。  
登録されている携帯電話のリストが最大20件表示されます。
3. リストから携帯電話を選択してください。  
携帯電話がBluetooth®経由で接続されます。

## Bluetooth®デバイスの削除、またはBluetooth®インフォメーションの表示

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET PHONE** ▶ **Bluetooth** ▶ **Bluetooth devices**
2. リストから携帯電話を選択してください。
3. 登録されたBluetooth®デバイスのリストから任意の携帯電話を削除するには、**Delete** を選択してください。  
または  
Bluetooth®デバイスのインフォメーションを見るには、**Details** を選択してください。  
Bluetooth®アドレス、接続ステータス、および利用可能なBluetooth®プロファイルが表示されます。  
または  
Bluetooth®デバイスとPCM間の接続を確立する、または切断するには、**Establish connection/Disconnect** を選択します。

## i インフォメーション

- 携帯電話の準備について、接続可能な携帯電話は1台のみです。
- 他の携帯電話をPCMに登録するためには、現在の接続を切断した後、新しい携帯電話を接続します (「携帯電話をBluetooth®で接続する (携帯電話の準備)」(187ページ) を参照してください。)
- PCM起動後、Bluetooth®デバイスは最初に電話プロファイル (SIMアクセスまたはハンズフリー・プロファイル) で接続され、その後オーディオ・プロファイル (A2DP、AVRCP) で接続されます。電話機能無しのBluetooth®オーディオ・プレーヤーを使用するときは、起動後に手動で接続する必要があります。







## PCMでのSIMカードの使用

アジア諸国では、挿入したSIMカードはデータ接続に使用されます。  
データ接続に関するインフォメーション：  
▶ 「データ接続を確立する (接続)」(149ページ) を参照してください。

## 接続ステータスの表示

以下のアイコンがフッターに表示されます (接続状態により異なる)。

### シンボル 意味



-  電話が接続されていません。
-  SIMカードが挿入されています、またはSIMアクセス・プロファイル (SAP) による接続が確立されています。データ接続を確立することができます。
-  SIMカードが挿入されています、またはSIMアクセス・プロファイル (SAP) による接続が確立されています。LTE携帯電話ネットワークなどを經由してデータ接続が確立されています。
-  UMTS/HSPA 携帯電話ネットワーク (3G) 経由でデータ接続が確立されています。
-  EDGE携帯電話ネットワーク (GSM) 経由でデータ接続が確立されています。
-  電話機能用の携帯電話ネットワーク受信強度を示しています。

## 接続マネージャーを開く

- ▶ 「接続マネージャー」(129ページ) を参照してください。

## 電話番号をダイヤルする




### 電話番号を入力する（キーパッド）

1. **PHONE** ボタン ▶ Keypad 
2. 数字キーパッドから番号を入力してください。  
電話番号が既知の場合は、選択が提示されます（vCardが表示されます）。
3.  を選択してください。

### インフォメーション

DTMF（デュアル・トーン・マルチ周波数）トーンおよび付加サービス（\*及び#キーによるコード・サービス）に対応しています。

### リダイヤル機能を開く



1. **PHONE** ボタン ▶ Keypad 
2. キーパッドで前回ダイヤルした電話番号を表示するには、 を選択してください。
3.  を選択してください。

### インフォメーション

リダイヤルのメモリーはイグニッションをOFFにすると消去されます。



### 通話履歴から番号をダイヤルする

▶ 「通話履歴を表示する」（190ページ）を参照してください。



1. **PHONE** ボタン ▶ Calls 
2. 希望の通話履歴を選択し、項目を選択してください。
3.  を選択してください。

### 連絡先から番号をダイヤルする

▶ 「連絡先を使用する」（191ページ）を参照してください。

1. **PHONE** ボタン ▶ Contacts 
2. 希望の連絡先を検索し、選択してください。
3. 希望の電話番号をダイヤルしてください。
4.  を選択してください。

## ボイスメールを聞く

1. **PHONE** ボタン ▶ Keypad 
2. ボイスメールを聞くには、 を押し続けてください。



### インフォメーション

この機能を最初に使用するとき、ボイスメール番号の入力プロンプトが1回表示されます。  
▶ 「電話設定の変更」（193ページ）を参照してください。

## 着信に応答する/通話を終了する

### 着信に応答する/拒否する


✓ 着信が入ったとき

- ▶  **Accept**を選択してください。  
または  
携帯電話の通話ボタンを押してください。  
または  
ステアリング・ホイールの通話ボタンを押してください。
- ▶ 着信を拒否するには、 **Reject**を押してください。

### インフォメーション

携帯電話で「ミュート」または「会議」プロファイルを設定している場合、一部のデバイスでは、着信があった場合にもPCMの呼び出し音が鳴らないことがあります。

### 通話を終了する

- ▶ フッターまたは電話メニューの  を選択してください。  
または  
携帯電話の終話ボタンを押してください。  
または  
ステアリング・ホイールの終話ボタンを押してください。

## 通話中の各種機能

### マイクのミュート

✓ 通話中である

- ▶ マイクをミュートするには を選択してください。

### 通話の保留

✓ 通話中である

- ▶ **Connected** アイコンの隣にある を選択してください。  
または  
**OPT** ボタン ▶ **Hold call** を選択してください。
- ▶ 通話を再開するには、**On hold** アイコンの隣にある を選択してください。

### 電話会議の開始\*

✓ 通話中である

- PHONE** ボタン ▶ **Keypad**
- を選択して、新たな会議を追加してください。
- 新しい会議を追加するには：  
数字キーパッドを使用して新しい電話番号をダイヤルします。  
または  
通話履歴から電話番号を選択します。  
または  
電話帳にある既存の連絡先を選択します。
- を選択してください。
- 会議を開始するには を選択してください。  
または  
**PHONE** ▶ **OPT** ▶ **Conference**  
▶ 会議を保留にするには、**PHONE** ▶ **OPT** ▶ **Hold conference** を選択してください。

### 2つの会議間の切り替え(スワッピング)\*

- ✓ 通話中である
- ✓ 通話が保留中である

- ▶ 保留中の通話を選択して有効にし、それまで有効だった通話を保留にします。  
または  
**PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **Swap calls**

## 通話履歴を表示する

### 通話の表示

- PHONE** ボタン ▶ **Calls (通話)**
- 希望のページをブラウズ(スワイプ)してください。
  - すべての通話
  - 不在着信
  - 発信
  - 着信
- 通話履歴から項目を選択してください。  
詳細画面が表示されます。

### 通話を消去

- ✓ 携帯電話がBluetooth® SIMアクセス・プロファイルを介して接続されている

- PHONE** ボタン ▶ **Calls**
- 希望の通話履歴を選択し、発信者を選択してください。
- OPT** ボタンを押してください。
- PCMの通話履歴から通話を消去するには、**Delete call** を選択してください。

### インフォメーション

車両から発信された通話のみが消去されます。

## マルチファンクション・ディスプレイで電話を使用する

マルチファンクション・ディスプレイの使用に関するインフォメーション：

- ▶ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールを使用しないマルチファンクション・ディスプレイの操作」(262ページ)を参照してください。
- ▶ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作」(262ページ)を参照してください。

### 電話番号をダイヤルする

- Phone**メニューを選択してください。
- リストから希望の番号を検索し、項目を選択してください。

- **Phonebook** 電話帳から電話番号をダイヤルしてください。
- **Previous calls** 通話履歴から電話番号を選択してください。

### 着信に応答する/拒否する

✓ 着信が入ったとき

- ▶ **Phone**メニューを選択してください。

- **Accept**：着信に応答します。
- **Reject**：着信を拒否します。

\* 日本仕様に設定はありません。

## 複数の通話を同時に受ける/通話を終了する\*

✓ 通話中である

▶ Phoneメニューを選択してください。

- **New call**: 通話中に別の参加者に電話します。
- **Switching calls**: 個別に通話を行うために、参加者間を切り替えます。
- **Conference**: 電話会議に参加者を追加します。
- **Conference**: 通話中の電話を終了します。

## 連絡先を使用する

### 連絡先の表示

1. **PHONE** ボタン ▶ **Contacts** 


### 連絡先の検索

右側のアルファベット・ストリップを使用して、希望の相手を最初の文字から検索することができます。テキストを入力して検索することも可能です。


1. **PHONE** ボタン ▶ **Contacts**  ▶ **Search for contact**

2. 入力フィールドに名前を入力してください。結果リストが表示されます。
3. 希望の項目を選択してください。

## 連絡先の送信

1. **PHONE** ボタン ▶ **Contacts** 
2. 連絡先を選択してください。連絡先詳細が表示されます。
3. **OPT** ボタンを押してください。
4. **Send as vCard**を選択してください。
5. 利用可能な状況に応じて、送信 (**SMS**、**e-mail**) またはメモリー・オプション (**SD**、**USB**) を選択してください。

## 連絡先リストの並び替え

1. **PHONE** ボタン ▶ **Contacts**  ▶ **OPT** ボタン ▶ **Sorting criteria**
2. ソート順序**姓、名**または**名、姓**を選択してください。

## MyScreenにお気に入りを追加

1. **HOME** ボタン ▶ **MyScreen**  ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET MyScreen**
2. **MyScreen 1**、**MyScreen 2**、または**MyScreen 3**を選択してください。
3. カテゴリー **PHONE**を選択してください。
4. タイル**Smith, John**を左プレビュー側にある任意のコンテナにドラッグ&ドロップしてください。タイルは、緑色のエッジが見えるとすぐにコンテナに挿入することができます。
5. またはを使用して、**Configure MyScreen**メニューを終了します。

## 6. Touch here to select a contact.

連絡先リストが開きます。

## 7. 希望する連絡先を選択してください。

連絡先詳細が表示されます。

## 8. 電話番号をダイヤルしてください。

選択した画面に連絡先がお気に入りとして保存されます。

## MyScreenのお気に入りを消去

▶ 「MyScreenからタイルを削除する」(250ページ)を参照してください。

## メッセージの表示および消去\*

メッセージ機能により、文字メッセージ (SMS) やEメールを読んだり、音声によりメッセージを読み上げたり、文字メッセージに含まれる電話番号を他の機能で使用したりすることができます。

この機能は、携帯電話がBluetooth®メッセージ・アクセス・プロファイルに対応している場合のみ利用することができます。携帯電話はSMS機能に対応していても、Eメール機能には対応していないことがあります。

この設定に関する詳しい情報は、お使いの携帯電話の取扱説明書を参照してください。



## インフォメーション

- 接続されている携帯電話がSIMアクセス・プロファイルに対応している場合、受信したSMSはSIMカードに保存されます。\*
- 携帯電話がデバイスのメモリーに保存されているSMSしか表示できない場合、車両で受信したSMSは携帯電話メッセージ・リストには表示されません。
- PCM はマルチメディア・メッセージング・サービス (MMS) に対応していません。

\* 日本仕様に設定はありません。

あ

## SMSの表示



1. **PHONE** ボタン ▶ Messages  ▶ SMS
2.  ▶ フォルダーを選択してください。
3. 希望の SMS を選択してください。

か

さ

た

## Eメールの表示

1. **PHONE** ボタン ▶ Messages  ▶ E-mail
2. Eメール・アカウントを選択してください。受信トレイが開きます。最大で100件のEメールが表示されます。
3. 必要に応じて、 ▶ フォルダーを選択してください。
4. 希望のEメールを選択してください。

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

**i** インフォメーション

多く携帯電話は、複数のアカウントからのPCMへのEメール転送に対応していません。多くの場合、メーカー固有のアプリによって管理されたEメールのみが転送されます。

## メッセージを聞く (SMS、Eメール)



1. **PHONE** ボタン ▶ Messages 
2. メニュー SMSまたはE-mailを選択してください。
3.  ▶ フォルダーを選択してください。
4. 希望のSMSまたはEメールを選択してください。
5. Read out  を選択してください。

## メッセージの消去 (SMS、Eメール)

1. **PHONE** ボタン ▶ Messages 
2. メニュー SMSまたはE-mailを選択してください。
3.  ▶ フォルダーを選択してください。
4. 希望のSMSまたはEメールを選択してください。
5. **OPT** ボタンを押してください。
6. Deleteを選択してください。メッセージが消去されます。SIMアクセス・プロファイルによる接続では、PCM内で消去されたSMSも携帯電話のSIMカードから消去されます。

## メッセージの作成\*

## SMSの作成

1. **PHONE** ボタン ▶ Messages  ▶ SMS
2.  ▶ New SMSを選択してください。
3. 以下の方法で宛先を追加してください。数字キーパッドから番号を入力します。または電話帳にある既存の連絡先を選択します。または入力フィールドから連絡先の名前を入力します (これを実行可能にするためには、電話帳に連絡先および電話番号が登録されている必要があります)。
4. テキスト・ボックスを選択してください。

5. 入力フィールドにメッセージを入力し、決定してください。
6. OKを選択してください。
7. Sendを選択してください。メッセージが送信されます。

## Eメールの作成

1. **PHONE** ボタン ▶ Messages  ▶ E-mail
2.  ▶ New e-mailを選択してください。
3. 以下の方法で宛先を追加してください。電話帳にある既存の連絡先を選択します。または入力フィールドから連絡先の名前を入力します (これを実行可能にするためには、電話帳に連絡先および電話番号が登録されている必要があります)。
4. テキスト・ボックスを選択してください (件名など)。
5. 入力フィールドにメッセージを入力し、OKで確定してください。
6. Sendを選択してください。Eメールが送信されます。

## 設定の変更

## 通話中の設定 (プライベート・モード)

✓ 通話が確立している

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン
2. 以下から希望の設定を選択してください。

– **プライベート・モードを作動**: 通話はハンズフリー機器から携帯電話に転送されます。

\* 日本仕様に設定はありません。



## 電話設定の変更

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET PHONE** ▶ **PHONE**
  2. 以下から希望の設定を選択してください。
- **通信事業者検索**：通信事業者を選択するか、または自動通信事業者選択を作動します。
  - **メールボックス・ナンバー**：接続している携帯電話のメールボックス電話番号を表示または変更します。
  - **シリアル・ナンバー**：PCM電話モジュールのIMEIシリアル・ナンバーを表示します。

## Bluetooth®機能およびデバイスの管理

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET PHONE** ▶ **Bluetooth**
  2. 以下から希望の設定を選択してください。
- **新しいデバイスを追加する**：新しいBluetooth®デバイスを検索し、PCMに登録します。
  - **Bluetoothデバイス**：登録したBluetooth®デバイスを管理し、登録したBluetooth®デバイスをPCMに接続します。
  - ▷ 「Bluetooth®デバイスの削除、またはBluetooth®インフォメーションの表示」(188ページ)を参照してください。


- **Bluetoothを作動/停止**：Bluetooth®機能を作動/停止します。
- **Note**：電話を忘れないでください：車両を離れるときは、接続したBluetooth®デバイスのリマインダーを作動させてください。
- **Bluetooth name**：PCMのBluetooth®名を設定します。

## WiFi設定の設定

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET PHONE** ▶ **WiFi settings**
2. 以下から希望の設定を選択してください。

- **WiFiを作動/停止**：PCMのWiFi機能をON/OFFします。
- **PCMのWiFiホットスポット設定**：PCMのWiFiアクセス・データを表示し、設定します。このデータはデバイス（携帯電話など）をWiFi経由でPCMに接続したり、PCMのホットスポットを使用するために必要です。
- **外部データ接続を使用**：外部 WiFi ホットスポット（公衆ホットスポットなど）とのデータ接続を確立します。\*
- **Connect external WiFi hotspot**：新しいWiFiホットスポットを検索し、外部WiFiホットスポット用のアクセス・データ（ユーザー名およびパスワード）を入力します。データ入力時は、大文字/小文字に注意してください。\*
  - ▷ 「外部 WiFi ホットスポット経由でデータ接続を確立する\*」(149ページ)を参照してください。

## 外部WiFiホットスポットを切断

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **接続** ▶ **Data connection**
2. 切断するWiFiホットスポットのアイコン  を選択してください。

## データ接続の設定

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET PHONE** ▶ **Data connections**
2. 以下から希望の設定を選択してください。

- **データ接続**：
  - **ON**：常にデータ接続を許可します。
  - **OFF**：データ接続をOFFにします。
  - **プロンプト**：データ接続を使用する前に、データ接続を許可するかを確認するメッセージが表示されます。
- **Share data connections**：WiFiデバイス用のデータ接続を可能にします。
- **ローミング**：他のネットワークのデータ接続を許可する/許可しません。
- **アクセス・ポイント (APN) を設定**：SIMカードのデータ接続用ネットワーク・アクセス・データ (APN名、ユーザー名、およびパスワード) を変更します。
- **Reset APN configuration**：APN設定を工場出荷時の設定に戻します。
  - ▷ APNの設定に関するインフォメーション：「データ接続を確立する(接続)」(149ページ)を参照してください。

## 連絡先の管理

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET PHONE ▶ Contacts**

2. 以下から希望の設定を選択してください。

- **連絡先メモリー**：使用している連絡先メモリーを表示します。
- **ソート順序**：姓または名で、携帯電話に保存されている連絡先を並び替えます。
- **連絡先の移動**：Bluetooth®経由で接続されている携帯電話、またはSIMカードの連絡先をPCMに手動で移動することができます。

## 着信音設定の変更

✓ 携帯電話がPCMに接続されていること。

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET PHONE ▶ Tone settings**

2. 以下から希望の設定を選択してください。

以下のオプションが設定可能です。

- **着信音を選択**：接続している携帯電話がBluetooth®経由で着信音を送信しない場合、PCMの着信音を設定します。
- **着信音量**：着信音量を設定します。
- **マイク音量**：電話マイクの音量を設定します。
- **メッセージの受信音**：メッセージの受信音を設定またはOFFにします。

## 電話設定の設定

✓ 携帯電話がBluetooth® SIMアクセス・プロファイルによって接続されていること。

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン

2. 以下から希望の設定を選択してください。

- **電話転送**：電話転送を設定します。
- **キャッチホン**：通話中に別の電話がかかってきた場合、この機能が作動していると、キャッチホン信号が鳴ります。
- **Display phone number**：この機能が作動している場合、お使いの電話番号が相手先に表示されます。

## 盗難を防止するために

### 盗難を防止するために

車両から離れるときは、必ず次のことを守ってください：

- ▶ ウィンドウを閉じてください。
- ▶ コンバーチブル・トップ（カブリオレ）/コンバーチブル・トップ・エレメント（タルガ）を閉じてください。
- ▶ スライディング/チルティング・ルーフを閉じてください。
- ▶ エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。
- ▶ キーを抜き取ってください（またはポルシェ・エントリー&ドライブ装備車ではイグニッションをOFFにしてください）。
- ▶ グローブ・ボックスを閉じてください。
- ▶ すべての小物入れを閉じてください。
- ▶ 貴重品、車両の登録書類、携帯電話機、自宅の鍵などを車内に残さないでください。
- ▶ トランク・リッドを閉じてください。
- ▶ エンジン・コンパートメント・リッド/リヤ・ウィンドウ（タルガ）を閉じてください。
- ▶ ドアをロックしてください。

### イモビライザー

各キーには、コード信号が保存されたトランスポンダー（電子回路）が組み込まれています。イグニッションを前に、イグニッション・ロックがコードを照合します。

あらかじめ登録されているキーを使用したときのみイモビライザーが解除され、エンジンを始動することができます。

## ステアリング・コラムのロック解除/ロック

**ポルシェ・エントリー&ドライブ非装備車**  
ステアリング・コラムを自動的にロック解除する

- ▶ キーのリモート・コントロールで車両をロック解除してください。  
または  
イグニッション・キーをイグニッション・ロックに差し込んでください。

**ステアリング・コラムを自動的にロックする**

- ▶ キーを抜き取ってください。

**ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車**  
ステアリング・コラムを自動的にロック解除する

- ▶ キーのリモート・コントロールで警報システムを解除し、運転席ドアを開いてください。  
または  
ポルシェ・エントリー&ドライブを使用して、運転席ドアを開いてください。  
または  
イグニッションをONにしてください。

**ステアリング・コラムを自動的にロックする**

- ▶ イグニッションをOFFにした状態で、運転席ドアを開いてください。  
または  
車両をロックしてください。

## ドライビング・データの表示 (トリップ情報)

トリップ・メニューには、走行時間、走行距離、平均車速、平均燃費などの一連のドライビング・データが表示されます。

### **i** インフォメーション

ポルシェ・コミュニケーション・マネジメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:  
 ▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネジメント (PCM) の操作」 (245ページ) を参照してください。

マルチファンクション・ディスプレイの使用に関するインフォメーション:

▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールを使用しないマルチファンクション・ディスプレイの操作」 (262ページ) を参照してください。


▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作」 (262ページ) を参照してください。

## マルチファンクション・ディスプレイにドライビング・データを表示する

1. トリップ・メニューを選択してください。
2. リストから項目を選択してください。

- **以降**: 現在運転中のドライビング・データです。イグニッションOFFで2時間以上停車すると、ドライビング・データが自動的にリセットされます。
- **連続**: 手動でリセットするまでデータが蓄積されます。イグニッションをOFFにしてもデータはリセットされません。
- **目的地まで**: ルート案内を開始すると目的地までのドライビング・データが計算され、表示されます。


## PCMにドライビング・データを表示する

1. **CAR** ボタン ▶ Trip 
2. 希望の表示レベルを閲覧 (スワイプ) してください。

- **Personal trip**: 必要に応じて、ドライビング・データを4つのデータ・フィールドにグループ分けできます。
- **Trip since**: イグニッション・キーを抜き取って2時間以上停車すると、ドライビング・データが自動的にリセットされます。
- **Total trip**: 手動でリセットするまでデータが蓄積されます。ドライビング・データは、イグニッション・キーを抜き取って長時間駐車した場合でも保持されます。

## PCMのパーソナル・ディスプレイの内容を設定する

パーソナルトリップ・メニューでは、個々のデータ・フィールドの内容を個別に設定することができます。日付、時刻、外気温、到着時刻、平均車速、燃費データなどの一般情報、およびナビゲーション・エリアから選択された様々なデータ・フィールドの車両パラメーターから選択することができます。

1. **CAR** ボタン ▶ Trip  ▶ Personal trip ▶ Adapt
2. 変更したいデータ・フィールドを選択してください。
3. データ・フィールドの希望のコンテンツを選択してください。

### **i** インフォメーション

メニュー項目次のガソリン・スタンドまでの距離をデータ・フィールドに指定した場合、タッチスクリーンに表示されたシンボルを素早く押すと、このガソリン・スタンドまでのルート計算が開始されます。


このガソリン・スタンドまでのルート案内を開始するには、**ルート案内の開始**を選択してください。

## マルチファンクション・ディスプレイでドライビング・データをリセットする

1. トリップ ▶ 制限 ▶ リセット
2. リストから項目を選択してください。

- **すべて**: 以降および**連続**のドライビング・データをリセットします。
- **以降**
- **連続**
- **最大値**

## PCMでドライビング・データをリセットする

1. **CAR** ボタン ▶ Trip  ▶ Personal trip ▶ Reset
2. リストから項目を選択してください。

- **すべて**: 以降および**Total**のドライビング・データをリセットします。
- **以降**
- **連続**

## トランク・リッド

## トランク・リッドの開閉

車内のボタンでトランク・リッドを開く

## 知識

トランク・リッドまたはフロント・ワイパーを損傷する恐れがあります。

- ▶ トランク・リッドを開くときは、ワイパーが起きていないことを確認してください。
- ▶ トランク・リッドを開く前に、必ずフロント・ワイパーをOFF（ワイパー・レバーを0の位置）にしてください。
- ▶ 「フロント・ワイパーの操作」（318ページ）を参照してください。

## i インフォメーション

バッテリーが上がってしまった場合、外部電源を接続してトランク・リッドを開くことができます。

- ▶ 「トランク・リッドの緊急解除」（199ページ）を参照してください。

または

- ▶ ヒューズ・ボックス・リッド裏の説明をお読みください。

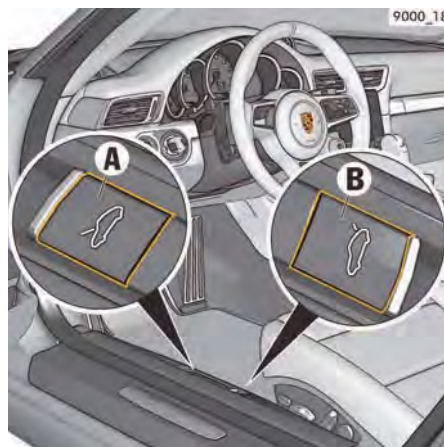


図163: トランク・リッドのロック解除

- A トランク・リッド・ボタン  
B エンジン・コンパートメント・リッド・ボタン

1. ボタンAを引いてください。  
リッドがロック解除されます。



図164: トランク・リッドのロック解除

2. リッドを少し持ち上げ、セーフティ・ラッチ（矢印）を解除してください。
3. リッドを完全に開いてください。  
トランク・リッドを開くと、トランク・ルーム内のライトが点灯します。



キーでトランク・リッドを開く



図165: キーでトランク・リッドを開く

1. ボタンを押してください。
2. リッドを少し持ち上げ、セーフティー・ラッチを解除してください。
3. リッドを完全に開いてください。  
トランク・リッドを開くと、トランク・ルーム内のライトが点灯します。

**i** インフォメーション

キーを使用してトランク・リッドのロックを解除すると、車両ドアのロックも解除されます。

ポルシェ・エントリー&ドライブ（キーレス）でトランク・リッドを開く



図166: ポルシェ・エントリー&ドライブでトランク・リッドを開く

- ✓ キーが車両の前部にある
1. Porsche Crestとライセンス・プレートの方に手をかざしてください（図166）。  
リッドがロック解除されます。
  2. リッドを少し持ち上げ、セーフティー・ラッチを解除してください。
  3. リッドを完全に開いてください。  
トランク・リッドを開くと、トランク・ルーム内のライトが点灯します。

トランク・リッドを閉じる

1. リッドが閉じる直前まで手で引き下げ、そこで手を放してリッドをロックしてください。ロック部分の真上付近を手のひらで押して、リッドを確実にロックしてください。
2. リッドが確実にロックされていることを確認してください。

リッドが正しく閉じていない場合、車両の発進時にマルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

## トランク・リッドの緊急解除

バッテリー上がりの場合、トランク・リッドを開くには外部バッテリーを使用する必要があります。

▶ 「ジャンパー・ケーブルによる始動」(129ページ)を参照してください。

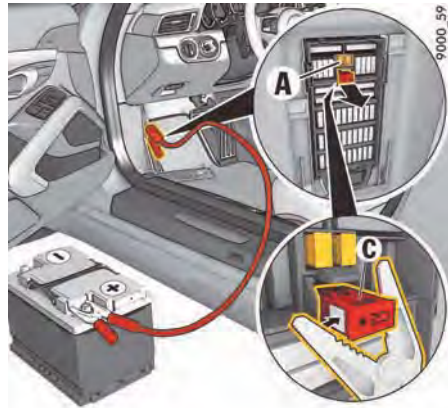


図167: トランク・リッドの緊急解除 - プラス端子の接続

- A プラスチック・リムーバー (黄色)  
C プラス端子 (赤色)

1. エマージェンシー・キーを使用して、ドア・ロックを解除してください。
  - ▶ 「エマージェンシー・キーを使用する場合」(77ページ)を参照してください。
  - ▶ 「緊急ドア・ロック解除」(155ページ)を参照してください。
2. 左側ヒューズ・ボックスのプラスチック・カバーを取り外してください。

3. ヒューズ・リムーバー A (黄色) を使用して、ヒューズ・ボックスのプラス端子 C (赤色) を引き出してください。
4. 赤いジャンパー・ケーブルを使用して、外部バッテリーのプラス端子と、ヒューズ・ボックスのプラス端子 C を接続してください。

### i インフォメーション

車両がロックされていた場合、マイナス端子を接続したときに警報システムのホーンが鳴ります。

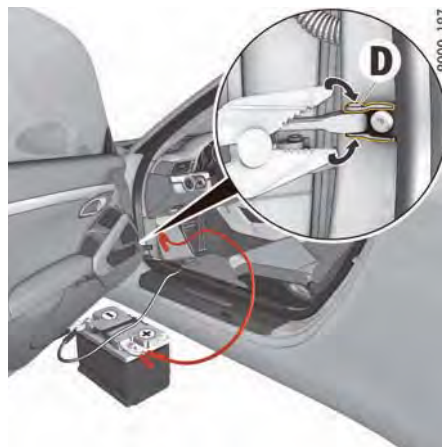



図168: トランク・リッドの緊急解除 - マイナス端子の接続

5. 黒色のジャンパー・ケーブルを使用して、外部バッテリーのマイナス端子と、ドア・ラッチ D を接続してください。
6. キーの  ボタンを約 2 秒間押し続けてください。  
トランク・リッドがロック解除され、警報システムが OFF になります。

7. マイナス・ケーブルを先に外し、次にプラス・ケーブルを外してください。
8. プラス端子 C (図167) をヒューズ・ボックスに押し込み、ヒューズ・ボックスのプラスチック・カバーを取り付けてください。

## トランスミッション

### マニュアル・トランスミッションによる走行



図169: ギヤ・レバーのシフト・パターン

#### 警告

ペダル操作の妨げ

不適切なフロア・マット、正しく固定されていないフロア・マット、またはその他の障害物はペダルの可動域を制限したり、またはペダル操作の妨げになる可能性があります。

- ▶ フロア・マットなどでペダルの動きを妨げないようにしてください。
- ▶ 変速するときはクラッチ・ペダルをしっかり踏み込み、ギヤ・レバーを確実に操作してください。
- ▶ 上り坂ではエンジン・パワーを有効に使用できるように、また下り坂では十分なエンジン・ブレーキがかかるように、適切なギヤを選んでシフトダウンしてください。

#### i インフォメーション

1~6速ギヤは通常の走行および性能を重視した走行に適しています(6速ギヤで最高速度に到達します)。

7速ギヤは高速走行での快適性を向上するようにエンジン回転数を低減し、同時に燃費を低減するように設計されています。

#### トランスミッションをニュートラルにシフトする

トランスミッションのニュートラル位置Nは3速と4速ギヤの中間にあります。

#### 7速ギヤにシフトする

スポーツ走行時に意図せず7速ギヤにシフトすることを回避するため、シーケンシャル・ギヤ・ロックが取り付けられています。

7速ギヤは、5速または6速ギヤに入れている場合のみシフトすることができます(図169を参照、白/黄線)。

#### 7速ギヤから6速ギヤへのシフト

- ▶ 右へ少し力をかけながらギヤ・レバーを7速ギヤから6速ギヤへシフトしてください。

#### 7速ギヤから5速ギヤへのシフト

- ▶ 推奨: 7速ギヤからは、まずニュートラル位置N(ギヤシフト・ロック作動)にシフトしてから5速ギヤに入れてください。

#### 締結ギヤを表示する

タコメーター内のギヤ・ポジション・ディスプレイBは現在締結されているギヤを表示します。

#### リバース(後退)に入れる

- ▶ ギヤをリバース(後退)に入れるときは完全に停車してから行ってください。
  - ▶ リバース・ギヤには、ギヤ・レバーを左にいったいまで動かした後シフトすることができます。
- イグニッションONでギヤ・レバーをリバース(後退)に入れると、リバース・ライトが点灯します。

#### シフトアップ・インジケーターを使用した走行

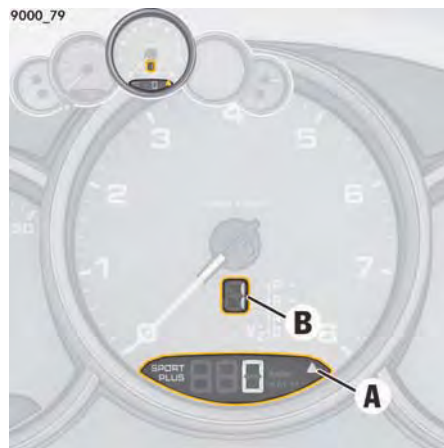


図170: シフトアップ・インジケーターAおよびギヤ・インジケーターB

燃費重視の運転を促すシフトアップ・インジケーターAは、ドライバーが経済的な運転できるように支援します。

現在選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセル・ペダルの踏み込み量に応じてこのインジケーターが点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

- ▶ シフトアップ・インジケーターが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。

#### エンジン許容回転数を遵守する

- ▶ タコメーター(回転計)の指針が赤色のエリア(レッドゾーン)に到達する前に、1段高いギヤにシフトアップするか、アクセル・ペダルをゆるめてください。

加速中、エンジン回転数がタコメーターの赤色のエリア(レッドゾーン)に到達すると、燃料の供給が遮断されます。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

## 知識

低いギヤにシフトダウンする場合に、エンジンの過回転（オーバーレブ）が原因でエンジンを損傷する恐れがあります。

- ▶ 低いギヤにシフトダウンするときは、エンジンが最高許容回転数を超えないように注意してください。

## Porsche Doppelkupplung (PDK) を使用した走行

Porsche Doppelkupplung (PDK) はオートマチック・モードとマニュアル・セレクション・モードを備えた7段変速トランスミッションです。オートマチック・モード（セレクター・レバーがDの位置）では、変速が自動的に行われます。ステアリング・ホイールのシフト・パドルを操作することにより、一時的にオートマチック・モードからマニュアル・モードに切り替えることができます。

マニュアル・モード（セレクター・レバーがMの位置）では、ステアリング・ホイールのシフト・パドルの操作、またはPDKセレクター・レバーで変速できます。

セレクター・レバーのDとMは、走行中でも切り替えることができます。

- ▶ オートマチックとマニュアルのどちらのモードにあるときでもステアリング・ホイールのシフト・パドルを誤って操作しないように注意してください。トランスミッションが思わぬタイミングで変速されます。

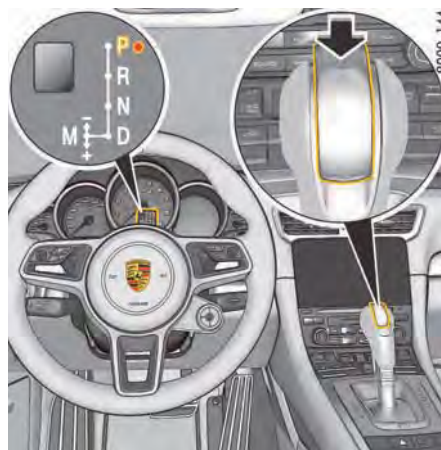


図171: セレクター・レバーの操作

### セレクター・レバーの操作

イグニッションがOFFのとき、セレクター・レバーは動かないようにP位置に固定されます。イグニッションがONのとき、リリース・ボタンを押し、ブレーキ・ペダルを踏んでいるときのみ、セレクター・レバーをPおよびNの位置から動かすことができます。

### ロック解除ボタン

セレクター・レバーのロック解除ボタン（矢印）は、ギヤ・シフトの誤操作を防止するための機構です。

セレクター・レバーをRまたはPの位置にシフトするときは、このロック解除ボタンを押さなければなりません。

### エンジンの始動

セレクター・レバーがPかNの位置にあり、ブレーキ・ペダルを踏んだ状態でないとエンジンを始動することはできません。

### 車両の発進

- ▶ エンジンがアイドリング状態で、ブレーキ・ペダルを踏んでいるときのみ、走行位置（D、M、R）にシフトしてください。
- ▶ セレクター・レバーを走行位置に動かすと車両がゆっくりと動き出します。発進の準備が整うまでブレーキ・ペダルから足を放さないでください。

### 坂道での発進

発進アシスタントにより坂道で発進しやすくなります。ドライバーがフット・ブレーキを解除した直後にブレーキ・ペダルからアクセル・ペダルに踏み替える時間を確保するため、短時間のみ車両がその位置に保持されます。

- ▶ 「HOLD機能：発進アシスタント、停止制御」（324ページ）を参照してください。

### 停車

- ▶ 信号待ちなど短時間の停車時は、セレクター・レバーを走行位置のまま保持し、ブレーキ・ペダルを踏んでください。
- ▶ 上り坂ではアクセル・ペダルを踏みながら停止位置を保つようなことはしないでください。ブレーキ・ペダルを踏むか、エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。
- ▶ 車両から離れるときは、必ずエレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させ、セレクター・レバーをPの位置にしてください。

### 駐車

- ▶ アクセル・ペダルは慎重に操作してください。
- ▶ 特に、狭い場所で駐車や移動をする場合は、フット・ブレーキを使用して速度を調節してください。





図172: セレクター・レバー・ポジション・インジケーターおよびギヤ・ポジション・インジケーター

### セレクター・レバー・ポジション・インジケーターおよびギヤ・ポジション・インジケーターを読み取る

エンジン作動中に、セレクター・レバー位置および選択されたギヤが表示されます。

セレクター・レバーが2つのポジションの間にある場合は、該当するセレクター・レバー・ポジションが点滅し、マルチファンクション・ディスプレイに警告が表示されます。

処置:

- ▶ フット・ブレーキを踏んで、セレクター・レバーを正しい位置に動かしてください。ブレーキを踏んでいない状態で不意にセレクター・レバーがPまたはN位置から動いてギヤに入ってしまった場合(故障または誤った操作で)、シフト・インジケーターが点滅し、駆動力がカットされます。
- ▶ 発進するには、ブレーキ・ペダルを踏み、セレクター・レバーを再びPまたはNから希望のギヤに入れてください。

### インストルメント・パネルのセレクター・レバー位置RまたはDが点滅する

駆動力が伝達されません。

原因:

- フット・ブレーキを踏まずにセレクター・レバーを切り替えた
- 最高許容速度以上でセレクター・レバーをRにシフトした

処置:

- ▶ ブレーキ・ペダルを踏み、セレクター・レバーを再びPまたはNから希望するギヤに入れてください。

### セレクター・レバー・ポジション

#### P - パーキング・ロック

- ▶ 車両が完全に停止してからパーキング・ロックをかけてください。セレクター・レバー・ポジションPが点滅している場合、パーキング・ロックがかかっていません。車両が不意に動き出す恐れがあります。セレクター・レバーを再びRからPの位置に入れてください。

#### ポルシェ・エントリー & ドライブ非装備車:

キーは、セレクター・レバーがPの位置にあるときのみ、抜き取ることができます。

#### R - リバース・ギヤ

- ▶ 車両が完全に停止し、ブレーキをかけてからシフトしてください。

#### N - ニュートラル

けん引するときや自動洗車機を使用するときなどは、セレクター・レバーをNの位置にしてください。

- ▶ エンジンがアイドリング状態で、ブレーキ・ペダルを踏んでいるときのみ、走行位置(D、M、R)にシフトしてください。

### D - オートマチック・モード

- ▶ 「通常」の走行時には、セレクター・レバーのDの位置を使用してください。

車速とアクセル・ペダルの踏み込み方により、ギヤが自動的に切り替わります。

### **i** インフォメーション

ステアリング・ホイールのシフト・ボタンを操作することにより、一時的にオートマチック・モードDからマニュアル・モードMに切り替えることができます。

例えば、以下のような状況ではこの操作を行ってください。

- カーブや市街地に入る前にシフトダウンしたいとき
  - 下り坂でエンジン・ブレーキをかけるためにシフトダウンしたいとき
  - 急加速時にシフトダウンしたいとき
- 次の場合は、マニュアル・モードが維持されます。
- オーバーラン時
  - 車両が交差点などで停車した場合
- 次の場合は、マニュアル・モードが解除されます。
- オーバーラン時以外は、自動的に約6秒後
  - 発進後

### M - マニュアル・モード

- ▶ 「マニュアル・モード」(202ページ)を参照してください。

### マニュアル・モード

ステアリング・ホイールのシフト・パドルまたはPDKセレクター・レバーの操作により、7速前進ギヤを快適かつ正確に選択することができます。





図173: オートマチック・モード

▶ セレクター・レバーをDからMの位置に押ししてください。

現在のギヤは、DからMにシフトしてもそのまま維持されます。

MからDにシフトした場合は、現在のドライブング・スタイルに適した変速特性が選択され、適切なギヤにシフトされます。



図174: シフト・パドル付きステアリング・ホイール

**セレクター・レバーまたは右「+」シフト・パドルでのシフトアップ**

▶ PDKセレクター・レバーまたは右側シフト・パドルを手前に引いてください。

**セレクター・レバーまたは左「-」シフト・パドルでのシフトダウン**

▶ PDKセレクター・レバーを前方に押しってください。または左側シフト・パドルを手前に引いてください。

**シフト・パドルを使用してN - ニュートラルにシフトする**

▶ 両方のシフト・パドルを同時に引いて、すぐに放してください。

トランスミッションがN - ニュートラル(アイドル回転数)にシフトします。

車両はエンジンを切り離れた状態でアイドル回転数で走行し、エンジン・ブレーキの効果は得られません。ギヤ・インジケータの数値は消灯し、セレクター・レバー・ポジションが点滅します。

いずれかのシフト・パドルを引くか、セレクター・レバーを操作すると、再びギヤが締結します。

**低燃費走行のためのシフトアップ・インジケータ**

燃費重視の運転を促すシフトアップ・インジケータAは、ドライバーが経済的な運転をできるように支援します。

現在選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセル・ペダルの踏み込み量に応じてこのインジケータが点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

▶ シフトアップ・インジケータが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。



図175: シフトアップ・インジケータ A

**キックダウン機能を作動させる**

キックダウン機能はセレクター・レバーがDのときに作動します。

- ▶ 追い越し時などで大きな加速力が必要な場合は、アクセル・ペダルを素早くいっぱい（キックダウンの位置まで）踏み込んでください。  
車速とエンジン回転数に応じて、トランスミッションがシフトダウンされます。  
そのギヤでのエンジン回転数の許容上限に達するまで、シフトアップされません。

### 惰性走行モードで走行する

惰性走行とは、車両がエンジンを切り離れた状態でアイドル回転数で走行し、エンジン・ブレーキの効果が得られない状態をいいます。この標準機能は、燃費と乗り心地の向上を目的として自動的に作動します。アクセル・ペダルを通常通り完全に放すと惰性走行モードになります。加速するためにアクセル・ペダルを踏み込むと、エンジンが素早く再始動し、惰性走行が終了します。

#### 自動惰性走行モードの作動条件

- ✓ セレクター・レバーがD位置で走行している
- ✓ クルーズ・コントロールが作動していない
- ✓ エンジン、トランスミッション、バッテリーが作動温度に達している
- ✓ ゆるやかな上り/下り勾配

#### 惰性走行モードを手動で開始する

交通状況に応じて、惰性走行を手動で開始し、慎重に運転することで効率を向上することができます。このためには、シフト・パドルまたはセレクター・レバーを操作して、可能な限り高いギヤに手動でシフトアップしてください。例えば、前走車や赤信号に接近するときは、エンジン・ブレーキを積極的に使用してください。ブレーキをより強く踏むか、シフト・パドルまたはセレクター・レバーを操作することで、エンジンへの燃料供給を効果的に節約できます。

### ローンチ・コントロールを使用した発進

- ✓ PDK装備車

ローンチ・コントロールは停車状態から最大加速度で発進することができるシステムです。



警告

車両のコントロールの喪失、または他の通行者への危険

特定の状況（路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど）では、車両の制御が失われたり、他のドライバーに危険がおよぶ恐れがあります。

- ▶ 路面状況や周囲の交通状況から判断して、安全が確保できる場合に限ってローンチ・コントロールを使用してください。
- ▶ ローンチ・コントロールを使用して発進するときは、他の通行者に危険がおよばないようにしてください。



#### インフォメーション

通常の発進に比べて、最大加速での発進が構成部品に与える負荷は劇的に増大します。

- ✓ エンジンが作動温度に達している
  - ✓ スポーツ・プラス・モードをONにしている
1. 左足でブレーキ・ペダルを踏んでください。
  2. 素早くアクセル・ペダルをいっばいに踏み込んで、そのまま保持してください。  
エンジン回転数が約6,000rpm以上に維持されます。  
マルチファンクション・ディスプレイにローンチ・コントロールが有効であることを示すメッセージが表示されます。
  3. 数秒以内にブレーキを解除してください。

## トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・システム

システム / 名称	適用	ページ
<b>PSM</b> ポルシェ・スタビリティ・マネージメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>- ドライビング・スタビリティ・コントロール</li> <li>- アンチロック・ブレーキ・システム (ABS)</li> <li>- ブレーキ・システム・プレフィル</li> <li>- ブレーキ・ブースター (油圧ブレーキ・アシスト)</li> <li>- オートマチック・ブレーキ・ディファレンシャル (ABD)</li> <li>- アンチ・スリップ・コントロール (ASR)</li> <li>- エンジン・ドラッグ・トルク・コントロール (MSR)</li> <li>- ステアリング・トルク・パルス</li> <li>- HOLD機能: マニュアル・トランスミッション装備車の発進アシスタント、PDK装備車の停止制御</li> </ul>	259
<b>PASM</b> ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 無段階補正コントロール付きショック・アブソーバー・システム</li> </ul>	243
<b>PADM</b> ポルシェ・アクティブ・ドライブトレイン・マウント (PADM)	<ul style="list-style-type: none"> <li>- ダイナミック・エンジン・マウントは、体感できるほどの振動やドライブトレイン全体の振動、特にエンジンからの振動を自動的に最小限に抑制します。</li> <li>- スポーツ・モードをONにすると、ドライブトレイン/ボディ間の結合がより強固な状態になり、スポーティーなドライビング・スタイルになります。</li> <li>- スポーツ・プラス・モードをONにすると、ドライブトレイン/ボディ間の結合がレース・サーキットでの走行に最適となります。</li> </ul>	-
<b>PDCC</b> ポルシェ・ダイナミック・シャーシ・コントロール	<ul style="list-style-type: none"> <li>- アクティブ・シャーシ・コントロール・システムはロールを軽減して姿勢を安定させ、ドライビング・ダイナミクス、敏捷性、および快適性を向上させます。PDCCシステムを個別にコントロールすることはできません。ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント (PASM) でシャーシ設定を選択すると、PDCCシステムの適応するオンロード・ドライビング・プログラムが自動的に作動します。</li> </ul>	-
<b>PTV</b> ポルシェ・トルク・ベクトリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>- より俊敏なコーナリングのためのラテラル・ダイナミック・ブレーキ制御</li> <li>- ロック率非対称型リヤ・ディファレンシャル・ロック</li> </ul>	-
<b>PTVプラス</b> ポルシェ・トルク・ベクトリング・プラス	<ul style="list-style-type: none"> <li>- より俊敏なコーナリングのためのラテラル・ダイナミック・ブレーキ制御</li> <li>- 可変電子制御式リヤ・ディファレンシャル・ロック</li> </ul>	-
<b>PTM</b> ポルシェ・トラクション・マネージメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>- マップ・コントロール多板クラッチ付き電子制御4WDシステム</li> </ul>	-

# ナビゲーション

## 概要

この概要説明は「ナビゲーション」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全に関する指示」および「警告」を必ずお読みください。ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション：  
 ▷ 245ページのポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作の章を参照してください。



070\_21

E

図 176: 目的地入力



P070\_54

F G H I

図 177: マップ・ビュー

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	ページ
目的地を検索する	▶ <b>NAV</b> ボタン ▶ <b>検索</b> (Aを参照) ▶ 目的地を入力/選択してください。	207
目的地住所を入力する	▶ <b>NAV</b> ボタン ▶ <b>県、市/区</b> (Bを参照) ▶ 目的地住所を入力してください。	207
前回の目的地を選択する	▶ <b>NAV</b> ボタン ▶ <b>Recent destinations</b> ▶ リストから項目を選択してください。	207
施設情報を入力する	▶ <b>NAV</b> ボタン ▶ <b>施設</b> (Cを参照) ▶ 施設情報を選択 ▶ 施設情報を選択してください。	208
地図コードを入力する	▶ <b>NAV</b> ボタン ▶ <b>地図コード</b> (Dを参照) ▶ 地図コードを入力してください。	208
連絡先から目的地を選択する	▶ <b>NAV</b> ボタン ▶ <b>Fav</b> ★ (Eを参照) ▶ <b>Contacts</b> ページをブラウズ (スワイプ) する ▶ リストから項目を選択してください。	207
ルート案内を開始または停止する	▶ <b>MAP</b> ボタン ▶ <b>Start</b> ■ または <b>Stop</b> ■ (Iを参照) を選択してください。	208
経由地を入力する / ツアーを計画する	▶ <b>NAV</b> ボタン ▶ 目的地を入力する ▶ <b>New</b> ■ (Fを参照) ▶ 経由地を入力する ▶ <b>Add</b> ■ を選択してください。	208
保存したツアーを開始する	▶ <b>NAV</b> ボタン ▶ <b>Fav</b> ★ (Eを参照) ▶ <b>Stored destinations</b> ページをブラウズ (スワイプ) する ▶ <b>Tour</b> ▶ ツアーを選択する ▶ <b>Start</b> を選択してください。	208
交通情報を表示する	▶ <b>NAV</b> ボタン / <b>MAP</b> ボタン ▶ <b>VICS</b> ■ (Gを参照) を選択してください。	211
ルートを表示および編集する	▶ <b>NAV</b> ボタン / <b>MAP</b> ボタン ▶ <b>Route</b> ■ (Hを参照) を選択してください。	209
道路通行料自動徴収システム (ETC) を設定する	▶ <b>CAR</b> ボタン ▶ <b>Toll</b> ■	214

**警告**

事故を起こす恐れがあります

ポルシェ・ナビゲーション・システムは、目的地まで快適に到着できる走行ルート案内し、ドライバーを補助します。案内されたルートが実際の交通規則と反する場合は、必ず実際の交通規則に従って走行してください。ドライバーは常に安全運転に努める責任があります。


- ▶ 常に周囲の交通状況に注意して下さい。
- ▶ 視界、天候、路面、および交通状況に合わせたドライビング・スタイルと速度で走行してください。




図178: 目的地入力

## 目的地の検索


検索機能を使用して検索すると、PCMの内部データベースにアクセスします。

1. **NAV** ボタンを押してください。
2. **検索** を選択してください (A図178参照)。
3. 検索語を入力してください (県、市/区、施設情報など)。
4. 候補のリストから希望の項目を選択してください。
5. **Start**  を選択してください。

## 目的地住所の入力


1. **NAV** ボタンを押してください。
2. 県または市/区を選択してください (B図178参照)。
3. 住所を入力してください (県、市/区、施設情報、または地図コードなど)。
4. リストから希望の項目を選択してください。
5. **Start**  を選択してください。

## 保存した目的地または連絡先の使用 (前回の目的地)


1. **NAV** ボタンを押してください。
2. **Recent destinations** を選択してください (C図178参照)。
3. 希望のページをブラウズ (スワイプ) してください。
  - **前回の目的地**: 前回使用した目的地
  - **保存した目的地**: お気に入りとして保存した目的地  
209ページの保存した目的地の呼び出し (お気に入り) の章を参照してください。
  - **連絡先**: 接続している電話に保存されている連絡先住所
4. リストから項目を選択してください。
5. **Start**  を選択してください。



## 施設情報の入力

1. **NAV** ボタン ▶ **施設**
2. 希望する施設情報オプションを選択してください（**目的地周辺検索**など）。
3. 施設情報カテゴリーまたは施設情報を入力または選択してください。
4. **Start**  を選択してください。



## 地図コードを使用した目的地の入力


1. **NAV** ボタン ▶ **地図コード**
2. 希望する目的地の地図コードを入力してください。
3. ポップアップ・リスト内から希望の地図コード位置を選択してください。
  - Toll gate
  - Ferry
  - 高速道路
  - Others
4. **Start**  を選択してください。

## ツアーの計画（経由地の入力）

ツアーは1つの目的地、および1つ以上最大10までの経由地で構成されます。

### ツアーの入力および保存

1. **NAV** ボタンを押してください。
2. 目的地を入力し、ルート案内を開始してください。
3. **Route**  を選択してください。
4. **Tour** を選択してください。
5. **New**  を選択してください。
6. 経由地を入力してください。

7. **Add**  を選択してください。

8. ツアー名を入力し、**OK**をクリックして確定してください。  
ツアーが保存されます。

### 保存したツアーの呼び出し

✓ ツアーが保存されている

1. **NAV** ボタン ▶ **Fav** 
2. **Stored destinations** ページをブラウザ（スワイプ）してください。
3. **Tour** を選択してください。
4. 希望するツアーを選択してください。
5. **Start**  を選択してください。

## マルチファンクション・ディスプレイでの目的地の入力

マルチファンクション・ディスプレイの使用に関するインフォメーション：

- ▷ 262ページのマルチファンクション・ステアリング・ホイールを使用しないマルチファンクション・ディスプレイの操作の章を参照してください。
- ▷ 262ページのマルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作の章を参照してください。

1. **ナビゲーション ▶ 目的地入力**
2. 希望のリストを選択してください。
  - **前回の目的地**：前回使用した目的地
  - **保存した目的地**：恒久的に保存した目的地
3. リストから項目を選択して、ナビゲーションを開始してください。

## ルート案内の開始/停止


### 目的地入力メニューでのルート案内の開始

- ✓ 目的地データが入力されている
- ✓ ルート案内がまだ開始されていない

▶ **NAV** ボタン ▶ **Start**


### 目的地入力によるルート案内の開始

- ✓ 目的地データが入力されている
- ✓ ルート案内がまだ開始されていない
- ✓ 詳細画面で目的地が表示されている

▶ **Start**  を選択してください。

### 目的地入力メニューでのルート案内の停止

- ✓ ルート案内を開始している

▶ **NAV** ボタン ▶ **Stop route guidance**  
または  
**Stop**  を選択してください

### マルチファンクション・ディスプレイによるルート案内の開始および停止

- ✓ 目的地データが入力されている
- ✓ ルート案内がまだ開始されていない


1. **ナビゲーションメニュー**を選択してください。
2. 希望の項目を選択してください。

- **ルート案内の開始**：ルートを計算します。
- **ルート案内の停止**：ルート案内を停止します。

## 目的地の保存、および保存した目的地の呼び出し（お気に入り）

### 目的地の保存（お気に入り）


- ✓ 目的地データが入力されている
- ✓ ルート案内が開始されていない

1. **Save**  を選択してください。
2. **OK** をクリックして目的地名を確定してください。  
目的地が保存されます。  
または  
目的地名を変更し、**OK** をクリックして確定してください。  
目的地は、入力した名前で保存されます。  
または  
すでに割り当てられている名前（自宅など）をリストから選択し、**OK** をクリックして確定してください。  
既存の名前の目的地情報は、新しい情報で上書きされます。


### インフォメーション

目的地は、ボタン **NAV** ▶ Fav  ▶ Stored destinations ▶ Save as favourite を使用して保存することもできます。


### 保存した目的地の呼び出し（お気に入り）

1. **NAV** ボタン、または **MAP** ボタン ▶ Fav 
  - 2. 希望のページをブラウズ（スワイプ）してください。
    - **前回の目的地**：前回使用した目的地
    - **保存した目的地**：お気に入りとして保存した目的地またはツアー
    - **連絡先**：接続している電話に保存されている連絡先住所
3. リストから項目を選択してください。

### 目的地およびツアーの消去または編集



1. **NAV** ボタン、または **MAP** ボタン ▶ Fav 
  - 2. 希望のページをブラウズ（スワイプ）してください。
    - **前回の目的地**：前回使用した目的地
    - **保存した目的地**：お気に入りとして保存した目的地
    - **連絡先**：接続している電話に保存されている連絡先住所
3. リストから項目を選択してください。
4. **OPT** ボタンを押してください。
5. 希望の項目を選択してください。
  - **名前の変更**
  - **消去**
  - **お気に入りを地図上に表示**


### インフォメーション

保存したすべての目的地またはツアーを消去するには、リストから項目を選択する前に、**NAV** ボタンまたは **MAP** ボタン ▶ Fav  ▶ **OPT** ボタンを選択してください。

## ルートの表示および編集

- ✓ ルート案内が開始されていること。

1. **NAV** ボタン ▶ Route  または **MAP** ボタン ▶ Route 
2. オプションを選択して、設定を変更してください。

- **ルートオプション**：
  - **ルートの種類**：ルートの計算方法（推奨は有料道路を含めない、最短時間）を設定します。
  - **回避オプション**：ルート計算をするとき、フェリーおよび季節的な制限を除外するか、または含めるかを設定します。
  - **ダイナミックリルート**：動的なルート管理を使用して、渋滞や障害を回避します。
  - **手動ダイナミック・リルート**：確認後に、動的なルート管理が作動します。
- **リスト表示**：特徴的なルート地点（POI、分岐点）が図およびリスト内の両方に表示されます。
- **Tour**：開始されたツアー・ルート案内の目的地および距離が表示されます。
- **代替ルート**：このオプションは経由地のあるツアーでは選択できません。
  - ここでは、現在の案内中のルートに代わるルートを選択することができます。代替ルートを開始するには、**Start**  を選択してください。

## i インフォメーション

現在のルート案内は、PCMで代替ルートが計算されると速やかに取り消されます。

## マップ・ビューを開いて設定する

### マップ・ビューを開く



図179: マップ・ビュー地図表示および機能要素

- ▶ **MAP** ボタンを押してください。  
**Map** メニューおよび現在のマップ・ビュー、およびルート案内中の場合、現在のルートが表示されます。
- **A**: ルート案内情報、目的地までの時間および距離、または到着時間
- **B**: 縮尺表示とオートズームを切り替える
- **C**: 車両位置を地図の中央に置く
- **D**: 地図の向きを北向きまたは進行方向に切り替える
- **E**: 地図サイド・メニューを開く
  - ▶ 210ページの地図コンテンツの設定の章を参照してください。

## 地図コンテンツの設定



図180: 地図サイド・メニューを含む地図コンテンツ

1. **MAP** ボタン ▶ サイド・メニュー を選択してください。
2. 希望の地図コンテンツを選択してください。必要に応じてロータリー・プッシュ・ボタン、またはタッチスクリーンを使用してサイド・メニュー内をスワイプ・ダウン（スクロール）し、追加メニューを表示してください。

有効な地図コンテンツは赤色、無効なコンテンツは白色で表示されます。

- **A (3D)**: 3Dビュー（または2Dビュー）
- **B (Traffic)**: 地図上の交通情報の表示/非表示を切り替える
- **C (Traffic flow)**: インターネットから入手した事故、道路工事、交通量情報やその他の事象等に関する交通情報の表示/非表示を切り替えます。必要条件: データ接続が確立されていること。
  - ▶ 149ページのデータ接続を確立する（接続）の章を参照してください。
- **D (Google Earth®)**: Google Earth®を使用したオンライン・データを地図表示します。据え付けのアイコンを使用して、Google Street View®を開くことができます。必要条件: データ接続が確立されていること。

- ▶ 149 ページのデータ接続を確立する（接続）の章を参照してください。

- **E (Show POI)**: 地図上の施設情報の表示/非表示を切り替える
- **ルート情報**: 現在計算されているルートを地図に表示する
- **コンパス**: 地図上のコンパスの表示/非表示を切り替える
- **オートズーム**: 地図上のオートズーム機能の表示/非表示を切り替える

## i インフォメーション

地図サイド・メニューは各種機能へのアクセスを容易にします。これは次のように設定することも可能です。**MAP** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET MAP** ▶ **Map view** ▶ **Layers**

## Google Street View®の起動

- ✓ 停車していること（走行中は利用できません）

1. **MAP** ボタン ▶ サイド・メニュー を選択してください。
2. **Google Earth** 地図画面を起動してください。
3. 地図の縮尺を100m未満に設定してください。
4. シンボルを選択してください。  
Google Street View®が起動します。タッチスクリーンを使用して、周囲の状況を少しずつ探索することができます。

## マルチファンクション・ディスプレイによるマップ・ビューの表示および設定

マルチファンクション・ディスプレイの使用に関するインフォメーション:

- ▶ 262ページのマルチファンクション・ステアリング・ホイールを使用しないマルチファンクション・ディスプレイの操作の章を参照してください。
- ▶ 262ページのマルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作の章を参照してください。

1. **地図メニュー**を選択してください。

2. 希望する表示オプションを選択してください。

- **オートズーム**: 現在地点から次の注意点までの距離に応じて、地図の縮尺が自動的に切り替わります。
- **3D地図**: 3次元地図を表示します。
- **北向き**: 常に地図の上方が北になります。
- **ズーム手動**: 地図の縮尺を地図画面に合わせて調節します。
- **目的地を表示**: 地図上でナビゲーション目的地を選択し、拡大表示します。
- **現在地を表示**: 地図上で車両の現在地を選択し、拡大表示します。

## 交通情報の表示

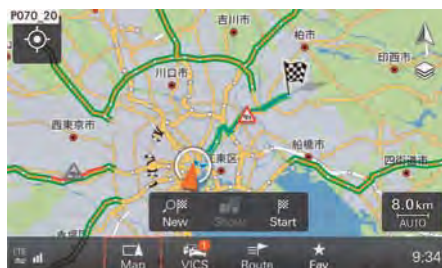


図181: 地図上に交通情報を表示

**NAV** メニューおよび **MAP** メニューで、現在地または選択したルートに関する交通情報を取得することができます。

以下の情報が表示されます。

- 斜線区間: 交通渋滞の長さを示します。
- 色付き警告シンボル: 選択したルート上に差し迫った交通渋滞
- グレー表示の警告シンボル: 選択したルート上ではない交通渋滞

## VICS交通情報の表示



図182: DSRC/VICS交通情報

1. **NAV** ボタンまたは **MAP** ボタンを押してください。


2. **VICS** を選択してください。  
**VICS** メニューに表示されている数字は、選択したルートに関連する現在の交通情報の数を示しています。

希望する交通情報のカテゴリーを選択してください。

- **DSRC/VICS 交通情報**: アイコンを選択したときは、交通情報が読み上げられます。ミニマップ (211ページのDSRC/VICS交通情報の章を参照してください。) はエリア内の交通情報の概要を提供します。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

- **FM図形情報**：ラジオ局によって提供される地図形式、またはスクロール可能なテキスト概要形式のFM交通情報を表示します。
- **FMテキスト情報**：個別のスクロール可能なテキスト形式で提供されるFM交通情報を表示します。
- **突発的な事態**：予期せず発生した交通渋滞を図形で表示/非表示します。
- **DSRC交通ボイス・メッセージ**：DSRC交通情報の自動アナウンスのON/OFFを切り替えます。


交通情報は、動的なルート管理により渋滞や障害を避けるのに役立ちます。**MAP** ボタン ▶ **Route**  ▶ **Dynamic reroute** を使用して迂回を有効にすることができます。**手動ダイナミック・リルート**により、動的なルート計画の作成を手動で開始することができます。

## インフォメーション

ラジオ局には交通情報に対する責任がありません。従って、この情報の完全性および正確性に対してポルシェ社では責任を負いかねます。

## 交通情報の表示

- ✓ 有効なデータ接続が利用可能なこと
  - ▷ 149 ページのデータ接続を確立する（継続）の章を参照してください。

1. **MAP** ボタン ▶ サイド・メニュー  を選択してください。
2. **Traffic flow** を選択してください。

以下の交通量情報が表示されます。

- 緑色のライン：円滑に流れる交通状態
- 橙色のライン：流れの遅い交通状態
- 赤色のライン：渋滞
- ▷ 210 ページの地図コンテンツの設定の章を参照してください。

## ナビゲーション設定の変更

1. **NAV** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET NAV**
2. 希望の項目を選択してください。

- **ロケーション情報**：位置情報に関するインフォメーションが表示されます。
- **SET NAV**
  - **ルート案内音量**：ナビゲーション案内の音量を調節、および案内のON/OFFを切り替えます。
  - **ナビゲーションデータベースアップデート**：地図データを再読み込みまたは更新します。
    - ▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。
  - **燃料警告**：残可走距離情報を表示/非表示します。
  - **ナビ通知非表示**：ナビゲーション情報を表示/非表示します。



## 地図設定の変更

1. **MAP** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶  
SET MAP

2. 希望の項目を選択してください。

- **お気に入り**に保存: 目的地、経由地、ツアー、または現在位置をお気に入りとして保存します。
- **位置情報**: 位置情報に関するインフォメーションが表示されます。
- **Map view**: マップ・ビュー (北向き、3D地図、3D建築物) と地図コンテンツ (レイヤー) を適合します。
  - **交通情報**: 交通情報を表示/非表示します。
  - **交通量**: 交通量を表示/非表示します。
  - **交通量の設定**: 交通量情報を自動的に、または通りのカテゴリーごとに表示/非表示します。
  - **施設情報の設定**: 希望のPOIカテゴリーを選択してください。
  - **施設情報**: POIを表示/非表示します。
  - **ルート情報**: 地図サイド・ビュー内のルートに関する情報を表示/非表示します。
  - **コンパス**: 地図サイド・ビュー内のコンパスを表示/非表示します。
- **ズーム**: 拡大縮小の適用。
  - **オートズーム**: 現在のルート案内におけるズーム・レベルを自動選択します。
  - **交差点拡大**: 現在のルート案内で交差点に接近したときのズーム・レベルを自動選択します。
  - **交差点詳細地図**: 交差点に到達した際に、より詳細な走行案内を表示します。
- **警告**: 警告カテゴリーを選択してください。
  - **燃料警告**: 燃料レベル低下の警告を表示します。
  - **DSRC/VICS交通情報**: 現在の交通警告を表示します。
  - **交通事故通知マップ**: 表示の ON/OFF を切り替えます。
  - **合流**: 表示の ON/OFF を切り替えます。
  - **踏み切り**: 踏み切りを表示/非表示します。
  - **レーン警告**: 表示の ON/OFF を切り替えます。
  - **スピード・カメラ**: 地図上の現在の速度制限を表示/非表示します。
- **初期設定**
  - **デイ/ナイトビュー**: 日中/夜間表示を切り替えます。
  - **フッターを表示**: マップ・ビューにタッチスクリーン・フッターを表示します。
  - **レイヤー表示**: マップ・ビューにレイヤー・サイド・バーのボタンを表示します。
  - **到着時刻表示**: 到着時刻と残りの走行時間を切り替えます。
  - **立ち寄り地までの走行データ**: 経由地までの時間および距離を表示します。

あ

か

さ

た

な

は

ま



や

ら

わ

A-Z

## 全般的なVICS設定の変更

1. **NAV** ボタン ▶ VICS  ▶ **OPT** ボタン  
または
2. **MAP** ボタン ▶ VICS  ▶ **OPT** ボタン
3. 希望の項目を選択してください。


- **ポップアップ時間**：交通情報をポップアップ表示する時間を選択してください。5秒、10秒、15秒
- **Popup message interruption**：ポップアップのON/OFF切り替え、および：
  - **DSRC運転支援情報**
  - **DSRC一般**
  - **DSRC交通ボイス・メッセージ**
- **VICSサービス・ステータス**
- **DSRC更新機能**：ON/OFF切り替え
- **SET NAV**：212ページのナビゲーション設定の変更の章を参照してください。
- **SET MAP**：213ページの地図設定の変更の章を参照してください。
- **SET Sound/SET Volume**

## 道路通行料自動徴収システム (ETC) の使用

ETCカード・リーダーにカードを挿入/取り出し




図183: グローブ・ボックス内のETCカード・リーダー

1. 有効なETCカードを、グローブ・ボックス内のカード・リーダー (A) にロックされるまで差し込んでください。
2. ETCカードを取り出すには、 ボタンを押してください。

### 支払履歴の表示

✓ ETCカードが挿入されていること



- ▶ **CAR** ボタン ▶ Toll  ▶ **通行料履歴**。通行料履歴は、このカードを使用して以前に支払われたすべての金額を表示します。

### インフォメーション

車両から離れるときは、カードをカード・リーダーから抜き取ることを推奨いたします。これには**カード取り忘れリマインダー**機能が役に立ちます。(214ページの一般的なETC設定の章を参照してください。)

### 一般的なETC設定

✓ ETCカードが挿入されていること

1. **CAR** ボタン ▶  ▶ **設定**  ▶ **設定ETC**
2. 希望の項目を選択してください。

- **通行料通知**：現在支払が必要となっている通行料金を表示します。
- **通行料アナウンス**：通行料の音声アナウンスのON/OFFを切り替えます。
- **ETC 警告**：現在のルート上にある、支払いが必要な通行料に関する警告を表示/非表示します。
- **カード取り忘れリマインダー**：車両を離れるときに、ETCカードをカード・リーダーから抜き取ることを促すメッセージのON/OFFを切り替えます。

## パーキング・アシスタント

ドライバーが駐車操作をしているとき、パーキング・アシスタントが車両と障害物の間の距離を表示（車両装備により異なる）と音で知らせます。

パーキング・アシスタントのパーキング・エイドがPCMに表示されます。車両前後の障害物が色別にフィールド表示されます。このフィールドにより障害物の形や車両との距離が分かれます。

### 警告

運転中または駐車中の不注意

パーキング・アシスタントにより操作の快適性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。パーキング・アシスタントを使用している場合も、ドライバーには駐車時や障害物に注意を払う責任があります。このシステムは、あくまでも補助的な機能のため運転時には細心の注意を払ってください。

- ▶ 移動範囲内に人、動物、障害物がないか必ず十分に確認してください。

## 距離を測定する



図184: 距離測定用超音波センサー

フロントおよびリヤ・バンパーの超音波センサーAが障害物との距離を測定します（車両装備により異なる）。障害物を検出すると警告音が断続的に鳴ります。障害物との距離が近づくにつれて警告音の断続間隔が短くなります。障害物との距離が約30cm以下になると、警告音が連続して鳴ります。

天井から吊り下がっている物体や地面の近くにある障害物など、センサーの検出範囲よりも上または下にある物体は、センサーの死角になります。このためパーキング・アシスタントが障害物として検出できません。

警告音の音量をマルチファンクション・ディスプレイで変更できます。

- ▶ 「警告音量およびパーキング・アシスタントの調節」(277ページ)を参照してください。

## パーキング・アシスタントの作動

### 自動作動（約15km/hの速度まで）

- ✓ イグニッションがONのとき
- ✓ リバース（後退）ギヤを選択する
- ✓ 前方との距離が約80cm以下である
- ✓ パーキング・アシスタントが、車両が後退していることを検出したとき

### 手動での作動

▶ CAR ボタン ▶ Assist ▶ Display  
ParkAssist

### PCMの表示

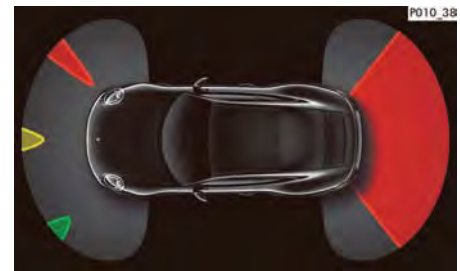


図185: 色で距離を知らせる

カラー	フロント側の距離	リヤ側の距離
緑	< 120 cm	< 180 cm
黄色	< 80 cm	< 80 cm
赤色	< 40 cm	< 45 cm
赤色と連続音	< 30 cm	< 30 cm

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

**i** インフォメーション

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:  
▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作」 (245ページ) を参照してください。

**タルガ・モデルのリヤ・パーキング・アシスタントの警告作動**

**知識**

タルガ・ルーフを開閉するときリヤ・ウィンドウがボディ面から突出します。タルガ・ルーフまたはリヤ・ウィンドウを損傷する恐れがあります。

- ▶ タルガ・ルーフの開閉または操作を行う前に、車両の上方および後方に十分な空間があることを確認してください。ガレージなどでは特に注意が必要です。

タルガ・ルーフを開くとリヤ・パーキング・アシスタントが作動します。センサーが40cm以下の距離に障害物を検出すると、警告メッセージがマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

- ▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」 (86ページ) を参照してください。

**パーキング・アシスタントの停止**

**自動停止**

- ✓ リバースから前進にギヤを切り替える (障害物が検出されない場合は約2分後)
- ✓ セレクター・レバーがPの位置にある

**手動での停止**



図186: オーバーヘッド・コンソールのボタン

- ▶ オーバーヘッド・コンソールのボタンAを押してください。ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。PCMには何も表示されません。PCMの表示を手動で起動させることはできません。

**超音波センサーの限界**

構造上、パーキング・アシスタントは以下のものを検出できません。

- 音波を吸収する物体 (粉雪などの雪、布地や毛皮の衣類など)
- 音波を反射する物体 (ガラスの表面や平らな塗装面など)
- 非常に細い物体 (細い支柱など)
- その他、排気ブレーキ、清掃機やエア・ジャッキなどを近くで使用したときも、超音波が乱れて正常な作動が妨げられることがあります。

**メンテナンス上の諸注意**

- ▶ センサーの正常な機能を維持するため、センサーに付着した汚れ、氷、雪などは取り除いてください。
- ▶ センサーを擦ると故障の原因になります。
- ▶ 高圧洗浄機を使用して清掃するときは、センサーとの距離を十分に確保してください。圧力が高すぎるとセンサーが損傷します。
- ▶ ナンバー・プレート・ホルダーの改造、またはナンバー・プレートの移設、曲がり、取り付け不良などはシステムに悪影響を及ぼす恐れがあります。

## リバース・カメラ


リバース・カメラは、駐車操作時に車両後方の確認を補助するシステムです。リバース・カメラの映像がPCMに表示されます。

### リバース・カメラの作動

#### 自動

- ✓ リバース・ギヤに入れてイグニッションをONにする
- ✓ パーキング・アシスタントが、車両が後退していることを検出したとき

#### 手動

▶  ボタン ▶ Assist ▶ Display  
ParkAssist

### リバース・カメラの停止

#### 自動

- ✓ リバースから前進にギヤを切り替える（障害物が検出されない場合は約2分後）
- ✓ セレクター・レバーがPの位置にある

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z





# パーソナル設定

## 概要

この概要説明は「パーソナル設定」に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく安全に関する指示および警告を必ずお読みください。



どこでパーソナル設定の保存 / 呼び出しができますか？	メモリー・パッケージでは、どのようなパーソナル設定の保存 / 呼び出しができますか？	ページ
運転席ドアのメモリー・ボタン 1 または 2 を使用する	<b>人間工学に基づいた設定（装備仕様による）</b> - 運転席シート、ドア・ミラー、ステアリング・ホイール	219
運転席ドアのキー・ボタン  を使用する	<b>人間工学に基づいた設定（装備仕様による）</b> - 運転席シート、ドア・ミラー、ステアリング・ホイール  <b>コンフォート設定</b> - エアコン・システム  設定は運転席ドアのキー・ボタン  およびキーに保存されます。	219

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## パーソナル設定の保存と呼び出し

### メモリー・パッケージ

#### ▲ 注意

シート、ミラー、およびステアリング・ホイールの自動設定の呼び出し

設定が予期せぬタイミングで起動した場合、身体の一部が挟まれたり、圧迫される恐れがあります。

- ▶ メモリー・ボタンまたはシート調節ボタンのいずれかを押しすと、必要に応じて設定の自動呼び出し機能をキャンセルできます。
- ▶ お子様のみを車内に残さないでください。



図187: 運転席ドア・メモリー・ボタン (メモリー・パッケージ)

車両の装備仕様により、メモリー・パッケージでは様々な設定をキーおよび運転席ドアのメモリー・ボタンに保存することができます。

#### 人間工学に基づいた設定:

- 運転席シート
- ステアリング・ホイール
- ドア・ミラー

#### コンフォート設定:

- エアコン・システム

### キーへの設定の保存


人間工学に基づいた設定とコンフォート設定をキーに個別に割り当てることができます。

#### **i** インフォメーション

各メモリーの情報は最大で4本のキーに保存することができます。更にキーを追加する場合は、最後に車両に登録されたキーのメモリー情報が適用されます。

#### 運転席ドアの運転席キー・ボタン を押す

✓ イグニッションがONのとき



1. SETボタンを押してください。  
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
2. 10秒以内にキー・ボタン  を押してください。  
人間工学に基づいた設定およびコンフォート設定 (キー特定) が保存されます。  
保存されると確認音が鳴り、SETボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

#### キーから設定を呼び出す

##### 車両ロック解除による自動呼び出し

- ▶ 車両をロック解除し、運転席ドアを開いてください。  
使用中のキーから現在の設定が呼び出されます。

#### 運転席ドアの運転席キー・ボタン を押す

- ▶ すべての設定が呼び出されるまでキー・ボタン  を押し続けてください。  
または
- ✓ イグニッションをOFFにする
- ✓ 運転席ドアが開いている
- ▶ キー・ボタン  を短く押してください。  
使用中のキーから現在の設定が呼び出されます。

#### メモリー・ボタン1および2への設定の保存

人間工学に基づいた設定を運転席ドアのメモリー・ボタン1と2に割り当てることができます。

✓ イグニッションがONのとき

1. SETボタンを押してください。  
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
2. メモリー・ボタン1または2を10秒以内に押してください。  
人間工学に基づいた設定が保存されます。  
保存されると確認音が鳴り、SETボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

#### メモリー・ボタン1または2による設定の呼び出し

- ▶ すべての設定が呼び出されるまでメモリー・ボタン1または2を押し続けてください。  
または
- ✓ イグニッションをOFFにする
- ✓ 運転席ドアが開いている
- ▶ メモリー・ボタン1または2を短く押してください。  
設定が自動的に呼び出されます。

## バッテリー

### ⚠ 警告

感電、ショートまたは火災

車両の通電部品に触れると、感電する恐れがあります。車両電気系統への作業が原因で、ショートする恐れがあります。ショートは火災の原因となります。

- ▶ 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー・マイナスケーブルの端子を外してください。
- ▶ 工具や電気を通す装身具（指輪、ネックレス、時計バンドなど）が、車両の電気部品と接触しないように注意してください。

### ⚠ 警告

火災または爆発

燃料、エンジン・オイル、トランスミッション・オイルなど、車両に使用される油脂類の多くは非常に引火しやすい性質を持っています。燃料蒸発ガスは発火、爆発する危険があります。鉛バッテリー充電時には爆発性の高い混合ガスが発生することがあります。

- ▶ 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー・マイナスケーブルの端子を外してください。
- ▶ 静電気の帯電を防ぐため、乾いた布でバッテリーを拭かないでください。
- ▶ バッテリーを取り扱う前に、車両などに触れて静電気を逃がしてください。
- ▶ バッテリーの近くで喫煙したり、裸火を近づけたりしないでください。ケーブル接触等による火花にも注意してください。
- ▶ メンテナンス作業は屋外か、または屋内の換気が良い場所のみ実施してください。

### 知識

回路のショート、火災またはオルタネーターおよび電気系統を損傷する恐れがあります。

- ▶ バッテリーの脱着は、必ずボルシェ正規販売店で実施してください。
- ▶ ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー・マイナスケーブルの端子を外してください。

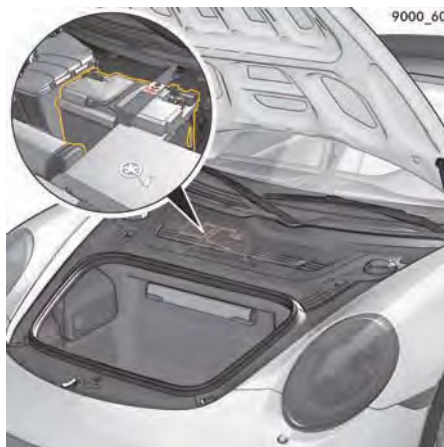


図188: バッテリー

バッテリーはトランク・ルームのカバーの下にあります（図188）。

カバーの取り外しに関するインフォメーション:

- ▶ 「タイヤ充填コンプレッサーの取り外しおよび収納」（295ページ）を参照してください。
- ▶ ジャンパーケーブルによるエンジン始動時は、黒色のマイナスケーブルを絶対にバッテリーへ直接接続しないでください。ジャンパーケーブルによるエンジン始動

時は、黒色のマイナス側ケーブルをトランク・ルーム内のアース箇所B（221ページの図189）に必ず接続してください。

- ▶ バッテリー取り扱い上の注意  
ジャンパーケーブルによるエンジンの始動に関するインフォメーション:  
▶ 「ジャンパーケーブルによる始動」（129ページ）を参照してください。

## 警告シンボルへの対応

バッテリーの充電状態が低いときは、マルチファンクション・ディスプレイに または のシンボルが表示されます。

のシンボルは、オルタネーターの故障を示します。

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（86ページ）を参照してください。

## バッテリー取り扱い上の注意

作業の前に取扱説明書をお読みください。

保護眼鏡を必ず着用してください。

お子様を絶対に近づけたりしないでください。

爆発の危険があります。  
バッテリー充電中は爆発性の高い電解質のガスが発生します。

火気、火花、裸火を近づけたり、そばで喫煙したりすることは絶対に避けてください。

電気配線や電装品を取り扱うときは、火花を発生させたり、ショートさせたりしないでください。

ガス抜きホースが付いたバッテリーは、ホース出口から高濃度の電解質ガスが放出されます。ガス抜きホースによじれや詰まりがないようにしてください。



**酸による火傷の危険があります。**

バッテリー液には極めて強い腐食性があります。保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。  
ガス抜き穴からバッテリー液が漏れる恐れがあるため、バッテリーを傾けないでください。

**応急処置**

バッテリー液が目にかかった場合、直ちに水で数分間洗い流し、至急医師の診察を受けてください。

皮膚、衣服にかかった場合、直ちに石鹸水で中和し、多量の水で洗い流してください。

万一バッテリー液を飲み込んでしまった場合は、直ちに医師の診察を受けてください。



**廃棄**

古いバッテリーは、適切な廃棄場にて廃棄してください。



古いバッテリーを家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。

**バッテリーのお手入れ**

**i インフォメーション**

バッテリーの凍結を防ぐため、常に完全な充電状態を維持してください。バッテリーが充電不足だと-5℃程度の温度でも凍結することがあります。完全に充電されている場合は-40℃まで凍結しません。

- ▶ ジャンパー・ケーブルを接続する前に凍結したバッテリーを解凍してください。

**運転者が何をしたいか？**

**その操作方法は？**

バッテリー上がりを防ぐには

- ▶ 短距離の運転時は、不要な電気装備類をOFFにしてください。
- ▶ 車両から離れるときはイグニッションをOFFにし、キーを抜いてください。
- ▶ エンジン停止時には、PCMを使用しないでください。

バッテリーのお手入れ

- ▶ バッテリー表面は清潔で乾いた状態に保ってください。
- ▶ バッテリー端子は必ず確実に接続してください。

冬季の走行に備えて

- ▶ 冬になる前に、ボルシェ正規販売店でバッテリーの点検を受けてください。

**車両を保管するとき**

- ▶ 車両を使用せず、車庫や修理工場に長期間保管する場合は、ドアやリッド類を確実に閉じてください。
- ▶ キーを抜き、必要に応じてバッテリーの端子を外してください。またはボルシェ・エントリー&ドライブ装備車ではイグニッションをOFFにしてください。

**i インフォメーション**

バッテリーを切り離している場合、警報装置は作動しません。バッテリーを切り離す前に車両がロックされていた場合、バッテリーを再接続したときに警報システムが作動します。

- ▶ 「警報システム」(108 ページ) を参照してください。

**i インフォメーション**

車両を使用していない間でも、バッテリーは常に放電しています。

- ▶ バッテリーの機能を正常に保つには、約6週間ごとの充電またはトリクル充電器に接続してください。  
ボルシェ社では、ボルシェ・テイクアップメントの充電器およびトリクル充電器を使用することを推奨いたします。
- ▶ 取り外したバッテリーは、湿気がなく風通しの良い冷暗所に保管し、凍結に注意してください。

**バッテリーの充電**

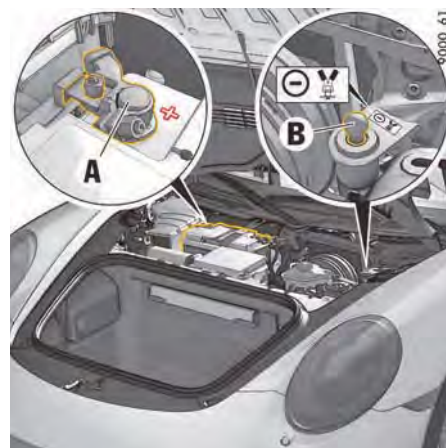


図189: バッテリー端子

- A プラス端子+
- B アース箇所- 外部電源/ジャンパー・ケーブル接続用

- ▶ 充電器メーカーの取扱説明を遵守してください。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

- ▶ バッテリーが凍結している場合は、充電する前に解凍してください。
- ▶ 十分に換気ができる場所でバッテリーを充電してください。
  1. トランク・リッドを開いてください。
  - ▷ 「トランク・リッドの緊急解除」(199ページ)を参照してください。
  2. 充電器の赤色のプラス・ケーブルをバッテリーのプラス端子Aに接続してください。
  3. 充電器の黒色のマイナス・ケーブルをアース箇所Bに接続してください。
  4. 充電器のスイッチをONにしてください。
  5. バッテリーの充電が完了したら、充電器の電源をOFFにしてから、ケーブルを外してください。
  - ▷ 「バッテリー交換後の車両の作動復帰」(222ページ)を参照してください。
- ▶ 適切な充電器に関する情報は、ポルシェ正規販売店にご相談ください。

## バッテリーの交換

バッテリー本体に表示された規格/仕様のみでは、そのバッテリーがポルシェ社の要求する基準を満たしているかどうかを判断することができません。

- ▶ バッテリーの交換時は、車両が必要とする要件を満たしたAGM (Absorbent Glass Mat : 浸透ガラス・マット) バッテリーを必ず使用してください。ポルシェ純正バッテリーの使用を推奨いたします。
- ▶ バッテリーの廃棄に関する指示を遵守してください。
- ▶ バッテリーの脱着は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。

- ▶ 新しいバッテリーを取り付けた後は、コントロール・ユニットの初期化が必要です。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## バッテリー交換後の車両の作動復帰

バッテリーを接続した後、または放電してしまったバッテリーを充電した場合、以下の作業を実施してください：

1. パワー・ウィンドウの停止位置を保存してください。
  - ▷ 「ウィンドウ停止位置の保存」(49 ページ)を参照してください。
2. タイヤ空気圧モニタリング・システム (TPM) にタイヤを登録してください。
  - ▷ 「タイヤ空気圧メニュー - タイヤ空気圧モニタリング (TPM)」(267ページ)を参照してください。
3. スライディング/チルティング・ルーフ装備車は、その停止位置を保存してください。
  - ▷ 「スライディング/チルティング・ルーフおよびサン・ブラインドの停止位置の保存」(146ページ)を参照してください。



## パンクしたとき

### 警告シンボルへの対応

**警告シンボル**が警告シンボルとともにマルチファンクション・ディスプレイに表示された場合、タイヤ空気圧モニタリング・システムが著しい空気圧低下を検出しています。空気圧の低下はタイヤの損傷を示している可能性があります。

- ▶ 安全な場所に停車し、タイヤの損傷を点検してください。
- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(86ページ)を参照してください。

### 損傷したタイヤの補修

#### 警告

一時的なタイヤの補修

タイヤ・シーラントで補修した損傷タイヤのまま不適切な速度、または連続的な負荷状態で走行すると、バースト(破裂)または空気圧が低下する恐れがあります。

- ▶ タイヤ・シーラントを使用したタイヤの補修は、緊急の場合の応急処置であり、最寄りの修理工場までの短距離移動のみに使用してください。
- ▶ タイヤ・シーラントは4mm以下の切傷や刺傷のみに使用してください。
- ▶ ホイール・リムが損傷している場合は、タイヤ・シーラントを使用しないでください。
- ▶ 速やかにポルシェ正規販売店でタイヤを交換してください。タイヤ・シーラントを使用したことを専門整備工場に伝えてください。
- ▶ タイヤを修理しないでください。
- ▶ 急加速や高速でのコーナリングは避けてください。
- ▶ 許容最高速度80km/hを超えて走行しないでください。

タイヤ・シーラントおよびコンプレッサーに添付されている安全および取り扱い上の注意事項を遵守してください。

タイヤがパンクした場合、車両に装備されているタイヤ・シーラントで損傷したタイヤを応急処置することができます。損傷したタイヤを適切に補修するには以下が必要です。

- **パンク修理キット**はラゲッジ・コンパートメント内の右側ボックスに収納されており、以下で構成されています。
  - 充填ボトル
  - 充填ホース
  - バルブ回し
  - 交換バルブ・インサート
  - 許容最高速度表示用ステッカー
  - 操作説明
- ▶ 「タイヤ・シーラント/車載工具の取り外しおよび収納」(294ページ)を参照してください。
- **コンプレッサー**はラゲッジ・コンパートメント内のカバ-の下にあります。
  - ▶ 「タイヤ充填コンプレッサーの取り外しおよび収納」(295ページ)を参照してください。

### 車両を安全な場所に停車する

1. 走行車線からできるだけ離れた安全な場所に停車してください。ジャッキがセットできる固く平坦な滑りにくい場所に駐車してください。
2. ハザード・ライトを点滅させてください。
3. パーキング・ブレーキをかけてください。
4. ギヤ・レバーを1速に入れてください。  
または  
PDKセレクター・レバーをPの位置にシフトしてください。
5. フロント・ホイールを直進位置にしてください。
6. ステアリングのロックおよびエンジン始動の防止：キーを抜き取ってください。ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車：リモート・コントロール・ユニット

7. すべての乗員を安全な場所に避難させてください。  
このとき、周囲の交通状況に注意してください。
8. 停止表示板を適切な場所に設置してください。

### タイヤ・シーラントの充填

#### 警告

人体に有害な可燃性  
シーラント

シーラントは強燃性であり、人体に有害です。

- ▶ タイヤ・シーラントの近くで喫煙したり、裸火を使用しないでください。
- ▶ 皮膚、目、衣服に付着しないように注意してください。
- ▶ お子様の手が届かない場所に保管してください。
- ▶ シーラントの蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。

#### 注意

タイヤ・シーラントが  
付着したとき：

タイヤ・シーラントが付着すると炎症やアレルギーを引き起こすことがあります。

- ▶ 皮膚、目、衣服に付着しないように注意してください。
- ▶ タイヤ・シーラントが皮膚に付着したり目に入ったときは、直ちに多量の水で洗い流してください。
- ▶ 衣服に付着したときは、すぐに着替えてください。
- ▶ パンク修理剤でアレルギー反応を起こしたときは、直ちに医師の診察を受けてください。
- ▶ タイヤ・シーラントを誤って飲み込んだときは、すぐに口を多量の水でゆすぎ、多量の水を飲んでください。無理に嘔吐しないでください。直ちに医師の診察を受けてください。

**▲ 警告**

タイヤ空気圧の低下

タイヤ・シーラントが付着したタイヤ空気圧センサーでは、タイヤ空気圧を正しく検出できません。

- ▶ 損傷したタイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーも必ず一緒に交換してください。

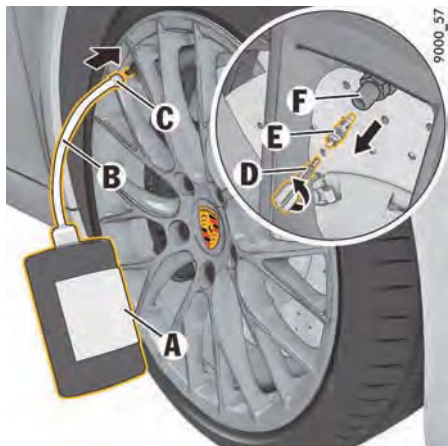


図190: タイヤ・シーラントの充填

- A 充填ボトル
- B 充填ホース
- C 充填ホース・プラグ
- D バルブ回し
- E バルブ・インサート
- F タイヤ・バルブ

**充填作業の準備**

1. タイヤの空気が抜けた原因である異物は取り除かず、そのままタイヤに残しておいてください。

2. ラゲッジ・コンパートメントからタイヤ・シーラントおよび同封のステッカーを取り出してください。タイヤ・シーラントはラゲッジ・コンパートメント内の右側ボックスに収納されています。コンプレッサーはトランク・ルーム内のカバーの下にあります。
  - ▶ 「タイヤ充填コンプレッサーの取り外しおよび収納」(295ページ)を参照してください。
  - ▶ 「タイヤ・シーラント/車載工具の取り外しおよび収納」(294ページ)を参照してください。
3. 最高速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。

**タイヤ・シーラントの充填**

- ▶ タイヤ・シーラントに添付されている取り扱い上の注意事項を遵守してください。

1. 充填ボトルAを振ってください。
2. 充填ホースBを充填ボトルに取り付けてください。充填ボトルを開封してください。
3. タイヤ・バルブFからバルブ・キャップを取り外してください。
4. バルブ回しDを使用して、バルブ・インサートEをタイヤ・バルブから取り外してください。バルブ・インサートは、乾いた汚れない場所に置いてください。
5. 充填ホースBのプラグCを取り外してください。
6. 充填ホースをタイヤ・バルブに押し付けてください。
7. 充填ボトルをタイヤ・バルブより上方に持ち上げ、ボトルを強く握って中身をすべてタイヤに充填してください。
8. 充填ホースをタイヤ・バルブから引き抜いてください。
9. バルブ回しDを使用して、バルブ・インサートEをタイヤ・バルブにしっかりねじ込んでください。

**タイヤ空気の充填**

- ▶ コンプレッサーの取扱説明書に従ってください。

- ▶ 「タイヤ空気の充填」(158ページ)を参照してください。

1. コンプレッサーを車両のプラグ・ソケットに接続し、圧力が2.5bar以上になるまでタイヤに空気を入れてください。タイヤ空気圧がこの規定値に達しない場合は、タイヤが激しく損傷しています。このようなタイヤで運転を続けしないでください。
2. バルブ・キャップをタイヤ・バルブFに取り付けてください。

**タイヤ空気圧の点検**

- ▶ 約10分間走行してからタイヤ空気圧を点検してください。

タイヤ空気圧が1.5bar以下の場合、運転を中止してください。タイヤ空気圧が1.5bar以上の場合、指定のタイヤ空気圧に調整してください。

- ▶ 「タイヤ空気圧」(338ページ)を参照してください。

**タイヤ交換**

- ▶ 「タイヤとホイールの交換」(160ページ)を参照してください。

**ホイールを交換した後は、マルチファンクション・ディスプレイのタイヤ設定を必ず更新してください。**

- ▶ 「タイヤ空気圧メニュー - タイヤ空気圧モニタリング (TPM)」(267ページ)を参照してください。

## ヒューズ

### ⚠ 警告

ショート

車両電気系統への作業が原因で、ショートする恐れがあります。回路のショートが原因で火災が発生する恐れがあります。

- ▶ 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー・マイナスケーブルの端子を外してください。

### ⚠ 警告

不適切な処置および不適切なアクセサリ

ヒューズ・ボックスへの不適切な処置、または不適切なアクセサリの使用は、電気/電子回路に損傷や不具合を発生させる恐れがあります。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ポルシェ社が承認した電装品（アクセサリ）のみを使用してください。認定アクセサリに関するインフォメーション：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

## リレー

リレーの点検と交換はポルシェ正規販売店で行ってください。

- ▶ ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ヒューズの点検および交換



図191: 左側足元のヒューズ・ボックスにあるエレメント

- 1 スペア・ヒューズ
- 2 プラスチック製ヒューズ・リムーバー
- 3 故障診断用ソケット

- ▶ 「故障診断用ソケット」(111ページ) を参照してください。

ショートや過負荷による電気系統の損傷を防ぐために、各々の回路がヒューズで保護されています。ヒューズ・ボックスは運転席と助手席の足元側面にあります。ヒューズ・リムーバーおよびスペア・ヒューズは上部カバーの下、両方のヒューズ・ボックス内にあります。

1. 可能であれば交換するヒューズと関係のある電装品をOFFにしてください。
2. 穴に指を入れて、プラスチック・カバーを外してください。

3. ヒューズを点検するため、黄色のヒューズ・リムーバー **B** を使用して、スロットからヒューズ（ヒューズのリストを参照（226～227ページ））を引き抜いてください。切れたヒューズは、内部の金属線が溶けていることで判別できます。
4. 新しいヒューズを差し込んでください。交換するヒューズは、必ず同じ容量のものを使用してください。スペア・ヒューズ **1** は左側のヒューズ・ボックスの黄色のヒューズ・リムーバー **2** の隣にあります。

### i インフォメーション

同じヒューズが何度も切れる場合は、不具合原因を早急に修理してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ  
か  
さ  
た  
な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## 運転席側のヒューズ



図192: 運転席側足元のヒューズ・キャリア

### A列

- 1 左下: エアコン・ブLOWER (右ハンドル車のみ) 40 A ■
- 2 左上: PSM コントロール・ユニット 40 A ■
- 3 右下: シート調節 25 A ■
- 4 右上: 未使用

### B列

- 1 ヘッドライトの右側/左側通行の変更 40 A ■  
フロント・リッド・ライト  
フロント・リッド・アクチュエーター  
ハイ・ビーム・ヘッドライト、左  
ロー・ビーム・ヘッドライト、左  
サイド・マーカー・ライト、右  
フロント  
方向指示器、左リヤおよび左フロント
- 2 エキゾースト・フラップ・コントロール 15 A ■  
ハイマウント・ブレーキ・ライト、  
スポイラー  
リヤ・リッド・アクチュエーター  
リヤ・フォグ・ライト、右  
ブレーキ・ライト、左  
リバース・ライト、左  
テール・ライト、左  
左側デイトタイム・ドライビング・  
ライト
- 3 アラーム・ホーン 15 A ■
- 4 インテリア・ライト 15 A ■  
ホール・センサー  
オリエンテーション・ライト  
リヤ・ワイパー電気作動  
リヤ・ウィンドウ・ヒーター・リレー  
セントラル・ロッキング LED  
ドア・パネル LED  
アンビエント・ライト  
ライセンス・ライト  
リヤ・フォグ・ライト、左  
ハイマウント・ブレーキ・ライト  
ブレーキ・ライト、右  
リバース・ライト、右  
テール・ライト、右  
デイトタイム・ドライビング・ライト、  
右\*
- 5 燃料ポンプ・リレーおよびコント 20 A ■  
ロール・ユニット

- 6 フィラー・フラップ・ロック 10 A ■  
ステアリング・コラム・ロック端子 30  
ウォッシャー・ポンプ、フロントお  
よびリヤ
- 7 未使用
- 8 エアコン・コントロール・ユニット 7.5 A ■
- 9 PDCC コントロール・ユニット 10 A ■
- 10 ステアリング・コラム 15 A ■  
ストップウォッチ

### C列

- 1 センター・コンソール・ボタン・ 10 A ■  
パネル  
タルガ・ラゲッジ・コンパー  
トメント・ライト  
ゲートウェイ・コントロール・  
ユニット  
故障診断用ソケット  
イグニッション・ロック  
ステアリング・コラム・ロック  
ライト・スイッチ  
リヤ・シート後方の照明  
WiFi コントロール・ユニット  
(後付けとして)
- 2 フットウェル・ライト 40 A ■  
イグニッション・ロックの取り外し  
防止ロック  
方向指示器、右フロントおよび右リヤ  
ハザード・ライト・ボタン LED  
イグニッション・ロック・ライト  
方向指示灯 (サイド)、右フロント  
および左フロント  
ハイ・ビーム・ヘッドライト、右  
ロー・ビーム・ヘッドライト、右  
車幅灯、左フロント
- 3 VTS コントロール・ユニット 5 A ■
- 4 ホーン 15 A ■

\* 日本仕様に設定はありません。

- 5 カブリオレ/タルガ：コンバーチブル・トップ・ロック・クロー징ング・エイド  
フィルター・フラップ（燃料給油口カバー）  
カブリオレ/タルガ：コンバーチブル・トップ・コンパートメント・キャッチの開閉  
リヤ・スポイラーの展開/格納制御
- 6 パワー・ウィンドウ・コントロール・ユニット、左フロント  
ドア・コントロール・ユニット、左
- 7 ヘッドライト・クリーニング・システム 30 A ■
- 8 PSM コントロール・ユニット 25 A ■
- 9 アラーム・サイレン 5 A ■
- 10 室内モニタリング・センサー 5 A ■

## D列

- 1 リヤ・ワイパー 15 A ■
- 2 ガレージ・ドア・オープナー\* 5 A ■
- 3 左ヘッドライト 15 A ■
- 4 フロント・カメラ・コントロール・ユニット  
PDC コントロール・ユニット  
ゲートウェイ/故障診断用ソケット  
エア・クオリティ・センサー  
ヘッドライト・コントロール・ユニット
- 5 PSM コントロール・ユニット 5 A ■
- 6 ステアリング・コラム・スイッチ・モジュール  
電動ステアリング・ギヤ  
冷媒圧力センサー  
リレー・ファン
- 7 セレクター・レバー・コントロール・ユニット  
クラッチ・スイッチ・センサー

\* 日本仕様に設定はありません。

- 8 右ヘッドライト 15 A ■
- 9 ルーム・ミラー 5 A ■
- 10 シート・ベンチレーション、左 5 A ■

## 助手席側のヒューズ

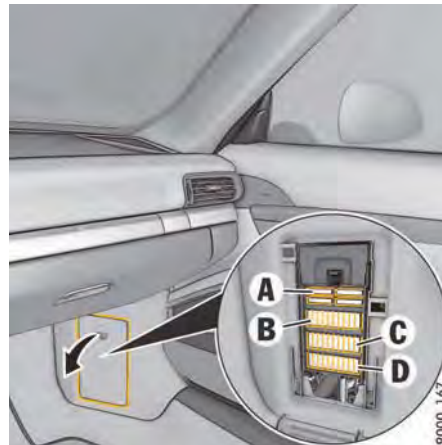


図193: 助手席側足元のヒューズ・キャリア

## A列

- 1 左下：DC/DC コンバーター PCM 40 A ■
- 2 左上：フロント・アクスル・リフト・コントロール・ユニット 40 A ■
- 3 右下：外気ブLOWER・モーターおよびファン・コントロール（左ハンドルのみ） 40 A ■
- 4 右上：右シート・コントロール・ユニット  
シート調節 25 A ■

## B列

- 1 レイン・センサー 5 A ■
- 2 エアコン/シート・ヒーター・コントロール・ユニット 25 A ■
- 3 PCM コンポーネント：（リバース・カメラ、コントロール・ユニット・ディスプレイ、TV チューナー、USB ハブ、カップリング・アンテナ、カード・リーダー） 5 A ■
- 4 外部ブースター付きセントラル・コンピューター 7.5 A ■  
内部ブースター付きセントラル・コンピューター 20 A ■
- 5 TPM コントロール・ユニット 5 A ■  
エアコン・コントロール・ユニット
- 6 サウンド・システム・アンプ 40 A ■
- 7 Burmester® サブウーファー・ブース 40 A ■
- 8 4WD コントロール・ユニット 25 A ■
- 9 インストルメント・クラスター  
WiFi コントロール・ユニット  
エアコン・コンプレッサー・クラッチ・コントロール・ユニット 10 A ■

- 10 ドア・ハンドル・タッチ・センサー 5 A ■

## C列

- 1 TSX808 故障診断用ソケット ERA-GLONASS 5 A ■
- 2 エレクトリック・パーキング・ブレーキ・ボタン 5 A ■
- 3 オーバーヘッド・コンソール 5 A ■



あ	4	カブリオレ：パワー・ウィンドウ・20 A ■	
		コントロール・ユニット、右リヤ	
か	5	未使用	
	6	フロント・ワイパー・モーター	30 A ■
さ	7	パワー・ウィンドウ・コントロール・25 A ■	
		ユニット、右フロント	
た	8	ステアリング・コラム調整	25 A ■
な	9	未使用	
	10	未使用	

## D列

ま	1	エアバッグ・コントロール・ユニット	5 A ■
		シート・センサー・コントロール・	
や		ユニット	
	2	4WD コントロール・ユニット	5 A ■
ら	3	PDCC コントロール・ユニット	7.5 A ■
	4	ACC コントロール・ユニット	5 A ■
わ	5	フロント・アクスル・リフト・	5 A ■
		コントロール・ユニット	
A-Z	6	シート・ベンチレーション、右	5 A ■
	7	始動関連の電装品	7.5 A ■
		DME コントロール・ユニット、PDK、	
		VTS、故障診断用ソケット、PDK ERA-	
		GLOMASS 装備車両	
		リヤ BCM	
	8	未使用	
	9	助手席足元ソケット	20 A ■
	10	センター・コンソール・ソケット	20 A ■
		シガー・ライター	

## ブレーキ

### エレクトリック・パーキング・ブレーキ

エレクトリック・パーキング・ブレーキは後輪に作用し、停車中に車両が動き出さないように固定します。



図194: エレクトリック・パーキング・ブレーキ・ボタン

#### パーキング・ブレーキを作動させる

- ▶ (P) ボタンを押してください。
- (P) ボタンのインジケーター・ライトおよびブレーキ警告灯(⚠)が点灯します。

警告灯およびインジケーター・ライトに関するインフォメーション:

- ▶ 「インストルメント・パネル」(45 ページ)を参照してください。

#### パーキング・ブレーキを手動で解除する

- ✓ イグニッションがONのとき
- 1. ブレーキ・ペダルを踏んでください。

2. スイッチ(P)を引いてください。  
ブレーキ警告灯(⚠)が消灯します。

#### パーキング・ブレーキの自動解除

パーキング・ブレーキをかけたままでも通常のように発進することができます。

- ✓ エンジンが作動している
- ✓ 運転席ドアを閉じている
- ✓ 運転席シートベルトを着用している

エレクトリック・パーキング・ブレーキはドライバーの発進操作を検出し、パーキング・ブレーキを自動解除します。

これらの条件のいずれかが満たされていない場合は、ドライバーが発進操作を行ってもエレクトリック・パーキング・ブレーキが自動解除されません。

マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。ブレーキ警告灯(⚠)および(P)ボタンのインジケーター・ライトが点滅します。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション:

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(86ページ)を参照してください。

#### 緊急ブレーキ機能を作動させる

通常のブレーキ操作のみでは車両を停車できない場合、エレクトリック・パーキング・ブレーキを使用して急制動をかけ、停車させることができます。

- ▶ スイッチ(P)を押し続けてください。  
ブレーキ警告灯(⚠)および(P)ボタンのインジケーター・ライトが点滅します。

緊急ブレーキ機能を解除するには:

- ▶ (P) ボタンから手を放してください。

#### 警告

急減速

緊急ブレーキ機能が作動すると非常に高い制動力が発揮されます。周囲の走行を妨げたり、車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 緊急ブレーキ機能は緊急時のみ使用してください。
- ▶ 通常走行時に緊急ブレーキ機能を使用しないでください。

#### 警告メッセージへの対応

停車中にエレクトリック・パーキング・ブレーキが確実にかけられない場合、(P)ボタンのインジケーター・ライトおよびブレーキ警告灯(⚠)が点滅します。

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(86ページ)を参照してください。

## フット・ブレーキ

#### 警告

ペダル操作の妨げ

不適切なフロア・マット、正しく固定されていないフロア・マット、またはその他の障害物はペダルの可動域を制限したり、またはペダル操作の妨げになる可能性があります。

- ▶ フロア・マットなどでペダルの動きを妨げないようにしてください。

**警告**

ブレーキ・ブースターの機能停止

ブレーキ・ブースターは、エンジンが作動しているときのみ作動します。エンジンOFF時やブレーキ・ブースターの負圧が低下している場合は、ブレーキ・ペダルを踏み込むときに強い力が必要になります。

- ▶ ブレーキが故障した車両をけん引しないでください。
- ▶ 「けん引およびけん引によるエンジンの始動」(109ページ)を参照してください。

**警告**

ブレーキ・ディスクに付着した水膜

激しい降雨時や水たまりを通過したとき、または洗車後は、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があります。

- ▶ 後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけ、ブレーキを乾かしてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。

**警告**

制動力の低下

凍結防止剤(塩分)が撒かれた道路や砂塵の多い道路を長距離にわたって走行すると、ブレーキ・ディスクやパッドが塩や砂で覆われて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキの効きが悪くなる場合があります。

車両を長期に渡り駐車したまま放置した場合、ブレーキ・ディスクの腐食は避けられません。その結果、ブレーキは「引きずり」を発生します。

- ▶ ブレーキ・ディスクの腐食を避けるため、「ブレーキを乾燥させてから」駐車してください(ボルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ装備車を除く)。
- ▶ ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ボルシェ正規販売店でブレーキ・システムを点検してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ ブレーキの効きを持続するため、下り坂を走行するときは、タイミング良くギヤを落とし、エンジン・ブレーキを利用してください。

急な下り坂でエンジン・ブレーキの効果のみでは不十分な場合、間隔をおいてブレーキ・ペダルを踏んでください。ブレーキ・ペダルを連続して踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなります。

ブレーキ液とブレーキ液レベルに関するインフォメーション:

- ▶ 「ブレーキ・フルード」(232ページ)を参照してください。


## ブレーキ・パッドおよびブレーキ・ディスク

ブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクの摩耗は、ユーザーの運転の仕方或使用環境によって大きく左右されるため、必ずしも走行距離には依存しません。

この車両の高性能ブレーキ・システムは、すべての速度域および温度下で、最適な制動効果が得られるように設計されています。

特定の速度、制動力や車両を取り巻く環境(気温、湿度等)によってブレーキから異音が発生することがあります。

### 警告シンボルへの対応

ブレーキ・パッドが摩耗限度に達すると、警告シンボルが表示されます。

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(86ページ)を参照してください。

- ▶ 直ちにボルシェ正規販売店でブレーキ・パッドを交換してください。

ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### ボルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ(PCCB)

この車両の高性能ブレーキ・システムは、すべての速度域および温度下で、最適な制動効果が得られるように設計されています。

このため、特定の速度、制動力や車両を取り巻く環境(気温、湿度等)によってブレーキから異音が発生する場合があります。

ブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクなどのブレーキ・システムおよび関連部品の摩耗は、ユーザーの運転の仕方或使用環境によって大きく左右されるため、必ずしも走行距離には依存しません。

ポルシェ社が使用している数値は、交通状況に合わせた通常の運転操作に基づいています。サーキット走行や過激な運転スタイルは、摩耗を大幅に促進させます。

- ▶ 車両をサーキット走行などに使用する場合は、現在のガイドラインについてポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ブレーキ・フルード

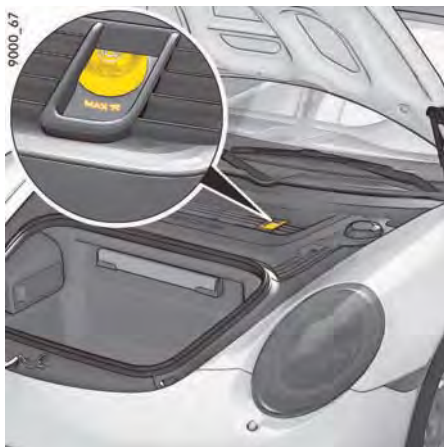


図195: ブレーキ液タンク

### 警告メッセージへの対応

ブレーキ液量が許容範囲を下回ると、インストール・パネルに(1)のシンボルが表示され、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。ブレーキ・ペダルの踏み代が過大になる他、警告灯が点灯してブレーキ・システムの故障を示す場合もあります。

- ▶ 直ちに安全な場所に停車し、運転を続けしないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(86ページ)を参照してください。

### ブレーキ液量の点検

- ▶ ブレーキ液タンクのブレーキ液量を読み取ってください(図195)。フルード液量は常にMINマークとMAXマークの間に維持されなければなりません。

### ブレーキ・フルードの交換

ブレーキ・フルードを定期的に点検および交換することは、メンテナンスの一部です。



## フロント・アクスル・リフト・システム

フロント・アクスル・リフト・システムは、車体の前部を電動空気圧制御により約40mm上昇させます（フロント・スポイラーの前端部）。これにより、地下駐車場への乗り入れや減速帯を乗り越えるときなどに起こるボディの損傷を防ぐことができます。

### 作動条件および挙動

- フロント・アクスル・リフト・システムは、エンジンが作動している状態で停車しているとき、または車速が約35km/h以下のときに作動します。
- 車速が約35km/hを超えると、車両は自動的に元の車高まで下がります。
- 車両を上昇させた場合、フロント・アクスルのダンピング特性が変化し、ステアリングを操作した際にフロント・アクスル・コイル・スプリング周辺部からノイズが発生することがあります。
- 気温が約-10℃を下回ると、車両前部を完全に上昇させるまでの時間が長くなります。ノイズが大きくなる恐れがあります。

### リフト・システムの故障

フロント・アクスル・リフト・システムに故障が発生すると、マルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

- ▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（86ページ）を参照してください。

## 車両前部を上昇させる



図196: センター・コンソールのリフト・システム操作ボタン

- ✓ エンジンを作動状態にします。
- ▶ ボタンを押してください。約5秒以内に、車両のフロント・アクスルが上昇します。ボタンのインジケーター・ライトが点滅し、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。車両前部が完全に上昇すると、
  - ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
  - 車両前部が上昇したことを示すメッセージが短時間表示されます。
  - デジタル・スピードメーターにLIFTの文字が表示されます。

### 知識

エンジン停止時に車両前部が思わぬタイミングで下降して損傷する恐れがあります。

この特殊なシステムは、上昇させた位置を長時間維持することはできません。

- ▶ 必ず下降させた状態で駐車してください。

## 車両前部を下降させる

- ✓ すべてのドアが閉じている
- ✓ エンジンが作動している
- ▶ ボタンを押してください。車両は元の車高まで下降します。ボタンのインジケーター・ライトが点滅し、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。車両前部が完全に下降すると：
  - ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
  - 車両前部が下降したことを示すメッセージが短時間表示されます。
  - デジタル・スピードメーターからLIFTの文字が消えます。

### i インフォメーション

下降中にドアを開くと、車両前部が自動的に再び上昇します。

### 知識

車両の下廻りを損傷する恐れがあります。

- ▶ 障害物の上などで車両を下降させないでください。

## ヘッドライト

## 知識

摩擦や過熱によりヘッドライトが損傷する恐れがあります。

- ▶ ヘッドライトにカバー（ストーン・ガードやフィルムなど）を装着しないでください。

## i インフォメーション

気温と湿度により、ヘッドライトが曇ることがあります。十分な距離を走行すると、この曇りは取れます。

- ▶ 通気を確保するため、ヘッドライトとボディの隙間にカバーをしないでください。

## 発光ダイオード (LED) とロングライフ・バルブの交換

デイトタイム・ドライビング・ライト、フロント・パーキング・ライト、方向指示器、バイキセノン・ヘッドライトのガス・ディスチャージ・ヘッドライト、テール・ライト、ライセンス・ライト、ハイマウント・ブレーキ・ライトおよびルーム・ライトには、発光ダイオード (LED) およびロングライフ・バルブが装着されています。

LEDは個別に交換できません。

ロングライフ・バルブの交換には専門知識が必要です。

- ▶ 発光ダイオード (LED) とロングライフ・バルブの交換はポルシェ正規販売店にお任せください。

ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ヘッドライト調整

- ▶ ヘッドライトの調整は、専用の調整装置がある整備工場のみで実施してください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## 左側/右側通行でヘッドライトを切り替える

- ✓ ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム (PDLS) またはポルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス (PDLSプラス) 装備車両

車両通行帯（右側通行または左側通行）が異なる国で走行する場合は、ヘッドライトをマルチファンクション・ディスプレイで切り替える必要があります。これによりロー・ビームの照射方向が左右対称に切り替わり、対向車のドライバーの幻惑を防ぐことができます。

- ▶ 「左側/右側通行でヘッドライトを切り替える」(275ページ) を参照してください。

## i インフォメーション

変更後は、イグニッションを ON にするたびにマルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

- ▶ 帰国した時は、ヘッドライトを元に戻すことを忘れないでください。

## ボイス・コントロール

### ▲ 警告

事故を起こす恐れがあります

緊急時は緊張のために声が変わり、ボイス・コントロールが指示を認識できなくなる恐れがあります。これにより電話接続の要求が認識できずに失敗したり、接続に時間を要してしまう恐れがあります。

- ▶ PCM経由で緊急電話にダイヤルしてください。

メイン・メニューの **PHONE**、**TUNER**、**NAV** および **MEDIA** の各機能は音声コマンドで呼び出すことができます。ボイス・コントロールはスピーカーに適応し、最初の会話から登録を開始します。

- ▶ ボイス・コマンドの例は238ページを参照してください。

### i インフォメーション

- **Sound** および **CAR** のメイン・メニューはボイス・コントロールでは操作できません。
- ボイス・コントロールはすべてのシステム言語に対応しているわけではありません。

### i インフォメーション

- ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:
- ▶ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作」(245ページ) を参照してください。

## ボイス・コントロールの呼び出し

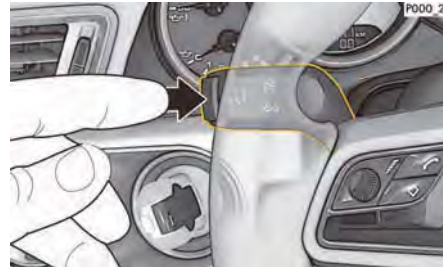


図197: 操作レバーのボイス・コントロール・ボタン

### ボイス・コントロールの作動

- ✓ イグニッションがONのとき
- ✓ 通話中でない
- ✓ パーキング・アシストを使用していない

1. 操作レバーの **Q** を押してください (図197)。起動音が鳴り、ボイス・コントロールのアイコン **Q** がPCMに表示されます。
2. 音声コマンドを発話してください。

### ボイス・コントロールを無効にする

- ✓ ボイス・コントロールが作動している

- ▶ 操作レバーの **Q** を押してください (図197)。終了音が鳴ります。

または

- ▶ ボイス・コマンド、キャンセルまたは終了を発話してください。

または



- ▶ PCMの任意のボタンを押してください。

ボイス・コマンド・ボタンのその他の機能  
操作レバーの **Q** (図197) ボタンは、アプリケーションに応じて様々な機能を開始することができます。

- 短く押すと、PCMのボイス・コントロールが有効になります。
- 長押しすると、Siri®ボイス・コントロール・システムが起動します。
  - ▶ 「Apple CarPlay®」(322ページ) を参照してください。
- ボイス・コントロールの現在のアナウンスを終了します。
- アナウンスを次のパートにスキップします。
- 現在の会話を中止します。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

**i** インフォメーション

- 電話で通話中、またはパーキング操作中は、レバーのボタン  は機能しません。
- 通話中、ナビゲーション案内は中断します。
- ボイス・コントロールが有効のとき、リスト項目をボイス・コントロール、ロータリー・プッシュ・ボタン、またはタッチスクリーンによって選択することができます。
- 発話されたボイス・コマンドが理解できない場合、または意味が解釈できなかった場合、ボイス・コントロールは**もう一度お願いします**と応答するので、再度ボイス・コマンドを繰り返してください。2回目以降はPCMが操作を支援します。
- 選択したメニュー言語および選択した国によっては (  ボタン ▶ メニュー **Destination input** で)、必要に応じて目的地入力時に目的地の綴りを発話する必要があります。

ボイス・コントロールによる対話を円滑に行うために、以下の点に注意してください。

- 通常通りの声量で、はっきりと分かりやすく発話してください。高速走行時は少し大きな声で発話してください。
- 長い間をおかずにむらなくボイス・コマンドを強調してください。
- ボイス・コントロールがアナウンスをしているときは発話しないでください。
- ドア、ウインドウ、スライディング・ルーフを閉じ、混乱の原因となる雑音を低減してください。
- ハンズフリー・マイクはドライバー側に向いているため、ドライバーのみがボイス・コントロールを操作してください。




**ボイス・コントロールの調節**

1.  ボタン ▶ **Set (設定)**  ▶ **System ▶ Voice control**
2. 以下から希望の設定を選択してください。


- **ショートダイアログ**：この機能が有効のときは、音声応答に短いアナウンスが含まれます。
- **ヘルプテキスト**：この機能が有効のとき、発話可能なコマンドが表示されます。

**ヘルプの呼び出し**

**文字による入力支援の呼び出し**

1. 操作レバーの  を押してください (235 ページの  197)。  
コマンド例のリストが表示されます。
2. フッターの  を選択してください。
3. 各メイン・メニューでコマンド例を表示させるには、アイコンまたはそれぞれのメイン・メニューのコマンド例を選択してください。

**i** インフォメーション

ヘルプテキスト機能が無効になっている場合は、ヘッドラインのアイコン  で視覚的な入力支援を表示することができます。

▷ 「ボイス・コントロールの調節」(236ページ)を参照してください。

**Calling up acoustic input assistance (音声による入力支援) の呼び出し**

✓ ボイス・コントロールが作動している

- ▷ **ヘルプ**と発話してください。  
**または**  
**ヘルプ ボイス コマンド**と発話してください。
- または**  
**ラジオのヘルプ、ヘルプ メディア**と発話してください。
- 各メイン・メニューで入力支援が得られます。

## ボイス・コマンドの発話

基本的に、使用可能なボイス・コマンドは3種類あります。

- グローバル・ボイス・コマンド
- 一般ボイス・コマンド
- ダイアログ関連ボイス・コマンド

表示されるボイス・コマンドは使用可能なすべてのコマンド集です。システムは同義語でも認識します。例えば、**Call Smith (スミスに電話)**と言う代わりに、**Telephone Smith (スミスに電話)**または**Dial Smith (スミスに電話)**と発話することもできます。

▷ ボイス・コマンドの例は238ページを参照してください。

### グローバル・ボイス・コマンドの発話

特定の機能呼び出すために使用可能なすべてのボイス・コマンドは、グローバル・ボイス・コマンドです。グローバル・ボイス・コマンドは、選択したメイン・メニューに関係なく、いつでも使用することができます。これによって、対応するメイン・メニューに事前に切り替える必要なく、任意の機能を直接呼び出すことができます。例えば**NAV**メイン・メニューが表示されているときに、ボイス・コマンド**Transmitter station 1 (トランスミッター 放送局1)**と発話しても指示した放送局が呼び出されます。

以下はグローバル・ボイス・コマンドの例です。

- **Transmitter station 1 (放送局1)**
- **Call Smith (スミスに電話)**

### 一般ボイス・コマンドの発話

一般ボイス・コマンドは会話中にいつでも発話することが可能です。

以下は一般ボイス・コマンドの例です。

- **新規項目**：ボイス・コントロールを再開します。
- **修正**：例えば、電話番号をいくつかのブロックに分けて発話した場合 (0711 911など)、ボイス・コマンドは最後に発話したブロックを取り消します。
- **ヘルプ**：可能なボイス・コマンドを示す入力支援が表示されます。
- **キャンセル**：会話を中断します。

### ダイアログ関連ボイス・コマンドの発話

ダイアログ関連ボイス・コマンドは、PCMとの会話が始まるとすぐに必要になります。例えば、これには以下のボイス・コマンドが含まれています。

- **行 1**
- **次のページ/前のページ**
- **はい/いいえ**

## 音声でリストを使用する

### リストをブラウズする

- ▶ リストを前/後にブラウズするには、**次のページ/前のページ**と発話してください。**または** タッチスクリーンまたはロータリー・プッシュ・ボタンでリストを使用します。

### リスト項目の発話

青いリスト項目を発話することができます。別の方法として、リスト項目を青い行番号で呼び出すこともできます。

- ▶ ボイス・コマンド**Line 1 (行1)**と発話してください。



## ラジオのボイス・コマンド

運転者が何をしたいか？	どのように発話するのか？	知識
受信範囲を切り替える	チューナー例えばFM/AM/TV（調節/作動）	現在受信が可能な放送局のみを発話することができます。
放送局を選択する	<b>選択 放送局</b>	
現在受信が可能な放送局を選局する	<b>放送局</b> 例えば放送局 1（選局）	必要な場合は、周波数の直接選択により、受信範囲が変更されます。
周波数の入力	<b>周波数</b> 例えば107.7（選択）	
ヘルプの呼び出し	<b>ラジオのヘルプ</b>	チューナー機能で役に立つ音声ヘルプです。

## メディアのボイス・コマンド

運転者が何をしたいか？	どのように発話するのか？	知識
メディア・ソースを変更	<b>選択</b> 例えばディスク/SDカード/USB/AUX/Jukebox/Bluetooth	有効なメディア・ソース内にあるアーティスト/アルバム/トラック/ジャンルのみを発話することができます。
アーティストの直接選択	<b>再生するアーティスト</b> 例えばAllan Taylor	
アルバムの直接選択	<b>再生するアルバム</b> 例えばSongs for the Road	
トラックの直接選択	<b>再生するトラック</b> 例えば Let the Music Flow	
ジャンルを直接選択する	<b>再生するジャンル</b> 例えばロック	
現在再生している曲と類似の音楽を選択する	これと似たもの   (さらに ( (これ   同じもの) から [選択   再生] )   同じようなもの   同じような音楽)	
ヘルプの呼び出し	<b>ヘルプメディア</b>	メディア機能で役に立つ音声ヘルプです。

## 電話のボイス・コマンド

✓ 電話がPCMに接続されている

▷ 「電話」(186ページ)を参照してください。

運転者が何をしたいか？	どのように発話するのか？	知識
リダイヤル機能を開く	リダイヤル	
電話番号を入力する	番号をダイヤル	
ボイスメールに電話する	電話 ボイスメール	
連絡先に発信する	Call contact (電話 連絡先)	
通話履歴の呼び出し	通話履歴	ボイス・コマンドは、選択または通話が可能な項目から通話履歴全般を表示します。
保存されている連絡先を選択する	連絡先	連絡先が1つ以上の場合、このコマンドにより会話が開始します。名、姓、またはその両方を発話することができます。連絡先の特定の電話番号を選択することも可能です。
保存されている連絡先に発信する	電話 例えばSmith (携帯/プライベート/仕事/一般)	
Eメールを読み上げる	読む (新しい) Eメール	
テキスト・メッセージを読み上げる	読む (新しい) SMS	
ヘルプの呼び出し	ヘルプ(電話)   (電話)ヘルプ	電話機能で役に立つ音声ヘルプです。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ナビゲーションのボイス・コマンド

あ	ナビゲーションのボイス・コマンド		
か	運転者が何をしたいか？	どのように発話するのか？	知識
さ	新しい目的地を入力する	目的地を入力	ルート案内は段階的に実施されます。
た	目的地として自宅/オフィスを選択する	自宅に行く 仕事に行く	保存されている住所へのナビゲーションが開始されます。住所の保存方法に関するインフォメーション： ▷ 「目的地の保存（お気に入り）」（209ページ）を参照してください。
な	目的地または施設情報を検索する	検索（施設情報）例えばポルシェ・サービス	ブランド名や施設情報のカテゴリーを発話することができます（例えば、検索 施設情報 空港）。
は	市町村を選択する	入力市	
ま	レストラン/休憩所/トイレ/ガソリンスタンドを検索する	次のレストラン/休憩所/トイレ/ガソリンスタンド	ルート沿いまたは近隣のそれぞれの検索基準を表示します。
や	ルート案内を開始/終了する	ルート案内開始/ルート案内中止	
ら	残りの燃料を計算する	走行可能距離/タンク情報	
わ	到着時間を要求する	(予想到着時間) (到着までの残り時間) (いつ到着しますか)	ルート案内が開始している場合、残り走行時間をお知らせします。
A-Z	ヘルプの呼び出し	ヘルプ (ナビゲーション   ナビ)   (ナビゲーション   ナビ) ヘルプ	ナビゲーション機能で役立つ音声ヘルプを呼び出します。

## 保管

### 荷物の収納

#### ▲ 警告

固定されていない、または不適切な位置に積載された荷物

荷物を固定しなかったり不適切な位置に積載すると、ブレーキをかけたりステアリングを操作したとき、または事故の際に飛び出して、乗員がケガをする恐れがあります。

- ▶ 乗員スペースに荷物や固定していない物を載せて走行しないでください。
- ▶ 重量物を開いたままの小物入れの中に入れて運搬しないでください。
- ▶ 走行中は必ず小物入れを閉じてください。

#### 知識

重く大きな荷物は収納ネットを損傷する恐れがあります。

- ▶ 重く大きな荷物を収納ネット内に置かないでください。

#### 知識

リヤ・シート後方に荷物を置くと、コンバーチブル・トップまたはルーフ・システムを開いたときに損傷する恐れがあります。

- ▶ コンバーチブル・トップまたはルーフ・システムを開く前に、リヤ・シート後方の荷物を取り除いてください。

車両の装備仕様により、次のような収納オプションが利用できる場合があります。

- カップ・ホルダー
- ペン・ホルダー付きグローブ・ボックス
- ドアの収納ボックス
- 助手席シート側のドア・シルの収納トレー
- センター・コンソール・アームレストの小物入れ
- 助手席足元の収納ネット
- フロント・シート・バックレストおよびBピラーの衣類用フック（クーペ・モデル）
- リヤ・シート間的小物入れ
- リヤ・シート・バックレスト後部的小物入れ（カブリオレ/タルガ・モデル：コンバーチブル・トップ/ルーフ・システムを開いている時のみ）

## グローブ・ボックスの開閉

### グローブ・ボックスを開く

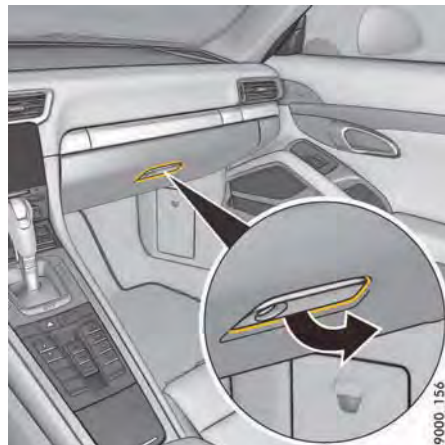


図198: グローブ・ボックスを開く

- ▶ ハンドル（図198）を引いて、リッドを開いてください。

#### **i** インフォメーション

グローブ・ボックス・リッドの内側にはペン・ホルダーがあります。

### グローブ・ボックスを閉じる

- ▶ 盗難防止のため、大切な物を収納するときにはエマージェンシー・キーでハンドルを常にロックしてください。
- ▶ 「エマージェンシー・キーを使用する場合」（77ページ）を参照してください。



## ETC 受信機

ETC 本体、および ETC 受信機は日本仕様では標準で装備されています。

ETC 本体はグローブ・ボックス内に取り付けられています。ご利用前に ETC 専用カードの利用期限を確認し、カードがスロットに確実に挿入されているか確認してください。

## センター・コンソール・アームレストの小物入れを開く

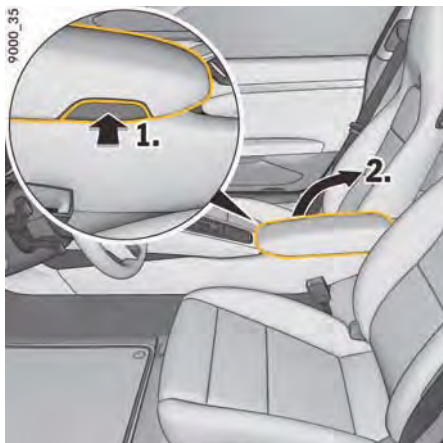


図199: センター・コンソール・アームレストの小物入れを開く

- ▶ アームレストの右側のボタン (図199) を押ししてください。  
リッドが自動的に開きます。

国別仕様に応じて、小物入れにスマートフォン・トレーが内蔵されているものもあります。

- ▶ 「設定の変更」(192ページ) を参照してください。

## ドアの収納ボックスを開く

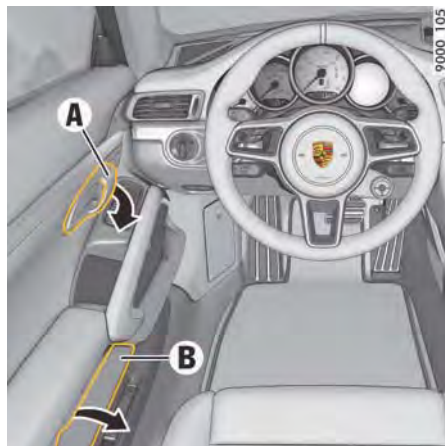


図200: ドアの収納ボックス

- A インナー・ドア・ハンドル
- B ドアの収納ボックス

- ▶ リッドB (図200) を持ち上げてください。

### 知識

ドアを閉じるときに、ドアの収納ボックスを損傷する恐れがあります。

- ▶ ドアを閉じる前に、収納ボックスのリッドを閉じてください。



## ボルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント (PASM)

PASMはショック・アブソーバーをアクティブに調整します。アジャスタブル・ダンパー・システムは、走行状態や条件に応じて各タイヤの適切なダンパー・レベルを選択します。走行安全性、俊敏性、および快適性が最適化されます。ボタンの操作で、2種類のシャーシ設定を選択できます：

- 「シャーシ 標準」
- 「シャーシ スポーツ」

標準モードでは、車両はスポーティーで快適な設定となります。


スポーツ・モードでは、ショック・アブソーバーの調整が非常にスポーティーなものになります（例：レース・サーキットでの走行などに最適な設定）。

走行状況に合わせて、マニュアル・モードに加えて、PASMもショック・アブソーバーを調整し、スポーティーまたは快適な走行を可能にします。

## PASMモードの選択



図201: センター・コンソールのPASMボタン

1. イグニッションをONにしてください。
2.  ボタンを（繰り返し）押してください。

ボタンのインジケーター：

- 「シャーシ標準」（初期設定）を選択した場合、インジケーター・ライトは点灯し**ません**。
- 「シャーシ スポーツ」を選択した場合、インジケーター・ライトが**1つ**点灯します。

更に、選択したシャーシ設定はマルチファンクション・ディスプレイに短時間表示されます。

### インフォメーション

イグニッションをOFFにすると、そのとき選択しているシャーシ設定がメモリーに保存されます。

## 警告シンボルへの対応

PASMの故障がマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告シンボルに関するインフォメーション：

- ▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（86ページ）を参照してください。

## ポルシェ・カー・コネクト\*

スマートフォン・アプリ「ポルシェ・カー・コネクト」を使用して、移動通信ネットワーク経由で車両と接続できます。これにより、車両の情報をスマートフォン経由で直接読み取ることが可能になり、アプリを使用して選択した設定を車両で実行することが可能になります。

ポルシェ・カー・コネクト・アプリのインストール、機能、管理、契約およびサービスに関する詳細情報は[www.porsche.com/connect](http://www.porsche.com/connect)またはポルシェ正規販売店から入手できます。

## 車両とアプリケーション間の通信の停止

車両とポルシェ・カー・コネクト・アプリ間の通信は、マルチファンクション・ディスプレイから停止できます。

▷ 「ポルシェ・カー・コネクトの設定\*」(278ページ)を参照してください。

### ⚠ 警告

走行時の設定と操作

運転中にアプリの設定を変更したりアプリを使用したりすると、運転に対する注意力が低下することがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

▶ 操作、設定は必ず車両を停止させてから行ってください。

## i インフォメーション

ポルシェ・カー・コネクト・アプリを使用して車両固有データおよびその他の機能にアクセスすることができます。第三者の不正なアクセスからデータを保護してください。

## i インフォメーション

ポルシェ・カー・コネクト・アプリを使用すると、データは移動通信システムにより送信されるため、サービス・プロバイダーから追加費用を請求される場合があります。

## ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作

### 概要

この概要説明は「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作」の章に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく安全に関する指示および警告を必ずお読みください。



図 202: PCM



図 203: タッチスクリーン、ホーム・メニュー

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	ページ
PCMをONにする	▶ イグニッションをONにするか、ボリューム・スイッチAを押してください。	
PCMをOFFにする	▶ イグニッションをOFFにするか、ボリューム・スイッチAを押し続けてください。	
音量を調節する	▶ ボリューム・スイッチAを回してください。	
オーディオ・ソースのミュート	▶ ボリューム・スイッチAを短く押してください。	
メイン・メニュー (ラジオなど) を開く	▶ ボタン (例: <b>TUNER</b> ) を押してください。	
音質設定を表示する	▶ <b>HOME</b> ボタン ▶ <b>OPT</b> ボタン ▶ <b>SET SOUND</b> ▶ <b>Volume</b> ◀ または <b>SOUND</b> ◀	253
接続マネージャーを開く/接続を確立する	▶ フッターの  または  (Bを参照) を選択してください。	129
日付と時刻を変更する	▶ フッターの時刻 <b>9:34</b> (Cを参照) を選択してください。	246
MyScreenを開いて設定する	▶ <b>HOME</b> ボタン ▶ <b>MyScreen</b>	249
システム設定を変更する	▶ <b>HOME</b> ボタン ▶ <b>Set</b>	252
CD/DVDまたはSDカードから音楽を再生する	▶ CD/DVDまたはSDカードを挿入してください。▶ <b>SOURCE</b> ボタン ▶ 希望のメディア・ソースを選択してください。	250
外部機器から音楽を再生する	▶ 外部機器をUSB、AUXまたはBluetooth®を介して接続してください。▶ <b>SOURCE</b> ボタン ▶ 希望のメディア・ソースを選択してください。	251

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

## 操作に関する重要なインフォメーション

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) は、ラジオ、TVチューナー、サウンド設定、ナビゲーション・システム、様々なメディアや電話を操作するためのセンター・コントロール・ユニットです。

PCMの操作時に運転者や同乗者がケガをしたり、危険にさらされたりすることがないように、常に以下の安全に関する指示を遵守してください。

**警告** 事故を起こす恐れがあります

PCMを操作すると、道路状況から注意が逸らされる恐れがあります。

- ▶ 周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限ってPCMの操作を行ってください。安全を確保できない場合は、車両を適切な場所に停車してからPCMの操作を行ってください。
- ▶ 緊急車両（パトカー、救急車など）のサイレンなど、常に車外の音が聞こえる程度の音量に設定してください。

**警告** 事故を起こす恐れがあります

機器を固定しなかったり不適切な位置に載せると、ブレーキやステアリングを操作したとき、急加速時または事故の際に、飛び出して乗員がケガをする恐れがあります。

- ▶ 車内に固定していない物を載せて走行しないでください。
- ▶ 走行中は必ず小物入れを閉じてください。

### 注意

負傷する恐れがあります

ハウジングが開いている場合や損傷した場合は、目に見えないレーザーが照射される危険があります。

- ▶ PCMはクラス1レーザー製品です。ハウジングを分解しないでください。メンテナンス作業が必要になった場合は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。

### i

### インフォメーション

バッテリーを保護するため、PCMはイグニッションをOFFにしてから数分経過すると自動的にOFFになります。

## PCMのON/OFF



図204: PCMのON/OFF

- ▶ PCMはイグニッションをONにすると作動します。
- ▶ イグニッションの位置に関係なく、ボリューム・スイッチAを長押しするとPCMのON/OFFを切り替えることができます。

## 日付と時刻の設定

時刻表示から、日付と時刻の設定に素早くアクセスできます。

- ▶ フッターの時刻 **9:34** を選択してください。

- ▶ 「全般的なシステム設定を変更する」(252ページ) を参照してください。

## タッチスクリーンの操作ボタン

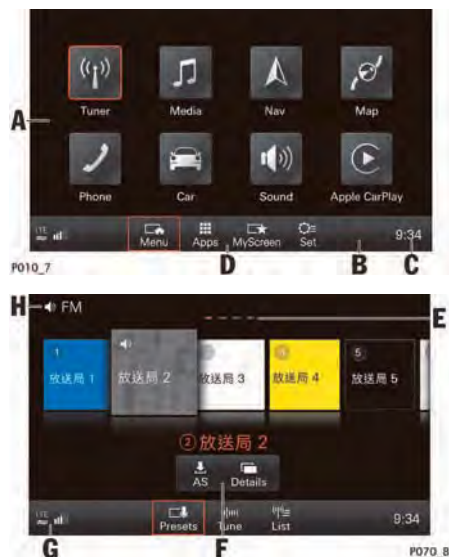


図205: タッチスクリーンの操作ボタン

### A ホーム画面

**HOME** ボタンを押すと、使用可能な機能が表示されます。

### B フッター

有効なメイン・メニューの機能、接続シンボルおよび設定可能な温度または時刻を表示します。

### C 時刻または外気温ディスプレイ

「日付と時刻の設定」(246ページ)を参照してください。

### D 有効なメイン・メニューの機能

どのメイン・メニューが有効になっているかに応じて、ツールバーには異なるメニューが表示されます。

### E 他のページを表示

スクロール (スワイプ) すると、他のページが開きます。

### F コントローラー

タッチスクリーンに接近すると追加機能を表示します。

### G 接続マネージャーを開く

(電話を接続する、WiFi設定を表示しWiFiホットスポットを設定する、Bluetooth®機器を接続する、Apple CarPlay®およびPorsche Connect Appの接続状態を表示する)

「接続マネージャー」(129ページ)を参照してください。

### H ヘッドライン

例えば、選択されたラジオまたはメディア・ソースが表示されます。

## タッチスクリーンでPCMを操作する



図206: タッチスクリーンでPCMを操作する

### A タッチ (選択)

タッチスクリーンを指で素早くタッチしてください。例: 機能を選択する、またはボックスをチェックする/チェックを外す。

### B 長押し

タッチスクリーンを長くタッチしてください。例: メイン・メニュー **TUNER** で放送局を保存する。

### C スワイプ

タッチスクリーンを指で左右にスワイプしてください。例: ラジオ放送局を含む他のページを表示する。

### D スクロール

タッチスクリーンを指で上下にスワイプしてください。例: リストを手動でスクロールする。

### E ズーム

2本の指をディスプレイに触れたまま指を広げる、または指を狭めてください。タッチスクリーンを2回タップすると、そのセクションが拡大表示されます。例: 地図を拡大表示する。



## ロータリー・プッシュ・ボタンでPCMを操作する



図207: ロータリー・プッシュ・ボタン

1. 希望の機能がハイライトされるまで、ロータリー・プッシュ・ボタンを回してください。
2. ハイライトされた機能を有効にするには、ロータリー・プッシュ・ボタンを押してください。

## メニューを開く

### 直接メイン・メニューを開く

- ▶ PCMのボタン (例: **TUNER**) を押してください。

### **i** インフォメーション

いずれかのメイン・メニューから別のメニューにいつでも切り替えることができます。メイン・メニューに戻ると、前に開いていた内容が再び表示されます。

### ホーム・メニューからメイン・メニューを開く

1. **HOME** ボタン ▶ **Menu**
2. メイン・メニュー (例: **Tuner**) を選択してください。

### 有効な機能の設定を開く

- ✓ 希望のメイン・メニューが選択されている (例: **TUNER**)

- ▶ **OPT** ボタンを押してください。  
該当するメニューの設定および他の機能が表示されます。

## テキストおよび文字を入力する

ナビゲーション目的地や検索語句の入力など、テキストや文字を入力する必要があるときは、入力フィールドが表示されます。

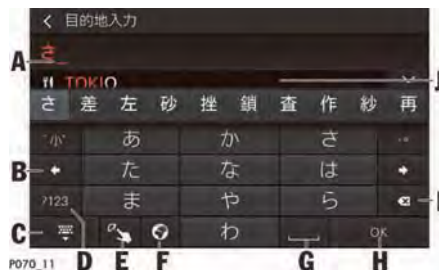


図208: タッチスクリーン・キーパッド

- A 現在のカーソル位置
- B 大文字と小文字の切り替え
- C キーボードを表示する / 隠す
- D 文字、数字および特殊文字の入力を切り替える
- E 手書き文字認識機能 (タッチスクリーンを使用してアルファベットや文字を入力する)
- F キーボードの調整
- G スペースを挿入する
- H 入力を決定する
- I 入力データを削除する
- J 候補のリスト

テキストおよび文字を入力するには、3種類の方法があります。

### キーパッドによる入力

1. 入力フィールドを選択して、タッチスクリーン・キーパッドを開いてください。
2. 希望のテキストまたは文字を入力してください。

### ロータリー・プッシュ・ボタンによる入力


1. 希望のアルファベットや文字がハイライトされるまで、ロータリー・プッシュ・ボタン (図 207 を参照) を回してください。
2. ロータリー・プッシュ・ボタンを押し、ハイライトされたアルファベットまたは文字を決定してください。

## 手書き入力

手書き入力では、手書き文字認識機能により指でテキストや文字を書くことができます。



図209: 手書き入力

1.  を選択して入力フィールドを開いてください。
2. 指で希望のテキストや文字を書いてください。

- ▶ スペースを入れるには、左から右に指でスワイプしてください。
- ▶ 入力データを削除するには、右から左に指でスワイプしてください。

## インフォメーション

PCM はひらがな / カタカナ / ローマ字 / 漢字の手書き入力に対応しており、該当する文字を表示します。


ボイス・コントロールを使用して、テキストや数字を入力することも可能です (例: 電話番号をダイヤルするときや、ナビゲーション目的地を入力するときなど)。

- ▶ 「ボイス・コントロール」(235 ページ) を参照してください。

## 接続マネージャーを開く

- ▶ 「接続マネージャー」(129ページ) を参照してください。

## アプリを開く

アプリ  メニューからPorsche Connect App機能にアクセスすることができます。

- ▶ **HOME** ボタン ▶ **Apps** 

- ▶ 「Porsche Connect App」(326ページ) を参照してください。

## バックグラウンド・イメージを表示する

バックグラウンド・イメージは、**HOME** メニューで表示/非表示を切り替えることができます。

- ▶ **HOME** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **Show background image**

## MyScreenの設定

**MyScreen** メニューでは、様々なカテゴリー (例: **NAV** や **PHONE**) のタッチスクリーンのコンテンツを希望により個別にグループ分けすることができます。



合計3種類のMyScreenを設定できます。

## MyScreenを作成する


1. **HOME** ボタン ▶ **MyScreen**  ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET MyScreen**
2. **MyScreen 1**、**MyScreen 2**、または**MyScreen 3**を選択してください。



図210: MyScreenの設定

3. カテゴリー (例: **SOURCE**) を選択して、選択可能なタイルのリストを開いてください。
4. 希望のタイルを左側のプレビューにある任意のコンテナにドラッグ&ドロップしてください。タイルは、緑色のエッジが見えるとすぐにコンテナに挿入できます。
5.  または  を選択し、**Configure MyScreen** メニューを終了してください。

## MyScreenを開く

1. **HOME** ボタンを押してください。
2. **MyScreen**  を選択してください。直前に有効にした**MyScreen**が表示されます。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

## MyScreenをリセットする

1. **HOME** ボタン ▶ **MyScreen**  ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET MyScreen**

2. **MyScreen**をリセットを選択してください。MyScreenの2ページおよび3ページのコンテンツが削除されます。MyScreenの1ページのコンテンツが初期設定にリセットされます。

## MyScreenからタイルを削除する

✓ タイルが左側のプレビューにある

1. **HOME** ボタン ▶ **MyScreen**  ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET MyScreen**

2. **MyScreen 1**、**MyScreen 2**、または**MyScreen 3**を選択してください。

3. 左側のプレビューで、ドラッグ&ドロップで削除したいタイルをコンテナから取り除いてください。

電話のお気に入りの追加に関するインフォメーション：

- ▷ 「MyScreenにお気に入りの追加」(191 ページ)を参照してください。

## 各種ドライブおよび外部接続機器に関する諸注意

対応するメディアおよびファイル形式に関するインフォメーション：

- ▷ 「テクニカル・データ」(329ページ)を参照してください。

- 記憶媒体に多くのファイル、フォルダーまたはプレイリストが含まれている場合、最初にトラックを読み込むのに時間がかかる場合があります。

- オーディオ・ファイルの再生時は、記録された追加情報(アーティスト、タイトル、アルバム・カバーなど)が自動的に表示されます。該当する情報が媒体に記録されていない場合は、Gracenote<sup>®1)</sup>データベースが利用されます。それでも個々の追加情報が表示されない場合があります。

- USB延長ケーブルまたはアダプターを使用しないでください。性能が損なわれる原因になります。

- USBハブには対応していません。

- ポルシェ社は、ファイルやメディアの損傷や紛失に対していかなる責任も負いかねます。大切なデータは、SDカード、ジュークボックス、CD/DVDまたはポータブル・プレーヤーに決して保存しないでください。

- 外気温が異常に高いまたは低いときは、一時的にCD/DVDが再生できなくなる場合があります。CD/DVDおよび走査レーザーを保護するために、熱保護回路が搭載されています。

- PCMは、コピー・プロテクト機能付きのCD/DVDまたは規格に準拠していないCD/DVDを再生できない場合があります。

- 原則として私的使用を目的とする場合にのみ、CD/DVDのコピーを作成することが認められています。コピーされたCD/DVDを第三者に譲渡した場合は、著作権法に定められた例外の対象になりません。MP3で再生するために作成された音楽トラック、およびMP3にコピー可能な音楽トラックは、一般的に該当する国際的および国内の規制に従って著作権保護の対象となります。多くの国では、私的使用が目的であっても著作権保有者に事前の承諾なくしてコピーすることはできません。該当する著作権法を遵守してください。お客様自身が作曲およびレコーディングの著作権保有者である場合、あるいは著作権保有者によって権利を付与された場合は、これらの制約は適用されません。如何なる場合においても、現行の法的な見解が適用されます。

## CD/DVDドライブにロードする

### 知識

CD/DVDを正しく使用しないと、PCMを損傷する恐れがあります。

▶ 直径12cmの丸型、標準タイプのCD/DVDのみを使用してください。

▶ CD/DVDに触れるときは、必ず端を持ってください。ラベル面に手で触れないでください。

▶ CD/DVDが汚れていないことを確認してください。必要に応じて汚れを拭き取ってください。

▶ CD/DVDには何も貼り付けしないでください。

▶ CD/DVDを変形させないでください。

▶ CD/DVD をドライブに無理に押し込んだり、取り出したりしないでください。

1) Gracenote ロゴおよび「powered by Gracenote」ロゴは、米国またはその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。

## CD/DVDを挿入する

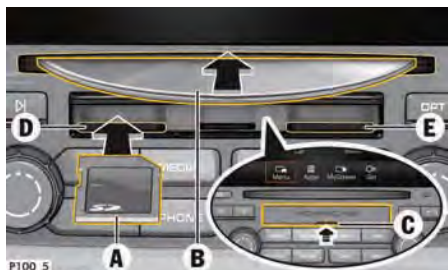


図211: CD/DVDまたはSDカードのロード

1. CD/DVDのラベル面を上にして、自動的に引き込まれるまでスロットBに押し込んでください。
2. **SOURCE** ボタンを押し、希望のメディア・ソースを選択してください。

## CD/DVDを取り出す

- ▶ ボタンを押し、CD/DVDを取り出してください。

## SDカードをロードする

### 知識

SDカードを正しく使用しないと、PCMを損傷する恐れがあります。

SDカード・アダプターを使用すると、振動によりSDカードがアダプターから外れて各SDカードやアダプターがSDカード・リーダーに詰まる恐れがあります。

- ▶ SDカード・アダプターは使用しないでください。

## SDカードを挿入する

1. 指の爪でスロットCのカバーを上方に開いてください。
2. SDカードA (図211) のラベル面を上にして、SDカード・リーダー1 (D参照) または2 (E参照) にロックされるまで差し込んでください。

## メモリー・カードを取り出す

- ✓ SDおよびSIMカード・リーダー・カバーが開いている

1. 挿入されたカードを押して、取り出してください。
2. SDおよびSIMカード・リーダー・カバーを閉じてください。

## SIMカードの挿入および取り出し

- ▶ 「ポルシェ専用SIMカードを使用してデータ接続を確立する」(149ページ)を参照してください。

## 外部機器の接続

対応するメディアおよびファイル形式に関するインフォメーション:

- ▶ 「テクニカル・データ」(329ページ)を参照してください。

### i インフォメーション

一部の外部機器では、音量の個別調節が必要になる場合があります。

1. 外部機器の音量を調節してください。
2. PCMで希望の音量に設定してください。

## USBまたはAUXを介して外部機器を接続する

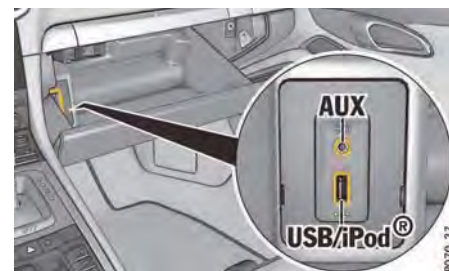


図212: グローブ・ボックスのUSBおよび汎用オーディオ (AUX) ポート



図213: センター・コンソールのUSBポート

1. グローブ・ボックスまたはセンター・アームレストを開いてください。
2. 外部機器 (例: iPod、USBフラッシュ・ドライブ) をUSBまたはオーディオ (AUX) ポートに接続してください。
3. **SOURCE** ボタンを押し、希望のメディア・ソースを選択してください。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

## **i** インフォメーション



グローブ・ボックスにはUSBおよび汎用オーディオ (AUX) ポートがあります。センター・コンソールにはもう1つのUSBポートがあります。Apple CarPlay<sup>®</sup>は、センター・コンソールのUSBポートを介してのみ使用できます。

▷ 「Apple CarPlay<sup>®</sup>」(322ページ)を参照してください。

## **i** インフォメーション

外部機器 (携帯電話など) は、USB充電ケーブルを使用して車内で充電することができます。

### 外部機器をBluetooth<sup>®</sup>経由で接続する

1. (接続状態に応じて)フッターの  または  を選択してください。

または

**PHONE** ボタン ▶ **OPT** ▶ **Connections**

2. **Bluetooth audio ▶ Search for new device** を選択してください。

6桁のBluetooth<sup>®</sup>コードが生成され、PCMおよび携帯電話に表示されます。

3. PCM および携帯電話の Bluetooth<sup>®</sup> コードを確認し、一致していれば決定してください。機器の接続に成功すると、機器の概要に表示されます。

Bluetooth<sup>®</sup> 機器の管理に関するインフォメーション:

▷ 「Bluetooth<sup>®</sup>デバイスの削除、またはBluetooth<sup>®</sup>インフォメーションの表示」(188ページ)を参照してください。

## 全般的なシステム設定を変更する

1. **HOME** ボタン ▶ **Set**  ▶ **System**  
または

**CAR** ボタン ▶ **Set**  ▶ **System**


2. 希望のオプションを選択してください。

- **言語**: システム言語を選択してください。
- **ボイスコントロール**:
  - **ショートダイアログ**: ボイス・コントロールはショート・ボイス・コマンド・テキストを使用します。
  - **ヘルプテキスト**: アクティブ・ボイス・コントロールで可能なコマンドの表示
- **工場設定**
  - **工場設定**: すべての設定値が規定値にリセットされます。個人データは保持されます。
  - **車両の引き渡し**: すべての設定値が規定値にリセットされます。住所、目的地、電話番号など、すべての個人データが削除されます。
- **単位**
  - **速度**
  - **温度**
  - **圧力** (タイヤ空気圧)
  - **消費量**

### - 日付と時刻

- **オートタイム**: GPS信号で時刻、日付、サマータイムを同期します。
- **時刻**
- **日付**
- **自動タイムゾーン**: オートタイム・モードでは、タイムゾーンも自動的に設定されます。
- **タイムゾーン**
- **時刻表示形式**
- **日付表示形式**

## PCMディスプレイの設定を変更する

1. **HOME** ボタン ▶ **Set**  ▶ **PCM display**

または

**CAR** ボタン ▶ **Set**  ▶ **PCM display**

2. 希望のオプションを選択してください。

- **ディスプレイをOFFにする**: 次にタッチするまでタッチスクリーンがOFFになります。
- **ディスプレイの明るさ**
- **フッター**
  - **温度**: フッターに温度を表示する
  - **時刻**: フッターに時刻を表示する
- **近接センサー**: 近接センサーを有効/無効にする
- **タッチ操作音設定**: ディスプレイにタッチした時の操作音を有効/無効にする




## 音量および音質の変更


### 音量を調節する

ボリューム・スイッチA (246ページの図204を参照) を回すと、音量を調節できます。

### オーディオ・ソースのミュート


- ▶ ボリューム・スイッチA (246ページの図204を参照) を短く押してください。フッターにミュートのシンボル  が表示されます。運転アドバイス、電話の会話および交通情報は聞くことができます。
- ▶ ミュート機能を解除するには、ボリューム・スイッチA を再び短く押してください。

### 音質設定を変更する

1. **HOME** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET SOUND** ▶ **Sound** 
2. オプションを選択して、設定を変更してください。

- **Bass** : 低音域の調節
- **Treble** : 高音域の調節
- **Fader** : 前後スピーカーの音量調節
- **Balance** : 左右スピーカーの音量調節

### 音量設定を変更する

1. **HOME** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET SOUND** ▶ **Volume** 
2. 希望のオプションを選択してください。

- **ナビゲーション案内** : ナビゲーション案内の音量を設定
- **速度警告音量** : 車速に応じた音量調節
- **AUX** : AUXオーディオ再生用の音量を設定
- **Bluetooth audio** : Bluetooth®オーディオ再生用の音量を設定
- **マイク音量** : 通話中のマイク音量を調整
- **着信音量** : 着信音の音量を設定
- **電話中のナビゲーションをミュート** : 通話中はナビゲーションアナウンスを再生しない
- **タッチ操作音設定** : ディスプレイにタッチした時の操作音
- **メッセージの受信音** : テキスト・メッセージおよびEメール受信時のサウンドON/OFFを切り替える

### Burmester®音質設定を変更する

1. **HOME** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET SOUND**
2. **Burmester** を選択してください。
3. 希望のオプションを選択してください。

- **Pure** : 純粋で忠実な音響設定
- **Smooth** : リラックスした長時間のリスニングに適した音響設定
- **Surround** : 非常に開放感を感じる音響設定
- **Live** : ライブの臨場感を伴う広がりのある音響設定
- **Position** : 座席別の音質調整
- **Sound conditioner** : 音響を周囲の音量に合わせて適応させます。

### BOSE®音質設定を変更する

1. **HOME** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET SOUND**
2. **BOSE** を選択してください。
3. 希望のオプションを選択してください。

- **Surround** : 非常に開放感を感じる音響設定
- **Linear** : 低音重視の音質設定 (リニア OFF) からニュートラルでバランスのよい音質 (リニア ON) に変更
- **AudioPilot®** : この機能をONにすると、車内のノイズ・レベルをモニターし、その変化に合わせて最適なオーディオ再生を行います。

## ポルシェ車両追跡システム・プラス (PVTS プラス) \*

PVTSプラスは、車両が盗難された場合にコントロール・センターで車両の位置を特定することができるようにするSM/GPSベースの追跡システムです。これにより車両を発見することが可能となります。

PVTSプラスは、車両盗難時の警告を検出すると、直ちに当該車両の位置をコントロール・センターに送信します。

PVTSプラス\*には3つの異なる装備仕様があります：

- ドライバー・カード付きPVTSプラス：
- リモート・キーパッド付きPVTSプラス：
- ドライバー・カード/リモート・キーパッドなしのPVTSプラス\*

各国の車両保険および法律に応じて、PVTSプラスの装備仕様が異なります。車両に装備されているPVTSプラスの仕様についてご不明な点は、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

### **i** インフォメーション

スマートフォン・アプリのポルシェ・カー・コネクト装備車では、アプリを使用して直接ポルシェ車両追跡システム・プラス (PVTSプラス) 設定の一部を行なうことができます。

取り付けに関する詳細情報については、以下を参照してください。www.porsche.com/connect

## 付属品およびシステムの初回アクティベーション

PVTSプラスはポルシェ正規販売店にてテストを行っています。アクティベーションに関するご質問はポルシェ正規販売店までお問い合わせください。

システムのアクティベーション後、お近くのセキュリティ・オペレーティング・センター (SOC) およびサービス・プロバイダーの電話番号などの重要な情報が与えられます。

システムのアクティベーションに関する更に詳しい情報はwww.porsche.com/connectまたはポルシェ正規販売店から入手できます。

## 機能

車両の位置特定は、盗難にあった場合にのみ実施されます。盗難が発生した場合、登録した携帯電話にメッセージが送信されます。車両の位置は安全上の理由からテキスト・メッセージには記載されません。

- ▶ 車両の盗難が発生した際はコントロール・センターにご相談ください。盗難が発生したときは、最寄りの警察に届け出る必要があります。

以下の場合、警報が作動します：

- **車両の不正な移動**：イグニッションがOFFの状態でも車両が移動された場合ドライバー・カード/リモート・キーパッド装備車：ドライバー・カード/リモート・キーパッドがない状態で車両が移動された場合
- **妨害**：PVTSプラス\*が許可されていない何者かに使用された場合
- **侵入警報**：警報システムが作動し、警報が15秒間以上作動し続けます
- **イグニッション・ロック警報** (リモート・キーパッド付きPVTSプラス用)：イグニッションをONにした後、3分以上リモート・キーパッドにコードが入力されなかった場合
- **コード警報** (リモート・キーパッド付きPVTSプラス用)：間違ったコードをリモート・キーパッドに連続5回入力した場合

### **i** インフォメーション

- どのような場合でも必ず車両の盗難を検出できるわけではありません。
- PVTSプラス警報は、バッテリーが上がった場合にも起動します。

バッテリーに関するインフォメーション：

- ▶ 「バッテリー」(220ページ)を参照してください。

### **i** インフォメーション

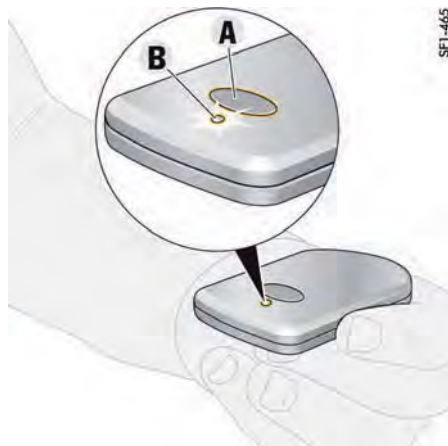
- 車両が盗難された場合、コントロール・センターは当該車両のエンジンを始動できないように操作することができます。
- スマートフォン・アプリ「ポルシェ・カー・コネクト」装備車では、盗難された際にアプリを使用しての車両へのアクセスを禁止できます。

## ドライバー・カード/リモート・キーパッドなしのPVTSプラスの操作

ポルシェ車両追跡システム・プラス (PVTSプラス)\*が通常作動していれば、お客様が操作を行う必要はありません。

## ドライバー・カードによるPVTS プラス\*の操作

作動中のドライバー・カードにより、PVTSプラスが自動的に作動を停止します。



SFI-465

図214: ドライバー・カードのボタンAおよびインジケータ・ライトB

### ドライバー・カードのスイッチON

▶ ドライバー・カードのボタンAを押してください。

インジケータ・ライトBが速く点滅します。ボタンAから手を離すと、LEDが約3秒間隔で点滅します。

使用中のドライバー・カードのインジケータ・ライトが3秒間隔で点滅しなくなった、またはドライバー・カードのボタンAを押したときに点滅しない場合は、電池が消耗しています。電池を交換してください。

電池交換に関するインフォメーション:

▶ 「ドライバー・カード/リモート・キーパッド用電池の交換」(257ページ)を参照してください。

\* 日本仕様には設定はありません。

### ドライバー・カードのスイッチOFF

- ▶ ドライバー・カードのボタンAを押し、LED Bが消灯するまで約8秒間押し続けてください。
- ▶ 電池の寿命を延ばすため、長期間使用しない場合はドライバー・カードの電源をOFFにしてください。

### i インフォメーション

航空便での輸送中は、ドライバー・カードを飛行機で適用されるガイドラインにしたがってOFFにしなければなりません。

### ドライバー・カードでPVTSプラス\*を作動する

▶ 車両から離れるときはイグニッションをOFFにし、ドライバー・カードを持って降りてください。

ドライバー・カードが車両から一定距離以上離れると、PVTSプラスが約70秒後に作動します。車両の盗難を検出します。

### ドライバー・カードでPVTSプラス\*を停止する

▶ 車両のセンター・コンソールにドライバー・カードを保管するか、または常に携帯してください。

作動中のドライバー・カードが車内、または車両のすぐ近くにある場合、PVTSプラスは停止します。

### i インフォメーション

- ドライバー・カードをラゲッジ・コンパートメント、エンジン・コンパートメント内に置いたり、コインなどの金属の近くに置かないでください。
- 盗難されたキーを使用して車両が盗難にあうことがあります。キーにドライバー・カードを取り付けしないでください。

### i インフォメーション

PVTSプラスは、1車両につき最大7個のドライバー・カードを検出できます。ドライバー・カードの追加、消去、または交換を希望される場合は、ボルシェ正規販売店にご相談ください。車両には作動中のドライバー・カードを1枚のみ置いてください。

### ドライバー・カードの不具合

特別な状況下では(電波干渉を受けるなど)、ドライバー・カードが検出できないことがあります。マルチファンクション・ディスプレイに警告が表示されます。

▶ ドライバー・カードのボタンAを押して、ドライバーの検出を開始してください。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション:

▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(86ページ)を参照してください。

### ドライバー・カードの緊急停止

▶ ドライバー・カードを使用してPVTSプラスが停止できない場合(ドライバー・カードの電池が消耗している、またはドライバー・カードを紛失した場合など)は、コントロール・センターでシステムの停止を行ってもらうてください。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

## リモート・キーパッドによる PVTS プラス\* の操作

PVTS プラスを停止するためにはリモート・キーパッドの数字キーを使用してコードを入力しなければなりません。PVTS プラスが作動するとすぐに、メッセージによりコードを受信します。

SEP-463

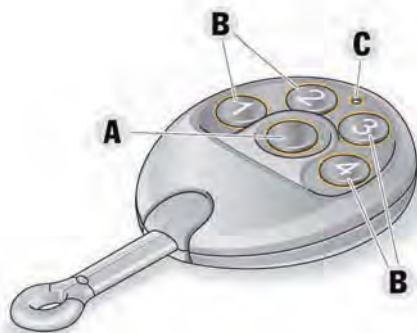


図215: PVTS プラス・リモート・キーパッド

- A プログラミング・ボタン
- B コード入力用数字キー
- C インジケーター・ライト

### リモート・キーパッドでPVTS プラス\* を作動する

- ▶ 車両から離れるときはイグニッションを OFF にし、リモート・キーパッドを持って降車してください。  
PVTS プラスは約3分後に作動します。  
車両の盗難を検出します。

### リモート・キーパッドでPVTS プラス\* を停止する

1. ボタンAを押してください。  
リモート・キーパッドのインジケーター・ライトCが点滅し始めます。
2. キーパッドの数字キー B を使用してコードを入力し、ボタンAを押して、決定してください。  
インジケーター・ライトが消灯します。PVTS プラスが停止します。

コードを入力してもシステムが停止しない場合、もう一度やり直してください。5回入力に失敗すると、警報がコントロール・センターに送信されます。

イグニッションをONにして3分以内にPVTS プラスを停止しなかった場合、警報がコントロール・センターに送信されます。コントロール・センターはお客様に電話で連絡します。

### マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ

イグニッションONの後1分以内に正しいコードが入力されなかった場合、マルチファンクション・ディスプレイに警告が表示されます。正しいコードが入力されていない状態にある場合、1分後に再度警告メッセージが表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション:

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(86ページ)を参照してください。

### i インフォメーション

- コードを変更しなければならない場合 (コードを忘れた、または不正な人がコードにアクセスしようとしたなど)、サービス・プロバイダーにお問い合わせください。新しいコードがテキスト・メッセージで登録した携帯電話に送信されます。
- PVTS プラスは1車両につき最大7個のリモート・キーパッドを検出できます。リモート・キーパッドの追加、消去、または交換を希望される場合は、ポルシェ正規販売店にご相談ください。

### リモート・キーパッドの緊急停止

- ▶ リモート・キーパッドを使用してPVTS プラスが停止できない場合 (リモート・キーパッドの電池が消耗している、またはリモート・キーパッドを紛失した場合など) は、コントロール・センターでシステムの停止を行ってもらってください。

### 輸送

イグニッションをOFFにして車両を輸送する場合 (フェリーなど)、トランスポート・モードを作動させてください。

車両をトランスポート・モードを作動させて車両を輸送しなかった場合、警報システムの誤作動の原因となり、それに対する支払いが発生します (更に詳しい情報は [www.porsche.com/connect](http://www.porsche.com/connect) から入手できます)。

### トランスポート・モードの作動/停止

- ▶ 車両の輸送前および車両の輸送が完了した時にコントロール・センターにご連絡ください。

## サービス

PVTS プラスは以下の状況で車両サービス・モードに設定してください：

- 既定のカスタマー・サービス（定期点検など）の実施時
  - バッテリーの接続を外している場合
- 車両のサービス点検中に、車両をサービス・モードにしていなかった場合、警報システムが誤作動することがあり、警報システムが誤作動したときは、支払い義務が発生します（更に詳しい情報はwww.porsche.com/connectから入手できます）。

## 車両サービス・モードの作動/停止

- ▶ 車両の修理実施前後にコントロール・センターにご連絡ください。
- ▶ サービス点検時は、ポルシェ正規販売店にPVTSプラスが装備されていることをお知らせください。

更に：

- ▶ ドライバー・カード付きPVTSプラス：PVTSプラスを停止するため、サービス点検時はドライバー・カードを車両に残してください。
- ▶ リモート・キーパッド付きPVTSプラス：サービス点検時は、リモート・キーパッドをポルシェ正規販売店にお渡しください。コードを知らせる必要はありません。

## **i** インフォメーション

サービス点検後、ドライバー・カード/リモート・キーパッドが返却されたことを確認してください。

## ドライバー・カード/リモート・キーパッド用電池の交換



図216: ドライバー・カード用電池の交換

ドライバー・カード/リモート・キーパッドの電池が消耗した場合は、登録した携帯電話に自動的にテキスト・メッセージが送信されます。マルチファンクション・ディスプレイに該当するメッセージが表示されます。

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（86ページ）を参照してください。

## ドライバー・カード用電池の交換

1. ドライバー・カードをOFFにし、適切な道具（ドライバーなど）を使用して慎重に開いてください。  
▶ 「ドライバー・カードのスイッチOFF」（255ページ）を参照してください。
2. 電池を交換してください（電極の向きに注意してください）。
3. ドライバー・カードを組み立てて、確実にはめ合わせてください。

## リモート・キーパッド用電池の交換

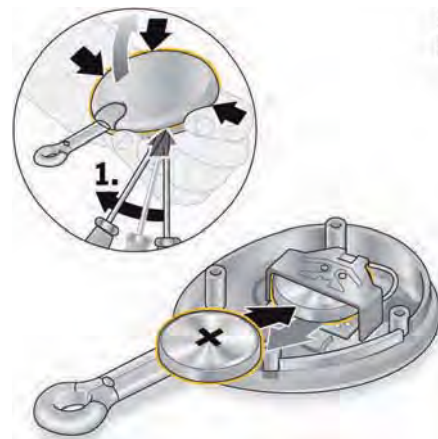


図217: リモート・キーパッド用電池の交換

1. 適切な道具（ドライバーなど）を使用してリモート・キーパッドを慎重に開いてください。
2. 電池を交換してください（電極の向きに注意してください）。
3. リモート・キーパッドを組み立てて、確実にはめ合わせてください。

## 規格との適合（欧州圏における）

ポルシェ車両追跡システム・プラス (PVTSプラス) \*は、現在の欧州規格に準拠しており、関連するEU指令に従って操作することができます。この装置は最新の電磁波規制に適合しています。この装置の他の電気機器への電波干渉および他の電気機器からこの装置への電波干渉はほぼ完全に回避されています。

\* 日本仕様に設定はありません。



あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

### ドライバー・カード/リモート・キーパッド

Vodafone Automotive SpAは、装置2781および8015が使用上の義務であるECガイドラインの基本要件に適合しており、特に「R&TTE理事会指令1999/5/EC」に規定される基本要件とその他の関連規約に適合していることを承認します。装置にはCE 0678マークが付いています。

### テレマチック・ユニット

Vodafone Automotive SpAは、装置ICD45 (2145)は使用上の義務であるEC指令の基本的要件に適合しており、特に「R&TTE理事会指令1999/5/ECおよびECER10」の基本要件に適合していることを承認します。関連法規にしたがって、装置にはE24 10R-04 1146 CE 0678マークが付いています。

### GSM認可国 (抜粋)

アルバニア、アンドラ、オーストリア、ベルギー、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ブルガリア、カナダ、中国、クロアチア、チェコ共和国、キプロス、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ジョージア、ドイツ、英国、ギリシャ、ガーンジー、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、マン島、イタリア、ジャージー、ラトビア、リトアニア、ルクセンブルク、マケドニア、マルタ、モルドバ、モナコ、モンテネグロ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、レユニオン、ルーマニア、ロシア、セルビア、スロバキア、スロベニア、スウェーデン、スイス、スペイン、トルコ、米国

PVTSの使用に関する詳細情報は  
[www.porsche.com/connect](http://www.porsche.com/connect)から入手できます。

**CE 0678**

## ボルシェ・スタビリティ・マネージメント (PSM)

PSMは、過酷な走行条件下で車体を安定させるためのアクティブ・コントロール・システムです。エンジンが始動すると自動的に有効になります。PSMは、アンチロック・ブレーキ・システム (ABS) とエンジン・ドラッグ・トルク・コントロール・システム (MSR) の機能と同様にオートマチック・ブレーキ・ディファレンシャル (ABD) とアンチスリップ・コントロール (ASR) システムの両方を利用します。



**警告**

車両コントロールの喪失

PSMを過信せず、路面状況、天候条件、交通状況に応じた責任ある運転を心がけてください。走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。PSMが装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。

PSMは危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

以下の条件でPSMコントロールの作動を知ることができます。

- インstrument・パネルのPSM警告灯が点滅します。
- 油圧作動音が聞こえます。
- PSMがブレーキを制御することで、減速の度合いやステアリング操作力が変化します。
- エンジン出力が低下します。
- ブレーキ・ペダルが振動し、ペダルの位置が変化します。

最大の制動力を得るため、ブレーキ・ペダルに振動を感じたら更に強く踏み込んでください。

### オートマチック・ブレーキ・ディファレンシャル (ABD)

いずれかのアクスルで一方のホイールが空転し始めると、そのホイールにブレーキをかけて、反対側のホイールの駆動力を確保します。

### アンチ・スリップ・コントロール (ASR)

アンチ・スリップ・コントロールがエンジン出力を制御することで、ホイールのスリップを防ぎ、直進安定性やハンドリング性能が維持されます。

### エンジン・ドラッグ・トルク・コントロール (MSR)

オーバーラン時、ホイールのスリップが激しい場合、エンジン・ドラッグ・トルク・コントロールが駆動輪のロックアップを防ぎます。滑りやすい路面でシフトダウンした場合も同様です。

### ステアリング・トルク・パルス

ステアリング・トルク・パルスは摩擦値が異なる路面でブレーキをかけた場合に運転者のステアリング・アシストを行います。カウンター・ステアリング中も操舵力を追加して運転者を支援します。

## PSMスポーツの作動

✓ スポーツ・クロノ・パッケージ装備車  
PSMスポーツが作動すると、システが特定のスポーツ・モードに切り替わります。



**警告**

PSM サポート制限

PSMスポーツ・モードの場合、ABS制御の範囲外になるような過酷な走行状況ではPSMサポートが制限されます。

▶ 「通常」走行では常にPSMスポーツをOFFにすることをお勧めします。

- ▶ 緑ボタンを短く押してください。ボタンのインジケーター・ライトとインストルメント・パネルのPSM OFF警告灯が点灯します。マルチファンクション・ディスプレイにPSMスポーツが作動していることを示す警告が表示されます。

## PSMをOFFにする



図218: センター・コンソールのPSM OFFボタン



**警告**

PSM アシストの停止

PSMをOFFにすると、ABS制御の範囲外になるような過酷な走行状況でPSMサポートが行われません。

▶ 「通常」走行では常にPSMをONにすることを推奨いたします。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

- ▶ ボタンを短く押してください (スポーツ・クロノ・パッケージ装備車: ボタンを2秒以上押してください)。ボタンを押してから実際にPSMがOFFになるまでには、若干の遅れがあります。ボタンのインジケーター・ライトとインストルメント・パネルのPSM OFF警告灯が点灯します。マルチファンクション・ディスプレイにPSMがOFFに切り替わったことを示す警告が表示されます。

**i** インフォメーション

ABSコントロール範囲内でブレーキをかけた場合、PSMがOFFの状態でも車両は安定性を維持します。片方の駆動輪が空転すると、PSMをOFFにしても空転を抑制します。

- ただし次の場合は、例外として一時的にPSMをOFFにすることが有効です:
- ぬかるんだ路面、または積雪が多い場合
  - スタックした車両を脱出させる場合

**PSMを再度ONにする**

- ▶ ボタンを押してください。直ちにPSMが復帰します。ボタンのインジケーター・ライトとインストルメント・パネルのPSM OFF警告灯が消灯します。マルチファンクション・ディスプレイにPSMがONに切り替わったことを示すメッセージが表示されます。

**警告シンボルへの対応**

- PSM警告灯に関するインフォメーション: ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(86ページ)を参照してください。

**ABSブレーキ・システム (アンチロック・ブレーキ・システム)**

**▲ 警告** 車両コントロールの喪失

ABSを過信せず、路面状況、天候条件、交通状況に応じた責任ある運転を心がけてください。走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。ABSが装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。

ABSは危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

ABSの特徴:

- ステアリングの操作性の確保: 安定したステアリング・コントロール性能を維持します。
- 優れた走行安定性: ホイール・ロックによるスリップを回避します。
- 制動距離の短縮: ほとんどの状況で、ブレーキをかけたときの制動距離が短くなります。
- ホイール・ロックの回避: タイヤのフラット・スポットを回避できます。

**機能**

ABSは緊急回避が必要な状況で最も効果を発揮し、走行安定性とステアリング・コントロール性を維持します。

ABSは、あらゆる路面状況下での急ブレーキ時、車両が停止する直前までホイール・ロックを回避します。

ホイールのロック点付近でブレーキをかけたときにABSは作動し始めます。

このブレーキ・コントロールは、非常に小刻みなポンピング・ブレーキをかけるのと似た状態です。

ブレーキ・ペダルの脈動やノイズは、ドライバーが道路状況に対してスピードを調整する警告の役目をします。

最大制動力が必要な場合:

- ▶ 急ブレーキ操作が必要な場面では、ブレーキ・ペダルが振動してもしっかりとブレーキ・ペダルを踏み続けてください。ペダルを踏みむ力をゆるめないでください。

**警告シンボルへの対応**

- ABS警告灯に関するインフォメーション: ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(86ページ)を参照してください。

**マルチコリジョン・ブレーキング**

マルチコリジョン・ブレーキングは、事故が起こった際に自動的にブレーキをかけ、衝突後の車両の横滑りや多重事故のリスクを軽減し、ドライバーを補助します。

**前提条件**

マルチコリジョン・ブレーキングは以下の場合にのみ作動します:

- 車両の前方、横方向および後ろからの衝突時
- エアバッグ・コントロール・ユニットが事故の際に作動しきい値を検出したとき
- 車速約 10km/h 以上で走行しているときに事故に遭ったとき

**i** インフォメーション

事故後にPSMや電気系統に損傷がなく、作動可能な場合、PSMが自動的に油圧ブレーキを作動させます。

## 例外

以下の状況では事故の際に自動的にブレーキが作動しません：

- ドライバーが急激にアクセル・ペダルを踏んだとき
- ドライバーがブレーキ・ペダルを踏み込んだときのブレーキ圧がシステムのブレーキ圧より高いとき

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## マルチファンクション・ディスプレイ

この取扱説明書は機能の一部のみを紹介しています。ここではメニューの構成や、主な機能を例示し、操作方法をわかりやすく説明します。

### ▲ 警告

走行時の設定と操作

運転中にマルチファンクション・ディスプレイ、マルチファンクション・ステアリング・ホイール、ラジオ、ナビゲーション・システム、電話などの機器の操作、設定を行うと、注意力が散漫になることがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限って運転中の操作を行ってください。
- ▶ 複雑な操作、設定は必ず車両を停止してから行ってください。



図219: マルチファンクション・ディスプレイの位置

### i インフォメーション

マルチファンクション・ディスプレイはイグニッションがONのときのみ操作できます。

## マルチファンクション・ステアリング・ホイールを使用しないマルチファンクション・ディスプレイの操作

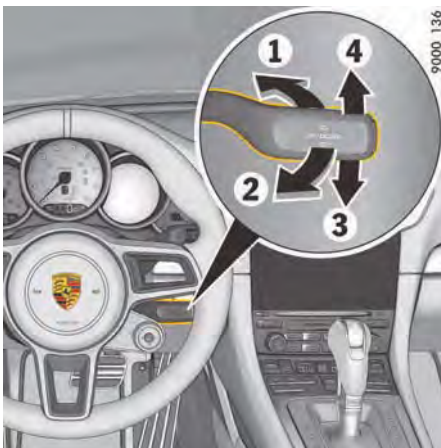


図220: ステアリング・コラム・レバーの機能

### メニューおよび機能/オプションを選択する (スクロール)

- ▶ レバーを下方向3、または上方向4に押ししてください。

### 選択の決定 (Enter)

- ▶ レバーを前方1に押ししてください。

### 1つ前、または複数前のメニューに戻る

- ▶ レバーをステアリング・ホイールの方向2へ1回、または数回引いてください。

### 電話およびラジオ一覧から希望する項目の冒頭までスキップする

- ▶ レバーを下方向3、または上方向4に押し続けてください。  
頭文字を選択する画面が表示されます。
- ▶ 任意の頭文字を選択してください。  
選択した頭文字ではじまる登録情報の、最初の項目にスキップします。

## マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作



図221: マルチファンクション・ステアリング・ホイールのファンクション・ボタン



**i** インフォメーション

マルチファンクション・ステアリング・ホイールの操作では、ポルシェ・コミュニケーション・システム\*をON/OFFできません。

## 音量を上げる/下げる

- ▶ ボリューム・スイッチAを上方向または下方向に回してください。

## ミュート機能のON/OFFを切り替える

- ▶ ボリューム・スイッチAを押してください。

## メニューおよび機能/オプションを選択する(スクロール)

- ▶ ロータリー・ノブFを上方向または下方向に回してください。

## 電話およびラジオ一覧から希望する項目の冒頭までスキップする

- ▶ ロータリー・ノブFを上方向または下方向に素早く回してください。  
頭文字を選択する画面が表示されます。
- ▶ 任意の冒頭文字を選択してください。  
選択した頭文字ではじまる登録情報の、最初の項目にスキップします。

## 選択の決定 (Enter)

- ▶ ロータリー・ノブFを押してください。

## 保存された機能を有効にする

- ▶ ◀ボタンBを押してください。  
ボタンは個別に割り当てることができます。初期設定ではオーディオ・ソースの選択に設定されています。
- ボタンの個別設定に関するインフォメーション:
- ▶ 「マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールのボタンの割り当て変更」(276ページ)を参照してください。

\* 日本仕様に設定はありません。

## 1つ前、または複数前のメニューに戻る

- ▶ バック・ボタンEを押してください。

## 着信を受ける

- ▶ ハンドセット・ピックアップ・ボタンCを押してください。

## 通話を終了するまたは着信を拒否する

- ▶ ハンドセット・ハンガアップ・ボタンDを押してください。

## マルチファンクション・ディスプレイの表示エリア



図222: マルチファンクション・ディスプレイの表示エリア

## A/D - 上部/下部ステータス・エリア

上部/下部ステータス・エリアには、コンパス、時刻、温度などの基本情報が表示されます。ステータス・エリア表示は個別の設定ができます。

- ▶ 「マルチファンクション・ディスプレイの表示を変更する」(272ページ)を参照してください。

## B - タイトル・エリア/メニュー・インジケーター

タイトル・エリアには、現在選択しているメニュー項目が表示されます。右側のメニュー・インジケーター(灰色のバー)には、選択可能な全メニューにおける現在のメニュー項目の位置および、選択できるメニュー項目の数が表示されます。メニュー・インジケーターの幅が広いほど、選択できるメニュー項目の数が少ないことを意味します。

## C - インフォメーション・エリア

インフォメーション・エリアには、現在選択できるメニュー項目が表示されます。メニュー項目を選択した後は、そのメニュー項目に関する情報や、その他の選択肢が表示されます。

## オプションの選択および機能の有効化

各オプションの項目名の前に付いているシンボル・マークは、その項目が選択されているか、またはその機能が有効になっているかを示します。

## 複数のオプションから1つを選択する

- 選択されたオプション
- 選択されていないオプション

## 機能の作動/停止

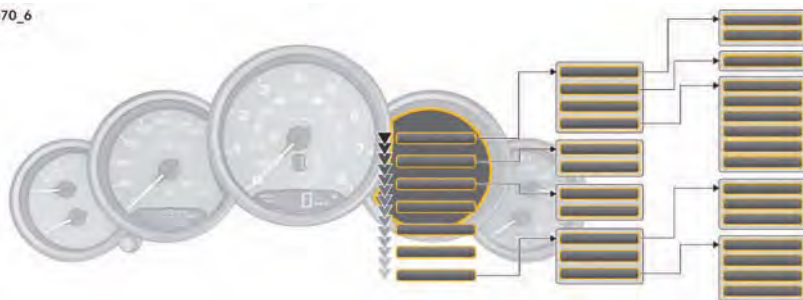
- 機能が作動している
- 機能が停止している

## メニュー概要

マルチファンクション・ディスプレイでは、車両の装備に応じてオーディオ（ラジオ、CD、iPod®など）、オイル・レベル、タイヤ空気圧、ストップウォッチ、ナビゲーション・システムといった車両情報を確認することができます。また、様々な車両設定を変更することができます。

タイヤ空気圧モニタリング・システム（TPM）の設定など一部のメニューは停車中のみ利用できます。

9070\_6



メニュー	何を行なうか	ページ
▶ 車両 ▶ 情報	車両情報の確認（メッセージ、サービス間隔、平均燃費、シャーシ設定）	265
▶ 車両 ▶ オイル測定	エンジン・オイル・レベルの測定と表示	265
▶ 車両 ▶ 制限	速度制限の設定	266
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 表示	マルチファンクション・ディスプレイの表示を変更する	272
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 日付 & 時刻	日付と時刻の調整	274
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ アシストシステム	アシスタンス・システムの調整	274
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ パーソナル	走行モードの個別設定	275
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ライト & ビュー	エクステリア・ライト、インテリア・ライト、後退時のディスプレイ補助、およびフロント・ワイパー設定の調整	275
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ハンドル操作 ▶ ◊ button (◊ボタン)	マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールの◊ボタンを割り当てる	276
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ロック	ロック解除/ロックの設定	277
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ エアコン	エアコンの設定	278
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 音量	警告/インフォメーション音量を設定する	277
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ Car Connect	車両とボルシェ・カー・コネクト・アプリ間の通信を停止する	278
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 単位	車両ディスプレイ用測定単位の調整	278
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 言語	表示テキスト言語の設定	279
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ リセット	工場出荷時の設定に戻す	279

メニュー	何を行なうか	ページ
▶ オーディオ	有効なオーディオ・ソースから放送局またはトラックを選択する	299/286
▶ 電話	電話を使用する	190
▶ 地図	地図画面を表示/調整する	211
▶ ナビゲーション	ナビゲーション・システムを使用する	208
▶ トリップ	走行データを表示/リセットする	196
▶ タイヤ圧力	タイヤ空気圧を表示してタイヤ設定を調整する	267
▶ 4WD	4輪駆動情報を確認する	270
▶ クロノ	ストップウォッチで時間を計る	134
▶ シフトアシスト	ギヤシフト・アシストを使用する	270
▶ G-Force	縦加速度および横加速度を表示する	271
▶ ACC	アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) を調整して表示する	34
▶ 速度制限	制限速度の表示	147

## 車両メニュー

### メッセージの表示

#### ▶ 車両 ▶ 情報 ▶ メッセージ

未解決の警告または車両メッセージが表示されます。

下部のステータス・エリアに表示される警告シンボル・マークは、未解決の警告メッセージの数を示しています。

複数の警告メッセージが未解決の場合、メッセージ・リストで閲覧できます。

### サービス・インターバルの表示

次のサービス（点検）時期が表示されます。

#### 1. 車両 ▶ 情報 ▶ サービス間隔

2. 任意のサービス・インターバルを選択してください。

### エンジン・オイル・レベルの測定と表示

#### 知識

オイル・レベルが下限マークより下にある場合、エンジンが適切に潤滑されません。これによりエンジンが損傷するおそれがあります。

- ▶ オイル・レベルを定期的に点検してください。
- ▶ オイル・レベルが下限マークを下回らないように注意してください。

### エンジン・オイル・レベルの表示

#### インフォメーション

特定の状況下では、オイル・レベルが表示されないことがあります。以下の場合に発生します：

- エンジン冷間時
  - フルスロットで高速走行後の停車時
  - エンジン油温が高すぎる場合
- マルチファンクション・ディスプレイに該当するメッセージが表示されます。

- ✓ 車両を平坦な場所に駐車する
- ✓ エンジンが作動温度に達した状態で、1分以上停止する

## ▶ 車両 ▶ オイル測定

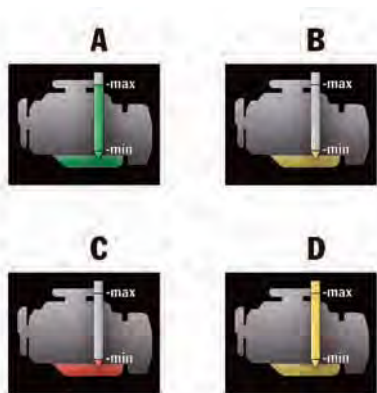


図223: オイル・レベル・ゲージ

- A オイル・レベルは適正・上限に達している
- B 最低オイル・レベルに達している
- C オイル・レベルが下限を下回っている
- D オイル・レベルが上限を超えている

表示が緑色Aの場合、オイル・レベルは適正です。最下部が黄色Bで表示されている場合、オイル・レベルが下限まで低下しています。オイル・レベルが低下していることを知らせるメッセージが表示されます。

- ▶ 次の機会にマルチファンクション・ディスプレイに表示されているエンジン・オイルの量を補充してください。
- ▶ 表示された補充量以上のエンジン・オイルを補充しないでください。下限マークと上限マークの差は約1.3リットルです。

最下部が赤色Cで表示されている場合は、オイル・レベルが下限を下回っています。オイル・レベルが低過ぎることを知らせるメッセージが表示されます。

- ▶ 運転を続けなくてください。
- ▶ マルチファンクション・ディスプレイに表示されているエンジン・オイルの量を直ちに補充してください。
- ▶ 表示された補充量以上のエンジン・オイルを補充しないでください。下限マークと上限マークの差は約1.3リットルです。

最上部Dまで黄色で表示されている場合、エンジン・オイルが容量の上限を超えて補充されていることを示しています。これによって車両が損傷するおそれがあります。

エンジン・オイルの補充量が多すぎたときは、オイルレベルが上限を超えていることを知らせるメッセージが表示されます。

次の機会にオイル・レベルを適正に戻してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## エンジン・オイルの補充

- ▶ 「エンジン・オイルの選択と補充」(59ページ)を参照してください。

## 故障

オイル・レベル測定が失敗した場合、オイル測定機能に不具合があることを知らせるメッセージが表示されます。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## 制限速度の設定

制限速度を設定して機能を作動させると、その速度を超えたときに警告シンボルが表示されます。

例えば、装着しているタイヤの許容最高速度に合わせて制限速度を設定するなど、運転者に注意を喚起したいときに利用できます。

### 1. 車両 ▶ 制限 ▶ 制限 1 または 制限 2

### 2. 任意の制限を選択してください。

- **現在の速度**: 現在の速度を設定してください。
- **手動**: 任意の速度値を設定してください。
- **作動**:
  - 制限速度作動中
  - 制限速度無効

## 車両設定の調節

- ▶ 「マルチファンクション・ディスプレイを使用した車両設定」(272ページ)を参照してください。

## オーディオ・メニュー

- ▶ 「マルチファンクション・ディスプレイを使用して放送局を選択する」(299ページ)を参照してください。
- ▶ 「マルチファンクション・ディスプレイを使用して、有効なオーディオ・ソースからトラックを選択する」(286ページ)を参照してください。

## 電話メニュー

- ▶ 「マルチファンクション・ディスプレイで電話を使用する」(190ページ)を参照してください。

## 地図メニュー

- ▶ 「マルチファンクション・ディスプレイによるマップ・ビューの表示および設定」(211ページ)を参照してください。

## ナビゲーション・メニュー

- ▶ 「マルチファンクション・ディスプレイでの目的地の入力」(208ページ)を参照してください。
- ▶ 「マルチファンクション・ディスプレイによるルート案内の開始および停止」(208ページ)を参照してください。

## トリップ・メニュー

- ▶ 「マルチファンクション・ディスプレイにドライビング・データを表示する」(196ページ)を参照してください。

## タイヤ空気圧メニュー - タイヤ空気圧モニタリング (TPM)

タイヤ空気圧モニタリング・システムには次の機能があります：

- タイヤ空気圧および温度を常時監視します。
- 走行中の実際のタイヤ空気圧 (実圧力) を表示します。
- 空気圧の低下を2段階 (黄色/赤色) で警告します。
- 停車中に：規定空気圧との差、選択されたタイヤ種類、積載状態およびコンフォート・プレッシャーを表示します。

### ▲ 警告

不適切なタイヤ空気圧

タイヤ空気圧が低いまたは高いと、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷を与えるだけでなく、制動距離が長くなり、事故を起こす危険が大幅に高まります。

タイヤ空気圧モニタリング・システムの有無にかかわらず、タイヤ空気圧を適切に維持し、タイヤ空気圧メニューを適切に設定することは運転者の責務です。

- ▶ ご使用のタイヤの種類および積載重量に適したタイヤ空気圧に調整してください。
- ▶ 「タイヤ空気圧」(338ページ)を参照してください。
- ▶ マルチファンクション・ディスプレイのタイヤ空気圧メニューの設定が、車両に装着されているタイヤおよび積載重量と一致していることを確認してください。タイヤを交換したときや、積載荷重が変化したときは、タイヤ空気圧メニューの設定を更新してください。
- ▶ タイヤ/ホイールを交換したときは、新しく装着したタイヤ/ホイールの種類とサイズが従来と同一であっても、マルチファンクション・ディスプレイで改めて選択しなければなりません。
- ▶ マルチファンクション・ディスプレイへの入力情報が不足していたり、タイヤの選択を誤ると、警告とメッセージ表示の正確さに悪影響を及ぼします。

### ▲ 警告

不適切なタイヤ空気圧

- ▶ マルチファンクション・ディスプレイに赤色のタイヤ空気圧警告が表示された場合は、速やかに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。必要に応じてパンク修理剤で応急処置を行ってください。
- ▶ 「パンクしたとき」(223ページ)を参照してください。

- ▶ 損傷したタイヤを装着したままでも運転を続け**ない**でください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 空気圧を調整しても短時間で空気が抜ける場合、そのタイヤでの運転を続け**ない**でください。ポルシェ正規販売店で点検を受けてください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。




### インフォメーション

タイヤ空気圧モニタリング・システムは、自然放散による空気圧低下や、タイヤに異物が刺さったときなどの空気圧のゆっくりとした低下を検出して警告します。突発的な外的要因によるタイヤのパンクなど、急激な空気圧の低下は検出できず、警告しません。

### タイヤ空気圧モニタリング・システムの故障

故障が発生すると、タイヤ空気圧モニタリング・システムはタイヤ空気圧の監視を行うことができません。



インストルメント・パネルのタイヤ空気圧警告灯  が点灯し、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

以下の場合は監視が不完全になる場合があります：

- タイヤ空気圧モニタリング・システムが故障している場合
- タイヤ空気圧モニタリング・システム用のホイール・トランスミッターが取り付けられていない場合
- タイヤの設定を更新した直後の登録プロセス中
- ホイールを交換した後、設定を更新しなかった場合
- タイヤの温度が高すぎる場合
- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(86ページ)を参照してください。
- ▶ 「警告灯および表示灯」(47ページ)を参照してください。

## タイヤ空気圧の確認

### **i** インフォメーション

イグニッションをONにした後、車両の速度が約25km/hを超えたときのみタイヤ空気圧が「登録」されて表示されます。空気圧を表示するまではダッシュ記号「-」を表示します。イグニッションをOFFにして再度ONにした場合、または車両を約10分以上停止した場合、タイヤ空気圧は表示されなくなります。タイヤに0.1bar以上の空気を補充した場合、該当するタイヤ空気圧が更新されて表示されます。



図224: タイヤ空気圧表示

▶ **タイヤ圧力メニューを選択してください。**

この空気圧表示は、情報としてのみ利用してください。タイヤ空気圧は温度によって変化します。

▶ いかなる場合も、この表示を元にタイヤ空気圧を調整しないでください。

## 圧力差の確認



図225: 圧力差の例

✓ 車両が停止している

▶ **タイヤ空気圧 ▶ 圧力差**

該当するホイールの規定圧との差が表示されます。

例：右リヤ・ホイールの位置に「-0.1bar」と表示された場合は、このタイヤに0.1barの空気を補充してください。

表示されている空気圧は、タイヤ温度を考慮した結果の数値です。

▶ タイヤ空気圧を補正するときは、充填情報ディスプレイまたは該当するタイヤ空気圧警告に表示される圧力差を必ず使用してください。

タイヤをまだ登録していない場合、現在の圧力差の代わりに、新しい規定空気圧が表示されます。

- ▶ 「タイヤ空気圧モニタリング・システムの登録」(269ページ)を参照してください。

## タイヤ種類の選択 (装着タイヤの種類とサイズ)

### **i** インフォメーション

利用できる項目は、車両のモデル・タイプにより異なります。このため本書で説明している選択項目の中には、マルチファンクション・ディスプレイで利用できないものが含まれることがあります。

- ▶ マルチファンクション・ディスプレイに登録されていないサイズのタイヤを装着するときは、そのタイヤを装着する前に、マルチファンクション・ディスプレイに不足情報を追加する必要があります。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ポルシェ社が承認したタイヤのみを使用してください。

✓ 車両が停止している

#### ▶ タイヤ空気圧 ▶ タイヤ種類

選択できる設定と略語：

- 19" サマー：19" (S)
- 19" ウィンター：19" (W)
- 20" サマー：20" (S)
- 20" ウィンター：20" (W)

タイヤ空気圧メイン・メニューのタイヤ種類の行に選択された設定の略語が表示されます。

## 全積載または部分積載の選択

✓ 車両が停止している

#### ▶ タイヤ空気圧 ▶ 全積載

- **全積載**：全積載が選択されます。
- **全積載**：部分積載が選択されます。
- ▶ 選択した荷重タイプに応じてタイヤ空気圧を調整してください。
- ▶ 「圧力差の確認」(268ページ)を参照してください。

### **i** インフォメーション

全積載が表示されない場合は、荷重タイプに応じてタイヤ空気圧の調整が必要ないことを意味します。

## コンフォートまたは標準プレッシャーの選択

✓ 車両が停止している

#### ▶ タイヤ空気圧 ▶ Comfort pressure (コンフォート・プレッシャー)

- **コンフォート**：コンフォート・プレッシャーが選択されます。
- **コンフォート**：標準プレッシャーが選択されます。

### **i** インフォメーション

タイヤ空気圧は乗り心地の快適性を向上させるために減圧することができます。「コンフォート」を選択した場合、空気圧モニタリング・システムは空気圧をモニターして自動的に低いプレッシャー値を使用します。

- ▶ コンフォート・プレッシャーまたは標準プレッシャーにタイヤ空気圧を調整してください。
- ▶ 「圧力差の確認」(268ページ)を参照してください。
- ▶ 「270 km/hの速度までに適用するコンフォート・タイヤ空気圧」(340ページ)を参照してください。

## コンフォート・プレッシャー車速警告

設定したコンフォート・プレッシャーの制限速度を超えたり、タイヤ空気圧が危険限界を下回ると、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます。

### **▲** 警告

コンフォート・プレッシャーでの制限速度を超過して走行する

コンフォート・プレッシャーでの制限速度を超過して走行するとタイヤおよびホイールの損傷につながります。

- ▶ 表示された最大速度まで車速を落としてください。
- ▶ 高速走行するときは、タイヤ空気圧を標準タイヤ空気圧まで充填してください。
- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(86ページ)を参照してください。

## タイヤ空気圧モニタリング・システムの登録

タイヤ/ホイールを交換、ホイール・トランスミッターを交換、またはタイヤの設定を更新すると、タイヤ空気圧モニタリング・システムがタイヤの登録を開始します。このプロセスによって、タイヤ空気圧モニタリング・システムが各タイヤとその装着位置を認識します。タイヤ空気圧モニタリング・システムが各タイヤの装着位置を割り当てると、直ちにタイヤの位置と空気圧情報が表示されます。

登録中に冷間時のタイヤ (20℃) の規定圧力が充填情報に表示され、メッセージ「No monitoring, system learns over 25 km/h (モニターシステムは25km/h以上でないと学習しません)」がマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。すべてのタイヤの登録が完了するまで、インストルメント・パネルのタイヤ空気圧警告灯 (⚠) が点灯したままになります。

▶ 「警告灯および表示灯」(47ページ) を参照してください。

## タイヤ空気圧警告

インストルメント・パネルのタイヤ空気圧警告灯 (⚠)、およびマルチファンクション・ディスプレイの警告メッセージは、空気圧低下の程度に応じて2段階 (黄色/赤色) で異常を知らせます。

### **i** インフォメーション

タイヤ空気圧を適正值に調整すると、タイヤ空気圧警告灯が消灯します。

車両を停止してイグニッションをOFFにする、または再びイグニッションをONにすると黄色のタイヤ空気圧警告が約10秒間表示されます。イグニッションをONにすると黄色のタイヤ空気圧警告を確認できます。赤色の空気圧警告は走行中でも表示され、異常を知ることができます。

▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(86ページ) を参照してください。

## 4WDメニュー・ポルシェ・トラクション・マネージメント (PTM)

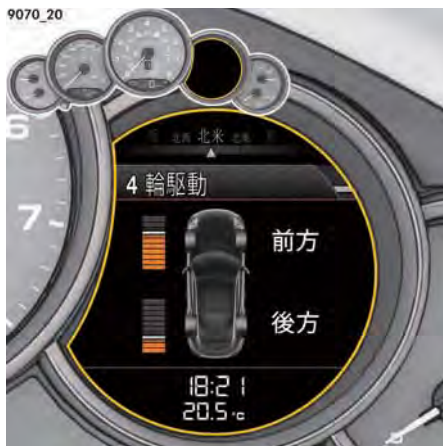


図226: トルク配分の例

▶ **4WDメニュー**を選択してください。

現在のトルク配分が棒グラフ形式で表示されます。橙色のバーは、フロント・アクスルとリヤ・アクスル間の現在のトルク配分を表しています。

## クロノメニュー

▶ 「スポーツ・クロノ・ストップウォッチ」(133ページ) を参照してください。

## ギヤ・シフト・アシスト・メニュー

✓ マニュアル・トランスミッション装備車

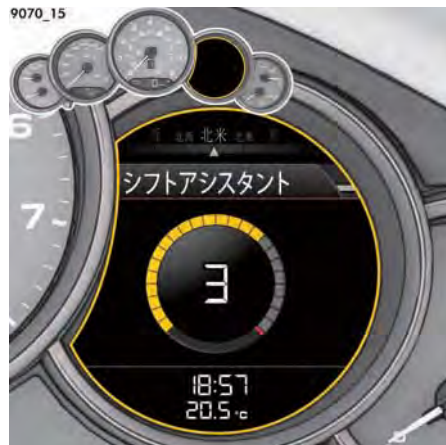


図227: ギヤ・シフト・アシストの例

▶ **シフトアシストメニュー**を選択してください。

性能を重視した走行中にドライバーをアシストするため、シフトアップ・インジケーターが表示されます。ギヤ・シフト・アシストは、次のギヤへのシフト操作のタイミングをセグメントが増加するグラフィックによって事前にドライバーにお知らせします。セグメントが増加するにしたがって、表示色が白、黄色、赤の順番に変化します。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

9070\_16

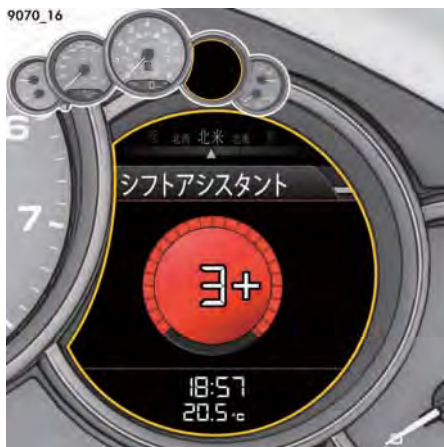


図228: 例：ギヤのシフトアップ

すべてのセグメントが赤で表示されると、+サインが現在のギヤ段数の横に表示され、次のギヤへのシフトを促します。

## G-Forceメニュー

9070\_17

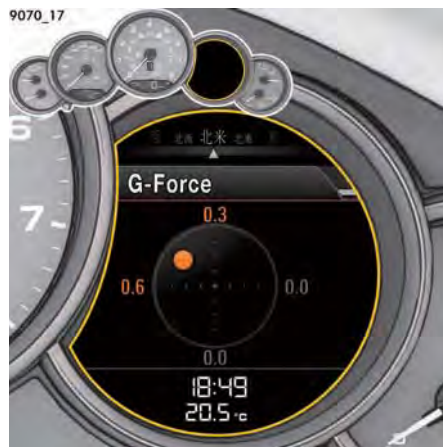


図229: 加速度の例

▶ G-Forceメニューを選択してください。

現在の横および縦加速度が円グラフで表示されます。

最大縦加速度および横加速度を表示する

▶ G-Force ▶ G-Force 最大

最大縦加速度および横加速度をリセットする

▶ G-Force ▶ G-Force 最大 ▶ リセット

## 制限速度メニュー

▶ 「制限速度表示\*」(147ページ)を参照してください。

## ACCメニュー

▶ 「アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC)」(34ページ)を参照してください。

\* 日本仕様には設定はありません。



## マルチファンクション・ディスプレイを使用した車両設定

モデル、国別仕様および装備仕様に応じて、様々な車両設定を調整できます。ここではすべての車両設定について記載していますが、これらがすべてのモデル、国別仕様および装備仕様に対して利用可能なわけではありません。

車両設定はイグニッションをOFFにしても保存され続けます。

メモリー・パッケージ装備車では、この設定をキーや運転席ドアのメモリー・ボタンに保存することができません。

▷ 「パーソナル設定」(218ページ)を参照してください。

## オプションの選択および機能の有効化

▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールを使用しないマルチファンクション・ディスプレイの操作」(262ページ)を参照してください。

▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作」(262ページ)を参照してください。

各オプションの項目名の前に付いているシンボル・マークは、その項目が選択されているか、またはその機能が作動しているかを示しています。

複数のオプションから1つを選択してください

選択されたオプション

選択されていないオプション

## 機能の作動/停止

機能が作動します

機能が停止します

## PCMを介した車両設定

特定の車両設定はPCMからも行うことができます。

▶ **CAR** ボタン ▶ Set  ▶ Vehicle functions

## マルチファンクション・ディスプレイの表示を変更する

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイの表示エリア」(263ページ)を参照してください。

## 上部のステータス・エリアの表示を変更する

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ 上のライン
2. 希望する表示項目を選択してください。

- ラジオ局名
- 残可走距離
- コンパス
- ブースト圧
- 表示なし
- 速度制限: 機能が有効なとき、ナビゲーション・システムの地図に制限速度が記載されている、またはカメラが検出した場合は、速度制限が一時的に表示されます。速度制限がない場合は、代わりに選択された項目が表示されます。

## 情報エリアを変更する

9070\_18

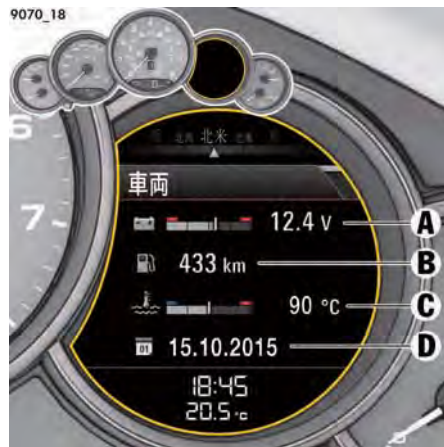


図230: 情報エリアの構成例

- A フィールド1: 電圧
- B フィールド2: 残可走距離
- C フィールド3: 冷却水温度
- D フィールド4: 日付

様々な車両情報の中から4つを選択して、フィールド1、2、3および4に表示できます。車両情報の1つの項目を複数のフィールドまたは1つのフィールドとその上のラインに同時に割り当てることはできません。



1. 車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ 車両メニュー ▶ フィールド 1またはフィールド 2またはフィールド 3またはフィールド 4

2. 希望の表示項目を選択してください。

- Veh. voltage (電圧)
- チャージ圧力
- オイル圧力: エンジン油圧
- オイル温度: エンジン油温
- 冷却水温度: 冷却水温度
- 残可走距離
- Dest. (目的地): 到着: 目的地または立ち寄り地への到着時刻および距離
- Dest. (目的地): 走行時間: 目的地または立ち寄り地までの走行時間および距離
- コンパス
- GPS height (GPS高さ): 車両の海拔標高
- 時刻
- 日付
- 放送局/曲: 現在のラジオ放送局または音楽トラック
- Phone info (電話情報): 信号の強さ/ネットワーク名
- 表示なし: 空白

### 下部ステータス・エリアの表示を変更する

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ 下のライン

2. 希望の表示項目を選択してください:

- 時刻
- 温度
- 時間&温度

### メイン・メニューを変更する

メイン・メニューの特定の項目を必要に応じて表示する/非表示にすることができます。

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ Menu scope (メニュー種類)

2. 希望の表示項目を選択してください。

- オーディオ
- 電話
- 地図
- ナビゲーション
- トリップ
- タイヤ圧力
- 4輪駆動
- クロノ
- シフトアシスト
- G-Force
- 速度制限

### マルチファンクション・ディスプレイにPCM情報を一時的に表示する

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ PCM 表示

2. 希望するPCM 情報を選択してください。

- Map info (地図情報): ナビゲーション情報を利用すると、ナビゲーション地図が自動的に表示されます。
- Arrow info (矢印情報): ナビゲーション情報を利用すると、進行方向を示す矢印が自動的に表示されます。
- Phone info (電話情報): 着信/発信電話の情報が表示されます。
- 音声操作: ボイス・コントロール・ボタンを押すとヘルプ・テキストが表示されます。
- 速度制限: 制限速度が表示されます。

### **i** インフォメーション

制限速度表示装備車の場合、「Speed limit」メニュー項目は表示されず、制限速度が自動的に表示されます。

### オーディオ・メイン・メニューを変更する

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ オーディオ

2. 希望の表示項目を選択してください。

- ラジオ局一覧: 現在受信可能なすべての放送局のリスト
  - 事前設定一覧: 登録されているすべてのラジオ放送局のリスト
- ▷ 「ラジオ」(297ページ)を参照してください。

## マルチファンクション・ディスプレイの明るさを調節する

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ Display brightness (ディスプレイの明るさ)
2. 希望の明るさを選択してください。

## メニュー項目のヘルプ・テキストの表示/非表示

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ ヘルプテキスト

機能が有効になっているときにメニュー項目を選択すると、ヘルプ・テキストが数秒間表示されます。

## 日付と時刻の設定

事前設定された日付と時刻の表示は、車両のすべてのディスプレイに採用されます。

### 時刻の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ Date & Time (日付と時刻) ▶ 時刻 ▶ Hour/Minute (時間/分)
2. 任意の時刻を設定してください。

### 時刻表示の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ Date & Time (日付と時刻) ▶ 時刻 ▶ Format (形式)
2. 任意の時刻表示形式を選択してください。

- 12h : 12時間表示
- 24h : 24時間表示

## GPS信号により自動的に時刻を同期する

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ Date & Time (日付と時刻) ▶ 時刻 ▶ Autom. time (自動時刻調整)

機能が有効なときは、時刻はGPS信号と同期されません。

### インフォメーション

時刻をGPS信号と同期させるよう設定した場合、日時を手動で設定することはできません。衛星電波の受信状態により、いくつかの設定オプションが一時的に利用できないことがあります。

## ダッシュボードのストップウォッチの時刻表示

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ Date & Time (日付と時刻) ▶ Time - Chrono (時刻クロノ)

機能が有効なとき、ダッシュボードのストップウォッチに時刻が表示されます。

### 日付の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ Date & Time (日付と時刻) ▶ 日付 ▶ 日付
2. 任意の日付を設定してください。

## 日付形式の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ Date & Time (日付と時刻) ▶ 日付 ▶ Format (形式)
2. 希望の日付表示形式を選択してください。

- DD.MM.YYYY (日.月.西暦年)
- MM/DD/YYYY (月/日/西暦年)
- YYYY/MM/DD (西暦年/月/日)

## アシスタンス・システムの設定

### インフォメーション

設定はイグニッションのON/OFFを切り替えても保存され続けます。

### ポルシェ・アクティブ・セーフ (PAS) のON/OFF

✓ アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) 装備車

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ アシストシステム ▶ Active Safe (PAS) (アクティブセーフ (PAS)) ▶ System on (システムオン)

機能が有効なときは、すべてのポルシェ・アクティブ・セーフ機能がONになります。



すべてのポルシェ・アクティブ・セーフ機能をOFFにすると、マルチファンクション・ディスプレイのステータス・エリアに灰色のシンボルが表示されます。

- ▶ 「Porsche Active Safe (ポルシェ・アクティブ・セーフ) (PAS)」(41ページ)を参照してください。

## ポルシェ・アクティブ・セーフ (PAS) の ON/OFFを切り替える前の事前警告

✓ アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) 装備車

### **i** インフォメーション

潜在的および予期警告機能は初期設定では OFF になっています。緊急警告機能は有効になっており、解除できません。

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ アシストシステム ▶ Active Safe (PAS) (アクティブセーフ (PAS)) ▶ Prewarning on (事前警告オン)

機能が有効なとき、ポルシェ・アクティブ・セーフの潜在のおよび事前警告機能が ON になります。

▶ 「Porsche Active Safe (ポルシェ・アクティブ・セーフ) (PAS)」(41ページ)を参照してください。

## レーン・チェンジ・アシスト (LCA) の ON/OFF

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ アシストシステム ▶ LCA ▶ System on (システムオン)

機能が有効なとき、レーン・チェンジ・アシストのインフォメーションおよび警告ステージが ON になります。

## ドア・ミラーのレーン・チェンジ・アシスト (LCA) の警告表示の明るさを設定する

### **i** インフォメーション

警告インジケーター (インフォメーションおよび警告ステージ) は周囲の明るさによって自動的に調節されます。

1. 車両 ▶ 設定 ▶ アシストシステム ▶ LCA ▶ 明るさ

2. 希望の明るさを選択してください。

- Dark (暗い)
- 標準
- Light (明るい)

設定作業中に新しく設定する明るさが短時間表示されます。これはインフォメーション・ステージで表示される明るさのレベルです。警告ステージの明るさはインフォメーション・ステージの明るさに基づきます。

- ▶ インフォメーション・ステージの明るさは、ドア・ミラーを見た際に警告インジケーターの点灯がはっきりと確認でき、まっすぐ前方を見ているときには気を取られないように設定してください。
- ▶ 「レーン・チェンジ・アシスト (LCA)」(308ページ)を参照してください。

## 個別モードの調整

様々な車両設定を個別モードで調整することができます。

1. 車両 ▶ 設定 ▶ Individual (パーソナル)
2. 希望の項目を選択してください。

- スポーツ : スポーツ・モード
- スポーツプラス : スポーツ・プラス・モード
-  オート・スタート/ストップ機能
- Chassis Sport (シャーシスポーツ) : PASM モードのシャーシ・スポーツ
- スポーツ AGA : スポーツ・エキゾースト・システム・ボタン
- スポイラー : リヤ・スポイラー・ボタン

## ライトおよびフロント・ワイパーの調整

### ウェルカム・ホーム/エントリー機能の外部ライト遅延消灯の調整

1. 車両 ▶ 設定 ▶ Light & Visibility (ライトと視界) ▶ エクステリアライト ▶ Off delay (遅延消灯)
2. 任意の遅延消灯を設定してください。

▶ 「オートマッチック・カミング・ホーム・ライトを ON にする」(290ページ)を参照してください。

### 左側/右側通行でヘッドライトを切り替える

- ✓ ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム (PDLS) またはポルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス (PDLSプラス) 装備車
- ✓ 車両が停止している

1. 車両 ▶ 設定 ▶ Light & Visibility (ライトと視界) ▶ エクステリアライト ▶ 左/右側通行
2. 希望の項目を選択してください。

- 標準 : ヘッドライトが左ハンドル車では右側通行、右ハンドル車では左側通行に最適な位置になります。
- 反転 : ヘッドライトが左ハンドル車では左側通行、右ハンドル車では右側通行に最適な位置になります。

### **i** インフォメーション

ヘッドライトの位置を反転に設定すると、イグニッションまたはロー・ビームを ON にするたびに、マルチファンクション・ディスプレイにライトが反転されたことを示すメッセージが表示されます。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

**ダイナミック・ハイ・ビームの作動/停止**  
 ✓ ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス (PDLS Plus) 装備車

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ Light & Visibility (ライトと視界) ▶ エクステリアライト ▶ Dyn. full beam (動的前方照明)

機能が有効なとき、ダイナミック・ハイ・ビームを使用することができます。

▷ 「ダイナミック・ハイ・ビーム」(291ページ)を参照してください。

**ドアを開いたときのインテリア・ライト自動点灯の有効/無効**

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ Light & Visibility (ライトと視界) ▶ インテリアライト ▶ By opening door (ドアを開く際の車内ライトの設定)

機能が有効なときは、ドアを開くとインテリア・ライトが点灯します。

**オリエンテーション・ライトの明るさを調節する**

1. 車両 ▶ 設定 ▶ Light & Visibility (ライトと視界) ▶ インテリアライト ▶ Orientation (進路指示)
2. 希望の明るさを選択してください。

**アンビエント・ライトの明るさ調節**

1. 車両 ▶ 設定 ▶ Light & Visibility (ライトと視界) ▶ インテリアライト ▶ アンビエントライト
2. 希望の明るさを選択してください。

**インテリア・ライトの遅延消灯モードを設定する**

1. 車両 ▶ 設定 ▶ Light & Visibility (ライトと視界) ▶ インテリアライト ▶ 遅延消灯
2. 希望の遅延消灯を設定してください。

**レイン・センサーの作動/解除**

1. 車両 ▶ 設定 ▶ Light & Visibility (ライトと視界) ▶ ワイパー ▶ レインセンサー
2. 希望の項目を選択してください。

- **Automatically (自動)** : 雨天時にフロント・ワイパーの速さが自動調整されます。
- **Manually (手動)** : ワイパー・レバーを使用してワイパーの速さを手動で調節する必要があります。

**リバース (後退) ギヤ選択時のリヤ・ワイパーの作動設定**

1. 車両 ▶ 設定 ▶ Light & Visibility (ライトと視界) ▶ ワイパー ▶ リヤワイパー
2. 希望の項目を選択してください。

- **Automatically (自動)** : 雨天時にリバース・ギヤを選択すると、リヤ・ワイパーが自動的に作動します。
- **Manually (手動)** : リバース (後退) ギヤを選択しても、リヤ・ワイパーが自動的に作動しません。

**リバース・ギヤ選択時に助手席ドア・ミラーを下向きにする**

✓ メモリー・パッケージ装着車

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ Light & Visibility (ライトと視界) ▶ Reversing options (リバース・オプション) ▶ Lowering mirr. (ミラー下向き)

機能が有効なとき、リバース・ギヤが締結すると助手席側のドア・ミラーが下向きになります。

**マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールのボタンの割り当て変更**

マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールの◇ボタンに、マルチファンクション・ディスプレイ、任意のPCMの機能または一般的な車両機能を個別に割り当てることができます。

1. 車両 ▶ 設定 ▶ Steering wheel op. (ハンドル操作) ▶ ◇ボタン ▶ PCM機能または Cluster function (組み合わせ機能) または Vehicle function (車両機能)
2. 希望の項目を選択してください。

**PCM機能 :**

- **オーディオ** : オーディオを切り替えます。
- **音声操作** : ボイス・コントロールを有効にします。
- **音声案内繰返** : ナビゲーションの音声案内を繰り返します。
- **放送局/曲<** : 前の放送局または曲を選択します。
- **放送局/曲>** : 次の放送局または曲を選択します。
- **地図** : PCM にナビゲーション地図を表示します。
- **Menu change (メニュー変更)** : メイン・メニュー・エリアを変更します。

**組み合わせ機能：**

- **計時開始/停止**：計時を開始または停止します。
- **車両メニュー**：車両メニューを表示します。
- **オーディオ設定**：オーディオ・メニューを表示します。
- **電話メニュー**：電話メニューを表示します。
- **地図メニュー**：マルチファンクション・ディスプレイにナビゲーション地図を表示します。
- **ナビメニュー**：ナビゲーション・メニューを表示します。
- **トリップメニュー**：トリップ・メニューを表示します。
- **RDKメニュー**：TPMメニューを表示します。
- **4-wheel menu (4WDメニュー)**：4輪駆動メニューを表示します。
- **クロノメニュー**：スポーツ・クロノ・メニューを表示します。
- **ACCメニュー**：ACCメニューを表示します。
- **速度制限**：交通標識を表示します。

**i** **インフォメーション**

制限速度表示装備車の場合、「速度制限」メニュー項目は表示されません。制限速度が自動的に表示されます。

▷ 「制限速度表示\*」(147ページ)を参照してください。

**車両機能：**

- **スタート/ストップ**：オート・スタート/ストップ機能のON/OFFを切り替えます。
- **SES**：スポーツ・エキゾースト・システムのON/OFFを切り替えます。

\* 日本仕様に設定はありません。

**警告音量およびパーキング・アシスタントの調節**

1. 車両 ▶ 設定 ▶ スピードリミッター ▶ パークアシストまたは Warn. tones (警告トーン)
2. 希望の項目を選択してください。

- 高
- 中
- 低

**ドア・ロック機能を設定する****ドアのロック解除機能の設定**

1. 車両 ▶ 設定 ▶ ロック ▶ ロック解除
2. 希望の項目を選択してください。

- **すべてのドア**：車両のロックを解除すると、すべてのドアとリヤ・リッドのロックが解除されます。
- **運転席ドア**：車両のロックを解除すると、運転席ドアとリヤ・リッドのロックが解除されます。

**ドアのロック機能の設定**

1. 車両 ▶ 設定 ▶ ロック ▶ Door locking (ドアロック)
2. 希望の項目を選択してください。

- **オフ**：乗車後にドアは自動でロックされません。
- **After ign. on (イグニッションONの後)**：イグニッションをと、ドアが自動的にロックされます。
- **After drive-off (発進後)**：車両を発進させると、ドアが自動的にロックされます。

**イージー・エンリーのON/OFF**

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ロック ▶ イージーエントリー

機能を有効にすると、運転者の乗降性を高めるために運転席シートとステアリング・ホイールを自動的に遠ざけることができます。

**ドア・ミラーの自動格納のON/OFF**

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ロック ▶ Mirror retract (ミラー引き戻す)

機能を有効にすると、車両をロックしたときにドア・ミラーが自動的に格納します。



## エアコン設定

### 送風の強さと送風量を調節する

1. 車両 ▶ 設定 ▶ エアコン ▶ 風量
2. 希望の項目を選択してください。

- **Soft (弱)** : エア・ベントからの送風が和らぎます。空気の流れに敏感な乗員に適しています。
- **ノーマル** : 標準の設定です。
- **Strong (強)** : 車内への送風が強くなります。風の流れをはっきりと感じられるようになります。

### アッパー・ベンチレーション・パネルのON/OFF

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ エアコン ▶ Vent. panel (換気フィールド)

機能を有効にすると、ダッシュボードのアッパー・ベンチレーション・パネルがONになります。

### 内気循環モードのON/OFF

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ エアコン ▶ 自動内気循環

機能を有効にすると、空気の状態に応じて自動的に外気導入と内気循環を切り替えます。

## ポルシェ・カー・コネクトの設定\*

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ Car Connect ▶ Privacy (プライバシー)

機能を有効にすると、車両とポルシェ・カー・コネクト・アプリ間の通信が無効になります。車両固有の情報がポルシェ・カー・コネクト・アプリに送信されません。このアプリを使用した車両設定は実施できません。

契約が有効でない場合、**Car Connect**メニュー項目は使用できません。

▶ 「ポルシェ・カー・コネクト\*」(244 ページ)を参照してください。

詳しい情報は、[www.porsche.com/connect](http://www.porsche.com/connect)またはポルシェ正規販売店から入手できます。

### インフォメーション

**プライバシー**機能を有効にしても、故障時、緊急電話をかけたとき、または盗難に遭遇したときなどは車両の位置情報が送信されます。

- ▶ 車両を使用するすべての人に、**プライバシー**機能が解除される可能性があることを伝えてください。

## 単位の設定

### スピードメーターの単位の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 単位 ▶ Speedometer (スピードメーター)
2. 希望の項目を選択してください。

- km, km/h
- マイル/mph

### インフォメーション

単位は以下のディスプレイで調整されます。

- 積算距離計/トリップ・メーター
- デジタル・スピードメーター
- マルチファンクション・ディスプレイ

### 温度計の単位の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 単位 ▶ 温度
2. 希望の項目を選択してください。

- °C (摂氏)
- °F (華氏)

### インフォメーション

マルチファンクション・ディスプレイの単位が調整されます。

\* 日本仕様に設定はありません。

## 圧力計の単位の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 単位 ▶ 圧力
2. 希望の項目を選択してください。

- bar
- psi

### インフォメーション

マルチファンクション・ディスプレイの単位が調整されます。

## 平均燃費の表示単位の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 単位 ▶ 消費量
2. 希望の項目を選択してください。

- l/100 km
- mpg (米国)
- mpg (英国)
- km/l

### インフォメーション

マルチファンクション・ディスプレイの単位が調整されます。

## 言語設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 言語
2. 任意の言語を選択してください。

### インフォメーション

マルチファンクション・ディスプレイの言語が調整されます。

## 工場出荷時の設定に戻す

### インフォメーション

工場出荷時の設定に戻すと、マルチファンクション・ディスプレイで選択したすべての設定が削除されます。

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ リセット ▶ Fact. settings (工場設定) ▶ はい

## ミラー

## ドア・ミラーの使用

後方視野を広くするため、助手席ドア・ミラーは凸面形、運転席ドア・ミラーは非球面形になっています。

## ▲ 警告

ドア・ミラーに映る周囲の様子は、実際の大きさより小さく、距離が離れているように見えます

凸面形ミラーでは、車両や物が小さく写るため、実際の距離よりも遠く感じられます。

- ▶ 後続車との距離を判断するときや、後退して駐車するときなどは、歪みを念頭に置いてください。
- ▶ 距離の判断はルーム・ミラーと併用して行ってください。

## ▲ 注意

自動防眩ミラーのガラスが破損すると、電解液が漏れ出すことがあります

ミラーのガラスが破損すると、電解液が漏れ出す恐れがあります。この液体には皮膚や目への刺激性があります。

- ▶ 電解液が目や皮膚に触れた場合は、速やかにきれいな水で洗い流してください。
- ▶ 必要に応じて医師の診察を受けてください。

## 知識

塗装面、本革部品、プラスチック部品および着衣などに損傷を与える恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。

- ▶ 電解液が付着した部品は水で洗い流してください。

## 知識

洗車機で洗車を行う場合にドア・ミラーを損傷する恐れがあります。

- ▶ 洗車機を使用する前にドア・ミラーを格納してください。

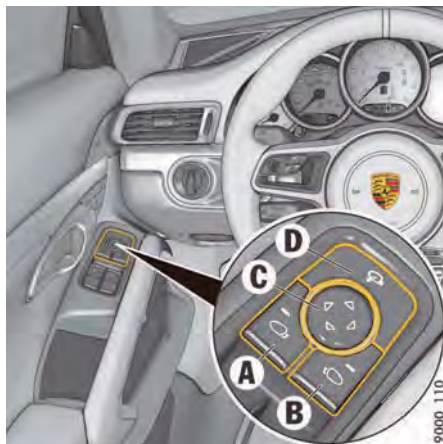


図231: ドア・ミラーの操作

- A ドア・ミラーの選択 - 運転席側
- B ドア・ミラーの選択 - 助手席側
- C ドア・ミラー 280 の調節
- D ドア・ミラーの格納 / 復帰

## ドア・ミラーの調節

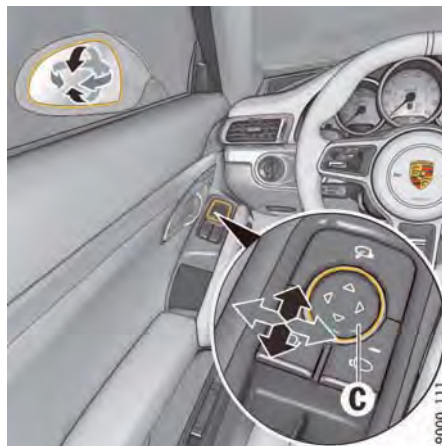


図232: ドア・ミラーの調節

- ✓ イグニッションがONのとき  
または
  - ✓ イグニッションをOFFにして、運転席ドアまたは助手席ドアをまだ開けていない状態（最大10分以内）
1. 運転席側のドア・ミラーを調節するときはボタンAを、助手席側を調節するときはボタンBを押してください。  
選択したボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
  2. 調節ボタンCを操作して、ドア・ミラーの角度を希望の位置に調節してください。

## 電動調節機能が故障した場合

- ▶ ミラー表面を手で押して角度を調節してください。

## ドア・ミラーの格納/復帰

9000\_227

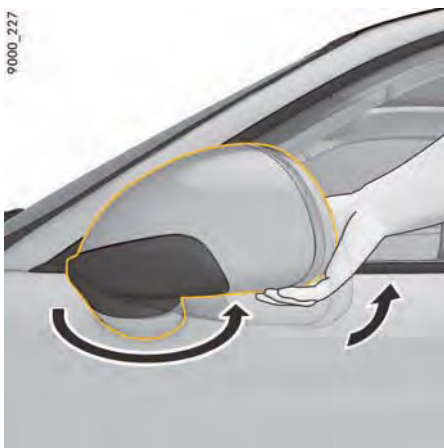


図233: ドア・ミラーの格納/復帰

### ドア・ミラーの手動格納

- ▶ ミラー・ハウジングを手でいっぱいまで上方に回転させてください。

### ドア・ミラーの手動復帰

- ▶ ミラー・ハウジングを手でいっぱいまで下方に回転させてください。

### ドア・ミラーの電動格納/復帰

- ✓ 速度が50km/h 以下のとき
- ▶ ボタンDを押してください (280ページの図231を参照)。  
両方のドア・ミラーが格納または復帰します。

### 電動格納機能が故障した場合

- ▶ ドア・ミラーを手で格納または展開してください。

### 車外からのドア・ミラーの格納/復帰

車両をロックするときに、ドア・ミラーを自動的に格納することができます。

- ▶ キーの**Ⓜ**ボタンを少なくとも1秒間押し続けてください。  
ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車: 運転席側のドア・ハンドルのタッチ・センサーに1秒以上触れてください。  
ドア・ミラーが格納されます。

### ドア・ミラーの自動復帰

- ▶ イグニッションをONにしてください。  
ドア・ミラーが自動的に復帰します。

### ドア・ミラーの自動的な格納/復帰

- ✓ 機能が作動していること
- ▶ 「ドア・ミラーの自動格納のON/OFF」(277ページ)を参照してください。

### ドア・ミラーの自動格納

- ▶ 車両をロックしてください。  
ドア・ミラーが自動的に格納します。

### ドア・ミラーの自動復帰

- ▶ イグニッションをONにしてください。  
ドア・ミラーが自動的に復帰します。

## **i** インフォメーション

ボタンDを押して手動でドア・ミラーを格納した場合は、イグニッションをONにした後、自動的に元の位置に復帰しません (280ページの図231)。

## ドア・ミラー設定の保存

メモリー・パッケージ装備車では、個々のドア・ミラーの設定を、そのとき使用しているキーや運転席ドアのメモリー・ボタンに保存することができます。

- ▶ 「パーソナル設定」(218ページ)を参照してください。

## ドア・ミラーの自動防眩機能のON/OFF

ルーム・ミラーの自動防眩機能の切り替えに合わせて、ドア・ミラーの防眩機能が作動します。

- ▶ 「ルーム・ミラーの自動防眩機能のON/OFF」(283ページ)を参照してください。

## 駐車時の助手席ドア・ミラー下向き自動切り替え

メモリー・パッケージ装備車では、リバース（後退）ギヤを選択すると、**助手席側ドア・ミラー**が自動的に少し下向きになり、助手席側の車両後方下部にある障害物を視認しやすくなります。

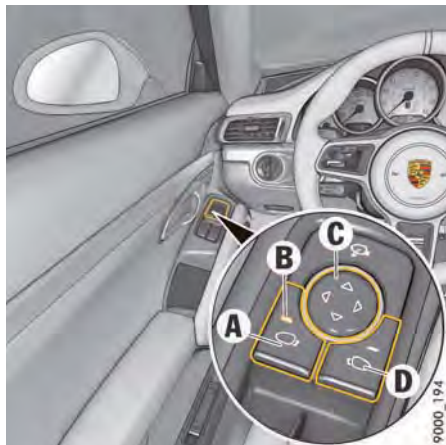


図234: 駐車時の助手席ドア・ミラー下向き自動切り替え

### ドア・ミラーを自動で下向きにする

- ✓ イグニッションがONのとき
- ✓ 機能が作動していること
- ▷ 「リバース・ギヤ選択時に助手席ドア・ミラーを下向きにする」(276ページ)を参照してください。

### ドア・ミラーを手動で下向きにする

1. ギヤをリバース（後退）に入れてください。運転席側ドア・ミラーを調節するためのボタンAのインジケーター・ライトBが点灯します。
2. 助手席側ドア・ミラーを調節するにはボタンDを押してください。助手席のドア・ミラーが下向きになります。

### ドア・ミラーの下向き角度の個別調整：

- ▶ 調節ボタンCを操作して、ドア・ミラーの角度を希望の位置に調節してください。

メモリー・パッケージ装備車では、この設定をそのとき使用しているキーや運転席ドアのメモリー・ボタンに保存することができます。復帰および車両設定の保存に関するインフォメーション：

- ▷ 「パーソナル設定」(218ページ)を参照してください。

### ドア・ミラーを通常位置に戻す

次の場合、ドア・ミラーが通常的位置に戻ります：

- リバース（後退）以外のギヤを選択してから一定時間が経過した後、または
- 速度が15km/h以上になったとき

### 手動操作で助手席のドア・ミラーを通常位置に戻す：

- ▶ 運転席ドア・ミラーのボタンAを押してください。

## ルーム・ミラー防眩機能の手動操作



図235: ルーム・ミラー防眩機能の手動操作

ミラーを調節するときは、防眩機能のレバーAを車内側に向けてください。

- ▶ 基本設定 - レバーを車内側に向けます。
- ▶ 防眩位置 - レバーをフロント・ウィンドウ側に向けます。



## ルーム・ミラーの自動防眩機能のON/OFF



図236: ルーム・ミラーの自動防眩機能

### 自動防眩機能をONにする

- ▶ ボタンBを押します  
インジケーター・ライトAが点灯します。  
光の強さに応じて防眩機能が自動的に作動し、ルーム・ミラーが暗くなったり、明るくなったりします。

### **i** インフォメーション

リバース・ギヤに入れた場合、またはインテリア・ライトが点灯している場合は、ルーム・ミラーの自動防眩機能は作動しません。

### 自動防眩機能をOFFにする

- ▶ ボタンBを押します  
インジケーター・ライトAが消灯します。

### **▲** 注意

自動防眩ミラーのガラスが破損すると、電解液が漏れ出すことがあります

ミラーのガラスが破損すると、電解液が漏れ出す恐れがあります。この液体には皮膚や目への刺激性があります。

- ▶ 電解液が目や皮膚に触れた場合は、速やかにきれいな水で洗い流してください。
- ▶ 必要に応じて医師の診察を受けてください。

### 知識

塗装面、本革部品、プラスチック部品および着衣などに損傷を与える恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。

- ▶ 電解液が付着した部品は水で洗い流してください。

### **i** インフォメーション

照度センサーCの検知エリアに当たる光を妨げないでください（リヤ・ウィンドウにステッカーを貼り付ける、後方視界を妨げるほど多くの荷物をラゲッジ・コンパートメントまたはラゲッジ・コンパートメント・カバーに積むなど）。同様に、フロント・ウィンドウを通してフロント照度センサーに当たる光をステッカー等で妨げないようにしてください。

## メディア

## 概要

この概要説明は「メディア」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく安全に関する指示および警告を必ずお読みください。

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:  
 ▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作」(245ページ) を参照してください。

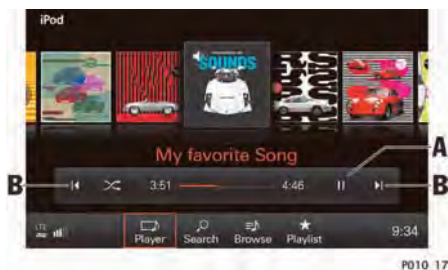


図 237: メディア・ソース、iPod® など

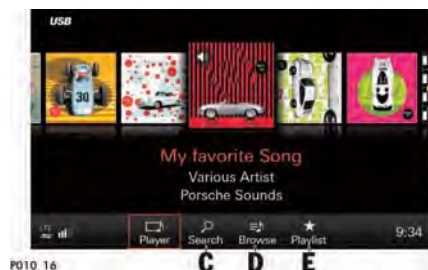


図 238: メディア・ソース、USB など

運転者が何をしたいか?	その操作方法は?	ページ
メディア・ソースから音楽やビデオ・ファイルを再生する	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ CD/DVDを挿入してください。</li> <li>▶ メディア・コンテンツをジュークボックス (内部メモリー) にインポートしてください。</li> <li>▶ SDカードを挿入してください。</li> <li>▶ 外部機器をUSBまたはAUX経由で接続してください。</li> <li>▶ 外部デバイスをBluetooth®経由で接続してください。</li> <li>▶ オンライン・ラジオ・サービスをPorsche Connect Appで開いてください。</li> </ul>	250 287 251 251 252 327
メディア・ソースを選択する	▶ <b>SOURCE</b> ボタン ▶ 希望のメディア・ソースを選択してください。 または <b>MEDIA</b> ボタンを繰り返し押してください。	285
音楽を再生 / 一時停止する	▶ <b>MEDIA</b> ボタン ▶ <b>Player</b> ▶  または <b>  </b> (Aを参照)	285
再生中に次の / 前のトラックの頭出しをする	▶ <b>MEDIA</b> ボタン ▶ <b>Player</b> ▶  または  (Bを参照)	285
メディア・ライブラリーを検索する	▶ <b>MEDIA</b> ボタン ▶ <b>Search</b> (Cを参照) または <b>Browse</b> (Dを参照) を選択してください。	286
プレイリストを開く	▶ <b>MEDIA</b> ボタン ▶ <b>Playlist</b> (Eを参照) を選択してください。	287
類似の音楽を聴く	▶ <b>MEDIA</b> ボタン ▶ <b>OPT</b> ボタン ▶ <b>More like this</b>	286
オーディオ / ビデオ・ファイルをジュークボックスにインポートする	▶ <b>MEDIA</b> ボタン ▶ <b>OPT</b> ボタン ▶ <b>Import to jukebox</b>	287

## 対応するメディアおよびファイル形式

メディア機能を使用して再生するには、オーディオおよびビデオ・フォーマットが特定の要件を満たしている必要があります。

- ▶ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネジメント (PCM) の操作」(245ページ) を参照してください。

## メディア・ソースの挿入/接続

- ▶ 「各種ドライブおよび外部接続機器に関する諸注意」(250ページ) を参照してください。
- ▶ 「SDカードをロードする」(251ページ) を参照してください。
- ▶ 「外部機器の接続」(251ページ) を参照してください。

## メディア・ソースの選択

- ▶ **SOURCE** ボタンを押して、希望のメディア・ソースを選択してください。

または

- ▶ 希望のメディア・ソースが選択されるまで **MEDIA** ボタンを押してください。

または

1. ヘッドラインに表示されたメディア・ソースを押してください。  
選択可能なソースが表示されます。
2. メディア・ソースを選択してください。

## メディアの再生

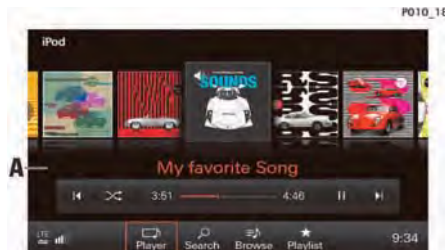


図239: 音楽の再生

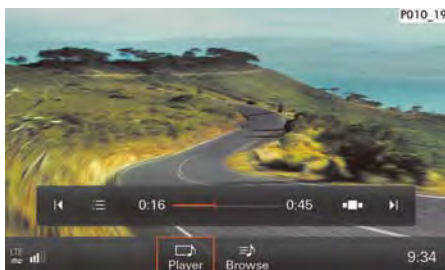


図240: ビデオの再生

機能	ボタン
メディアを再生する	
メディアを一時停止する	
次のトラック / チャプターへ進む	
前のトラック / チャプターに戻る	
音楽をランダムに再生する	
カバーフロー・ビューを表示する	

機能	ボタン
ビデオをフルスクリーン・モードで表示する	
カバーフロー・ビューまたは用意されたビデオ・ソースを開く	
ビデオ・メイン・メニューに戻る	



## 音楽を再生する

- ✓ オーディオ・ソースが選択されている



1. **MEDIA** ボタン ▶ **Player**
2. カバーフロー・ビュー A (図 239) で、希望のアルバムが中央に拡大表示されるまで左または右にスワイプしてください。  
または  
アルバムを再生するには、 を選択してください。  
または  
ロータリー・ブッシュ・ボタンを押してください。  
または  
アルバムおよび希望の楽曲を選択してください。  
オーディオ・ソースを選択すると、メディアの最初の曲が自動的に再生されます。ジュークボックスを使用する場合は、最近再生された曲が再生されます。

**次の/前のトラックの頭出しをする**

✓ メディア・ソースが選択されている





- ▶ 前にスキップするには、 を選択するかスキップ・ボタン  を押してください。

トラックの再生が始まった直後であれば、前のトラックの先頭に戻ります。トラックの再生が始まって3秒以上経過していれば、再生中のトラックの先頭に戻ります。

- ▶ 次にスキップするには、 を選択するかスキップ・ボタン  を押してください。

**早送り/早戻し**

✓ メディア・ソースが選択されている


- ▶ 希望の位置になるまで  /  または  /  ボタンを押し続けてください。

または

タイム・バーを希望の位置までスライドさせてください。

**ランダム再生のON/OFF**

✓ メディア・ソースが選択されている

- ▶  を選択してください。ランダム再生がONになります。
- ▶ ランダム再生をOFFにするには、もう一度ボタンを押してください。

**類似の音楽を表示する**

1. **OPT** ボタンを押してください。
2. **More Like This** を選択してください。

**曲を繰り返し再生する**




✓ メディア・ソースが選択されている  
✓ アルバムまたはプレイリストが選択されている

1. **OPT** ボタンを押してください。
2. **Repeat track** を選択してください。ヘッドラインに**モードを繰り返す**が表示されます。

- ▶ リピート・モードをOFFにするには、**OPT** ボタンを押して**Repeat off** を選択してください。

**ビデオの再生**

✓ ビデオ・ソースが選択されている

- ▶  を選択してください。  
または  
希望するビデオを選択してください。  
または  
 および希望のチャプターを選択してください。
- ▶ ビデオのメイン・メニューに戻るには、 を選択してください。



**マルチファンクション・ディスプレイを使用して、有効なオーディオ・ソースからトラックを選択する**

マルチファンクション・ディスプレイの使用に関するインフォメーション：

- ▶ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールを使用しないマルチファンクション・ディスプレイの操作」(262ページ) を参照してください。
- ▶ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作」(262ページ) を参照してください。


1. **オーディオメニュー** を選択してください。
2. **有効なオーディオ・ソース** (ディスクなど) からトラックを選択してください。

**メディア・ソースの検索**

各メディア・ソースのオーディオおよびビデオ・ファイルを検索することができます。トラックを検索するには、**Search**  機能を使用してカテゴリーを選択するか、**Browse**  を押して再生可能なトラックを表示・閲覧します。

**トラックまたはビデオを検索する**

✓ メディア・ソースが選択されている


1. **Search**  を選択してください。
2. **Search** を選択し、テキスト検索フィールドに希望のトラックを入力してください。  
または

検索に使用するカテゴリー (**Genres, Artists, Albums, Tracks, Videos**) を選択してください。

3. 希望のトラックを選択してください。

**メディアの閲覧**

✓ メディア・ソースが選択されている

1. **Browse**  を選択してください。
2. 希望のフォルダーおよびメディア・トラックを選択してください。


- ▶ フォルダー構成に戻るには、ヘッドラインにある希望のメディア・フォルダーを選択してください。

## プレイリストを開く

選択したメディア・ソースに応じて、追加のプレイリストを使用してメディアを再生できます。

### プレイリストを開く

✓ オーディオ・ソースが選択されている

1. **Playlist**  を選択してください。
2. 希望のオプションを選択してください。

- **現在の再生リスト**：選択したソースのフォルダ構成またはトラック/チャプター・リストが表示されます。
- **最近再生された曲**
- **再生回数が多い曲**
- 星評価を含むトラック

## ジュークボックスのオーディオ/ビデオ・ファイルのインポートおよび削除

USBフラッシュ・ドライブまたはSDカードのオーディオおよびビデオ・ファイルをジュークボックスにインポートすることができます。

### 現在のトラックまたはアルバム

- ✓ ジュークボックスにコピーするトラックまたはアルバムが含まれるメディア・ソースを選択している
- ✓ 希望のトラックまたはアルバムが選択されている

1. **OPT** ボタン ▶ **Import to jukebox**
2. **現在のトラックをコピー**または**現在のアルバムをコピー**を選択してください。トラックまたはアルバムがインポートされます。

### フォルダーまたはファイル

✓ メディア・ソースが選択されている

1. **OPT** ボタン ▶ **Import to jukebox**
2. **Import files/folders**を選択してください。使用可能なすべてのフォルダおよびファイルが表示されます。
3. **Select/Deselect** を選び、希望のファイルまたはフォルダを選択してください。
4. メディアのインポートを開始するには、**Copy**を選択してください。

### ジュークボックスからメディア・コンテンツを削除する

✓ ジュークボックスがメディア・ソースとして選択されている

1. **MEDIA** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **Jukebox settings**
2. 希望のオプションを選択してください。

- **現在のトラックを消去**
- **現在のアルバムを消去**
- **ファイル/フォルダを消去選択/選択解除**によりファイルまたはフォルダを選択し、**消去**を押して決定してください。

### 記憶容量 (空き領域/使用領域) を表示する

✓ ジュークボックスがメディア・ソースとして選択されている

1. **MEDIA** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **Jukebox settings**
2. **Source details**を選択してください。

## 設定の変更

### 全般的なメディア設定

1. **MEDIA** ボタン ▶ **OPT** ボタン
2. **SOUNDSET MEDIA/SET SOUND**を選択してください。
3. 希望のオプションを選択してください。

### - 設定 MEDIA :

- **Apple CarPlay**:USBで接続されたスマートフォンを管理します。
- **AUX** : 汎用オーディオ・インターフェース (AUX) のON/OFFを切り替えます。
- **Bluetooth audio** : Bluetooth®接続のON/OFFを切り替えます。
- **Bluetooth** : Bluetooth®機能およびデバイスを管理します。
  - ▷ 「Bluetooth®デバイスの削除、またはBluetooth®インフォメーションの表示」(188ページ)を参照してください。
- **SET SOUND** : 基本的な音質設定
  - ▷ 「音量および音質の変更」(253ページ)を参照してください。



あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ビデオの設定

✓ ビデオ・ファイルを含む DVD が挿入されている

1. **MEDIA** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **DVD settings**

2. 希望のオプション選択してください。


- **アスペクト比**：アスペクト比を設定します。
- **サウンドトラック**：サウンドトラックおよび音質を設定します。
- **字幕**：機能を有効化すると、字幕が表示されます（利用可能な場合）。


# ライト


## ライト・スイッチの設定




図241: ライト・スイッチ

-  ライト・スイッチ
- OFF ライトの消灯
- AUTO オートマチック・ドライビング・ライト・アシスタント

 **車幅灯**  
 ライセンス・ライト、インストルメント・ライト車幅灯が消灯します。

 **ロー・ビーム/ドライビング・ライト**  
 イグニッションがONのときのみ作動。フォグ・ライト、モーターウェイ・ライトおよびダイナミック・ハイ・ビームは非作動となります。

 **リヤ・フォグ・ライト**  
 ロー・ビーム位置でスイッチを引いてください。インジケーター・ライトが点灯します。

### インフォメーション

- 灯火類が点灯した状態でキーを抜いてドアを開くと、警告音が鳴り、バッテリー上がりを防止します。  
 各国の法律等に準拠して、ライトの仕様異なる場合があります。
- 気温と湿度により、車両のエクステリア・ライトが曇ることがあります。十分な距離を走行すると、この曇りは取れます。

## ロー・ビーム/ドライビング・ライト

ライト・スイッチを**AUTO**の位置にすると、次の状況でヘッドライト・ロー・ビームが自動的に点灯します：

- 夕暮れ時
- 夜間
- トンネル内走行時
- 雨天時
- 高速走行（ボルシェ・ダイナミック・ライト・システムPDLS装備車）

ロー・ビームの点灯時には、スピードメーター内のインジケーター・ライトが点灯します。

### インフォメーション

オートマチック・ヘッドライトは、霧を感知することができません。

▶ 霧が発生したときは、手でドライビング・ライトを点灯させてください。

### 日中の高速道路走行時の作動

周囲が明るいときは、速度が約140km/hを超えるとドライビング・ライトが自動的に点灯します（デイトタイム・ドライビング・ライト無効時）。その後、周囲が明るいときは、速度が約65km/h以下になると約4分後にドライビング・ライトが消灯します。

### 雨天時の作動

ワイパーを連続作動に切り替えてから5秒が経過すると、ドライビング・ライトが自動的に点灯します。

その後、ワイパーを停止してから約4分が経過すると、ドライビング・ライトが消灯します。

## オート・ドライビング・ライト・アシスタント

オートマチック・ドライビング・ライト・アシスタントはコンフォート機能の1つです。この車両のドライビング・ライト（ロー・ビーム）は、周囲の明るさに応じて自動的に点灯/消灯します。

オートマチック・ヘッドライト機能は、デイトタイム・ドライビング・ライト、オートマチック・カミングホーム・ライトおよびダイナミック・コーナリング・ライト（装備仕様による）の作動を制御します。

オートマチック・ドライビング・ライト・アシスタントを有効にするには：

▶ ライト・スイッチを**AUTO**の位置に回してください。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

**i** インフォメーション

なおドライビング・ライト・アシスタントを作動させているときも、法律等を遵守し、ライト・スイッチの手動操作によってドライビング・ライトを点灯/消灯することは運転者の責務です。

ドライビング・ライト・アシスタント機能によるヘッドライトの点灯は、運転者を支援するためのものであり、ドライビング・ライトの操作は運転者が正しく行わなければなりません。

**警告** 無灯火での走行

ライトを点灯しないで走行すると、ドライバーの視界を大きく制限するのみでなく、他のドライバーに対する視認性を大きく妨げることになります。

▶ オートマッチック・ドライビング・ライトの作動状況を常に監視してください。

**オートマッチック・カミング・ホーム・ライトをONにする**

▶ ライトのスイッチを**AUTO**にしてください。一定時間、次のライトが点灯したままになり、車両に乗降するときの足元を明るく照らして安全性を高めます：

- カミング・ホーム・ライト
- ドア・ミラーのカーテシー・ライト（電動格納式ドア・ミラー装備車）
- リヤの車幅灯
- ライセンス・ライト

**ウェルカム・ホーム機能（遅延消灯）**

車両をロックすると、マルチファンクション・ディスプレイで設定した遅延消灯時間の間、ライトが点灯したままになり、遅延消灯時間が経過すると自動的に消灯します。

エクステリア・ライトの遅延消灯時間設定に関するインフォメーション：

▶ 「ウェルカム・ホーム/エントリー機能の外部ライト遅延消灯の調整」（275ページ）を参照してください。

**エントリー/イグジット機能**

車両をロック解除すると、マルチファンクション・ディスプレイで設定した遅延消灯時間の間、車両の周囲が照らされます。

以下の場合には、ライトが消灯します：

- イグニッションがONのとき
- ライト・スイッチを**AUTO**の位置から動かしたとき

エクステリア・ライトの遅延消灯時間設定に関するインフォメーション：

▶ 「ウェルカム・ホーム/エントリー機能の外部ライト遅延消灯の調整」（275ページ）を参照してください。

**ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム（PDLS）**

ダイナミック・コーナリング・ライトおよび夜間の高速道路機能を作動させるには：

▶ ライト・スイッチを**AUTO**の位置に回してください。

**ダイナミック・コーナリング・ライト**

約8km/h以上の速度で走行している場合、そのときの速度やステアリング・ホイールの切れ角によって、コーナーの先に向けてロー・ビームが向きを変え、進行方向の路面を照らします。ダイナミック・コーナリング・ライトが故障した場合、インストールメント・パネルのPDLS警告灯が点滅します。

**夜間の高速道路走行時の作動**

夜間は速度が約130km/hを超えるとドライビング・ライトの配光特性が変化します。このときドライビング・ライトは、より遠くが見渡せるように照射距離を長くします。

**フォグ・ライト**

速度が約70km/h以下でリヤ・フォグ・ライトが点灯している場合、ドライビング・ライトの配光特性が変化します。

このときドライビング・ライトは、眩しさを抑えるように照射され、より広範囲が見えるように照射エリアが広がります。

**ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス（PDLS Plus）**

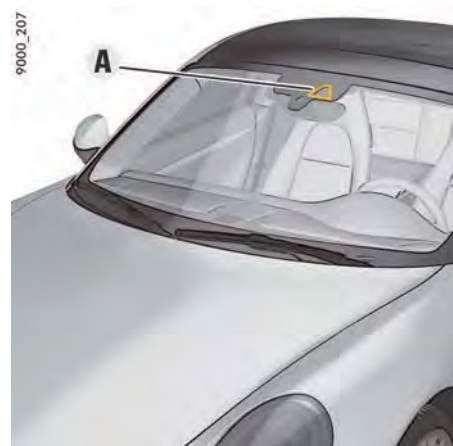


図242: カメラの取り付け位置

## ダイナミック・ハイ・ビーム

ダイナミック・ハイ・ビーム装備車では、ルーム・ミラー付近に取り付けられたカメラAで前方の走行車および対向車の光源を検知し、ドライビング・ライトの遮光ポイントをハイ・ビームからロー・ビームの間で段階的に調節します。ドライビング・ライトの遮光ラインは、検出された車両が認識できるように調節されます。周囲が暗い状態で以下の条件が揃うと、この機能が作動します：

- ✓ ライト・スイッチの**AUTO**位置が選択されている
- ✓ 速度が約60km/h以上
- ✓ マルチファンクション・ディスプレイでダイナミック・ハイビームを有効にする
  - ▷ 「ダイナミック・ハイ・ビームの作動/停止」(276ページ)を参照してください。
- ✓ ダイナミック・ハイ・ビームがONになっている
  - ▷ 「ヘッドライト・パッシングを作動する」(292ページ)を参照してください。

市街地走行時にハイ・ビームに切り替わらないようにするため、ダイナミック・ハイ・ビームは約35km/h以下の速度では作動しません。

また、カメラが複数の街路灯を検出した場合も自動的にハイ・ビームからロー・ビームに切り替わります。

### ⚠ 警告

#### 集中力の低下

ダイナミック・ハイ・ビームを過信せず、走行時の周囲の明るさ、視界、交通状況に応じてハイ・ビームを手動で調節し、責任ある運転を心がけてください。このシステムは、あくまでも補助的な機能のため運転時には細心の注意を払ってください。次のような場合には手動での設定が必要になることがあります：

- 雨、霧、雪、氷、または多量の水しぶきなどの悪天候時
  - 対向車を確認しにくい道路（高速道路など）
  - 明るさが弱いライトの他車（自転車など）が走行している場合
  - 急カーブ、起伏の激しい路面、坂道
  - 明かりが少ない市街地
  - 光を強く反射する物体（看板など）がある道路
  - フロント・ウィンドウのカメラの視界が曇り、汚れ、凍結、またはステッカーで覆われている
- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 必要な場合、ハイ・ビームを周囲の明るさ、視界、交通状況に合わせて手動で調節してください。

### i

#### インフォメーション

- ▶ カメラの作動を干渉する物がないことを確認してください：ルーム・ミラーのカメラの視界（290ページの図 242を参照）をステッカーなどで遮らないでください。
- ▶ 正常な機能を維持するために、カメラの視界に付着した汚れ、氷、雪などを取り除いてください。
  - ▷ 車両のお手入れについて：「お手入れ」(67ページ)を参照してください。

## 方向指示灯/ハイ・ビーム・レバーの操作

このレバーを使用して、方向指示灯およびハイ・ビームに加えて、パーキング・ライトおよびヘッドライト・パッシングも操作できます。

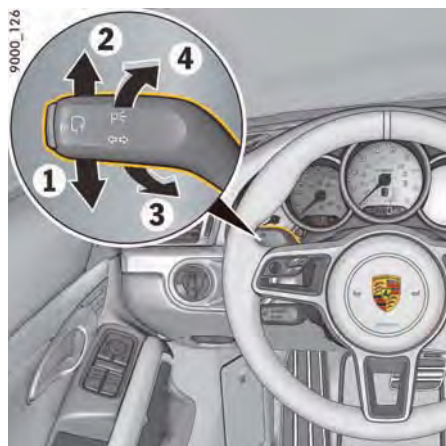


図243: 方向指示灯およびハイ・ビーム操作レバー


- 1 方向指示灯、左
- 2 方向指示灯、右
- 3 ハイ・ビーム、ダイナミック・ハイ・ビーム
- 4 ヘッドライト・パッシング

### 方向指示灯の操作

- ▶ 操作レバーを下方向1または上方向2に抵抗を感じる位置を超えて動かしてください。方向指示灯は、操作レバーを手動で初期位置に戻すか、ステアリング・ホイールを回したときに自動的に初期位置に戻るまで、作動したままになります。
- ▶ 抵抗を感じる位置まで操作レバーを下方向1または上方向2に動かしてください。方向指示灯が3回点滅します。

### ハイ・ビームの作動




ハイ・ビームの点灯/消灯（ダイナミック・ハイ・ビーム非装備車）

- ▶ **点灯**：抵抗を感じる位置まで操作レバーを前方向3に1回動かしてください。インジケーター・ライトが点灯します。
- ▶ **消灯**：抵抗を感じる位置まで操作レバーを手前4に1回動かしてください。

### ダイナミック・ハイ・ビームの作動/停止


ダイナミック・ハイ・ビームを作動させるには、次の条件を満たさなければなりません：

- ✓ 夜間
- ✓ ライト・スイッチの**AUTO**位置が選択されている
- ✓ 速度が約60km/h以上
- ✓ マルチファンクション・ディスプレイでダイナミック・ハイビームを有効にする
  - ▷ 「ダイナミック・ハイ・ビームの作動/停止」(276ページ)を参照してください。


- ▶ **作動**：抵抗を感じる位置まで操作レバーを前方向3に1回動かしてください。インジケーター・ライトが点灯します。ロー・ビームとハイ・ビームの間に段階的に配光が自動調節されます。ハイ・ビームの一時的な点灯時または完全な点灯時には、インジケーター・ライトが点灯します。
- ▶ **停止**：抵抗を感じる位置まで操作レバーを手前4に1回動かしてください。インジケーター・ライトが点灯しているときのみダイナミック・ハイ・ビームを解除できます。

ダイナミック・ハイ・ビームの手動点灯/消灯  
ダイナミック・ハイ・ビームを停止した場合、または作動条件が満たされなかった場合、手動でハイ・ビームを点灯および消灯できます。

以下の条件を満たさなければなりません：

- ✓ 夜間
- ✓ ライト・スイッチの**AUTO**位置が選択されている
- ▶ **点灯**：抵抗を感じる位置まで操作レバーを前方向3に2回動かしてください。インジケーター・ライトが点灯します。
- ▶ **消灯**：抵抗を感じる位置まで操作レバーを手前4に1回動かしてください。

### ヘッドライト・パッシングを作動する

- ▶ 抵抗を感じる位置まで操作レバーを手前4に1回動かしてください。インジケーター・ライトが短時間点灯します。

### パーキング・ライトの点灯/消灯

- ✓ イグニッションがONのとき
- ▶ 操作レバーを上方向2または下方向1に押しと右または左側のパーキング・ライトが点灯します。パーキング・ライトが点灯している場合は、イグニッションをOFFにしてドアを開くとマルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。
  - ▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(86ページ)を参照してください。



## ハザード・ライトのON/OFF



図244: センター・コンソールのハザード・ライト・ボタン

ハザード・ライトはイグニッションがOFFのときでも機能します。

### ハザード・ライトのON/OFF

- ▶ センター・コンソールのハザード・ライト・ボタンを押してください。  
すべての方向指示灯とボタンのインジケータ・ライトが同時に点滅します。

**緊急ブレーキ後のハザード・ライトの解除**  
約70km/h以上の速度で走行中、例えば目前に渋滞の最後尾が現れたとき、停車するために急ブレーキをかけると、制動中にブレーキ・ライトが点滅し、車両の停止後にハザード・ライトが自動的に作動します。

- ▶ センター・コンソールのボタンを押して、ハザード・ライトを停止させてください。  
車両が動き出すと、ハザード・ライトが自動的に停止します。

### 事故後のハザード・ライトの解除

衝突時、ハザード・ライトが自動的に作動します。

- ▶ ハザード・ライトを停止するためには、イグニッションをOFFにした後、再度イグニッションをONにしてください。

## 発光ダイオード (LED) とロングライフ・バルブの交換

デイトタイム・ドライビング・ライト、フロント・サイド・ライト、方向指示灯、バイキセン・ヘッドライトのガス・ディスチャージ・バルブ、テール・ライト、ライセンス・ライト、ハイマウント・ブレーキ・ライトインジケータ・ライトおよびルーム・ライトは、発光ダイオード (LED) およびロングライフ・バルブが使用されています。

LEDは個別に交換できません。

ロングライフ・バルブの交換には専門知識が必要です。

- ▶ 発光ダイオード (LED) とロングライフ・バルブの交換はポルシェ正規販売店にお任せください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ラゲッジ・コンパートメント

### 荷物の積載

#### ▲ 警告

積載時の車両の操縦性の変化

車両の操縦性は積載量によって変化します。

- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- ▶ 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。
- ▶ (332 ページの図を参照)

#### ▲ 警告

不適切なタイヤ空気圧

タイヤ空気圧が正常でない場合、安全な走行に支障をきたす恐れがあります。

- ▶ 荷重に合わせてタイヤ空気圧を調整してください。
- ▶ タイヤ空気圧を変更した場合、タイヤ空気圧モニタリングの設定を更新してください。
- ▶ (267ページの図を参照)
- ▶ (338ページの図を参照)

### ラゲッジ・コンパートメントの開閉

- ▶ (197ページの図を参照)

### 停止表示板の取り外し\*

停止表示板Aはラゲッジ・コンパートメントの裏側に収納されています(国別仕様により異なります)(294ページの図245を参照)。

### 応急処置セットの固定および取り外し\*

応急処置セットBは、ラゲッジ・コンパートメント内のカーペットにマジック・テープで固定することができます(国別仕様により異なります)(294ページの図246を参照)。

### タイヤ・シーラント/車載工具の取り外しおよび収納



図245: タイヤ・シーラントを収納したプラスチック・ボックスA

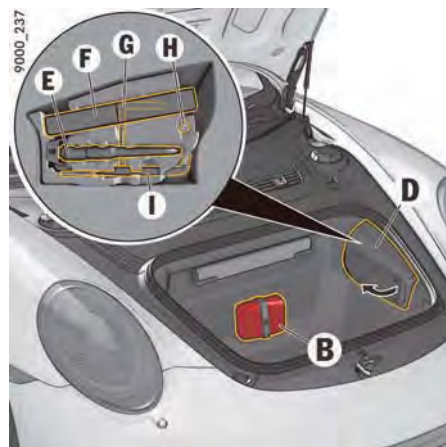


図246: 車載工具を収納したプラスチック・ボックスB

E けん引フック

F 車載工具

G スライディング・ルーフの緊急操作用クランク

H 盗難防止ホイール・ボルト・アダプター

I PDK セレクター・レバーの緊急操作用プラスチック・ウェッジ

### タイヤ・シーラント/車載工具の取り外し

- ▶ プラスチック・ボックスの取っ手をつかんで、取り外してください。

### タイヤ・シーラント/車載工具の収納

1. 後部のラグを挿入してください。
2. プラスチック・ボックスの前部をはめ込んでください。

\* 日本仕様に設定はありません。

## タイヤ充填コンプレッサーの 取り外しおよび収納

### タイヤ充填コンプレッサーの取り外し

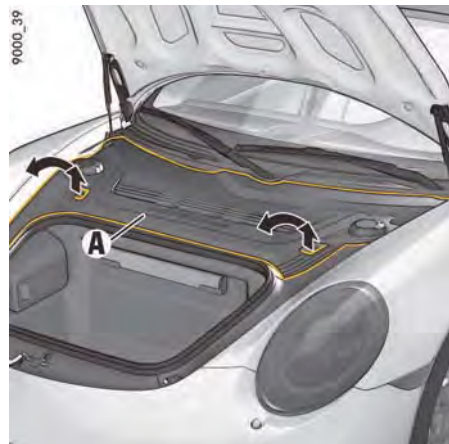


図247: プラスチック・カバーの取り外し

1. プラスチック・カバーAの取っ手(矢印)を持って持ち上げ、ラッチを外してください(外れる音が聞こえます)。
2. プラスチック・カバーを少し前方に引き、前部を持ち上げてください。

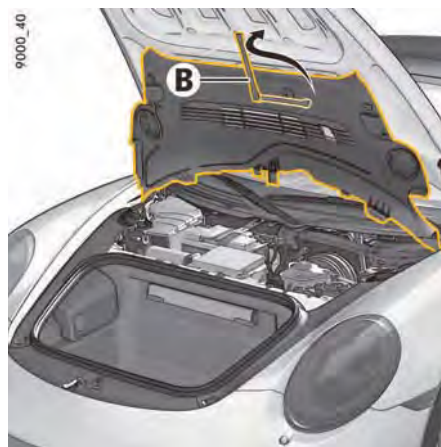


図248: プラスチック・カバーの取り付け

3. プラスチック・カバー下側の固定ストラップBを外し、トランク・リッドに取り付けてください。

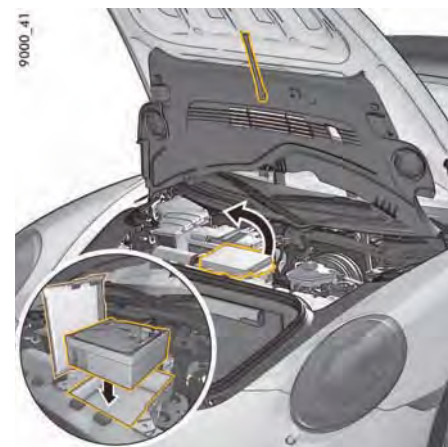


図249: タイヤ充填コンプレッサーの収納ボックスを開く

4. タイヤ充填コンプレッサーの収納ボックスを開いてください(図249)。
5. タイヤ充填コンプレッサーを収納スペースから取り出してください。

## タイヤ充填コンプレッサーの収納

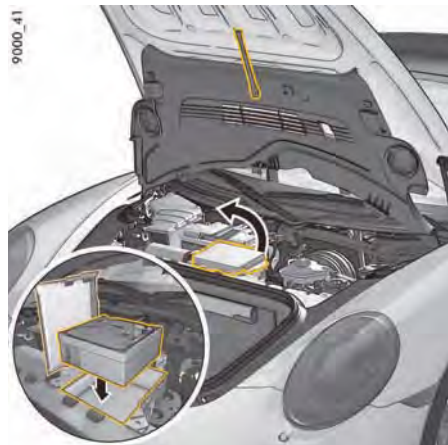


図250: タイヤ充填コンプレッサーの交換

1. タイヤ充填コンプレッサーを収納ボックスに入れてください (図250)。
2. 収納ボックスのカバーを閉じてください。

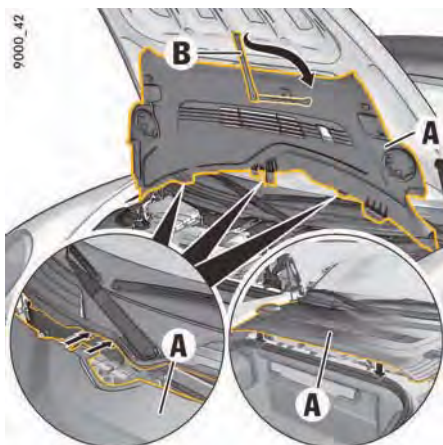


図251: プラスチック・カバーを閉じる

3. 固定ストラップ**B**を外し、プラスチック・カバーにはめ込んでください。
4. プラスチック・カバー**A**の後端部をガイドに差し込み、ホルダー上に置いてください。プラスチック・カバーの前部を下げてください。
5. カバー下側のセンタリング・ピンが各ガイドにはまっていることを確認してください。ラッチのはまる音が聞こえるまで、カバーの取っ手部分を下に押してください。

# ラジオ

## 概要

この概要説明は「ラジオ」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく安全に関する指示および警告を必ずお読みください。

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:  
 ▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作」(245ページ) を参照してください。



図 252: FM 周波数帯

運転者が何をしたいか?	その操作方法は?	ページ
周波数帯の設定	▶ <b>TUNER</b> ボタンを何度か押して希望する周波数帯 ( <b>AM</b> または <b>FM</b> ) をヘッドラインに表示させてください。	298
放送局リストから放送局を選択する	▶ <b>TUNER</b> ボタン ▶ <b>List</b> ▶ 選択 放送局	298
放送局リストのスクロール	▶ 希望の局が再生されるまでボタン  または  を押し続けてください。	
放送局リストから放送局を保存	▶ ボタン <b>TUNER</b> ▶ <b>List</b> ▶ <b>Store</b> ▶ <b>Store</b> /放送局ボタンを押してください。	299
保存した局を選択する	▶ ボタン <b>TUNER</b> ▶ <b>Presets</b> を押して、希望の放送局ボタンを押してください (A)。	298
放送局の詳細を表示する	▶ ボタン <b>TUNER</b> ▶ <b>Presets</b> ▶ <b>詳細</b> を押してください。	299



## 周波数帯を設定する

1. **SOURCE** ボタンを押してください。
2. **AM**または**FM**を選択してください。

または

- ▶ **TUNER** ボタンを何度か押し、希望の周波数帯(**AM**または**FM**)を設定してください。

または

1. **TUNER** ボタンを押してください。
2. ヘッドラインに表示された周波数帯を選択してください。
3. **SOURCE** メニューから希望する周波数帯**AM**または**FM**を選択してください。

## 選局

### 保存した放送局を表示および選択する(プリセット)



図253: 放送局ボタン (プリセット)

1. **TUNER** ボタン ▶ **Presets**
2. 放送局を選択してください。  
選択した局のボタン (**A**など) が強調表示され、スピーカー・シンボルが表示されます。

合計20個の放送局ボタン(プリセット)が用意されており、最初の3ページに15個の放送局を自由に割り当てることができます(現在選択されているページの表示については、**B**を参照)。受信電波の最も強い5つのラジオ放送局が、自動的に4ページの放送局ボタンに割り当てられます(ベストFMレベル)。

## スキップ・ボタンで選局する

- ▶ 選択したメイン・メニューに関わらず、**◀**および**▶**ボタンを使用して選局することができます。  
放送局一覧の次/前の放送局、利用可能な周波数、またはアンサンプルが設定されます。

## 手動で選局する

- ✓ FMまたはAM周波数帯を設定する

1. **TUNER** ボタン ▶ **Tune**
2. 周波数バーを使用して周波数を選択してください。

## 放送局リストから放送局を選択する

1. **TUNER** ボタン ▶ **List**
2. 放送局を選択してください。  
現在の周波数帯にあるすべての放送局が放送局リストに表示されます(最高100局まで)。

## 放送局のスキャンと選局

1. **TUNER** ボタン ▶ **OPT** ボタン
2. **Start scan**を選択してください。  
周波数帯の各放送局のスキャンには約5秒かかります。
3. 放送局を選択して選局する：  
▶ **OPT** ボタン ▶ **Cancel scan**を選択してください。  
放送局がスキャン後に選局されます。

## マルチファンクション・ディスプレイを使用して放送局を選択する







マルチファンクション・ディスプレイの使用に関するインフォメーション：

- ▶ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールを使用しないマルチファンクション・ディスプレイの操作」(262ページ)を参照してください。
- ▶ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作」(262ページ)を参照してください。

1. オーディオメニューを選択してください。
2. 放送局リストから放送局を選択してください。

## 放送局の保存



### 選局した放送局を手動で保存する

1. **TUNER** ボタン ▶ **Tune** 
  2. 放送局を選局してください。
  3. 放送局を保存する：
    - a. **Store**  を選択してください。  
**Presets**  メニューが表示されます。
    - b. **Store**  または希望の放送局ボタンを選択してください。  
放送局が選局した放送局ボタンに保存されます。
- または
- a. **Presets**  メニューを選択してください。
  - b. **Store**  を3秒間押し続けてください。  
放送局が選局した放送局ボタンに保存されます。


### 放送局を保存する

1. **TUNER** ボタン ▶ **OPT** ボタン
2. **Store station** ▶ 放送局ボタンを押してください。  
放送局が保存されます。

### 放送局リストから放送局を保存する

1. **TUNER** ボタン ▶ **List** 
2. 放送局を選択して、 を選択してください。
3. 希望の放送局ボタンを押してください。  
放送局が選局した放送局ボタンに保存されます。

## 放送局を自動で保存する


1. **TUNER** ボタン ▶ **Presets** 
2. **AS**を1秒以上押し続けてください。  
検索が開始されます。受信電波の最も強い5つのラジオ放送局が、4ページ目に保存され(ベストFMレベル)、最も強い電波で受信された放送局が設定されます。

## 放送局情報の表示

### ラジオ・テキストの表示

1. **TUNER** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET FM**
2. **Radio text**を選択してください。  
 ラジオ・テキストがONに切り替わります。  
 ラジオ・テキストがOFFに切り替わります。  
各放送局のプログラムに関する情報が利用可能な場合は「Details」に表示されます。

### 放送局の詳細を表示する

1. **TUNER** ボタンを押してください。
2. 放送局の詳細を表示する：
  - a. **Details**を選択してください。  
または  
a. **List**  ▶ **OPT**
  - b. **Station details**を選択してください。  
プログラム関連情報が表示されます。

## 設定の変更

### 放送局トラッキングのON/OFF

FM周波数帯の電波品質が低い場合、チューナーが自動的に選局した放送局の代替周波数への切り替えを試みます。

1. **TUNER** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET FM**

2. **Station tracking**を選択してください。

- 放送局トラッキングがONになります。
- 放送局トラッキングがOFFになります。

### リージョン適応のON/OFF

地域によって、FM周波数帯のプログラムは一部異なっており、内容は地域別のプログラムでそれぞれ配信されています。

この機能をONにすると、その地域の代替周波数帯に切り替えることができません。

1. **TUNER** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET FM**

2. **Regional adaptation**を選択してください。

- リージョン適応がONに切り替わります。
- リージョン適応がOFFに切り替わります。

### 放送局リストのソート条件を設定する

1. **TUNER** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET FM** ▶ **Sort criteria**

2. 希望の項目を選択してください。

- **放送局名** (FM)：放送局リストがアルファベット順に並び替えられます。
- **周波数** (FM、AM)：放送局リストは周波数帯内の放送局の順番で並び替えられます。
- **ジャンル** (FM)：放送局リストはプログラムの種類、またはジャンル（ポップス、ロックなど）によって並び替えられます。
- **電波品質** (FM、AM)：放送局リストは放送局の電波の強さによって並び替えられます。受信状態の良い放送局がリストの最上部に表示されます。

### 放送局表示の設定

1. **TUNER** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET FM** ▶ **Station display**

2. 希望の項目を選択してください。

- **放送局名**：放送局名が表示されます。
- **周波数**：放送局の周波数が表示されます。

### 放送局名の固定

1. **TUNER** ボタン ▶ **OPT** ボタン

2. **Fix name**を選択してください。

現在表示されている放送局名を固定することができます。このときラジオ局のテキスト放送は表示できなくなります。

- ▶ 再度テキストを表示するには、**Release name**を選択してください。


## リヤ・ウィンドウ・ヒーター/ドア・ミラー・ヒーター

### リヤ・ウィンドウ・ヒーターおよびドア・ミラー・ヒーター




図254: リヤ・ウィンドウ・ヒーター/ドア・ミラー・ヒーター

### リヤ・ウィンドウ・ヒーターおよびドア・ミラー・ヒーターをONにする


- ✓ エンジンを作動状態にする
- ▶  ボタンを押してください。  
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

外気温度によって、約5～20分後にリヤ・ウィンドウ/ドア・ミラー・ヒーターのスイッチが自動的にOFFになります。

### 再度ONにする

- ▶  ボタンをもう一度押してください。  
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

### リヤ・ウィンドウ・ヒーターおよびドア・ミラー・ヒーターをOFFにする

- ▶  ボタンを押してください。  
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

### インフォメーション

バッテリー電圧が低すぎると、リヤ・ウィンドウ・ヒーター/ドア・ミラー・ヒーターの作動が制限され、その後OFFになります。

## リヤ・スポイラー

リヤ・スポイラーは高速走行時の走行安定性を向上させます。

## オートマチック・モード

車速とスライディング/チルティング・ルーフの位置に応じて、リヤ・スポイラーは車速が約120km/h以上になると自動的に展開し、約80km/h以下になると格納します。

オート・コントロール・システムに不具合があると、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(86ページ)を参照してください。



**警告**

格納式リヤ・スポイラーの故障

警告メッセージが表示された場合は、格納式リヤ・スポイラーが故障していることを示します。高速走行時にリヤ・アクスルが浮き気味になるために走行安定性が妨げられます。

- ▶ この状態を配慮した走行スタイルと速度で運転を行ってください。
- ▶ 故障を修理してください。

ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## マニュアル・モード




図255: センター・コンソールのリヤ・スポイラー操作ボタン

リヤ・スポイラーは、イグニッションをONにして、センター・コンソールのボタンを操作することにより、手動で展開/格納することができます。


リヤ・スポイラーがマニュアル・モードの場合、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

### 手動展開


- ▶  ボタンを短く押してください。リヤ・スポイラーが展開します。ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。リヤ・スポイラーはマニュアル・モードに切り替わります。

### 手動での格納

0~15km/h:

- ▶ ボタンのインジケーター・ライトが消灯するまで、 ボタンを押し続けてください。

15km/h以上:

- ▶  ボタンを短く押してください。ボタンを押した後、すぐにインジケーター・ライトは消灯します。リヤ・スポイラーはオートマチック・モードに切り替わります。



**注意**

リヤ・スポイラーの展開/格納

停車中にリヤ・スポイラーを手動で展開/格納するときは、動いているスポイラーと車両の固定部分の間に身体の一部が挟まれる恐れがあります。

- ▶ リヤ・スポイラーが稼動する範囲に人や物がいないことを確認してください。

### 知識

- リヤ・スポイラーを損傷する危険があります。
- ▶ リヤ・スポイラーを持って車両を動かさないでください。

### 知識

リヤ・スポイラーを展開させると、異物が付着してインタークーラーへのエア供給が妨げられる場合があります。

- ▶ リヤ・スポイラーを展開した状態で駐車しないでください。



# ルーフ・トランスポート・システム

## ルーフに荷物を積載して運ぶ

ルーフ・トランスポート・システムは、車両のルーフに取り付けて様々な物を輸送することができます。

荷物を安全に確実に運ぶにはルーフ・トランスポート・システムや他の補助アタッチメント（スキー・ラック、バイク・ラック、サーフボード・ラック、ルーフ・ボックス、スノーボード・ホルダーなど）を使用してください。

- ▶ ポルシェ社がテストを行い、承認したルーフ・トランスポート・システムのみを使用してください。市販のルーフ・ラック・システムは装着できません。

ルーフ・トランスポート・システムに関するインフォメーション：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。

### ⚠ 警告

固定されていないまたは不適切な位置に固定したルーフ・トランスポート・システムまたは積載機器

固定されていないまたは不適切な位置に固定したルーフ・トランスポート・システムが走行中に車両から外れ、重大事故を起こす恐れがあります。

- ▶ スキー・ラックやルーフ・ボックスなどの積載機器は、サポートに対してできる限り中央になるように取り付けてください。
- ▶ 走行を開始する前に、ルーフ・トランスポート・システムと積載機器が正しく確実に固定されていることを必ず確認してください。長距離走行時は、途中で定期的に確認してください。
- ▶ すべてのファスニング・スクリューを再度締め付けてください。

### ⚠ 警告

ルーフ・トランスポート・システムを装着した積載時の操縦性の変化

ルーフ・トランスポート・システムを装着し、荷積みした場合、車両のハンドリング特性が変化します（重心が高くなり、空気抵抗が大きくなります）。

- ▶ 慎重な運転を心がけてください。
- ▶ ルーフ・トランスポート・システムを装着して荷物を積載しているときは、130km/h以上の車速で走行しないでください。
- ▶ ルーフ・トランスポート・システムを装着して荷物を積載していないときは、180km/h以上の車速で走行しないでください。
- ▶ ルーフ・トランスポート・システムに荷物を積載する際は、積み荷がルーフ・トランスポート・システムの側面からはみ出さないように注意してください。車両幅より幅が広いルーフ・トランスポート・システムは絶対に取り付けしないでください。
- ▶ 荷物の重心をできる限り低い位置にしてください。ルーフ・トランスポート・システムの積載エリア全体に、均等に荷重がかかるように荷物を載せてください。

### ⚠ 警告

固定されていない、または不適切な位置に固定した荷物

固定されていない、または不適切な位置に固定した荷物が走行中にルーフ・トランスポート・システムから外れ、重大事故を起こす恐れがあります。

- ▶ 走行中にずれないように、積み荷は適切な方法で固定してください。
- ▶ 伸縮性があるゴム製の固定具は使用しないでください。
- ▶ 荷物の重心をできる限り低い位置にしてください。ルーフ・トランスポート・システムの積載エリア全体に、均等に荷重がかかるように荷物を載せてください。

### 知識

ルーフ・トランスポート・システムを装着している場合に、スライディング/チルティング・ルーフを開くまたは上げると、ルーフや荷物が損傷します。

- ▶ ルーフ・トランスポート・システムを装着している場合は、スライディング/チルティング・ルーフを開いたり、上げたりしないでください。

### 知識

ルーフ・トランスポート・システムを装着したまま自動洗車機を使用したり、車高に注意を払わなかったり、許容最大荷重を超過すると、車両やルーフ・トランスポート・システムを損傷する恐れがあります。

- ▶ 自動洗車機を使用する前に、ルーフ・トランスポート・システムを完全に取り外してください。
- ▶ 立体駐車場など、高さが限られた場所に進入する前に、ルーフ・トランスポート・システムを含めた全高を確認してください。
- ▶ 最大ルーフ積載荷重、最大総重量および最大軸荷重の限度を超えないようにしてください。
  - ▷ 「重量（メーカー発表値）」（332ページ）を参照してください。
- ▶ ルーフ・トランスポート・システムの許容最大荷重である70kgを超えないようにしてください。

### i インフォメーション

- ▶ ルーフ・トランスポート・システムを使用しない場合は、ルーフ・トランスポート・システムを完全に取り外すことで、燃料を節約し、ノイズを低減できます。

## ルーフ・トランスポート・システムの取り付け



図256: ルーフ・トランスポート・システムの構成部品

- A フロント・キャリア (ロング)
- B リヤ・キャリア (ショート)
- C カバー・トリム
- D トルク・レンチ
- E キー

初めて取り付ける場合：

- ▶ フロントおよびリヤ・キャリアを車両幅に合わせて調節してください。

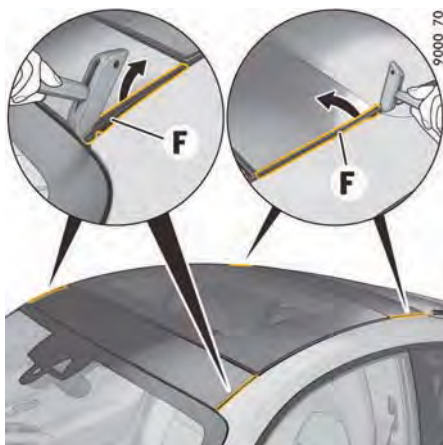


図257: ルーフ・レールからシールを取り外す

1. トルク・レンチのフックを使用して、ルーフ・レールのシールFを持ち上げ、引き出してください。

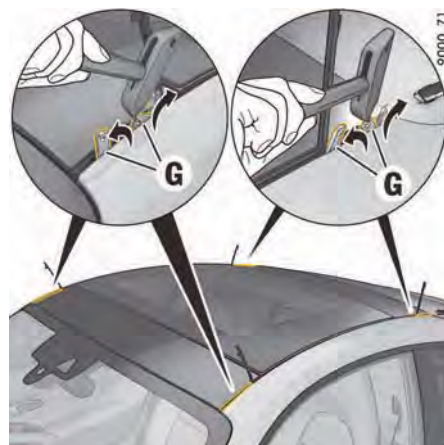


図258: ロータリー・ホルダーを持ち上げる

2. 8個すべてのロータリー・ホルダーGをトルク・レンチのフックで持ち上げてください。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z



図259: カバー・フラップのロックを解除して折り上げる

3. キーを使用してカバー・フラップHのロックを解除し、できるだけ上に折り上げてください。



図260: キャリアの下側のスクリューをゆるめる

4. 初めて取り付ける場合：

- a. トルク・レンチからハンドルを取り外してください。  
トルク・レンチの短い方を使用して、キャリアの下側のスクリューをゆるめてください。

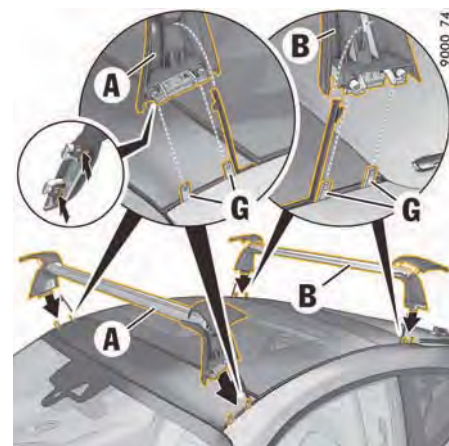


図261: キャリアの長さを調節する

- b. 長いキャリアAをフロント側、短いキャリアBをリア側のロータリー・ホルダーGに配置し、可動式キャリア・サポートで車両の幅に合わせてください。  
キャリアの下側に貼ってあるステッカーに合わせて、キャリアが配置されているか確認してください。
- c. キャリアの下側のスクリューをゆるく締め付けてください。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z



図262: キャリアの下側のスクリューを締め付ける

- d. キャリアを取り外し、トルク・レンチの短い方を使用して、キャリアの下側のスクリューを手で締め付けてください。
- e. トルク・レンチのハンドルを取り付けてください。



図263: キャリアの取り付け

- 5. キャリアをロータリー・ホルダー G 上に再び配置してください (305ページの図261)。

**知識**

シールがルーフとサポートの間に挟まれて損傷する恐れがあります。

▶ シールFをサポート底部に挿入してください。

- 6. 8個すべてのファスニング・スクリューをトルク・レンチで表面が面一になるまでねじ込んでください。次に、トルク・レンチの矢印マークが完全に揃うまで、8個すべてのスクリューを締め付けてください。



図264: 積載機器の挿入

- 7. キャリアのカバー・フラップHを完全に下方に下げて、ご希望の積載機器（ルーフ・ボックス、バイク・ラックなど）をキャリアに押し込んでください。



図265: カバー・トリムをサイズに合わせて切り、取り付ける

8. カバー・トリムCをサイズに合わせて切り、横方向からスライドさせるか上から押してキャリアにはめ込んでください。カバー・トリムは湿気やほこりからキャリアを保護すると同時に、風切り音を防ぎます。
9. カバー・フラップを閉じ、キーでロックしてください。

### **i** インフォメーション

50km走行後、キャリアおよび積載機器のすべてのスクリーンを再度締め付けてください。



## レーン・チェンジ・アシスト (LCA)

レーン・チェンジ・アシスト (LCA) は、後方から接近する車両や死角にある車両をドライバーに警告します。これは、他車を追い越すときや追い越されるときにも作動します。危険な状況や車線変更が不可避な状況を検出すると、両側のドア・ミラー取付部フィニッシャーに一体化されている警告インジケーターが直ちに点灯します。



図266: ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーター A

### ▲ 警告 集中力の低下

レーン・チェンジ・アシストが装備されていても、走行中は周囲の状況に注意し、責任ある運転を心がけてください。車線変更の際は、特に注意を払ってください。

- ▶ ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

### ▲ 警告 レーダー・センサーの視界不良

レーダー・センサーの視界は急カーブ、凹凸のある道路、および悪天候（雨、雪、氷、強い水しぶき）では低下することがあります。車両を正しく検出できないことや、まったく検出できなくなる場合があります。

- ▶ ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

### ▲ 警告 車両が検出されない

- レーン・チェンジ・アシストは高速で後方から接近する車両や遠ざかる車両に対しては、タイミング良く警告できない場合があります。
- レーン・チェンジ・アシストは急カーブ（半径約100m未満のカーブ）では機能しません。
- レーン・チェンジ・アシストは約30km/h以上の速度で走行しているときにのみ、接近車両や死角エリアの車両をドライバーに警告します。

危険な状況に陥る恐れがあります。

- ▶ ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

## 一般的なインフォメーション

- レーン・チェンジ・アシストは高速道路や郊外道路での走行に役立ちます。このためシステムは約30~250km/hの車速で走行する場合に機能します。
- この警告インジケーターはドライバーがドア・ミラー取付部フィニッシャーを一目見ただけで気づくよう設計されています。
- レーン・チェンジ・アシストのレーダー・センサーが覆われていることをシステムが検出した場合は、レーン・チェンジ・アシストは利用できません。

- レーダー・センサーは車両以外の他の障害物（高いまたは隆起した中央分離帯など）を検出することがあります。
- この警告インジケーターはドライバーがドア・ミラー取付部フィニッシャーを一目見ただけで気づくよう設計されています。

## i インフォメーション

- ▶ 衝突修理後などレーダー・センサーの位置が変更された場合は、安全上の理由から必ずボルシェ正規販売店でレーン・チェンジ・アシスト・システムを点検してください。

## レーン・チェンジ・アシストの作動/停止

レーン・チェンジ・アシストはマルチファンクション・ディスプレイで作動/停止します。

- ▶ 「レーン・チェンジ・アシスト (LCA) のON/OFF」(275ページ)を参照してください。

## i インフォメーション

レーン・チェンジ・アシストを適切に機能させるには:

- ▶ リヤ・バンパーのレーダー・センサー部(図267)をステッカーなどで塞がないでください。この周囲から汚れや雪、氷も取り除いてください。
- ▶ ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターをステッカーなどで覆わないでください。



図267: リヤ・バンパー内のレーダー・センサー

## 作動原理

レーン・チェンジ・アシストは、リヤ・バンパー内に組み込まれたレーダー・センサーを使用して、自車と検出した車両との距離および速度差を測定します。レーダー・センサーは後方約70mの範囲および死角を監視しています。

レーン・チェンジ・アシストがその速度差および距離から車線変更が危険と判断した場合、該当するドア・ミラー取付部フィニッシャーに表示します。

車両の右側および左側は個別に表示されます。例えば、左ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターはドライバーが左車線に車線変更する際に役立ちます。

ドライバーが方向指示灯を操作した際、危険とみなす車両を検出すると、該当するドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。

他車をゆっくり（速度差約15km/h未満）と追い越す場合、他車が死角エリアに入ったことをレーン・チェンジ・アシストが検出すると、直ちに警告インジケーターが点灯します。速度差がそれ以上の場合、ドア・ミラーには表示されません。

## i インフォメーション

レーダー・センサーは左右の隣接する車線を検出します。その他の車線は、レーダー・センサーで検出されません。

## インフォメーションおよび警告ステージ

レーン・チェンジ・アシストには方向指示灯を操作するかしないかによって、2段階の警告インジケーター作動ステージがあります。

### インフォメーション・ステージ

ドライバーが方向指示灯を操作していない場合、レーン・チェンジ・アシストは、検出した車両が車線変更の際に危険となりうると判断すると、ドライバーに知らせます。レーン・チェンジ・アシストが検出した車両との速度差および距離を危険と判断すると、該当するドア・ミラーの警告インジケーターが弱い光で点灯します。

### 警告ステージ

レーン・チェンジ・アシストは、ドライバーが方向指示灯を操作した側に危険と見なされる車両を検出した場合、検出した側のドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが明るく点滅を開始します。警告ステージの数回の明るい点滅は、ドア・ミラーを見るかまたは肩越しに確認するなど、再度周囲の交通状況を確認するよう促しています。

## i インフォメーション

ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターの明るさは変更可能です。

▷ 「ドア・ミラーのレーン・チェンジ・アシスト (LCA) の警告表示の明るさを設定する」(275ページ) を参照してください。

## i インフォメーション

- 車両がより高速で接近してくると、ドア・ミラーの警告インジケーターはより早いタイミングで点灯します。レーン・チェンジ・アシストによって検出されたすべての車両は、遅くとも「死角エリア」に入るまでにドライバーに警告されます。

- ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターがまだ表示されていないくても、高速で接近する車両がある場合は、車線変更は危険であると考えられます。

## 運転状況：

起こりうるケースとそれに関連するレーン・チェンジ・アシストの警告インジケーターを、運転状況に応じて以下に説明します。

運転状況 - 高速で接近する車両

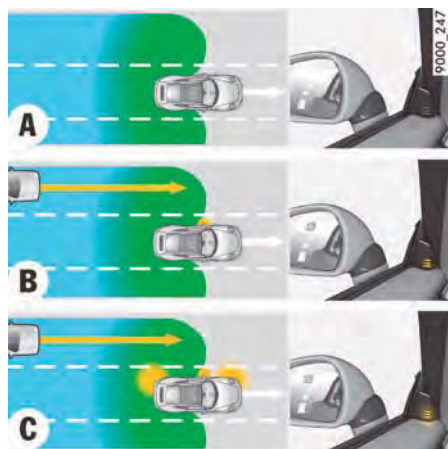


図268: 高速で接近する車両

**A - ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが点灯していない**

センサーは車両を検出していません。ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しません。

**B - 警告インジケーターがインフォメーション・ステージで点灯する**

センサーが高速で接近する車両を検出しました (図の例は左車線を示しています)。車両との距離はまだ離れていますが、著しい速度差があるため、この車両はすでに車速変更を行うには危険と判断されます。ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが点灯します。

**C - 警告インジケーターが警告ステージで点滅する**

運転状況Bでドライバーが方向指示灯を操作すると、ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。レーン・チェンジ・アシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

運転状況 - ゆっくりと接近する車両

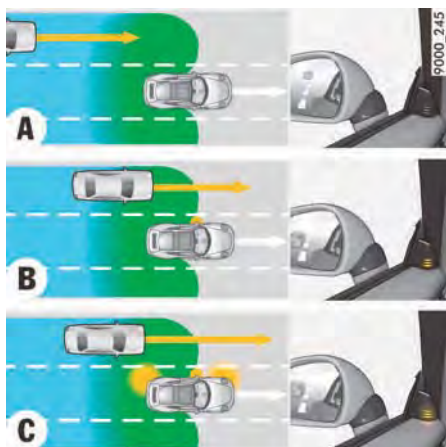


図269: ゆっくりと接近する車両

**A - ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが点灯していない**

センサーがゆっくりと接近する車両を検出しました (図の例は左車線を示す)。速度差が小さくて車間距離が長い場合は、ドア・ミラー取付部フィニッシャーに表示されません。

**B - 警告インジケーターがインフォメーション・ステージで点灯する**

車両がゆっくりと接近してきています。ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが点灯します。

レーン・チェンジ・アシストがその速度差および距離から車線変更は危険と判断する場合のみ、ドア・ミラー取付部フィニッシャーに表示されます。レーン・チェンジ・アシストによって検出されたすべての車両は、遅くとも「死角エリア」に入るまでにドライバーに警告されます。

**C - 警告インジケーターが警告ステージで点滅する**

運転状況Bでドライバーが方向指示灯を操作すると、ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。レーン・チェンジ・アシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

運転状況 - ゆっくりと遠ざかる車両

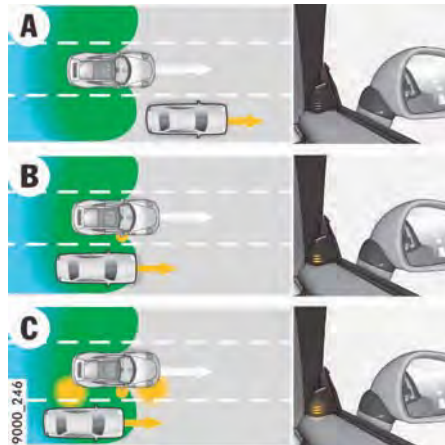


図270: ゆっくりと遠ざかる車両

**A - ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターは点灯していない**

レーン・チェンジ・アシストは追い越される車両をまだ検出していません。ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターの表示はありません。

**B - 警告インジケーターがインフォメーション・ステージで点灯する**

この例では、レーン・チェンジ・アシストはゆっくりと遠ざかる車両（速度差約15km/h未満）を右側車線で検出しました。ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが点灯します。

**C - 警告インジケーターが警告ステージで点滅する**

運転状況Bでドライバーが方向指示灯を操作すると、ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。レーン・チェンジ・アシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

運転状況 - 高速で遠ざかる車両

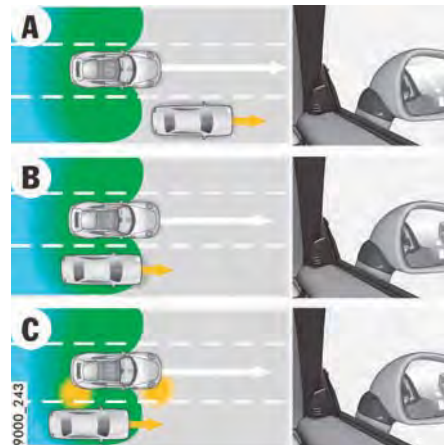


図271: 高速で遠ざかる車両

**A - ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが点灯していない**

レーン・チェンジ・アシストは追い越される車両をまだ検出していません。ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターの表示はありません。

**B - ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターは点灯していない**

この例では、レーン・チェンジ・アシストは高速で遠ざかる車両（速度差約15km/h以上）を右側車線で検出しますが、高速で遠ざかっているため車線変更を行う際の危険とはみなされません。ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターの表示はありません。

**C - ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが点灯していない**

運転状況Bでドライバーが方向指示灯を操作しても、ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターは点灯しません。

カーブを走行する

カーブを走行する場合、レーン・チェンジ・アシストは1つ離れた車線を走行する車両に反応し、ドア・ミラーの警告インジケーターを点灯することがあります。

レーン・チェンジ・アシストは急カーブでは車両を検出できません（約100m未満の半径のカーブ）。

- ▶ カーブを走行するとき、および標準的な幅でない車線を走行するときは特に注意してください。

車線の幅

標準的な幅の車線の場合、ドライバーが車線の中央部または車線の端を走行していても、レーン・チェンジ・アシスト検出エリアには隣接した車線（左/右）が含まれます。

狭い車線を走行する場合、検出エリアにはより多くの車線が含まれます（特に車線の端を走行している場合）。このような状況では1つ離れた車線を走行する車両が検出されることもあり、レーン・チェンジ・アシストがインフォメーションまたは警告ステージに切り替わる可能性があります。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら

同様に、非常に幅の広い車線の場合、隣の車線の車両であっても、検出エリアの範囲外であれば検出されないことがあります。

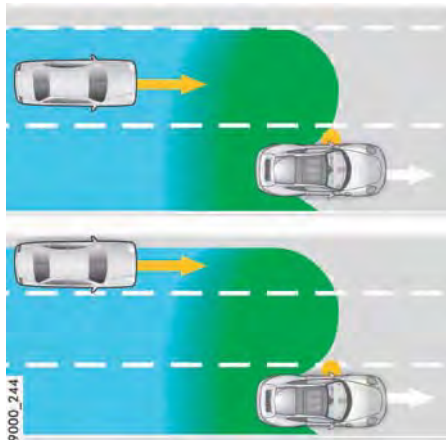


図272: 車線の幅と検出エリア

## ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターの明るさの設定

警告インジケーター（インフォメーションおよび警告）は周囲の明るさによって自動的に調節されます。

必要に応じて、基本となる明るさをマルチファンクション・ディスプレイで調節することもできます：

- ▷ 「ドア・ミラーのレーン・チェンジ・アシスト (LCA) の警告表示の明るさを設定する」(275ページ) を参照してください。

### i インフォメーション

明るさを調整している間はレーン・チェンジ・アシストが作動しません。警告インジケーターは明るさ設定の補助として短時間のみ点灯します。



## ロールオーバー・プロテクション (カブリオレ)

### 機能

ロールオーバー・プロテクション・システムがリヤ・シート後方に装備されおり、横転する危険のある事故が起きた際には瞬時に展開します。

作動時に大きな音を伴います。必要な場合は、フロント・シート用シートベルト・プリテンションナーが作動します。

- ▶ 「シートベルト・プリテンションナー」(126ページ)を参照してください。

ロールオーバー・プロテクション・システムは2本の格納式アッセンブリーから構成され、万一車両が転倒しても、フロント・ウィンドウのフレームとともにすべての乗員の頭部を保護できるスペースを確保するシステムです。

### ⚠ 危険

ロールオーバー・プロテクションの改造による不具合

変更を加えたり、作動が妨げられたりすると、ロールオーバー・プロテクション・システムに不具合が生じ、重傷または致命傷を負う危険があります。変更を加えたロールオーバー・プロテクション・システムは保護効果を十分に発揮できません。ロールオーバー・プロテクション・システムが不意に作動したり、全く機能しなかったりする危険があります

- ▶ ロールオーバー・プロテクション・システムの配線や構成部品を改造しないでください。
- ▶ 身体の各部や物が格納アッセンブリーの作動範囲に入らないようにしてください。
- ▶ 格納アッセンブリーのカバーを開かないでください。
- ▶ 車両を清掃する場合は、ロールオーバー・プロテクション・システムに水または洗剤が入らないように注意してください。

### 知識

コンバーチブル・トップを開閉する際に、コンバーチブル・トップおよびロールオーバー・プロテクションを損傷する恐れがあります。展開したロールオーバー・プロテクションはコンバーチブル・トップの作動を妨げます。

- ▶ ロールオーバー・プロテクションが展開した状態でコンバーチブル・トップの開閉操作を行わないでください。



### インフォメーション

コンバーチブル・トップを閉じているときにロールオーバー・プロテクション・システムが作動すると、リヤ・ウィンドウが破損します。

### 警告灯への対応

ロールオーバー・プロテクション・システムに故障がある場合、タコメーター内の赤色のエアバッグ警告灯<sup>⚠</sup>によって表示されます。ロールオーバー・プロテクションの機能が保証されなくなります。

- ▶ 早急に故障を修理してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### 作動済みロールオーバー・プロテクション・システム

- ▶ 格納アッセンブリーを元の位置に押し戻さないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

# ログブック

## 概要

この概要説明は「ログブック」の記載内容に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく安全に関する指示および警告を必ずお読みください。

ボルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:  
 ▷ 「ボルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作」(245ページ) を参照してください。



図 273: ログブックの表示

運転者が何をしたいか?	その操作方法は?	ページ
ログブックの表示	▶ <b>CAR</b> ボタン ▶ Trip  ▶ Logbookページを閲覧する	
ログブックの有効化	▶ <b>CAR</b> ボタン ▶ Trip  ▶ Logbookページを閲覧 (スワイプ) する ▶ <b>OPT</b> ボタン ▶ SET logbook ▶ Activate logbook	315
トリップ・カテゴリーの選択	▶ <b>CAR</b> ボタン ▶ Trip  ▶ Business、Work、またはPrivateを選択する	315
最後のトリップを継続	▶ <b>CAR</b> ボタン ▶ Trip  ▶ Continue  ▶ Resumeを選択する	
給油地の追加	▶ <b>CAR</b> ボタン ▶ Trip  ▶ Stopを選択する  ▶ Save	315
現在のトリップ・データの編集	▶ <b>CAR</b> ボタン ▶ Trip  ▶ Edit  ▶ 希望の項目を選択する。	315
標準トリップを設定	▶ <b>CAR</b> ボタン ▶ Trip  ▶ Logbook ▶ <b>OPT</b> ボタン ▶ SET logbook ▶ Configure standard trip	316
キーまたはコントロール・ユニットをドライバーに割り当てる	▶ <b>CAR</b> ボタン ▶ Trip  ▶ Logbook ▶ <b>OPT</b> ボタン ▶ SET logbook ▶ Edit driver ▶ Assign key ▶ Select driver ▶ Assign current key	316
保存されたトリップの表示	▶ <b>CAR</b> ボタン ▶ Trip  ▶ Logbook ▶ <b>OPT</b> ボタン ▶ Show trip listを表示	316
保存したトリップを外部記憶装置に転送	▶ <b>CAR</b> ボタン ▶ Trip  ▶ Logbook ▶ <b>OPT</b> ボタン ▶ Transfer trips	316
保存したトリップを削除	▶ <b>CAR</b> ボタン ▶ Trip  ▶ Logbook ▶ <b>OPT</b> ボタン ▶ Delete trips ▶ Delete transferred trips or Delete all trips	316

## ログブック

ログブックは自動的にすべてのトリップを記録し、以下のデータとともに保存します。

- カテゴリー（仕事、通勤またはプライベート・トリップ）
- 日付と時刻
- ドライバー
- 目的地（仕事）
- 目的（仕事）
- 連絡先（仕事）
- 備考
- 出発地および目的地での走行距離

## ログブックの有効化および無効化

1. **CAR** ボタン ▶ Trip



図274: ログブックの有効化

2. **Logbook** ページを閲覧（スワイプ）してください。
3. **OPT** ボタン ▶ **SET logbook** を選択してください。
4. **Activate logbook** を選択してください。
  - ログブック有効
  - ログブック無効

## 記録の開始

- ✓ イグニッションがONのとき
- ✓ ログブックが有効になっている
  - ▶ システムが自動的にトリップを記録し始めます。新しいトリップごとに個別に記録が行われます。

## 最後のトリップを継続する

1. **CAR** ボタン ▶ Trip ▶ **Logbook** ▶ **Continue**
2. **Continue** を選択してください。  
最後のトリップを継続します。

## インフォメーション

走行距離が100mに満たない場合は、記録されることなく次のトリップに追加されます。

## 現在のトリップのカテゴリーの変更

- ✓ ログブックが有効になっている

1. **CAR** ボタン ▶ Trip ▶ **Logbook**
2. **Business, Work** または **Private** を選択してください。  
トリップの目的に応じて、様々なドライビング・データが用意されています。初期設定では、**Configure standard trip** で定義されたカテゴリーが有効になります。
  - ▶ 「標準トリップを設定する」(316ページ)を参照してください。

## 給油地の追加

1. **CAR** ボタン ▶ Trip ▶ **Logbook** ▶ **Stop**
2. **Save** を選択してください。  
日付と時刻および走行距離が保存されます。

## 現在のトリップの編集

1. **CAR** ボタン ▶ Trip ▶ **Logbook** ▶ **Edit**
2. 希望のカテゴリーを選択してください。
  - ドライバー
  - 目的地
  - 目的
  - 連絡先
  - 備考
3. 現在の項目を選択または追加するには、**追加** を選択してください。


キーを抜き取るまでの間、現在のトリップを編集することができます。キーを抜き取ると、記録を停止して保存します。（ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車：運転席ドアを開くまで）。

## ログブックの設定

### 標準トリップを設定する

1. **CAR** ボタン ▶ Trip  ▶ Logbook
2. **OPT** ボタン ▶ SET logbook ▶ Configure standard trip 選択してください。  
トリップ開始時に初期設定で設定されたカテゴリ（**Business**、**Work**、**Private**または**last trip**）が選択されます。

### キーをドライバーに割り当てる/割り当てを削除する

1. **CAR** ボタン ▶ Trip  ▶ Logbook
2. **OPT** ボタン ▶ SET logbook ▶ Edit driver ▶ Assign key
3. ドライバーを選択してください。
4. **Assign current key** を選択してください。または  
**Delete key** を選択してください。

キーまたはコントロール・ユニットをドライバーに割り当てると、そのキーまたはコントロール・ユニットを使用した際にドライバーの名前が自動的にログブックで選択されます。

### ドライビング・データを追加する、データ名を変更する、または削除する


1. **CAR** ボタン ▶ Trip  ▶ Logbook

2. **OPT** ボタン ▶ SET logbook

3. 希望のカテゴリを選択してください。
  - ドライバー
  - 目的地
  - 目的
  - 連絡先
4. 希望の機能を選択してください。
  - 追加
  - 名前の変更
  - 削除

## 保存したトリップの表示

最大1,500件のトリップを保存できます。

1. **CAR** ボタン ▶ Trip  ▶ Logbook
2. **OPT** ボタン ▶ Show trip list
3. 希望の項目を選択してください。
4. 詳細ビューで次のトリップを表示するには、矢印ボタンを押してください。


## 保存したトリップの移動

付属のソフトウェアを使用して、ログブックのデータをPCに表示し編集することができます。

- ✓ SDカードが挿入されている、またはUSBメモリーが接続されている

1. **CAR** ボタン ▶ Trip  ▶ Logbook
2. **OPT** ボタン ▶ Transfer trips
3. **SD**または**USB**を選択して、保存したトリップを記憶装置に移動してください。
4. **Export**を選択してください。  
保存したすべてのトリップがエクスポートされます。

## 保存したトリップの削除

1. **CAR** ボタン ▶ Trip  ▶ Logbook
2. **OPT** ボタン ▶ Delete trips
3. **Delete transferred trips**を選択してください。  
または  
PCMに保存されたすべてのトリップを消去するには、**Delete all trips**を選択してください。

## リマインダーのON/OFF

1. **CAR** ボタン ▶ Trip  ▶ Logbook
2. **OPT** ボタン ▶ SET logbook
3. PCMの起動時にリマインダーを数秒間表示したい場合は、**Display reminder**を選択してください。
  - a. リマインダーを閉じるには、**OK**を選択してください。
  - b. ログブックを開くには、**Edit**を選択してください。

## ワイパー

### 概要

この概要説明は「フロント・ワイパー」に代わるものではありません。

操作する際は、この概要のみでなく、「警告」を必ずお読みください。

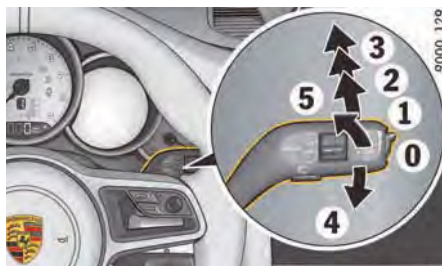


図 275: フロント・ワイパー操作レバー

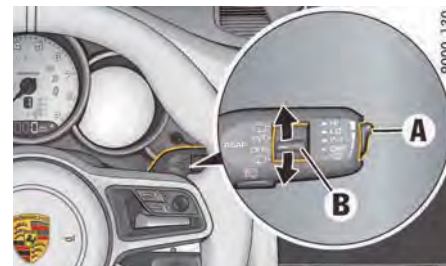


図 276: レイン・センサー/間欠作動感度のスイッチ(A)およびリヤ・ワイパーのスイッチ(B)

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	ページ
フロント・ワイパー・オート作動 (レイン・センサー/間欠作動)	操作レバーを1の位置にしてください。	319
レイン・センサー/間欠作動の感度設定	操作レバー右部のスイッチAを上(作動回数が増える)または下(作動回数が減る)方向に押してください。	319
フロント・ワイパー作動	低速: 操作レバーを2の位置にしてください。 高速: 操作レバーを3の位置にしてください。 ワンタッチ: 操作レバーを4の位置で短く押してください(4の位置で保持すると、ワイパーの動きが速くなります)。	318
フロント・ワイパー & ウォッシャー作動	操作レバーをステアリング・ホイール方向5に引いて、保持してください。	318
リヤ・ワイパー(間欠作動)	操作レバーのスイッチBを上方向INT位置まで押してください。	320
リヤ・ワイパー(ワンタッチ)	スイッチBを上または下方向いっばいに押してください。	320
フロント・ワイパーを立てる	イグニッションをOFFにして、ワイパー・レバーを1回下方向4に押してください。 フロント・ワイパーが上方に約45°移動します。	319



## ▲ 警告

ワイパーの不意の作動

レイン・センサー・モードでは、フロント・ウィンドウに水滴を検出すると自動的にワイプ作動を行います。

- ▶ (レイン・センサー機能により) 不意に作動することのないよう、フロント・ウィンドウを清掃する前に必ずワイパーをOFFにしてください。

## 知識

フロント・ウィンドウ、リヤ・ウィンドウ、およびワイパー・システムを損傷する恐れがあります。

- ▶ フロント・ウィンドウが十分に濡れた状態でワイパーを作動させてください。乾いた状態での使用はウィンドウの擦り傷の原因になります。
- ▶ 運転前にワイパーの凍結を溶かしてください。
- ▶ 凍結時はヘッドライト・ウォッシャーを操作しないでください。
- ▶ (レイン・センサー機能により) 不意に作動することのないよう、洗車機で洗車する前に必ずフロント・ワイパーをOFFにしてください。
- ▶ 洗車機での洗車中はヘッドライト・ウォッシャーを操作しないでください。
- ▶ ワイパー・ブレードを交換する場合は、ワイパー・アームをしっかりと保持してください。
- ▶ ワイパー・ブレードを交換する場合は、ワイパー・ブレードの長さが異なるので注意してください。

## フロント・ワイパーの操作



図277: フロント・ワイパー操作レバー

## 0 フロント・ワイパー OFF

フロント・ワイパーまたはイグニッションをOFFにすると、ワイパー・アームが通常位置からわずかに上方に動きます。この動きにより、ワイパー・ブレードのウィンドウ接触面の向きを整えます。

1 レイン・センサー/間欠作動  
フロント・ワイパー

- ▶ ワイパー・レバーを1段目の位置まで上方向に押してください。

## 2 フロント・ワイパー低速

- ▶ ワイパー・レバーを2段目の位置まで上方向に押してください。

## 3 フロント・ワイパー高速

- ▶ ワイパー・レバーを3段目の位置まで上方向に押してください。

## 4 フロント・ワイパーのワンタッチ機能

- ▶ ワイパー・レバーを下方向に押してください。  
フロント・ワイパーが1回作動します。

## 5 ワイパー/ウォッシャー・システム

- ▶ ワイパー・レバーをステアリング・ホイールの方向に引いてください。  
レバーを手前に引いている間、ウォッシャー・システムとワイパーが作動します。  
レバーを放すとウォッシャー・システムが停止し、その後ワイパーが数回作動します。  
なお、フロント・ウィンドウのウォッシャーが10回作動するごとに、ヘッドライト・ウォッシャー・システムが自動的に作動します。

## i インフォメーション

- ▶ 汚れが激しい場合はウォッシャーを繰り返し作動させてください。
- ▶ 頑固な汚れ(昆虫の死骸など)は定期的に清掃してください。

車両のお手入れに関するインフォメーション:

- ▶ 67ページのお手入れの章を参照してください。

良好な視界を確保するためには、完全な状態のワイパー・ブレードが不可欠です。

- ▶ 321ページのワイパー・ブレードの章を参照してください。

## アイス/サン・シールドの装着とワイパー・ブレードの交換

- ▶ イグニッションをOFFにして、ワイパー・レバーを1回下方4に押してください。フロント・ワイパーが上方に約45°移動します。

## ワイパー作動間隔の調整



図278: レイン・センサー/間欠作動感度の切り替えスイッチ

レイン・センサー非装備車では、フロント・ワイパーの作動間隔を4段階で調節することができます:

### ワイパーの作動間隔を短くする

- ▶ スイッチAを上方向に操作してください。フロント・ワイパーが1回ワイプ作動を行い、感度が切り替わったことを知らせます。

### ワイパーの作動間隔を長くする

- ▶ スイッチAを下方向に押してください。

## レイン・センサー作動の調節

レイン・センサー装備車の場合、フロント・ウィンドウに付着する水滴の量を検知して、ワイパーの作動速度を自動調節します。ワイパーの作動間隔は、状況に応じて自動的に調節されます。

フロント・ワイパーをONにしているときに速度が約4km/h以下になると、レイン・センサーが自動的に作動します。

速度が約8km/hを超えると、システムが設定したワイパー作動に切り替わります。

### i インフォメーション

- イグニッションをONにしたとき、ワイパー・レバーが既に1の位置にあった場合、速度が4km/hを超えるまでレイン・センサーは作動しません。
- イグニッションをONにしたときに、すでにワイパー・レバーが2または3の位置にある場合、フロント・ワイパーはワイパー・レバーを操作しなければ作動しません。

### i インフォメーション

トランク・リッドを開くとワイパーが停止します。

- ▶ 再度ワイパーをONにするには、フロント・ワイパー操作レバーを上方向/下方向に動かしてください。

## レイン・センサー感度の手動調節

ワイパー速度を手動で設定することができます:

- ▶ スイッチAを上方向に押してください
  - センサー感度が高くなります。
- ▶ フロント・ワイパーが1回ワイプ作動を行い、感度が切り替わったことを知らせます。
- ▶ スイッチAを下方向に押してください
  - センサー感度が低くなります。

## マルチファンクション・ディスプレイ上でのレイン・センサー自動モードの作動/解除

レイン・センサーの自動モードに関するインフォメーション:

- ▶ 319ページのレイン・センサー作動の調節の章を参照してください。

## ヘッドライト・ウォッシャー・システムの操作

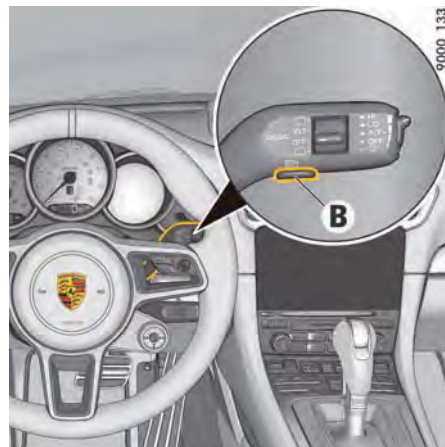


図279: ヘッドライト・ウォッシャー・システムのボタン

- ✓ ロー/ハイ・ビームが作動している
- ▶ ワイパー・レバーの下側のボタンBを押してください。

### i インフォメーション

なお、フロント・ウィンドウのウォッシャーが10回作動するごとに、ヘッドライト・ウォッシャー・システムが自動的に作動します。ロー・ビームを消灯すると、フロント・ウィンドウ・ウォッシャーの作動回数カウントがリセットされ、再度ゼロからカウントします。

## リヤ・ワイパーの操作



図280: リヤ・ワイパーのスイッチ

### リヤ・ワイパーの間欠作動をONにする

- ▶ スイッチCをINT位置まで上方向に押してください。

### リヤ・ワイパーの間欠作動をOFFにする

- ▶ スイッチCをOFF位置まで下方向に押してください。

### ワイパー手動操作

- ▶ スイッチCをOFF位置から下方向に、またはINT位置から上方向にLO、HIまで押し、その位置で保持してください。

### リバース機能をONにする

雨天時やフロント・ワイパーを作動させているときにリバース（後退）ギヤを選択した場合に、リヤ・ワイパーが自動的に作動するかどうかをマルチファンクション・ディスプレイで切り替えることができます。

リバース（後退）ギヤ選択時のリヤ・ワイパーの作動設定に関するインフォメーション：

- ▷ 276ページのリバース（後退）ギヤ選択時のリヤ・ワイパーの作動設定の章を参照してください。

## ワイパー・ブレード


### 知識

ワイパー・アームが不意に倒れるとフロント・ウィンドウを損傷する恐れがあります。

▶ ワイパー・ブレードを交換する場合は、ワイパー・アームをしっかりと保持してください。

### 知識

フロント・ワイパーおよびワイパー・モーターは低温で凍結することがあります。

▶ 運転を開始する前に、ワイパーの凍結を溶かすには  キーを押してください。

### 知識

不適切な清掃をすると、フロント・ウィンドウ・ワイパーのグラフィイト層が損傷する恐れがあります。

▶ 布またはスポンジでワイパー・ブレードを拭き取らないでください。きれいな水で洗い流すのみにしてください。

## フロント・ウィンドウ・ワイパーのお手入れ

良好な視界を確保するためには、完全な状態のワイパー・ブレードが不可欠です。

▶ ウィンドウ・クリーナーを使用してフロント・ウィンドウを定期的に清掃してください（「ウィンドウの清掃」（69ページ）を参照してください。）。特に洗車機を使用した後は清掃してください。

ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。

▶ 汚れがひどい場合（虫の残骸などによって）、スポンジまたは布を使用してフロント・ウィンドウを清掃してください。

## フロント・ワイパーの交換

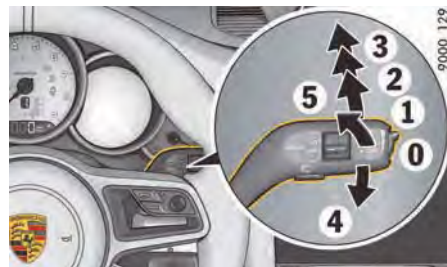


図281: ワイパー・レバー

### 知識

ワイパー・ブレードを交換したときに、ブレードが確実に取り付けられていないと、走行中に脱落することがあります。

- ▶ ワイパー・ブレードは、ワイパー・アームに正しく固定されていなければなりません。
- ▶ ワイパー・ブレードがしっかり取り付けられているか確認してください。

ワイパー・ブレードは1年に2回（冬季の前後）またはワイパーの払拭性能が低下したときや、ワイパー・ブレードが損傷した場合に交換してください。

✓ イグニッションがOFFのとき

1. ワイパー・レバーを下方向（図281、4）に1回、動かしてください。  
フロント・ワイパーが上方に約45°移動します。
2. ワイパー・ブレードの交換は、ワイパー・ブレードに付属の取扱説明書を参照してください。ワイパー・ブレードを交換する場合は、左右でワイパー・ブレードの長さが異なるので注意してください。

### i インフォメーション

必要な場合は、ポルシェ正規販売店で交換作業を行ってください。

ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## Apple CarPlay®

## PCMでApple CarPlay®を開く



図282: センター・コンソールのUSBポート

- ✓ iPhone5®以降、iOS® 7.1以上
- ✓ Siri®およびApple CarPlay®がお使いのiPhone®の設定で有効になっている
- ✓ iPhone®がセンター・コンソールのUSBポートに接続されている
  - ▷ 「USBまたはAUXを介して外部機器を接続する」(251ページ)を参照してください。

1. **HOME** ボタン ▶ Menu  ▶ スマホインテグレーション

2. Apple CarPlay®の使用を希望していることを確認してください。  
利用可能なアプリが表示されます。

### i インフォメーション


- Apple CarPlay®に対応しているiPhone®内のアプリのみが表示されます。対応アプリに関するインフォメーション：
  - ▷ [www.apple.com/ios/carplay](http://www.apple.com/ios/carplay)を参照してください。
- Apple CarPlay®の表示コンテンツおよび機能は、接続済みのiPhone®でのみ提供されます。
- Apple CarPlay®を使用すると、接続されたiPhone®は通話機能のみに利用が制限されます。PCMにBluetooth®経由で接続された携帯電話は、自動的に接続が切断されます。
- 一部のアプリは、有効なデータ接続を必要とします。お使いの携帯電話の料金体系に応じて、また特に海外で携帯電話を使用する場合は、追加料金が発生する場合があります。定額データ・プランのご利用をお勧めします。

### i インフォメーション

- ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション：
- ▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作」(245ページ)を参照してください。

## PCMでApple CarPlay®を操作する

利用可能なすべてのアプリは、PCMのタッチスクリーン、ロータリー・プッシュ・ボタンおよびバック・ボタンで操作できます。

- ▷ Apple CarPlayのメイン・メニューを開くには、PCMのタッチスクリーンでホーム・ボタン  を押してください。

- ▷ PCMのメイン・メニューに切り替えるには、**HOME** ボタン ▶ Porscheの順に選択してください。

または

いずれかのワンタッチ・ボタン（例：**TUNER**）を押してください。



## Siri® 音声認識機能を使用して Apple CarPlay® を操作する

### Siri® を有効にする

- ✓ イグニッションおよびPCMをONにしている
- ✓ 通話中でない
- ✓ パーキング・エイドを使用していない
- ✓ PCMボイス・コントロールを無効にしている

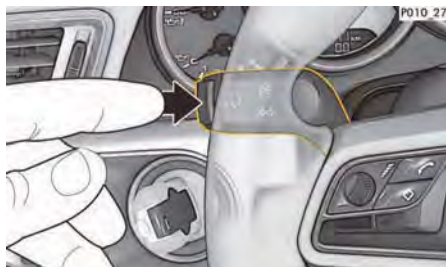


図283: 操作レバーのボイス・コントロール・ボタン

1. 操作レバーの **📞** ボタンを押し続けてください。  
または  
PCMタッチスクリーンのホーム・ボタン **🏠** を押し続けてください。
2. 希望の音声コマンドを発話してください。

### Siri® を解除する

- ✓ 音声認識が有効で、音声コマンドを待機している

- ▶ 操作レバーのボタン **📞** を押してください。終了音が鳴ります。  
または  
ボイス・コマンド、キャンセルまたは終了を発話してください。  
または  
PCMの任意のボタンを押してください。  
該当する機能が開きます。

### **i** インフォメーション

操作レバーのボタン **📞** を素早く押すと、PCMの音声認識機能が有効になります。

- ▶ 「ボイス・コントロール」(235ページ)を参照してください。

## iPhone® を iPod® として使用する 場合および Apple CarPlay® モード で使用する場合の切り替え

iPhone® をセンター・コンソールのUSBポートに接続した後に iPod® として接続した場合、Apple CarPlay® は使用できません。

iPhone® を iPod® として使用する、または Apple CarPlay® モードで使用する場合の切り替えは、接続マネージャーを使用します。



図284: 接続マネージャーを開く

1. フッターの **📶** または **📱** を選択してください (接続状態により異なる)。
2. **スマホインテグレーション** を選択してください。
3. お使いの iPhone® を選択してください。
4. **Using as iPod** を選択してください。  
または  
**Use with Apple CarPlay** を選択してください。

## HOLD機能：発進アシスタント、停止制御

HOLD機能は、上り坂での停車時や発進時にドライバーの運転操作を支援します。

この機能により、車両の思わぬ後退を自動的に防ぎます。

HOLD機能が作動すると、インストルメント・パネルのインジケーター・ライト**HOLD**が点灯します。

HOLD機能が作動中にドライバーが運転席シートベルトを外し、運転席ドアを開いた場合、エレクトリック・パーキング・ブレーキが自動的に作動します。

## 発進アシスタントを使用した発進操作

- ✓ マニュアル・トランスミッション装備車
- ✓ エンジンを作動状態にする
- 1. フット・ブレーキをかけて坂道で停車してください。
- 2. クラッチ・ペダルをいっばいに踏み込んでください。
- 3. 坂道を登るために適切なギヤに変速します(1速またはリバース・ギヤ)。
- 4. クラッチ・ペダルを踏んだまま、フット・ブレーキから足を放してください。  
このとき発進アシスタントが作動して、車両は坂道での停車状態を維持し、後退を防いで発進を容易にします。
- 5. 通常の運転操作で発進してください。

### **i** インフォメーション

車両がエレクトリック・パーキング・ブレーキで坂道に停止している場合、通常の運転操作で発進します。

エレクトリック・パーキング・ブレーキはドライバーの発進操作を検出し、パーキング・ブレーキを自動解除します。

▷ 「エレクトリック・パーキング・ブレーキ」(229 ページ)を参照してください。

### **i** インフォメーション

次のような場合は、発進アシスタントは機能しません。

- クラッチを踏んでいないとき
- 車両が停止していないとき
- エンジンが作動していないとき
- 坂道の勾配率が5%以下るとき
- ブレーキ・ペダルの踏力が弱すぎるとき

## 停止制御を使用した発進操作

✓ PDK装備車

この機能により、ブレーキ・ペダルを踏んでいないときでも、車両の思わぬ後退を自動的に防ぎます。

### **i** インフォメーション

車両が停止している間に素早くブレーキ・ペダルを踏み込むと、勾配に関係なくHOLD機能が作動します。この機能により、ブレーキ・ペダルを踏んでいないときでも、車両が動き出すことを防ぎます。この場合、PDKセレクター・レバーを操作しても、HOLD機能は解除されません。

### **▲** 警告

上り坂での車両の後退

ブレーキを使用せずに急な上り坂で停車する場合、HOLD機能が作動する前に車両がわずかに後退する恐れがあります。このような状況では、ドライバーはフット・ブレーキを踏んで後退を抑制することができます。

▶ フット・ブレーキをかけて制動力を上げることで、車両の停止維持を補助してください。

### **i** インフォメーション

HOLD機能が作動したときは、ブレーキ・ペダルの感触が変化したり、ブレーキ・システムの油圧作動音が聞こえることがあります。これはシステムの正常な作動であり、故障ではありません。

### **▲** 警告

車両コントロールの喪失

HOLD機能が装備されていても、物理的境界を超えて車両をコントロールすることはできません。上り坂で発進するときは、HOLD機能を過信せず、常に責任ある運転を心がけてください。

HOLD機能によるアシスタントは、滑りやすい路面(凍結路やぬかるみなど)で停止および発進するときは役立たないことがあります。この場合、発進時に車両がスリップする恐れがあります。

▶ 常に路面状況や車両負荷に応じた適切な運転を心がけてください。必要に応じてフット・ブレーキを使用してください。

発進アシスタントが機能していない場合、坂道での発進時に運転操作を支援しません。

▶ フット・ブレーキをかけて停車してください。

## PDKセレクター・レバーの解除

### 知識

PDKセレクター・レバーの緊急解除している状態では、車両が固定されずに傾斜で動き出してしまうため、人身事故や器物の損壊を引き起こす場合があります。

- ▶ エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させ、車両が動き出さないように固定してください（車止めを使用するなど）。
- ▶ 「エレクトリック・パーキング・ブレーキ」（229ページ）を参照してください。

電気系統に故障が発生した場合、セレクター・レバーをN位置に動かすためには、Porsche Doppelkupplung (PDK) 搭載車両の場合、セレクター・レバーの緊急解除を行う必要があります（車両をけん引するときなど）。

### PDKセレクター・レバーの緊急解除

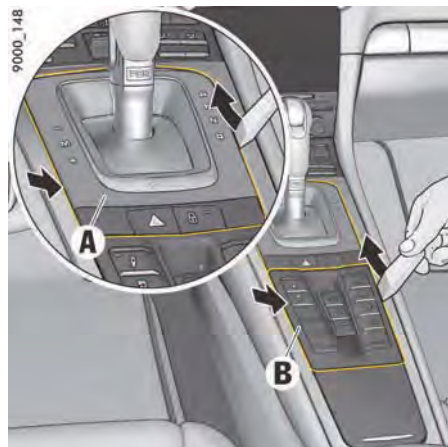


図285: セレクター・レバー・ゲートおよびスイッチ・モジュールの取り外し

1. ラゲッジ・コンパートメントのツール・ボックスからプラスチック・ウェッジを取り出してください。
2. セレクター・レバー・ゲートAの両側のリヤ部分（矢印）をプラスチック・ウェッジで慎重にこじるようにして外してください。
3. スイッチ・パネルBの両側のフロント部分（矢印）をプラスチック・ウェッジで慎重にこじるようにして外してください。
4. スイッチ・モジュールBを取り外し、脇によってください。スイッチ・モジュールのケーブルを引っ張らないようにしてください。

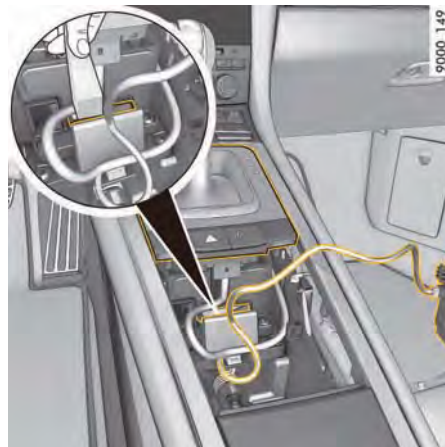


図286: セレクター・レバー・ロックの解除

5. セレクター・レバー・ロックを押したまま、セレクター・レバーをN位置に動かしてください。

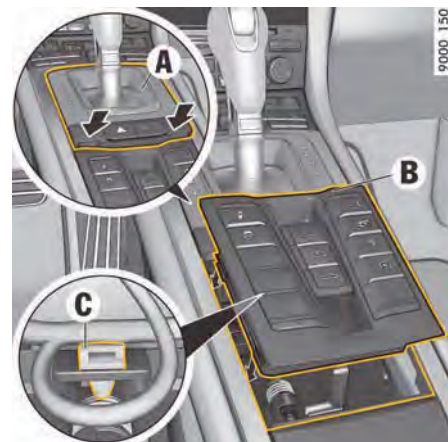


図287: スイッチ・モジュールおよびセレクター・レバー・ゲートの取り付け

### スイッチ・モジュールおよびセレクター・レバー・ゲートの取り付け

1. ケーブル・クリップCがセレクター・サポートに正しくはまっていることを確認してください。スイッチ・モジュールBをフロント・ガイドにはめて、モジュールを完全に差し込み、しっかりと押し込んでください。
2. セレクター・レバー・ゲートAがしっかりとハマるまで押し込んでください。

## Porsche Connect App

Porsche Connect Appにより、個人的に設定したPOI（施設情報）や目的地を携帯電話の住所録やカレンダーからPCMに転送することができます。

### **i** インフォメーション


ポルシェ・コミュニケーション・マネジメント (PCM) の操作に関するインフォメーション：  
 ▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネジメント (PCM) の操作」 (245ページ) を参照してください。

## WiFiを使用してPorsche Connect AppをPCMに接続し、PCMで起動する

- ✓ Porsche Connect Appが携帯電話にインストールされている (Apple® App StoreまたはGoogle Play Store®からダウンロード)
- ✓ Porsche Connect Appを起動している
- ✓ 携帯電話でWiFiを有効にしている
- ✓ PCMでWiFiを有効にしている
  - ▷ 「WiFi 設定の設定」 (193ページ) を参照してください。



図288: 接続マネージャーを開く



1. 携帯電話とPCMとのWiFi接続を確立してください。
  - a. 接続マネージャーを使用して、**Porsche Connect App ▶ Configure WiFi hotspot in PCM**を順に選択し、フッターのPCMのWiFiアクセス・データを表示してください (図288)。
  - b. 携帯電話のWiFi設定にPCMのWiFiデータ (ホットスポット名およびホットスポット・パスワード) を入力してください。
2. **HOME** ボタンを押してください。
3. **Apps**  を選択してください。Porsche Connect Appの利用可能なコンテンツが表示されます。

### **i** インフォメーション

- **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **SET PHONE ▶ WiFi settings ▶ Configure WiFi hotspot in PCM**を順に選択して、PCMのWiFiアクセス・データを表示することもできます。
- 接続マネージャーに関するインフォメーション：
  - ▷ 「接続マネージャー」 (129ページ) を参照してください。

## ナビゲーション目的地および カレンダー入力をPCMに転送 する

✓ Porsche Connect AppがPCMに接続されている

1. アプリで、ナビゲーション目的地またはカレンダー入力を選択してください。
  - a. **オンライン検索**：オンライン検索機能を使用して、目的地を選択してください。
  - b. **連絡先**：住所の詳細を含む連絡先を選択してください。
  - c. **カレンダー**：住所の詳細を含むカレンダーを選択してください。
  - d. **画像**：保存された画像を使用して、目的地を選択してください。
2.  アイコンを使用して、目的地をお気に入りリスト、**My Points of Interest**に追加してください。  
お気に入りリストに追加済みの項目にはチェックマークが付きます。
3. Porsche Connect AppがPCMに接続されている場合は、**My Points of Interest**のお気に入りリストに保存されている内容がPCMに転送されます。  
必要に応じて、**HOME** ボタン ▶ **Apps**  を選択してPCMディスプレイを手動で更新してください。
4. **HOME** ボタン ▶ **Apps** ▶ **My Points of Interest**または**カレンダー**を選択してください。  
または  
**NAV** ボタン ▶ **Stored destinations** ▶ **My Points of Interest**を選択してください。
5. 転送された目的地へのルート案内を開始してください。



## テクニカル・データ

以降のページには、車両に関するテクニカル・データが掲載されています。

## テクニカル・データ

### 車両の識別データ

#### 車台番号



図289: 車台番号

車台番号はフロント・ウィンドウ枠の左下と助手席シートの下にあります。

- ▶ スペア・パーツの注文をする場合は、必ず車台番号を明示してください。

#### ビークル・プレート

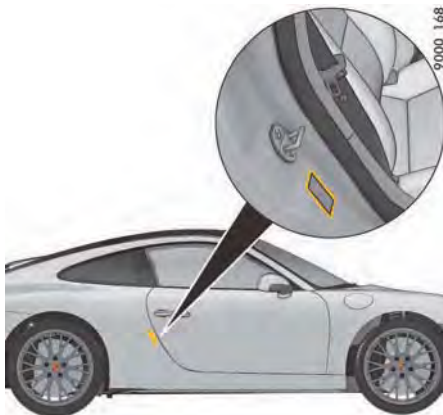


図290: ビークル・プレート固定位置

ビークル・プレートは助手席側ドア・シル（ドア開口部）に取り付けられています。

#### タイヤ空気圧プレート

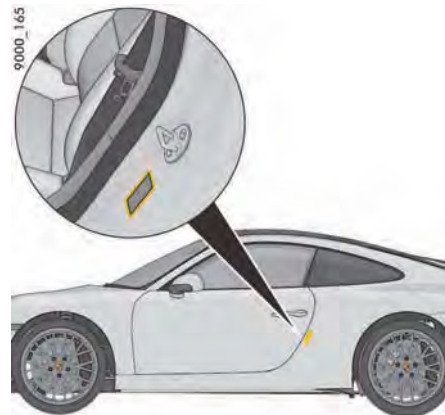


図291: タイヤ空気圧プレート固定位置

タイヤ空気圧プレートは運転席側ドア・シル（ドア開口部）に貼られています。

#### データ・バンク

車両の大切な情報が記載されているデータ・バンクは、整備手帳の中に添付されています。

データ・バンクは紛失したり、破損したりしても再注文することはできません。

## エンジン・データ（メーカー発表値）

	911 Carrera、911 Carrera 4、911 Targa 4	911 Carrera S、911 Carrera 4S、911 Targa 4S
シリンダー数	6	6
総排気量	2,981 cm <sup>3</sup>	2,981 cm <sup>3</sup>
最高出力 (ECE-R 85)	272 kW (370 hp)	309 kW (420 hp)
エンジン回転数	6,500 rpm	6,500 rpm
最大トルク (ECE-R 85)	450 Nm	500 Nm
エンジン回転数	1,700 ~ 5,000 rpm	1,700 ~ 5,000 rpm
エンジン・オイル消費量	最大 0.8 L/1,000 km	最大 0.8 L/1,000 km
エンジン許容最高回転数	7,500 rpm	7,500 rpm

## 充填容量

▶ ポルシェ社が承認したフルード、燃料のみを使用してください。詳細なインフォメーションについては：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

### エンジン・オイル

交換オイル量（オイル・フィルターを含む）：約8リットル  
 ポルシェ・エンジン・オイル規格 A40、SAE 0W-40、SAE 5W-40、SAE 5W-50  
 ▶ 「エンジン・オイルの選択と補充」（59ページ）を参照してください。

### 燃料

**911 Carrera、911 Carrera S**：約64リットル（予備用の約10リットルを含む）  
**911 Carrera 4、911 Carrera 4S、911 Targa 4、911 Targa 4S**：約67リットル（予備用の約10リットルを含む）  
 この車両のエンジンは、**金属系添加物を含まない、オクタン価が98RON/88MONの無鉛プレミアム・ガソリン**を使用したときに、最高の性能と燃費を達成するように設計されています。  
 ▶ 「燃料の給油」（80ページ）を参照してください。

### フロント・ウィンドウ/ヘッドライト・ウォッシャー液

約2.5リットル（ヘッドライト・ウォッシャー付きは約5リットル）

## 燃料消費量とCO<sub>2</sub>排出量

記載されている値は規定の測定方法（現在有効なバージョンの (EC) 715/2007、ECE-R 83およびECE-R 101の基準）を使用して算出されています。このデータは、すべての仕様の車両に合致するものではありません。また、メーカーがそれを保証するものでもありません。これらのデータは各仕様別のモデル比較のための情報です。個々の車両に関する詳細なインフォメーション：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

車両タイプ	市街地走行 (L/100 km)	ハイウェイ走行 (L/100 km)	累積 (L/100 km)	CO <sub>2</sub> 総排出量 (g/km)
911 Carrera クーペ、マニュアル・トランスミッション	11.7	6.3	8.3	190
911 Carrera クーペ、PDK	9.9	6.0	7.4	169
911 Carrera S クーペ、マニュアル・トランスミッション	12.2	6.6	8.7	199
911 Carrera S クーペ、PDK	10.1	6.4	7.7	174
911 Carrera カブリオレ、マニュアル・トランスミッション	11.9	6.5	8.5	195
911 Carrera カブリオレ、PDK	9.9	6.2	7.5	172
911 Carrera S カブリオレ、マニュアル・トランスミッション	12.3	6.7	8.8	202
911 Carrera S カブリオレ、PDK	10.2	6.5	7.8	178
911 Carrera 4 クーペ、マニュアル・トランスミッション	12.2	6.7	8.7	201
911 Carrera 4 クーペ、PDK	10.1	6.3	7.7	177
911 Carrera 4S クーペ、マニュアル・トランスミッション	12.4	6.8	8.9	204
911 Carrera 4S クーペ、PDK	10.3	6.6	7.9	180
911 Carrera 4 カブリオレ、マニュアル・トランスミッション	12.4	6.9	8.9	206
911 Carrera 4 カブリオレ、PDK	10.3	6.5	7.9	182
911 Carrera 4S カブリオレ、マニュアル・トランスミッション	12.6	6.8	9.0	208
911 Carrera 4S カブリオレ、PDK	10.4	6.7	8.0	184
911 Targa 4、マニュアル・トランスミッション	12.4	6.9	8.9	206
911 Targa 4、PDK	10.3	6.5	7.9	182
911 Targa 4S、マニュアル・トランスミッション	12.6	6.8	9.0	208
911 Targa 4S、PDK	10.4	6.7	8.0	184

## 重量（メーカー発表値）

EU規格1230/2012に基づく空車重量（運転者1名+荷物分（75kg）を含む）

- ▶ 最大総重量と最大軸荷重の限度を超えないようにしてください。追加アクセサリなどが装備されている場合は、それに応じて積載重量が減少します。
- ▶ Porsche Tequipmentの製品またはポルシェ社がテストを実施し、承認したルーフ・トランスポート・システムのみを使用してください。
- ▶ ルーフ・トランスポート・システムに荷物を積載しているときは、130km/h以上の速度で走行しないでください。

	911 Carrera クーペ マニュアル・トラン スミッション	911 Carrera クーペ PDK	911 Carrera S クーペ マニュアル・トラン スミッション	911 Carrera S クーペ PDK
<b>空車重量（装備仕様により異なる）</b>				
DIN 70020 規格	1,430 kg ~ 1,555 kg	1,450 kg ~ 1,570 kg	1,440 kg ~ 1,580 kg	1,460 kg ~ 1,595 kg
EC 規格 1230/2012 に基づく	1,505 kg ~ 1,630 kg	1,525 kg ~ 1,645 kg	1,515 kg ~ 1,655 kg	1,535 kg ~ 1,670 kg
<b>最大軸荷重、フロント</b>	765 kg	765 kg	785 kg	785 kg
<b>最大軸荷重、リヤ</b>	1,170 kg	1,190 kg	1,190 kg	1,210 kg
<b>最大総重量</b>	1,875 kg	1,890 kg	1,900 kg	1,915 kg
<b>最大ルーフ積載荷重</b>	75 kg	75 kg	75 kg	75 kg

	911 Carrera カブリ オレ マニュアル・トラン スミッション	911 Carrera カブリ オレ PDK	911 Carrera S カブ リオレ マニュアル・トラン スミッション	911 Carrera S カブ リオレ PDK
<b>空車重量（装備仕様により異なる）</b>				
DIN 70020 規格	1,500 kg ~ 1,605 kg	1,520 kg ~ 1,620 kg	1,510 kg ~ 1,630 kg	1,530 kg ~ 1,645 kg
EC 規格 1230/2012 に基づく	1,575 kg ~ 1,680 kg	1,595 kg ~ 1,695 kg	1,585 kg ~ 1,705 kg	1,607 kg ~ 1,720 kg
<b>最大軸荷重、フロント</b>	775 kg	775 kg	795 kg	795 kg
<b>最大軸荷重、リヤ</b>	1,210 kg	1,230 kg	1,230 kg	1,250 kg
<b>最大総重量</b>	1,925 kg	1,940 kg	1,950 kg	1,965 kg



	911 Carrera 4 クーペ マニュアル・トラン スミッション	911 Carrera 4 クーペ PDK	911 Carrera 4S クーペ マニュアル・トラン スミッション	911 Carrera 4S クーペ PDK
<b>空車重量 (装備仕様により異なる)</b>				
DIN 70020 規格	1,480 kg ~ 1,605 kg	1,500 kg ~ 1,620 kg	1,490 kg ~ 1,630 kg	1,510 kg ~ 1,645 kg
EC 規格 1230/2012 に基づく	1,555 kg ~ 1,680 kg	1,575 kg ~ 1,695 kg	1,565 kg ~ 1,705 kg	1,585 kg ~ 1,720 kg
<b>最大軸荷重、フロント</b>	805 kg	805 kg	825 kg	825 kg
<b>最大軸荷重、リヤ</b>	1,180 kg	1,200 kg	1,200 kg	1,220 kg
<b>最大総重量</b>	1,925 kg	1,940 kg	1,950 kg	1,965 kg
<b>最大ルーフ積載荷重</b>	75 kg	75 kg	75 kg	75 kg

	911 Carrera 4 カブ リオレ マニュアル・トラン スミッション	911 Carrera 4 カブ リオレ PDK	911 Carrera 4S カ ブリオレ マニュアル・トラン スミッション	911 Carrera 4S カ ブリオレ PDK
<b>空車重量 (装備仕様により異なる)</b>				
DIN 70020 規格	1,550 kg ~ 1,655 kg	1,570 kg ~ 1,670 kg	1,560 kg ~ 1,680 kg	1,580 kg ~ 1,695 kg
EC 規格 1230/2012 に基づく	1,625 kg ~ 1,730 kg	1,645 kg ~ 1,745 kg	1,635 kg ~ 1,755 kg	1,655 kg ~ 1,770 kg
<b>最大軸荷重、フロント</b>	815 kg	815 kg	835 kg	835 kg
<b>最大軸荷重、リヤ</b>	1,215 kg	1,235 kg	1,235 kg	1,255 kg
<b>最大総重量</b>	1,975 kg	1,990 kg	2,000 kg	2,015 kg

	911 Targa 4 マニュアル・トラン スミッション	911 Targa 4 PDK	911 Targa 4S マニュアル・トラン スミッション	911 Targa 4S PDK
<b>空車重量 (装備仕様により異なる)</b>				
DIN 70020 規格	1,570 kg ~ 1,680 kg	1,590 kg ~ 1,695 kg	1,580 kg ~ 1,705 kg	1,600 kg ~ 1,720 kg
EC 規格 1230/2012 に基づく	1,645 kg ~ 1,755 kg	1,665 kg ~ 1,770 kg	1,655 kg ~ 1,780 kg	1,675 kg ~ 1,795 kg

	911 Targa 4 マニュアル・トラン スミッション	911 Targa 4 PDK	911 Targa 4S マニュアル・トラン スミッション	911 Targa 4S PDK
最大軸荷重、フロント	815 kg	815 kg	835 kg	835 kg
最大軸荷重、リヤ	1,240 kg	1,260 kg	1,260 kg	1,280 kg
最大総重量	2,000 kg	2,015 kg	2,025 kg	2,040 kg

## 車両寸法（メーカー発表値）

	911 Carrera、911 Carrera S	911 Carrera 4、 911 Carrera 4S、	911 Targa 4、911 Targa 4S
全長（装備仕様により異なる）	4,499 mm ~ 4,518 mm	4,499 mm ~ 4,518 mm	4,499 mm
全幅	1,808 mm	1,852 mm	1,852 mm
ドア・ミラーを含む全幅	1,978 mm	1,978 mm	1,978 mm
DIN 規格空車重量での車高 （シャーシ・バージョンによる）	1,284 mm ~ 1,303 mm	1,284 mm ~ 1,304 mm	1,288 mm ~ 1,298 mm
DIN 規定空車重量時の地上高 （シャーシ・バージョンによる）	116 mm ~ 133 mm	116 mm ~ 132 mm	121 mm ~ 129 mm

## 動力性能（メーカー発表値）

DIN規定の空車重量で計測しています。なお動力性能を損なう付加装置（特殊タイヤなど）は使用していません。

車両タイプ	最高速度	0～100 km/h 発進加速 (括弧内の数値はスポーツ・プラス・モード)
911 Carrera クーペ、マニュアル・トランスミッション	295 km/h	4.6 秒
911 Carrera クーペ、PDK	293 km/h	4.4 秒 (4.2 秒)
911 Carrera S クーペ、マニュアル・トランスミッション	308 km/h	4.3 秒
911 Carrera S クーペ、PDK	306 km/h	4.1 秒 (3.9 秒)
911 Carrera カブリオレ、マニュアル・トランスミッション	292 km/h	4.6 秒
911 Carrera カブリオレ、PDK	290 km/h	4.4 秒 (4.2 秒)
911 Carrera S カブリオレ、マニュアル・トランスミッション	306 km/h	4.3 秒
911 Carrera S カブリオレ、PDK	304 km/h	4.1 秒 (3.9 秒)
911 Carrera 4 クーペ、マニュアル・トランスミッション	292 km/h	4.5 秒
911 Carrera 4 クーペ、PDK	290 km/h	4.3 秒 (4.1 秒)
911 Carrera 4S クーペ、マニュアル・トランスミッション	305 km/h	4.2 秒
911 Carrera 4S クーペ、PDK	303 km/h	4.0 秒 (3.8 秒)
911 Carrera 4 カブリオレ、マニュアル・トランスミッション	289 km/h	4.5 秒
911 Carrera 4 カブリオレ、PDK	287 km/h	4.3 秒 (4.1 秒)
911 Carrera 4S カブリオレ、マニュアル・トランスミッション	303 km/h	4.2 秒
911 Carrera 4S カブリオレ、PDK	301 km/h	4.0 秒 (3.8 秒)
911 Targa 4、マニュアル・トランスミッション	289 km/h	4.5 秒
911 Targa 4、PDK	287 km/h	4.3 秒 (4.1 秒)
911 Targa 4S、マニュアル・トランスミッション	303 km/h	4.2 秒
911 Targa 4S、PDK	301 km/h	4.0 秒 (3.8 秒)

## タイヤとホイール

### タイヤ/ホイール・サイズ

ポルシェ社が承認したタイヤにより、この車両に最適な走行性能が得られます。記載されている荷重指数（92など）と速度記号（Yなど）以上の性能のタイヤを使用してください。新しいタイヤを装着するときやタイヤ交換時は：

▷ 「タイヤとホイール」（158ページ）を参照してください。

- ▷ スノー・チェーンは適切なマークが付いたタイヤ/ホイール・サイズにのみ、またリヤ・ホイールにのみ装着してください。スノー・チェーンを装着したときの最高速度については各国の法規に従ってください。ポルシェ社が認可したファインリンク・エッジ・チェーンのみを使用してください。
- ▷ 交換するタイヤ/ホイールがEU規格に適合しているか確認してください。必要であればホイール/タイヤの組み合わせがこの車両に適合するか参照してください。詳細なインフォメーションについては：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

タイヤ種類	タイヤ・サイズ	ホイール・サイズ	スノー・チェーンの装着
<b>911 Carrera</b>			
サマー・タイヤ	FA : 235/40 ZR 19 (92Y) <sup>1)</sup> RA : 295/35 ZR 19 (100Y) <sup>1)</sup>	FA : 8.5 J x 19 RO 50 <sup>1)</sup> RA : 11.5J x 19, RO 76 <sup>1)</sup>	不可
	FA : 245/35 ZR 20 (91Y) RA : 305/30 ZR 20 (103Y) XL	FA : 8.5J x 20, RO 49 RA : 11.5J x 20, RO 76	不可
ウインター・タイヤ	FA : 235/40 R 19 92V M+S <sup>1)</sup> RA : 295/35 R 19 100V M+S <sup>1)</sup>	FA : 8.5 J x 19 RO 50 <sup>1)</sup> RA : 11J x 19, RO 77 <sup>1)</sup>	可 <sup>1)</sup>
	FA : 245/35 R 20 91V M+S RA : 295/30 R 20 97V M+S	FA : 8.5J x 20, RO 49 RA : 11J x 20, RO 78	可
<b>911 Carrera S</b>			
サマー・タイヤ	FA : 245/35 ZR 20 (91Y) RA : 305/30 ZR 20 (103Y) XL	FA : 8.5J x 20, RO 49 RA : 11.5J x 20, RO 76	不可
ウインター・タイヤ	FA : 235/40 R 19 92V M+S <sup>2)</sup> RA : 295/35 R 19 100V M+S <sup>2)</sup>	FA : 8.5 J x 19 RO 50 <sup>2)</sup> RA : 11J x 19, RO 77 <sup>2)</sup>	可 <sup>2)</sup>
	FA : 245/35 R 20 91V M+S RA : 295/30 R 20 97V M+S	FA : 8.5J x 20, RO 49 RA : 11J x 20, RO 78	可

タイヤ種類	タイヤ・サイズ	ホイール・サイズ	スノー・チェーンの装着
<b>911 Carrera 4、911 Targa 4</b>			
サマー・タイヤ	FA : 235/40 ZR 19 (92Y) <sup>1)</sup> RA : 295/35 ZR 19 (100Y) <sup>1)</sup>	FA : 8.5 J x 19 RO 50 <sup>1)</sup> RA : 11.5 J x 19 RO 56 <sup>1)</sup>	不可
	FA : 245/35 ZR 20 (91Y) RA : 305/30 ZR 20 (103Y) XL	FA : 8.5J x 20、RO 49 RA : 11.5J x 20、RO 56	不可
ウインター・タイヤ	FA : 235/40 R 19 92V M+S <sup>1)</sup> RA : 295/35 R 19 100V M+S <sup>1)</sup>	FA : 8.5 J x 19 RO 50 <sup>1)</sup> RA : 11J x 19、RO 56 <sup>1)</sup>	可 <sup>1)</sup>
	FA : 245/35 R 20 91V M+S RA : 295/30 R 20 97V M+S	FA : 8.5J x 20、RO 49 RA : 11J x 20、RO 56	可
<b>911 Carrera 4S、911 Targa 4S</b>			
サマー・タイヤ	FA : 245/35 ZR 20 (91Y) RA : 305/30 ZR 20 (103Y) XL	FA : 8.5J x 20、RO 49 RA : 11.5J x 20、RO 56	不可
ウインター・タイヤ	FA : 235/40 R 19 92V M+S <sup>2)</sup> RA : 295/35 R 19 100V M+S <sup>2)</sup>	FA : 8.5 J x 19 RO 50 <sup>2)</sup> RA : 11J x 19、RO 56 <sup>2)</sup>	可 <sup>2)</sup>
	FA : 245/35 R 20 91V M+S RA : 295/30 R 20 97V M+S	FA : 8.5J x 20、RO 49 RA : 11J x 20、RO 56	可

1) ポルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ (CCB) 非装備車のみ

2) ポルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ (PCCB) 非装備車およびリヤ・アクスル・ステアリング非装備車のみ

FA = フロント・アクスル、RA = リヤ・アクスル



### タイヤ空気圧

これらの標準およびコンフォート・タイヤ空気圧は、冷間時のタイヤ空気圧（20 °C）として、ポルシェ社が認可したメーカーおよび仕様のタイヤのみに適用します。

- ▶ マルチファンクション・ディスプレイで車両の積載荷重を設定し、コンフォート空気圧/標準空気圧を選択してタイヤ空気圧を調節してください。
- ▷ 「タイヤ空気圧メニュー-タイヤ空気圧モニタリング（TPM）」（267ページ）を参照してください。
- ▷ 「タイヤとホイール」（158ページ）を参照してください。

### 標準タイヤ空気圧

タイヤ	911 Carrera				911 Carrera S			
	部分積載時		全積載時		部分積載時		全積載時	
	FA	RA	FA	RA	FA	RA	FA	RA
<b>サマー・タイヤ</b> 235/40 ZR 19 / 295/35 ZR 19	2.1 bar 210 kPa 30 psi	2.5 bar 250 kPa 36 psi	2.4 bar 240 kPa 34 psi	3.0 bar 300 kPa 43 psi	-	-	-	-
<b>サマー・タイヤ</b> 245/35 ZR 20 / 305/30 ZR 20	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.6 bar 260 kPa 37 psi	2.4 bar 240 kPa 34 psi	3.1 bar 310 kPa 44 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.6 bar 260 kPa 37 psi	2.4 bar 240 kPa 34 psi	3.1 bar 310 kPa 44 psi
<b>ウインター・タイヤ</b> 235/40 R 19 / 295/35 R 19	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.3 bar 230 kPa 33 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.6 bar 260 kPa 37 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.3 bar 230 kPa 33 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.6 bar 260 kPa 37 psi
<b>ウインター・タイヤ</b> 245/35 R 20 / 295/30 R 20	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.5 bar 250 kPa 36 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.9 bar 290 kPa 42 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.5 bar 250 kPa 36 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.9 bar 290 kPa 42 psi

タイヤ	911 Carrera 4、911 Targa 4				911 Carrera 4S、911 Targa 4S			
	部分積載時		全積載時		部分積載時		全積載時	
	FA	RA	FA	RA	FA	RA	FA	RA
<b>サマー・タイヤ</b> 235/40 ZR 19 / 295/35 ZR 19	2.1 bar 210 kPa 30 psi	2.6 bar 260 kPa 37 psi	2.4 bar 240 kPa 34 psi	3.0 bar 300 kPa 43 psi	-	-	-	-
<b>サマー・タイヤ</b> 245/35 ZR 20 / 305/30 ZR 20	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.7 bar 270 kPa 39 psi	2.4 bar 240 kPa 34 psi	3.1 bar 310 kPa 44 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.7 bar 270 kPa 39 psi	2.4 bar 240 kPa 34 psi	3.1 bar 310 kPa 44 psi
<b>ウインター・タイヤ</b> 235/40 R 19 / 295/35 R 19	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.3 bar 230 kPa 33 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.6 bar 260 kPa 37 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.3 bar 230 kPa 33 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.6 bar 260 kPa 37 psi
<b>ウインター・タイヤ</b> 245/35 R 20 / 295/30 R 20	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.5 bar 250 kPa 36 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.9 bar 290 kPa 42 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.5 bar 250 kPa 36 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.9 bar 290 kPa 42 psi

FA = フロント・アクスル、RA = リヤ・アクスル

270 km/hの速度までに適用するコンフォート・タイヤ空気圧

✓ マルチファンクション・ディスプレイで「コンフォート・プレッシャー」を設定した車両



警告

タイヤ空気圧の不足

「コンフォート」メニューは仕向け国によって異なるため、すべての国別仕様に適用されるわけではありません。

タイヤ空気圧が低い状態で高速走行すると、タイヤが破損します。

▶ マルチファンクション・ディスプレイで「コンフォート・プレッシャー」を設定した車両にのみ、コンフォート・タイヤ空気圧を設定してください。

タイヤ	911 Carrera				911 Carrera S			
	部分積載時		全積載時		部分積載時		全積載時	
	FA	RA	FA	RA	FA	RA	FA	RA
<b>サマー・タイヤ</b> 235/40 ZR 19 / 295/35 ZR 19	2.0 bar 200 kPa 29 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.1 bar 210 kPa 30 psi	2.6 bar 260 kPa 37 psi	-	-	-	-
<b>サマー・タイヤ</b> 245/35 ZR 20 / 305/30 ZR 20	2.0 bar 200 kPa 29 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.7 bar 270 kPa 39 psi	2.0 bar 200 kPa 29 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.7 bar 270 kPa 39 psi

タイヤ	911 Carrera 4, 911 Targa 4				911 Carrera 4S, 911 Targa 4S			
	部分積載時		全積載時		部分積載時		全積載時	
	FA	RA	FA	RA	FA	RA	FA	RA
<b>サマー・タイヤ</b> 235/40 ZR 19 / 295/35 ZR 19	2.0 bar 200 kPa 29 psi	2.3 bar 230 kPa 33 psi	2.1 bar 210 kPa 30 psi	2.6 bar 260 kPa 37 psi	-	-	-	-
<b>サマー・タイヤ</b> 245/35 ZR 20 / 305/30 ZR 20	2.0 bar 200 kPa 29 psi	2.3 bar 230 kPa 33 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.7 bar 270 kPa 39 psi	2.0 bar 200 kPa 29 psi	2.3 bar 230 kPa 33 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.7 bar 270 kPa 39 psi

FA = フロント・アクスル、RA = リヤ・アクスル

## ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM)

テクニカル・データ	オーディオ・データ	ビデオ・データ
対応するメディア	SDカード (最大64 GB) DVDドライブオーディオCD (最大80分)、CD-ROM (最大700 MB)、DVD±R/RW、標準ビデオDVD、DVDオーディオ互換ビデオDVD ポータブル・プレーヤー MTPプレーヤー、USBスティック、専用ドライバ不要のUSB MP3プレーヤー、外部USBフラッシュ・メモリーおよびハード・ディスクなどの「USBデバイス・サブクラス1および6」のUSB2.0デバイス	
ファイル・システム	SD/SDHC/SDXC/MMC メモリー・カード USB大容量記憶装置exFAT、FAT、またはFAT32、NTFSファイル・システム (最大4パーティション) DVDドライブ ISO9660、Joliet、UDF	
フォーマット	MPEG 1/2 Layer 3	Windows Media Audio 9および10 MPEG 2/4 MPEG 1/2 ISO-MPEG4 ; H.264 (MPEG4 AVC) および5 ; Xvid
ファイル拡張子	.mp3	.wma ; .asf .m4a ; .m4b ; .aac .mpg ; .mpeg .avi .mp4 ; .m4v ; .mov
プレイリスト	.M3U ; .PLS ; .WPL ; .M3U8 ; .ASX	
特徴	最大320 kbit/s およびサンプリング周波数 48 kHz	最大2,000 kbit/s および 720x576 px. (最大25 fps時)
ファイル数	DVDドライブ 最大1,000ファイル DVD Jukebox (最大11 GB ストレージ容量) 最大3,000ファイルをコピー可能 USB大容量記憶装置およびメモリー・カード 最大10,000ファイル/メディア	
メタデータ	アルバム・カバー最大800 x 800ピクセル ; GIF、JPG、およびPNGフォーマット、またはGracenoteデータベース経由	-
ビデオDVDリージョン・コード	-	コード1 : USA、カナダおよび米国自治領 コード2 : ヨーロッパ、グリーンランド、南アフリカ、エジプトおよび中東、日本 コード3 : 東南アジア、韓国、香港、インドネシア、フィリピン、台湾 コード4 : オーストラリア、ニュージーランド、メキシコ、中央アメリカ、南アメリカ コード5 : ロシアおよび他の旧ソ連諸国、東ヨーロッパ、インド、アフリカ コード6 : 中華人民共和国 コード8 : 国際領土 (船舶、航空機)

テクニカル・データ：接続

<b>携帯ネットワーク</b>	GSM/GPRS/EDGE：デュアル・バンド、900 MHz/1800 MHz UMTS/HSPA+：トリプル・バンド、900 MHz (Band VIII)/1800 MHz (Band III)/2100 MHz (Band I) LTE：クワッド・バンド、800 MHz (Band 20)/900 MHz (Band 8) /1800 MHz (Band 3)/2600 MHz (Band 7)
<b>WiFi</b>	IEEE 802.11a/b/g/n (2.4 GHz)
<b>Bluetooth®</b>	Bluetooth® 2.1、IEEE 802.15.1、クラス2、通信範囲約10 m

テクニカル・データ、ラジオ

<b>周波数範囲/規格</b>	UKW (FM)：87.5～108 MHz (100 kHzごとの手動調節) MW (AM)：531～1,602 KHz (1 kHzごとの手動調節) デジタル・ラジオ：DAB、DAB+、DMB；L-Band
<b>自動選局付きチューニング・グリッド</b>	UKW (FM)：100 kHz MW (AM)：9 kHz

テクニカル・データ、TV

<b>規格</b>	DVB-T/DVB-H/DVB-T2
-----------	--------------------

テクニカル・データ、CD/DVDドライブ

<b>一般的なインフォメーション</b>	製造時に、このレーザー製品はドイツ/国際規格DIN EN 60825-1：2008-05およびDHHSルール21 CFR Subchapter Jに準拠して製造されており、クラス1レーザー製品として分類されています。クラス1レーザー製品のレーザー光線は、通常の作動条件下では危険を生じない程度の弱いものです。この製品は、レーザー光線がデバイス内部に完全に密閉されるように設計されています。
<b>レーザー光線出力</b>	DVD：0.68 mW CD：0.85 mW
<b>レーザー光線波長</b>	DVD：665 nm CD：795 nm



## 検査マークおよび適合宣言書

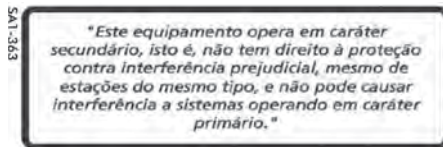
### 欧州連合 (EU)

ポルシェ社では、当社車両に装着されているラジオおよびレーダー・システムが、用途に基づいて使用する場合、指令1999/5/ECの基本要件および他の関連規約に適合していることを承認します。

### オーストラリア



### ブラジル



### 香港

HKCA 1035: Automotive radar: radio equipment exempted from licensing.



### インドネシア

21962/SDPPI/2011  
34538/SDPPI/2014

### イスラエル

Model name: TSSRE4Dg  
Manufacturer: Huf Electronics Bretten

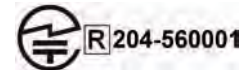
שם הדגם (Hebrew :Model name)  
28416031/2 / 28-4003-61004-3-00 / 7PP905865

SA1-366

שם היצרן וכתובתו (Hebrew : Manufacturer and address)  
Continental AG  
Siemensstraße 12  
93055 Regensburg

SA1-367

### 日本



Japanese Radio Law Compliance. This device is granted pursuant to the Japanese Radio Law. This device should not be modified (otherwise the granted designation number will become invalid).

### ヨルダン

Type Approval No.: TRC/LPD/2009/15  
Type Approval No.: TRC/LPD/2014/73

### マレーシア

Continental  
28416032 / 28416031  
RAAW/33A/0512/S(12-0755)

### モロッコ

AGREE PAR L'ANRT MAROC  
Numéro d'agrément : MR 5371 ANRT 2010  
Date d'agrément : 02/02/2010  
Numéro d'agrément : MR 9186 ANRT 2014  
Date d'agrément : 22/04/2014

**メキシコ**

Radar de largo alcance, 77GHz,  
MARCA: BOSCH, MODELO: LRR3,  
MoldaCOFETEL: (RCPBOLR09-0828)  
IFETEL: RCPBOMP14-0922

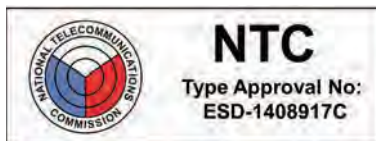
**モルドバ**



**オマーン**

Oman - TRA/TA-R/2609/15

**フィリピン**



**カタール**

Approval Ref.: CRA/SA/2015/R-4714

**セルビア**



**シンガポール**

Complies with IDA Standards DB01752.  
Complies with IDA Standards DB03227.

**南アフリカ**



**韓国**



This equipment has been approved under EMC Registration as a Class B device (for domestic use) and can be used in both residential and commercial areas.

**台湾**

CCAB10LP3800T1  
CCAK15LP0801T1

Regulations for the low-power radio wave radiation devices:

Without permission for the approved low-power radio-frequency devices, any companies, firms or users are not allowed to change the frequency band, increase the power or change the specifications and functionality of the original design.

The low power radio-frequency devices are not allowed to influence aircraft safety or interfere with any legal communications. In case any interference phenomenon is detected, the use of this device should stop immediately, and cannot continue being used until it is improved so that it no longer causes any interference.

The term “legal communications” stated in the last paragraph refers to the operating radio communication system which is in compliance with the Regulations for the Telecommunications. Low power radio-frequency devices must be able to tolerate interference from legal communication or from any industrial, scientific or medical radiation devices or equipment.

**ウクライナ**



**アラブ首長国連邦**

TRA REGISTERED No: 0016889/09,  
DEALER No: 0014972/08  
TRA REGISTERED No: 0016889/09,  
DEALER No: DA36785/14  
TRA REGISTERED No: ER39135/15,  
DEALER No: DA36785/14  
TRA REGISTERED No: ER38964/15,  
DEALER: HUF ELECTRONICS GmbH

**Bluetooth® 認証 (抜粋)**

- Albania
- Andorra
- Angola
- Aruba
- Australia
- Austria
- Bahamas
- Bahrain
- Barbados
- Belarus
- Belgium
- Belize
- Bolivia
- Bonaire
- Bosnia and Herzegovina
- Brazil
- Brunei
- Bulgaria
- Burkina Faso
- Canada
- Chile
- China
- Colombia
- Costa Rica
- Croatia
- Curacao
- Cyprus
- Czech Republic
- Denmark
- Dominican Republic
- Ecuador
- Egypt
- El Salvador
- Estonia
- Ethiopia
- Finland
- France
- French Guyana
- French Polynesia
- Gabon
- Germany
- Ghana
- Gibraltar
- Guadeloupe
- Guatemala
- Greece
- Greenland
- Hong Kong
- Hungary
- Iceland
- India
- Indonesia
- Ireland
- Iraq
- Israel
- Italy
- Ivory Coast
- Jamaica
- Japan
- Jordan
- Kenya
- Kosovo
- Kuwait
- Latvia
- Lebanon
- Lesotho
- Liberia
- Libya
- Liechtenstein
- Lithuania
- Luxembourg
- Macau
- Macedonia
- Madagascar
- Malaysia
- Malta
- Martinique
- Mauritius
- Mexico
- Monaco
- Mongolia
- Morocco
- Mozambique
- Netherlands
- New Caledonia
- New Zealand
- Nigeria
- Norway
- Oman
- Pakistan
- Panama
- Peru
- Poland
- Portugal
- Puerto Rico
- Qatar
- Reunion
- Romania
- Russia
- San Marino
- Saudi Arabia
- Senegal
- Serbia
- Singapore
- Slovakia
- South Africa
- Spain

- St. Lucia
- Sweden
- Switzerland
- Tahiti
- Taiwan
- Thailand
- United Arab Emirates
- United Kingdom
- Uruguay
- USA
- Venezuela
- Vietnam
- Yemen
- Zimbabwe

## リサイクル

### 車両の廃車

#### EU加盟国のみ：

廃車されたボルシェ車両は、環境を考慮した方法でボルシェ社が無償でリサイクル処理します。

車両の返還および対応する廃棄証書の発行について：

- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。

### エアバッグおよびシート・ベルト・テンショナー・ユニット

未作動のガス発生器、エアバッグが付いたままの車両、エアバッグ・ユニット、シートベルト・テンショナー・ユニットは、一般の廃棄物やスクラップとして処分できません。

適切な廃棄に関する詳細情報について：

- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。

### 使用済みバッテリー

使用済みバッテリーは、一般の廃棄物やスクラップとして処分できません。

- ▶ 地域の廃棄指示を遵守してください。
- ▶ 使用済みバッテリーは、適切な廃棄場にて廃棄してください。

適切な廃棄に関する詳細情報について：

- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。

## 索引

## 数字

4WD	
4 輪駆動ディスプレイ	270
トルク配分	270

## A - Z

A/C MAX ボタン	
エアコン・システム	55
A/C ボタン	
エアコン・システム	54
ABS (アンチロック・ブレーキ・システム)	
機能説明	260
ACC	
アダプティブ・クルーズ・コントロール	34
Alcantara®のお手入れの諸注意	72
Apple CarPlay®	
PCM で開く	322
Siri®	323
AUTO (ライト・スイッチ)	289
ドライビング・ライト・アシスタント	289
Bluetooth®	
デバイスの管理	188
電話を接続する	187
CarPlay®	
PCM で開く	322
Siri®	323
CD/DVD ドライブにロードする	250
ETC 受信機	242
E メール	
作成	192
表示および消去	191
G-Force ディスプレイ	271
Google Street View®の起動	210
HOLD 機能	64, 84, 147, 308, 324
ISOFIX システム	
規定のチャイルド・シート取り付け方向	173
助手席エアバッグの ON/OFF	178
推奨するチャイルド・シート	176
トップ・テザー	181
MFS ボタンの設定	276
MyScreen	
電話のお気に入りを追加する (PCM)	191

MyScreen (PCM)	
設定 (PCM)	249
OFF/ON の切り替え (PCM)	246
ON/OFF の切り替え (PCM)	246
PADM	205
PASM (ボルシエ・アクティブ・サスペンション・マネージメント)	
シャーシ設定の選択	243
PCCB (ボルシエ・セラミック・コンポジット・ブレーキ)	
一般的なインフォメーション	230
PCM	
CD/DVD ドライブにロードする	250
MyScreen の設定	249
SD カードの挿入および取り出し	251
外部機器の接続	251
システム設定	252
パーキング・アシスタント	215
PCM	
Apple CarPlay®	322
Porsche Connect App	326
お手入れの諸注意	72
接続 (データ接続)	149
テレビ (TV)	182
電話	186
ドライビング・データ (トリップ情報)	
を表示する	196
ナビ	206
ボイス・コントロール	235
メディア	284
ラジオ	297
ログブック	314
PCM システム設定	252
PCM 設定	
概要	252
PCM ドライブ	
CD/DVD をロード	250
SD カードの挿入および取り出し	251
外部機器の接続	251
知識	250
PCM ドライブに関する諸注意	250
PCM にドライビング・データを表示する	196
PCM にバックグラウンド・イメージを表示する	249
PCM の設定	
音量および音質	253
地図 (地図)	213
テレビ	184

電話	192
ナビ	212
日付と時刻	246
メディア	287
ラジオ	300
PCM の操作	
ON/OFF の切り替え	246
概要	245
タッチスクリーンで	247
タッチスクリーンの要素	247
テキストおよび文字を入力する	248
ボイス・コントロール	235
ロータリー・プッシュ・ボタンで	248
PDCC (ボルシエ・ダイナミック・シャーシ・コントロール)	205
PDK	201
シフトアップ・インジケータ	203
ステアリング・ホイールでのギヤ・シフト	202
Porsche Connect App	326
Porsche Doppelkupplung(PDK)	201
ステアリング・ホイールでのギヤ・シフト	202
セレクター・レバー・ポジション	201
PSM (ボルシエ・スタビリティ・マネージメント)	
OFF にする	259
機能説明	259
PSM スポーツ	259
ON にする	259, 260
PTV	205
PTV プラス	205
PVTS (ボルシエ車両追跡システム)	
機能説明	254
ドライバー・カード / リモート・	
キーボードなしの操作	254
ドライバー・カード / リモート・	
キーボード用電池の交換	257
ドライバー・カードによる PVTS プラス*の	
操作	255
輸送	256
リモート・キーボードによる操作	256
SD カードの挿入および取り出し	251
SIM カード	
挿入および取り出し	188
Siri®	323
SMS	
作成	192
表示および消去	191





エンジン					
オイル・レベル・ゲージ	265				
オイル・レベルの測定と表示	265				
オイルの補充	59				
始動	63				
自動停止（オート・スタート/ストップ機能）	64				
停止	63				
テクニカル・データ	330				
冷却システム	45				
エンジン・オイル					
圧力計	46				
一般的なインフォメーション	59				
温度計	45				
給油口	60				
交換容量	330				
燃料消費量	330				
補充	59				
マルチファンクション・ディスプレイでの オイル圧力の警告	92				
マルチファンクション・ディスプレイのオイル・ レベル・ゲージ	266				
レベル・ゲージ	265				
レベルの点検	265				
エンジン・コンパートメント・リッド	61				
カブリオレ	61				
エントリー & ドライブ					
ボルシェ・エントリー & ドライブによるドアの ロック	153				
作動原理	152				
エントリー機能、乗車時のカーテシー・ ライトの点灯	290				
<b>お</b>					
オート・エアコン	52				
オート・スタート/ストップ機能					
ON/OFF	65				
エンジンの自動始動	64				
エンジンの自動停止	64				
作動原理	64				
前提条件	64				
表示	66				
例外	64				
オートマチック・カミング・ホーム・ライト	290				
オートマチック・ドライビング・ライト・ アシスタント	289				
オートマチック・トランスミッション	201				
オイル					
圧力計	46				
一般的なインフォメーション	59				
温度計	45				
給油口	60				
交換容量	330				
燃料消費量	330				
補充	59				
マルチファンクション・ディスプレイでの オイル圧力の警告	92				
マルチファンクション・ディスプレイのオイル・ レベル・ゲージ	266				
レベル・ゲージ	265				
レベルの点検	265				
応急処置セット*	294				
オクタン価、燃料	80				
お手入れ					
Alcantara®	72				
アンダーコーティング	69				
ウィンドウ	69				
エアバッグ	72				
革製品	71				
軽合金製ホイール	70				
警告	67				
高圧洗浄機の使用	67				
シートベルト	72				
シール	71				
車両の保管	72				
洗車	67				
塗装	69				
ファブリック・ライニング	72				
ヘッドライト、プラスチック製部品	70				
お手入れの諸注意					
PCM	72				
アルカンターラ	72				
アンダーコーティング	69				
ウィンドウ	69				
エアバッグ	72				
カーベット	71				
革製品	71				
軽合金製ホイール	70				
シートベルト	72				
シール	71				
車両の保管	72				
洗車	67				
塗装	69				
ファブリック・ライニング	72				
フロア・マット	71				
オドメーター（積算距離計）					
表示	46				
リセット	46				
オリエンテーション・ライト	44				
オルタネーター					
車両電気レトリカル・システムの警告	95				
音楽（PCM）					
CD/DVD をロード	250				
SD カードの挿入および取り出し	251				
音楽（PCM）					
外部機器の接続	251				
音楽（PCM）					
再生	285				
ジュークボックスに入れる	287				
設定	287				
対応するメディア形式	341				
プレイリストを開く	287				
メディア・ソースの検索	286				
メディア・ソースの選択	285				
音質と音量の調節（PCM）	253				
温度の設定					
エアコン・システム	53				
オンボード・コンピューター					
オイル・レベルの測定	265				
作動原理	262				
タイヤ空気圧モニタリング	267				
電話の使用	190				
ドライビング・データの表示 （トリップ情報）	196				
マップ・ビュー	211				
マルチファンクション・ディスプレイ	262				
メニュー概要	264				
ラジオ放送局の選択	299				
オンライン・サービス					
データ接続を確立する（PCM）	149				
ボルシェ・カー・コネク	244				
音量と音質の調節（PCM）	253				
<b>か</b>					
カーテシー・ライト、エントリー機能	290				
カーベット、お手入れの諸注意	71				
会議（電話）	190				
開操作とロック					
パーソナル設定の保存 / 呼び出し	218				
外部機器（PCM）の接続	251				
開閉操作					
ウィンドウ	48				
コンバーチブル・トップ	112				

閉鎖操作とロック	
概要	151
キーによるドアのロック解除 (リモート・コントロール)	152
サン・ブラインド	144
車内からのドアの開閉操作とロック	154
スライディング/チルティング・ルーフ	143
ボルシェ・エントリー&ドライブによるドアのロック	153
ボルシェ・エントリー&ドライブ装備車	153
概要	
ドアの開閉	151
格納式リヤ・スポイラー	
展開/格納	302
カップ・ホルダー	73
カブリオレ	
ウィンド・デフレクター	113
エンジン・コンパートメント・リッド	61
コンバーチブル・トップ	68
コンバーチブル・トップの開閉	112
サイド・ウィンドウ	48
ロールオーバー・プロテクション	313
ガレージ・ドア・オープナー*	
再プログラミング	76
信号をボタンに登録する (可変コード式システム)	75
信号をボタンに登録する (固定コード式システム)	75
操作	74
プログラミング	74
プログラミングした信号の消去	75
革、お手入れの諸注意	71
<b>き</b>	
キー	77
エマーゼンシー・キーを取り外す	77
キー	77
コンバーチブル・トップの開閉	113
スベア・キー	79
スライディング/チルティング・ルーフの	
開閉操作	144
タルガ・ルーフの開/閉	165
ドアのロック	153
ドアのロック解除	152
パーソナル設定の保存と呼び出し	218

キー (リモート・コントロール)	
イグニッション・ロック内のキー/コントロール・ユニットの緊急操作	78
ウィンドウの開閉 (ボルシェ・エントリー & ドライブ非装備車)	49
コンバーチブル・トップの開閉	113
スライディング/チルティング・ルーフの	
開閉操作	144
タルガ・ルーフの開/閉	165
ドアのロック解除	152
バッテリーの交換	77
規格との適合	343
ギヤ・シフト・インジケーター	
PDK トランスミッション/マニュアル・トランスミッション	46
ギヤ・ポジション・ディスプレイ	46
ギヤシフト	
ギヤシフト・アシスト	270
ギヤシフト・アシスト	270
給油	80
曲の再生 (PCM)	285
緊急解除	
トランク・リッド	199
緊急操作	
ウィンド・デフレクター	113
コンバーチブル・トップ	113
タルガ・ルーフ	166
フィルター・フラップ (燃料給油口カバー)	81
緊急ブレーキ機能	229
<b>く</b>	
空気圧	
コンフォート・プレッシャー	269
車速警告	269
クラッチ	
マニュアル・トランスミッション	200
クルーズ・コントロール	
OFFにする	85
ONにする	84
機能説明	84
速度の設定	84
中断操作	84
車台番号、位置	329
グループ・ボックス	
閉じる	241
開く	241
ロック	241

**け**

軽合金製ホイール	
お手入れの諸注意	70
警告およびインフォメーション・メッセージ	
安全性	86
エンジン	91
車両	95
ドライビング・システム	102
警告メッセージ	
タイヤ空気圧	270
警告ラベル	
台湾のみ	1,172,178,180
警報システム	
ON/OFF	108
機能説明	108
室内モニタリング・システムおよび傾斜センサー*	108
を OFF にする	108
言語	
PCM の設定	252
マルチファンクション・ディスプレイで変更する	279
検査マーク	
ラジオ・システム	343
けん引フック	
工具セット内	294

**こ**

コーナリング・ライト	
ダイナミック	290
高圧洗浄機	
取扱説明書	67
工具	294
工具セット	
取り外しおよび収納	294
交通 (交通情報の表示)	211
交通情報の表示 (ナビゲーション)	211
交通標識表示	147
故障	
イグニッション・ロック内のイグニッション・キー/コントロール・ユニットの緊急操作	78
ウィンド・デフレクター	113
ウィンドウ停止位置の保存	49
緊急時のフィルター・フラップの操作	81
コンバーチブル・トップ	113
サン・ブラインド停止位置の保存	146
スライディング/チルティング・ルーフ	145







エントリー & ドライブ  
 ボルシェ・エントリー & ドライブによるドアのロック ..... 153

センター・ロック  
 ボルシェ・エントリー & ドライブによるドアのロック ..... 153

ロック  
 ボルシェ・エントリー & ドライブによるドアのロック ..... 153

開閉操作とロック  
 ボルシェ・エントリー & ドライブによるドアのロック ..... 153

ドア  
 ボルシェ・エントリー & ドライブによるロック (キーレス操作) ..... 153

車両ドア  
 ボルシェ・エントリー & ドライブによるロック (キーレス操作) ..... 153

キー (リモート・コントロール)  
 ウィンドウの開閉 (ボルシェ・エントリー & ドライブ非装備車) ..... 49

トランク・リッド  
 緊急解除 ..... 199  
 閉じる ..... 198  
 開く ..... 197

トランク・ルーム  
 緊急解除 ..... 199  
 閉じる ..... 198  
 開く ..... 197

トランスミッション  
 Porsche Doppelkupplung(PDK) ..... 201  
 マニュアル・トランスミッション ..... 200

トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・システム  
 概要 (PSM, PASM, PADM, PDCC, PTV プラス) ..... 205

トリップ・メーター  
 表示 ..... 46  
 リセット ..... 46

ドリンク・ホルダー ..... 73

トルク、テクニカル・データ ..... 330

**な**

内気循環ボタン ..... 55

内気循環モードを  
 エアコン・システム ..... 55

ナビゲーション  
 Google Street View® の起動 ..... 210  
 オフロード・モード ..... 212

交通情報の表示 ..... 211

施設情報の入力 ..... 208

設定 ..... 212

前回の目的地の使用 ..... 207

地図からの目的地入力 ..... 208

マップ・ビューを開いて設定する ..... 210

マルチファンクション・ディスプレイの  
 マップ・ビューの設定 ..... 211

目的地住所の入力 ..... 207

目的地の検索 (検索、オンライン検索) ..... 207

目的地の保存および使用 (お気に入り) ..... 209

ルート情報の表示 ..... 209

**に**

荷物  
 荷物 ..... 294

**ね**

燃料  
 オクタン価 ..... 80  
 給油 ..... 80  
 燃料計 ..... 46  
 燃料残量警告灯 ..... 46  
 燃料消費量 ..... 331  
 燃料タンクの容量 ..... 330  
 品質 ..... 80

燃料インジケーター・ライト  
 燃料計 ..... 46

燃料計 ..... 46

**は**

パーキング・アシスタント  
 機能説明 ..... 215

パーキング・エイド  
 ドア・ミラー下向き切り替え ..... 282

パーキング・ブレーキ  
 解除する ..... 229  
 操作 ..... 229  
 ブレーキ・テスト・スタンドでの測定 ..... 171

パーキング・ブレーキ (エレクトリック・パーキング・ブレーキ)  
 自動解除 ..... 229  
 手動解除 ..... 229  
 操作 ..... 229

ハイ・ビーム・ヘッドライト  
 スイッチ ..... 292

ハイ・ビーム操作レバー ..... 292

廃棄  
 エアバッグ ..... 346  
 シートベルト・プリテンショナー ..... 346

灰皿  
 掃除する ..... 142  
 開く ..... 142

排出ガス ..... 331

バケット・シート ..... 123

ハザード・ライトの ON/OFF ..... 293

バックレストを前方または後方へ倒す ..... 124

発進  
 PDK トランスミッションの停止制御 ..... 324  
 ボルシェ・ヒル・コントロール ..... 324  
 ローンチ・コントロール ..... 204

パニティー・ミラー ..... 121

バルブの交換 ..... 293

パワー・ウィンドウ  
 ウィンドウの開閉 ..... 48  
 キーによるウィンドウの開閉 (リモート・コントロール) ..... 49  
 停止位置の保存 ..... 49  
 ドア・ハンドルのタッチ・センサーでウィンドウを閉じる (ボルシェ・エントリー & ドライブ装備車) ..... 49

パワー・ウィンドウ停止位置の保存 ..... 49

番号をダイヤルする (電話) ..... 189

**ひ**

ピークル・プレート、位置 ..... 329

日付と時刻の設定 (PCM) ..... 246

日付と時刻の設定 (マルチファンクション・ディスプレイ) ..... 274

ビデオの再生 (PCM) ..... 285

**ふ**

ファブリック・ライニング (お手入れの諸注意) ..... 72

ファン設定  
 エアコン・システム ..... 53

フィルター・フラップ、緊急操作 ..... 81

フット・ブレーキ  
 安全に関する注意事項 ..... 229

不凍液  
 ウォッシャー液の割合 ..... 50

フルードおよび燃料  
 ウォッシャー液 ..... 330  
 エンジン・オイル ..... 330  
 クーラント (冷却水) ..... 330  
 燃料 ..... 330





パーキング・エイド使用時のドア・ミラーの調節	282
パニティアー・ミラー	121
<b>め</b>	
メッセージ	
作成	192
表示および消去	191
メディア (PCM)	
CD/DVD をロード	250
SD カードの挿入および取り出し	251
外部機器の接続	251
再生	285
ジュークボックスに入れる	287
設定	287
対応するメディア形式	341
プレイリストを開く	287
メディア・ソースの検索	286
メディア・ソースの選択	285
メモリー	218
メモリー・パッケージ	218
メンテナンス	
ウォッシュ液の補充	50
エンジン・オイル・レベルの点検	265
エンジン・オイルの補充	59
メンテナンス位置	319
<b>も</b>	
モード・スイッチ	138
目的地住所の入力 (ナビゲーション、PCM)	207
目的地の検索 (ナビゲーション、PCM)	207
目的地の保存および使用 (お気に入り) (ナビゲーション、PCM)	209
<b>よ</b>	
横方向の加速度	
表示	271
<b>ら</b>	
ライト	
雨天時の作動	289
お手入れの諸注意	70
高速道路走行時の機能	289
車両から離れるときに点灯する	290
乗車時に点灯	290
乗車時のカーテシー・ライトの点灯	290
バルブの交換	293
ヘッドライト・バッシング	292

ライト・スイッチ	
AUTO 機能	289
概要	289
ラジオ (PCM)	
周波数帯を設定する	298
設定	300
選局	298
放送局情報の表示	299
放送局を保存する	299
ラジオ・システム	
検査マーク	343
<b>り</b>	
リモート・コントロール	77
コンバーチブル・トップの開閉	113
スライディング/チルティング・ルーフの開閉操作	144
タルガ・ルーフの開/閉	165
ドアのロック	153
ドアのロック解除	152
リヤ・ウィンドウ・ヒーターの ON/OFF を切り替える	301
リヤ・シート収納スペース	125
リヤ・シートのバックレストを前方へ倒す	125
リヤ・スポイラー	
作動原理	302
リヤ・フォグ・ライト	
ON にする	289
ドライビング・ライトの調節	290
リヤ・ワイパー	320
リバース機能	320
リレー	
交換	225
履歴 (電話)	190
<b>る</b>	
ルート情報の表示 (ナビゲーション、PCM)	209
ルーフ・トランスポート・システム	
重量 (メーカー発表値)	332
知識	303
ベーシック・キャリアの取り付け	304
ルーフ積載荷重	332
ルーフ積載荷重	332
ルーム・ミラー	
自動防眩機能の ON/OFF	283
調整	282
防眩	282

**れ**

レーダー・センサー	34
レーン・チェンジ・アシスト (LCA)	308
冷却システム	
マルチファンクション・ディスプレイの警告	93
冷房機能	
エアコン・システム	54
連絡先 (電話)	191

**ろ**

ロールオーバー・プロテクション (カブリオレ)	313
ローンチ・コントロール	204
ログブック (PCM)	
作動/解除	315
設定	316
ロック	
キーによるドアのロック解除 (リモート・コントロール)	153
車内からのドア・ロック	154
車両ドアとキー (リモート・コントロール)	153
車両ドアとボルシェ・エントリー & ドライブ (キーレス操作)	153
ボルシェ・エントリー & ドライブによるドアのロック	153
ロック解除	
キーからパーソナル設定を呼び出す	218
キーによるドアのロック解除 (リモート・コントロール)	152
車内からのドア・ロックの解除	154
トランク・リッドのロックを解除してリッドを開く	197

**わ**

ワイパー・ブレード	
お手入れの諸注意	321
交換	321

- 車両の仕様およびオプションの変更により、この取扱説明書の内容の一部が車両と一致しない場合があります。
- 説明図は一部日本仕様と異なる点があります。
- この取扱説明書に関してのお問い合わせは下記までお願い致します。

ポルシェ・カスタマーケアセンターフリーダイヤル：  
0120-846-911

車両受領証  
(販売店で保管)

VIN：車両識別ナンバー

エンジンナンバー

上記車両については、取扱説明書および整備手帳に記載されている車両の取扱い、および保証内容、並びに納車点検内容の説明を受け了承の上、車両およびツールキットを完全な状態で受領しました。

---

販売店スタンプ

---

日時

お客様の署名